

平成26年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画
成果目標(変更)

平成27年1月29日

那覇市	1	嘉手納町	182
宜野湾市	31	北谷町	187
石垣市	39	北中城村	191
浦添市	54	中城村	198
名護市	68	西原町	202
糸満市	73	与那原町	207
沖縄市	83	南風原町	213
豊見城市	101	渡嘉敷村	225
うるま市	108	座間味村	229
宮古島市	122	粟国村	233
南城市	132	渡名喜村	235
国頭村	139	南大東村	237
大宜味村	144	北大東村	240
東村	146	伊平屋村	242
今帰仁村	149	伊是名村	249
本部町	154	久米島町	253
恩納村	161	八重瀬町	258
宜野座村	163	多良間村	266
金武町	168	竹富町	267
伊江村	171	与那国町	273
読谷村	175		

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		歴史ある那覇のまち、観光客誘客促進・受入基盤強化事業	H24～H33					
1	1	奥武山野球場イベント対応機能強化事業	H24～H26	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場の施設を整備し機能強化を行う。	・防護マット塗装工事発注 ・2階コンコース照明器具増設工事発注	・防護マット塗装工事完了 ・2階コンコース照明器具増設工事完了	平成26年度年間利用者目標数 241,000人 (平成24・25年平均利用者の10%増)	
1	2	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	H24～H28	個性的な本市の伝統工芸品を国内外にアピールするため、それらを展示・販売・体験できる那覇市伝統工芸館を活用しイベント等を行う。	・伝統工芸品のイベント 1回 ・伝統工芸館のイベント 1回 ・特別展示室の企画展 2回	・イベント 各1200名 ・企画展 各850名(平成25年:837人)	(今後の展開方針) H27～H33:伝統工芸館特別展示室での企画展の開催、販売場での催事の開催、入居するてんぷすビルと連携したイベントの開催	
1	3	プラネタリウム番組開発等事業	H24～H28	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、集客力のある番組を委託制作する。	プラネタリウムオリジナル番組制作	プラネタリウム年間観覧者数 25,000人 (基準値:平成23年 22,255人)	(今後の展開方針) 毎年新番組を制作し、番組数の充実を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	4	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ H33	観光案内所を運営する那覇市観光協会に対し、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフを配置するための経費及び運営等について支援を行う。	英語、中国語、韓国語での観光案内の実施 アンケートの実施等による利用者の満足度及びニーズの把握	外国人観光客の案内所利用人数:7,000人 (基準値:平成24年度 3,703人)	(今後の展開方針) H27～H33:外国語対応スタッフを配置する那覇市観光協会への事業支援実施	
1	5	バス停上屋整備事業	H24 ～ H28	観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえよう、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置:13基発注	バス停上屋の設置:13基完了	(今後の展開方針) H27年度:上屋設置(12基) H28年度:上屋設置(5基)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	6	交流オアシス整備事業	H24 ～ H29	観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。	・交流スペースの設置:6箇所発注	交流スペースの設置:6箇所完了	(今後の展開方針) H27年度:設置工事(6箇所) H28年度:設置工事(6箇所) H29年度:設置工事(6箇所)	
1	7	歴史散歩道整備事業	H24 ～ H32	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、歴史的な由来のある散歩道を調査選定し、路面改良、道路緑化・美化を行う。	・歴史散歩道設置:2地区発注	歴史散歩道設置:2地区完了	(今後の展開方針) H27年度～H32年度 各年度:整備工事(2地区)	
1	8	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。	・幹線道路及び観光地周辺市道の除草:4路線発注 ・街路樹の植樹:15本発注 ・天久安里線植栽工事:800㎡発注	・幹線道路及び観光地周辺市道の除草:4路線 ・街路樹の植樹:15本完了 ・天久安里線植栽工事:800㎡完了	(今後の展開方針) 幹線道路及び観光地周辺市道の路線の中で、さらなる街路樹の緑化や美化を推進するため新たな植樹樹設置及び植樹を実施する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	9	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、遊具・トイレ等の整備を行う。	・観光地周辺公園のトイレ整備:3棟発注 ・トイレ等の清掃:10公園発注 ・樹木の剪定:6公園発注	・観光地周辺公園のトイレ整備:3棟完了 ・トイレ等の清掃:10公園完了 ・樹木の剪定:6公園完了	(今後の展開方針) 観光地周辺公園のトイレ整備等を引き続き行う。	
1	10	市花木等普及推進事業(公共空間への植樹)	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、市花木ホウオウボク、市木フクギ、市花ブーゲンビリアにより、公共空間の緑化に取り組む。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:約30㎡発注	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:28㎡約30㎡完了 全体のうち、約5.0%進捗させる。	(今後の展開方針) 国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:約20～30㎡/年(H27～H33)	
1	11	ベランダ緑化推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのブーゲンビリアの苗等の配布を行う。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビリア苗等の確保:約200鉢	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビリア苗等の配布:約200鉢 全体のうち、10.0%進捗させる。	(今後の展開方針) 国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビリア苗等の配布:約200鉢/年(H27～H33)	
1	12	花いっぱい運動推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、地域を花でいっぱいにするための種子、草花苗等の配布を行う。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の確保:約23,000鉢	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:約23,000鉢	(今後の展開方針) 国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:約23,000鉢/年(H27～H33)	
1	13	緑の診断・生育事業(公共空間)	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入替え等を行う。	樹木の選定本数:約30本	樹木の診断本数:約30本	(今後の展開方針) 樹木の診断本数:約30本/年(H27～H33)	
1	14	桜の名所づくり事業	H24～H28	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、平成24年度実施の桜の育成環境調査に基づき、那覇、首里、真和志、小禄地域に桜の名所となる公園を整備する。	桜の植栽本数:約40本発注	桜の植栽本数:約40本完了 全体計画のうち、整備率20.0%進捗させる。	(今後の展開方針) 桜の植栽本数:約20本/年(H27～H28)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	15	デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。	・薬剤の樹幹注入:「デイゴ」60本発注	・薬剤の樹幹注入:「デイゴ」60本完了	(今後の展開方針) 害虫駆除及び予防のため継続して薬剤の樹幹注入を行う。	
1	16	那覇爬龍船競漕振興事業	H24 ～ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「爬龍船競漕」を実施している那覇爬龍船振興会に対して事業支援を行う。	「那覇ハーリー」を実施する那覇爬龍船振興会に対して事業支援を実施	那覇ハーリー来場者数:210,000人 (基準値:平成23年 192,000人)	(今後の展開方針) H27～H33:那覇爬龍船振興会に対しての事業支援実施	
1	17	那覇大綱挽振興事業	H24 ～ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。	「那覇大綱挽」を実施する那覇大綱挽保存会に対して事業支援を実施	「那覇大綱挽」来場者数:280,000人 (基準値:平成25年 277,000人)	(今後の展開方針) H27～H33:那覇大綱挽保存会に対しての事業支援実施	
1	18	琉球王朝祭り首里振興事業	H24 ～ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。	「琉球王朝祭り首里」を開催する首里振興会に対して事業支援を実施	琉球王朝祭り首里観客動員数:80,000人 (基準値:平成23年 55,000人)	(今後の展開方針) H27～H33:首里振興会に対しての事業支援実施	
1	19	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ H33	本行列を本市の重要な観光資源として活用し、観光振興・観光誘客を図るため、首里城祭実行委員会へ琉球王朝絵巻行列実施にかかる費用を補助する。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」を開催する首里城祭実行委員会に対して事業支援を実施	琉球王朝絵巻行列観客動員数:31,000人 (基準値:平成23年 33,000人)	(今後の展開方針) H27～H33:首里城祭実行委員会に対しての事業支援実施	
1	20	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ H33	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	・「那覇の日」観光誘客キャンペーンの実施 ・陸上競技場・補助競技場整備 ・キャンプ期間中の警備 ・公式戦・イースタンリーグ戦の開催支援	読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数 8,000人/日 (平成24年度 5,796人/日)	(今後の展開方針) H27～H33:読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化 目標値(指標):一日平均見学者数:10,000人(H33)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	21	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24～H33	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	春季キャンプ会場周辺で、ステージイベント等を実施	・読売巨人軍那覇キャンプー日平均見学者数8,000人/日 (平成24年度 5,796人/日) ・来場者満足度80%以上	(今後の展開方針) H27～H33: 読売巨人軍春季キャンプ会場周辺のにぎわい創出 目標値(指標): 一日平均見学者数: 10,000人(H33)	
1	22	国際通りとマチグラーのにぎわい事業	H24～H33	ひやみかちマチグラー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントなどを開催し、当該地域を活性化させる。	「ひやみかちマチグラー館」を拠点としたイベントなどの実施(週4～5回)	集客数: 30,000人(平成24年: 約23,000人)	(今後の展開方針) H27～H33: マチグラーを拠点にイベントを実施	
1	23	国際通りトランジットマイル推進事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である那覇市国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。	・国際通りトランジットモール環境整備の支援	トランジットマイル開催時の通行者数: 20,500人/日(平成24年: 20,000人)	(今後の展開方針) H27～H33: トランジットマイルの事業支援 目標値(指標): トランジットマイル開催時の通行者数: 23,000人(H33)	
1	24	中心商店街活性化支援事業	H24～H33	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。	・中心商店街(マチグラー)が実施するイベント等の支援	中心商店街(マチグラー)が実施するイベント等の支援件数: 10件	(今後の展開方針) H27～H33: 商店街が実施するイベント等の事業支援	
1	25	一万人エイサー踊り隊推進事業	H24～H33	伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。	・国際通りをステージに6千人以上が出演する「一万人エイサー踊り隊」の支援	一万人エイサー踊り隊来場者数: 93,000人(県外23,000人、県内70,000人) (平成24年 73,000人(県内外合計))	(今後の展開方針) H27～H33: 一万人エイサー踊り隊の事業支援 目標値(指標): 来場者数100,000人(H33)	
1	26	那覇まちまーい推進事業	H24～H33	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。	・着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」の実施 ・散策コースの新規企画 ・「那覇まちまーい」のPR活動	那覇まちまーいへの参加者数: 7,000人(平成24年 6,885人)	(今後の展開方針) H27～H33: 「那覇まちまーい」事業の推進	

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	27	「JAZZ Night in 那覇」事業	H24 ～ H26	観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「NAHA JAZZ」イベントを実施する。	市内の中心商店街の各スポットで「NAHA JAZZ」と銘打った野外夜イベントを実施	JAZZイベント来場者数:10,000人 (平成24年 2,985人、平成25年10月末9,000人)	(今後の展開方針) H27～:民間事業者による自主開催を予定	
1	28	歴史博物館企画展事業	H24 ～ H33	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。	・企画展開催(年間6回) ・企画展広報	歴史博物館来場者数:17,000人/年	(今後の展開方針) H27～H33:那覇の歴史文化に関する企画展を開催	
1	29	観光イベント安全確保事業	H24 ～ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。	那覇大綱挽まつり等における雑踏警備の強化	・那覇ハーリー来場者数:210,000人 (平成25年 204,000人) ・「那覇大綱挽」来場者数:280,000人 (平成25年 277,000人) ・琉球王朝祭り首里来場者数:80,000人 (平成25年 80,000人)	(今後の展開方針) H27～H33:各イベントにおける雑踏警備	
1	30	牧志駅前交通広場等にぎわい事業	H25 ～ H33	牧志駅前交通広場等において、周辺商店街への集客を目的に、音楽ライブなどのイベントを主に週末に実施する。	イベント実施回数:50回 (月5回×10ヶ月)	集客数:60,000人(1,200人×50回)	(今後の展開方針) H27～H33:牧志駅前交通広場において集客イベントを実施	
1	31	国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」	H24 ～ H26	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通り等に無料公衆無線LAN環境を構築し、まち歩き観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	・H27以降、事業者等が、自主運営できる仕組みづくりの構築	・NAHA_CITY_WIFI AP(公衆無線LANポータルサイト)へのアクセス数の増 (月平均:33万回)	(今後の展開方針) H27～:自主運営(予定)	
1	32	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ H33	国際観光都市としてグレードアップを図るため、てんぶす那覇に設置する大型ビジョンを活用して、観光プロモーション映像等により地域資源の魅力を発信し、またICT技術等との連携により新たな賑わいを創出する。	・観光プロモーション映像の放映による地域資源の魅力発信 ・ICT技術等を活用し、新たな賑わいを創出	地域観光資源の発信力強化 パブリックビューイングを実施 イベント中継を実施	(今後の展開方針) H27～H33:大型ビジョンによる観光PR映像の放映、数万人規模のイベント中継、パブリックビューイングの実施	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	33	観光宣伝誘致強化事業	H24 ～ H33	観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドマップ・ガイドブックを作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点を点検する。また、市長を筆頭に県外への観光PR活動を実施する。沖縄国際映画祭関連イベントとして、国際通りにおいてレッドカーペットを実施し、県内外へ那覇をPRし、誘客宣伝を行う。	・3ヶ国語ガイドマップの作成 ・県外PR業務 ・観光宣伝誘客委託 ・宿泊客アンケートの実施 ・観光統計作成 ・多言語版ガイドブックの作成 ・沖縄国際映画祭関連イベントの実施	・県外PR業務開催:2都市 ・観光宣伝誘客委託:10団体 ・宿泊客アンケートの実施:250件 ・沖縄国際映画祭那覇市会場動員数:平成25年度5.8万人 6万人	(今後の展開方針) H27～H33:時代とニーズに応じイベントやマスメディアを活用して観光宣伝誘致の強化・充実を図る。	10月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
1	34	那覇市内観光周遊バス実証実験事業	H24 ～ H26	観光都市としてのグレードアップを図るため、市内観光地やホテル等を回るバスの運行についての実証実験を行う。	観光周遊バスを1日25便運行	観光周遊バス一日乗車数:400人	(今後の展開方針) H27年度以降のバス事業者自主運行を目指す	
1	35	景観まちづくり推進事業	H24 ～ H28	地域(観光)資源である那覇らしい風景の保全、再生、創出を図り、景観形成を推進するため、首里金城地区及び壺屋地区景観形成資源実態調査業務、屋外広告物協定地区指定に向けた調査等の業務を実施する。	・首里地区及び壺屋地区の地域(観光)資源の活用計画案の検討 ・屋外広告物協定の基準(案)の検討	・首里地区及び壺屋地区の地域(観光)資源の活用計画案についてとりまとめる。 ・屋外広告物協定の基準(案)についてとりまとめる。	(今後の展開方針) ・活用計画案に基づき、地域資源の活用及び整備を推進する。 ・屋外広告物協定の基準案を基に地域住民との協定締結を目指す。	
1	36	那覇西地域まちづくり総合実施計画策定事業	H25 ～ H28	那覇西地域において、目標とするまちづくり構想となるよう、平成25年度に実施した現況調査業務の結果を踏まえた上で、現況調査業務で区分した平成26年度地区のまちづくりについて、地域まちづくり計画案を作成する。	地域まちづくり計画案の検討	住民との協働により、まちづくりの方向性や地域資源の活用などを示した地域まちづくり計画としてとりまとめる。	(今後の展開方針) H27～28年度:地区ごとのまちづくりについて地域まちづくり計画案を作成する。	
1	37	市民体育館イベント誘致機能強化事業	H24 ～ H26	市民体育館を各種スポーツの全国大会、プロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう消防設備の施設整備し、機能強化を行う。	・消防設備(誘導灯)取替工事発注 ・消防設備(煙感知器)取替工事発注	消防設備(誘導灯)取替工事完了 消防設備(煙感知器)取替工事完了	(施設・備品の活用方法) 非常時に観客が安全に避難できるようにし、イベント誘致の増加を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	38	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業	H24 ～ H27	国際通りのトランジットモールでの定期的なダンスイベントを実施・定着させることで観光振興・観光誘客を図る。	・国際通りを会場とした定期的なダンスイベントの実施 ・ダンスを観光資源とした観光都市PR	ストリートダンスバトル来場者数:18,000人 (平成24年 6,000人)	(今後の展開方針) H27:自主財源を確保し、自立した観光資源となるイベントの実施を目指す。	
1	39	首里金城町無電柱化推進事業	H25 ～ H31	観光地における快適な歩行空間を創出することで、観光資源としての地域づくりをさらに推進するために、電線類を地中化等し、道路上から電柱を無くしていく。	・電線類等移設費補償:2路線	電線類等移設費補償実施:2路線	(今後の展開方針) H27年度～H31年度 移設補償金(各年度2路線)	1月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
1	40	歴史散歩道関連整備事業 (下水道マンホール等設置)	H25 ～ H29	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、快適に観光散策等ができるよう風景になじんだ下水道マンホール蓋等を設置する。	下水道マンホール蓋等の発注 227箇所	下水道マンホール蓋等の設置 227箇所	(今後の展開方針) H27～29年度:整備工事	
1	41	観光イベント等映像発信事業	H25 ～ H33	クルーズ船で訪れる観光客及び祭り・イベント会場の観光客向けに、移動式車載大型ビジョンを活用し、本市の観光情報を発信する。	・移動式車載大型ビジョン運用	移動式車載大型ビジョンによる県外・国外観光客への観光案内・PR等:90回/年	(今後の方針) H27～H33:クルーズ客船セレモニー対応、観光PR映像放映、イベント活用を行う。	1月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
1	42	那覇市観光基本計画策定事業	H25 ～ H26	沖縄の玄関口である那覇市観光のさらなる振興を図るため、観光基本計画を策定する。	観光審議会の開催(3回)	観光審議会を開催し、那覇市観光の今後の目標、事業計画等についてとりまとめる。	(今後の方針) 策定した観光基本計画を基に観光振興事業を実施していく。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	43	亜熱帯庭園都市の公園魅力向上・活性化事業	H25 ～ H26	観光地としての沖縄・那覇の地域素材を活かした魅力ある公園とするために、前年度に作成した企画書(案)を基に実施計画を作成する。また、観光客を主体に年間10万人近い来園者を有する福州園に、園の施設を紹介する映像コンテンツの作成及びガイドシステムを設置する。	公園活性化に向けた実施計画の作成(公園の選定、実施施策の検討) 福州園案内システムの実施設計・工事施工	活性化に向けた実施計画をとりまとめる。 福州園案内システム整備工事設計業務:1件 福州園案内システム整備工事:1件 全体計画の進捗率:100%	(今後の展開方針) 公園活性化に向けた事業展開を進める。	
1	44	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ H33	外国人観光客増加に伴う観光関連事業所への外国人対応職員の派遣(英語、中国語、韓国語)、クルーズ船入港時の臨時観光案内所開設等の事業を行う。	空路及び海路からの市内への誘客	海路からの市内への誘客数約 50,000人	(今後の展開方針) H27～H33:外国人観光客の受入整備を継続して行う。	
1	45	観光案内板多国語充実事業	H26 ～ H28	国内外の観光客が、市内散策で活用するための多国語観光案内板を整備する。また、既存案内板のリニューアルを行い、観光客の利便性向上を図る。	観光案内板の充実	・首里地区の案内サインの設置(3基) ・観光案内板の修正19基及び新設2基	(今後の展開方針) H27～H28 観光案内板の設置により市内案内サインの充実を図る。	
1	46	国際会議等支援事業	H26 ～ H33	観光都市としてのグレードアップを図るため、国際会議等の主催団体へ事業補助を実施し、開催を促進することで、国内外への観光情報発信強化を図る。	国際会議等への支援(1団体)	「東西センター国際会議in沖縄」 会議参加者:350人	(今後の展開方針) H27～H33:国際会議等への事業支援実施	
1	47	マチグラー総合案内所事業	H26 ～ H28	牧志公設市場雑貨部1階に設置された案内所を利用して、中心商店街(マチグラー)を訪れる観光客などの来街者へ向けて、当該地域の情報を集約し、名所や魅力を効果的に発信する。	中心商店街(マチグラー)の案内、広報	案内所利用者数:3600人	(今後の展開方針) H27～H28:マチグラー案内所開設	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	48	国際通り客引き状況等調査事業	H26	国際通りでの強引な客引きの現状を把握し、今後の対応策を検討するための調査を実施し、観光客への安心・安全を図る。	調査実施(国際通り474店舗、旅行者114社、観光関係団体9社)	国際通りにおける強引な客引き状況の実態を把握する。	(今後の展開方針) 抑制に向けた取組みの実施	
1	49	観光客に快適な都市環境創出事業	H26 ~ H28	那覇市内の観光地周辺(国際通り周辺等)に生息する飼い主のいない猫を対象に不妊去勢手術を実施し、繁殖の抑制を図ることにより、糞尿被害、道路上の轢死等の環境衛生上の問題を軽減し、もって観光客に快適な都市環境を創出する。	飼い主のいない猫の不妊去勢手術 300匹	飼い主のいない猫の不妊去勢手術:300匹	(今後の展開方針) 飼い主のいない猫の不妊去勢手術 ・H27年度 300匹 ・H28年度 200匹	
1	50	バリアフリー改装補助事業	H26 ~ H30	高齢者や障がいのある方が観光を楽しむためには事前にインターネットで観光地の観光施設や宿泊施設、飲食施設のバリアフリーマップの情報収集が不可欠である。これらの多様化した要求に応じ、満足させる観光地を目指すには、既存の施設をバリアフリー化を図る飲食店等に補助を行う。	バリアフリー未整備の飲食店等に直接働きかけ、バリアフリー化を促し、その整備経費の一部を補助する。	平成26年度:24件	(今後の展開方針) 初年度の活動実績を踏まえ、バリアフリー整備可能な施設について、順次整備普及を啓蒙し、5年間で120箇所まで展開する。	
1	51	案内サイン設置事業	H26	観光客等の利便性をはかるため、観光客等が多く訪れる新都心地区内の案内板の更新を行う。	案内板の位置情報の更新:20箇所発注	案内板の位置情報の更新:20箇所完了	モノレールおもろまち駅から地区内へのスムーズな誘導や歩いて様々な施設に行くことが可能となる。	
1	52	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ~ H28	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグラーの良さを活かした地域観光に寄与する中核施設として、第一牧志公設市場の再整備を推進する。	・市場事業者等の意見・要望の再確認 ・検討委員会の開催	市場再整備手法や市場運営管理手法等について取りまとめる。	(今後の展開方針) H27年度:方針決定、説明会開催、最終合意。 H28年度:施設の整備事業着手準備。	
1	54	日米スポーツコンベンション歓迎事業	H26	プロスポーツコンベンション開催にあたり、歓迎ムードの構築、受入体制の充実を図り、にぎわいを創出する。また、県外からの観光客誘致のために各種広報活動も行う。	来場者数の増加、観光客の増加、観光収入の増加、国内外での沖縄・那覇のPR効果などが期待される。	来場者数20,000人以上 沖縄・那覇の認知度の向上	国際的なスポーツコンベンション誘致につなげる。	7月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	55	那覇港起点港機能強化事業	H26	経済波及効果の大きい那覇港発着のクルーズ船を誘致するため、那覇港クルーズターミナルに起点港として必要なチェックインカウンター、X線装置、荷物運搬用具等を整備する。	クルーズ船起点港機能の整備	クルーズ船起点港機能の整備完了 整備された備品: チェックインカウンター X線装置 荷物運搬用具 可動式通路	(今後の展開方針) H26 施設整備 (整備後の活用見込み) クルーズ船寄港回数: H25:56回 H28:74回	
2		那覇市の水産・農業振興活性化推進事業	H24 ~ H33					
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ~ H33	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催を行う。	・マグロ祭り等イベント開催 ・高校でのマグロを使用した料理教室の開催 ・マグロ解体ショーの開催 ・市内飲食店でのマグロPRイベント	・市魚マグロ等イベント開催:5回 ・市魚マグロイベント来場者数40,000人 (基準値:平成24年20,000人)	(今後の展開方針) H27年度、イベントの開催及び業務委託の充実	
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ~ H33	本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を図る	漁船近代化機器等の設置経費への支援	漁船近代化機器等設置申請者数:20件(平成24年度申請件数20件)	(施設・備品の活用方法) 漁船の近代化を推進する事によって、操業の安全の確保、漁獲量の安定確保に繋げる。	
2	3	那覇市農業振興事業	H24 ~ H33	本市産業の振興発展を図るため、強化ビニールハウスの設置・購入にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。	強化ビニールハウス設置に係る経費への支援	強化ビニールハウス設置の補助申請者数:1件 (基準値:平成24年度0件)	(施設・備品の活用方法) 補助対象者に申請時、「ビニールハウス利用計画書」を提出させ、収益・生産性の向上を図る活用を目的とする。	
2	4	地産地消推進事業	H24 ~ H26	本市産業の振興発展を図るため、伝統野菜の生産拡大、地元野菜の利用推進に向けた取り組みを行い、本市農業の振興を行う。	成果目標(指標)である学校給食における地場産物の使用割合(野菜類)を高める。	学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類):3.5%	今後(事業終了H26年度)も学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類)が向上するよう努める。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	5	ワッター野菜がジョートーサー事業	H24 ～ H28	本市産業の振興発展を図るため、那覇の伝統野菜の保存・普及および地元の農家がつくった沖縄の伝統野菜のPR活動及び啓蒙活動や垂熟帯農作物の加工品販売を促進する。	・鏡水大根の生産支援 ・地元野菜の料理講習会等、PR活動支援	・鏡水大根生産者：8戸 （基準値：平成24年度6戸） ・種子の保存・優良化1万粒 （基準値：平成24年度7,000粒） ・地元野菜を活用した食材提案会参加者数：100人（基準値：平成24年度64人）	(今後の展開方針) 平成25年度に設立された鏡水大根事業協同組合と連携して種の優良化及び担い手の技術向上を図る。 市内在住の若手農業者の生産する農作物を中心に地元野菜の食材提案を推進する	
2	6	第3次那覇市水産業振興基本計画策定事業	H25 ～ H26	本市の水産業振興を図るため、昨年度に実施した本市水産業に関する基礎調査を踏まえ、水産業振興基本計画を策定する。	基本計画の検討	本市水産業振興基本計画を策定することにより、本市水産業の短・中・長期の課題を整理とりまとめる。	(今後の展開方針) 水産業振興基本計画にて整理した課題に対し、本市の水産業振興施策に反映させ、水産業の振興発展を図る。	
2	7	漁港等整備事業	H26 ～ H29	本市の水産業振興を図るため、昨年度実施した漁港等建設可能性調査の結果を踏まえ、新たな漁港等建設計画を策定する。	新たな漁港等建設計画の検討	新たな漁港等建設計画を策定することにより、建設に関する問題点、課題等が整理され、今後の各種調査・計画スケジュールについて把握する。	(今後の展開方針) 計画スケジュールにより今後必要となる各種手続き・調査・設計業務を行なう。	
2	8	外国人漁業研修生受入推進事業	H26 ～ H33	市内漁業協同組合が行う外国人漁業研修生受入事業に対し費用の一部を助成する。マグロ漁船員不足の解消による本市水産業振興を図る。	外国人研修生確保：25名	外国人研修生受入：25名	(今後の展開方針) マグロ漁船員不足解消の為、事業支援の継続	
3		沖縄の伝統工芸、地元産業の振興推進事業	H24 ～ H33					
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ H33	本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外へ販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。	・販路拡大支援 県外 / 14社 海外 / 7社 ・海外での販路拡大イベントの実施	助成対象期間内における採択事業者の商談件数及び成約件数： 商談件数150件 成約件数15件	(今後の展開方針) ・既存の見本市・展示会等の出展費用だけでなく、新たな販路開拓への取り組みについても支援を検討する。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	2	頑張るマチグラー支援事業	H25 ~ H33	中心商店街の自主的な誘客活動等を支援し、中心商店街の活性化を図る。	商店街・通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援	各事業に対する満足度:70%以上	(今後の展開方針) H27~H33:商店街が実施するハード整備、誘客活動等の事業支援	
3	3	那覇の物産展事業	H24 ~ H33	本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためPRして、産業の振興を行う。	・特産品のブランド化支援 ・特産品のPR機会の提供	物産展の売上額:1,157万円 (対前年度売上額の5%増)	(今後の展開方針) ・那覇市長賞商品のさらなるPR ・地域ブランドとしての展開	
3	4	沖縄の産業まつり事業	H25 ~ H33	沖縄の産業まつりで本市の特産品コーナを確保し、本市の地場産業の販路拡大を図るとともに、那覇市長賞(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)の受賞企業に対し、その商品のPR活動を支援する。	・特産品のブランド化支援 ・特産品のPR機会の提供 ・那覇市長賞受賞全事業者の出席	市の特産品コーナー出展店舗数:10件 (市長賞受賞企業5社、その他5社)	(今後の展開方針) H27~H33:那覇の物産展推進事業と連携して特産品のブランド化へつなげる。	
3	5	企業誘致活動サポート事業	H24 ~ H33	本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。	・H24、25実施意向調査の分析による訪問企業リストアップ ・企業訪問 ・フォローアップ活動	H24、25実施意向調査の分析件数:8,000件 企業訪問件数:50件 フォローアップ活動件数:100件	(今後の展開方針) 2年間で収集したデータを再度整理し、優先順位をつけたうえでアプローチする機会を増やす必要がある。併せて継続的な情報発信等、自治体としての関わり方を検討する。	
3	6	琉球漆器普及推進事業	H25 ~ H29	本市琉球漆器産業の振興を図るため、専門家による経営改善支援を行うとともに、新商品開発を通して人材育成及び販路拡大を図る。	・マーケティング調査 ・業務改善支援 ・漆器関係者ネットワーク構築 ・新商品開発	・琉球漆器のマーケティング調査を行い取りまとめる ・業務改善計画策定	(今後の展開方針) H27~H29:業務改善計画に基づく漆器組合の体制強化、マーケティング調査及びネットワーク会議の継続・新商品開発、販路の開拓及び拡大	
3	7	那覇市IT創造館基盤整備事業	H26	本市の情報通信関連産業の振興のため、中心拠点であるIT創造館の環境整備をし、利用者の利便性向上を図る。	IT創造館の環境整備	IT創造館入居率:90%	(施設・備品の活用方法) 那覇市IT創造館の利用者に支障をきたさないよう施設環境を保守整備し、地域におけるITリテラシーの向上と創業支援、雇用創出の推進に活用する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	8	「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」(仮称)策定事業	H26	中心市街地商店街の活性化を図ることを目的に、これからの未来像・計画をまとめた「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」(仮称)を策定する。	基本計画の検討(中心市街地の範囲等)	中心市街地を活性化するために必要な具体的施策等について取りまとめる。	(今後の展開方針) 基本計画の実現に向けた取組みの推進。	
3	9	那覇市中心商店街通行量調査及び那覇市来街・来店者調査事業	H26	那覇市中心商店街の活性化に資する企画を検討する際に必要な基礎調査として、中心商店街における通行量調査及び来街・来店者調査を行う。	調査実施(国際通り、平和通り、水上店舗、新栄通り、沖映通り、浮島通り、神原通り、安里大通り、ジャスコ那覇ショッピングセンター、栄町市場、パレット久茂地、泊大通り、パラダイス通り、メインプレイス、天久リウボウ楽市)	中心商店街における通行量及び来外・来店者動向の実態を把握する。	(今後の展開方針) 交通量の少ない地域への効果的な集客に向けた施策の検討。	
4		海外と日本各地を結ぶアジアの国際物流拠点、港湾施設整備事業	H24 ~ H29					
4	1	ガントリークレーン整備事業	H24 ~ H26	那覇港において、利便性の高い港湾の整備・拡充を実施し、国際物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図るため、ガントリークレーンを増設する。	那覇港のガントリークレーン4号機製作1基	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化ガントリークレーン ・4号機製作1基	(今後の展開方針) 平成26年度 :3号機設置、供用開始 :4号機製作、設置 平成27年度 :4号機供用開始	
4	2	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ~ H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際・国内物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センター実施設計の実施	総合物流センター実施設計業務の完了	(今後の展開方針) H27年度:液状化対策工事、基礎工事 H28~29年度:建築工事 H30年度:供用開始 (整備後の活用見込み) 那覇港の取扱貨物量: H24:989万トン H30:1,013万トン	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	3	那覇港輸出貨物増大促進事業	H26 ～ H28	香港直行航路の社会実験を実施し、コスト、リードタイム等を検証しつつ、香港直航航路の定着への課題検討、定着への方策の検討を行う。	社会実験実施計画作成 社会実験の実施	社会実験結果報告書の作成による改善点などの把握	(今後の展開方針) H26～H28 社会実験 H29 香港直行航路の定期航路化 (事業目標に向けた展開) 那覇港の取扱貨物量:1,013万トン(H30)	10月変更(事業追加)
5		生き生き人材育成・雇用促進事業	H24 ～ H33					
5	1	なはし就職なんでも相談センター運営事業	H24 ～ H33	市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。	・就職相談 ・就職活動支援セミナーの開催 ・求人情報の提供	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数:200人	(今後の展開方針) これまでの活動を継続しながら、就職活動者が、より就労に繋がりがしやすい支援を検討する。	
5	2	介護職員初任者研修事業	H24 ～ H33	市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、介護職員初任者研修(旧:訪問介護員2級)資格を取得するための講座を実施する。	・介護職員初任者研修養成募集:200人	・介護職員初任者研修養成人数:200人	(今後の展開方針) 就職率60%以上を目指し実施する。	
5	3	中学生のための仕事と社会について考える講座事業	H24 ～ H26	市民の就業支援を行うため、中学生を対象に社会における自己の役割や働くことの意義及び将来の進路選択について主体的に考える機会となるような体験・参加型講座を開催する。	・体験・参加型講座を実施(中学校5～8校の生徒930名)	キャリア教育講座受講生徒数:930名	(今後の展開方針) アンケート等により事業効果を把握検証し、若者に対する効果的なキャリア教育施策を検討する。	
5	4	企業立地雇用施策基本指針策定事業	H26	本市雇用環境の改善、雇用施策の充実のため、雇用に関する基礎調査を実施し、「企業立地雇用施策基本指針」(仮称)を策定する。	企業立地雇用施策基本指針の検討	企業立地雇用施策基本指針についてとりまとめる。	(今後の展開方針) 今後の那覇市の雇用対策及び起業誘致方針について指針とりまとめについての基礎調査を実施する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	5	活き活き人材育成支援施設整備事業	H26 ～ H29	沖縄の主に産業振興分野の発展に寄与する人材を育成する施設を整備する。高校・専門学校・大学、既卒者、有職者を対象に、特に外国語(英語・中国語等)の通訳・翻訳・案内士資格取得のための基礎学力を育成する環境を整備し、観光産業分野等で活躍できる人材を育成する。その中で地域住民と在住外国人との交流、地域づくりやまちづくりの活動に利用できる施設も含めて整備を行う。H26年度は当該施設の基本構想の策定を行う。	・基本構想の検討(当該施設の設置目的、役割、機能、施設・設備、管理・運営)	・人材育成に資する施設整備等のあり方を構想として取りまとめる。	H27年度・・・基本設計、実施設計、研修カリキュラム作成、建設用地の購入 H28年度～H29年度・・・施設整備	
6		なはが好き！子どもの笑顔が輝く教育のまち推進事業	H24 ～ H33					
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したチーム・ティーチング形式等での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。	・学習支援員配置学校数：小学校36校	支援児童数：3,300人	(今後の展開方針) 支援児童数(累計) H33年度：33,000人 ・市内小学校 全国学力・学習状況調査及び沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上	
6	2	小学校英語指導員配置事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員を小学校各校に配置し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	・英語指導員配置数 外国人：18人、日本人：20人	市内小学校への英語指導員派遣率：100%	(今後の展開方針) 市内中学校(進学後) 沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上	
6	3	中学校英語指導員配置事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	・英語指導員配置数 外国人：10人	市内中学校への英語指導員派遣率：100%	(今後の展開方針) 市内中学校 沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	4	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各学校へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	特別支援教育ヘルパー配置数 小中学校:計84人	支援児童生徒数:300人	(今後の展開方針) 支援児童数(累計) H33年度:3,000人	
6	5	特別支援教育充実事業(幼稚園)	H24 ～ H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する園児に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	特別支援教育ヘルパー確保数:幼稚園48人	特別支援教育ヘルパー配置数:幼稚園48人	(今後の展開方針) 対象となる園児数や状況を見極め、適正なヘルパー配置をとおし、園児の安全性の確保、教育の公平性を確保する。	
6	6	特別支援教育充実事業(幼稚園預かり保育)	H24 ～ H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する園児に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。	特別支援教育ヘルパー確保数:預かり保育実施幼稚園22人	特別支援教育ヘルパー配置数:預かり保育実施幼稚園22人	(今後の展開方針) 対象となる園児数や状況を見極め、適正なヘルパー配置をとおし、園児の安全性の確保、教育の公平性を確保する。	
6	7	預かり保育推進事業(ソフト交付金)	H25 ～ H33	教育課程に係る教育時間の終了後に行う午後の預かり保育へとつなげる教育活動で、各幼稚園の預かり保育指導員1名を臨時職員とし午前中から配置することで、きめ細かに安心安全な保育を実施する。	臨時預かり保育指導員確保園:36園 確保人数:36人	臨時預かり保育指導員配置園:36園 配置人数:36人	(今後の展開方針) 全市立幼稚園で預かり保育を実施。各園に1名の臨時職員を午前中から配置して、きめ細やかな保育を実施する。	
6	8	学習支援事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒及び過卒生を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。	学習支援員配置数:2人	学習支援生徒数:50人 高校入試合格率:92%(学習支援事業の高校入試受験者数に占める合格率の割合。)	(今後の展開方針) 沖縄県の高校進学率は低く全国最下位が続いているため、その向上に努める。	
6	9	学習ボランティア支援事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。	学習ボランティア実施校数 小学校:15校、中学校:5校	学習ボランティア派遣人数:48人	(今後の展開方針) 学習ボランティア派遣人数(累計) H33年度:500人 市内小学校 全国学力・学習状況調査及び沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	10	自立支援教室(きら星学級)事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通じた登校復帰を促す取り組みを行う。	・きら星学級支援員配置数：5人	・支援児童生徒数：30人	(今後の展開方針) 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合は那覇市で34%であり、全国平均の11%とすることを平成33年度の目標とする。	
6	11	教育相談支援事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組む。	・教育相談支援員配置数(率) 小学校：37人(100%) 中学校：17人(100%)	・相談支援件数：1,000件 ・相談支援回数：20,000回	(今後の展開方針) 那覇市小学生の不登校率0.46%を全国平均の0.33%とし、那覇市中学生の不登校率3.16%を全国平均の2.64%とすることを平成33年度の目標とする。	
6	12	メンタルヘルスカウンセリング事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行う。	・相談員配置数：9人	・教育相談(延)件数：5,800件	(今後の展開方針) 那覇市小学生の不登校率0.46%を全国平均の0.33%とし、那覇市中学生の不登校率3.16%を全国平均の2.64%とすることを平成33年度の目標とする。	
6	13	青少年旗頭事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。	・全小中学校を対象に、旗頭修繕、制作及び演技指導等を実施 ・旗頭フェスタの開催	旗頭フェスタに参加した児童生徒数：1,230人	(今後の展開方針) 更なる参加人数の増加を目指し、全小中学校の参加とその定着を目標にするとともに、旗頭をきっかけに地域社会と子どもたちとのつながりを強めていく。	
6	14	那覇市児童生徒県外交流事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。	・交流事業で県外に派遣した児童生徒確保：40人	交流事業で県外に派遣した児童生徒数：40人	(今後の展開方針) 県外派遣児童生徒数(累計) H33年度：398人 毎年40人の派遣を維持しつつ、全中学校の生徒を参加させ、その育成を図る。	
6	15	街頭指導事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。	・専任指導員配置数：6人 ・青少年指導員配置数：80人	・街頭指導実施回数：1,050回 ・青少年の指導人数：2,400人	(今後の展開方針) 沖縄県警察による青少年の補導件数(人口千人当たり)が全国一悪く、沖縄県は全国平均の約3倍あるので、その減少に努める。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			細	H26事業内容		H26活動目標(指標)	今後の展開方針等
6	16	生徒サポーター派遣事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、学校内教育支援室等を設置して、「あそび・非行」傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む。	・生徒サポーター配置学校数 中学校:17校	市内中学校への生徒サポーター派遣率:100%	(今後の展開方針) ・小中学校不登校率の逓減	
6	17	スポーツ広場整備事業	H24 ～ H26	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設としてスポーツ広場を整備する。	・スポーツ広場の機能向上 トイレ・機具庫の整備	スポーツ広場の年間利用者数:5,000人	(施設・備品の活用方針) ・整備後は、サッカー等のように広さを要する球技用施設が少ない市内にあって、これらの競技大会開催をサポートする。	
6	18	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	・大会派遣児童生徒申請数(累計): 320人	大会等派遣児童生徒数(累計):320人	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:3,500人	
6	19	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	・大会等派遣児童生徒申請数(累計):500人	大会等派遣児童生徒数(累計):500人	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:5,000人	
6	20	離島等自然体験学習事業 自然教室	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。	・実施学校数:小学校:34校	自然体験活動を実施した児童生徒数:3,100人	(今後の展開方針) 自然体験活動実施児童数(累計) H33年度:31,000人	
6	21	幼稚園冷房機設置事業	H24 ～ H26	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。	幼稚園冷房施設整備:3園発注	幼稚園冷房施設整備:3園完了	(今後の展開方針) H24～H26年度:累計13園29教室	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	22	小学校施設環境整備事業 (冷房設置)	H24 ～ H29	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。	・小学校冷房施設整備：20校発注	・小学校冷房施設整備：20校完了 ・全体計画の進捗率：74.1%	(今後の展開方針) 平成27年度：小学校15校冷房施設整備 平成28年度：小学校5校冷房施設整備 平成29年度：小学校3校冷房施設整備	
6	23	中学校施設環境整備事業 (冷房設置)	H24 ～ H28	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。	・中学校冷房施設整備：6校発注	・中学校冷房施設整備：6校完了 ・全体計画の進捗率：85.1%	(今後の展開方針) 平成27年度：中学校2校冷房施設整備 平成28年度：中学校1校冷房施設整備	
6	24	小学校施設老朽化抑制事業 (塩害防止・長寿命化)	H24 ～ H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	・小学校校舎等外壁整備：2校発注	・小学校校舎等外壁整備：2校完了 ・全体計画の進捗率：30%	(今後の展開方針) H27年度以降：各年度2～3校整備	
6	25	中学校施設老朽化抑制事業 (塩害防止・長寿命化)	H24 ～ H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	・中学校校舎等外壁整備：1校発注	・中学校校舎等外壁整備：1校完了 ・全体計画の進捗率：30%	(今後の展開方針) H27年度以降：各年度1校整備	
6	26	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ～ H33	学力調査を小学校で実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、教師や児童生徒の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるため調査研究を実施する。	・那覇市内37全小学校の2年生への学力調査実施 ・那覇市内37全小学校の4年生への学力調査実施	・那覇市内36全小学校の2年生・4年生を対象とした調査を実施し、平成29年度までに那覇市の児童生徒の学力を全国水準に高める。	(今後の展開方針) H33年度まで毎年実施予定	
6	27	壺屋小学校屋外トイレ地域景観づくり事業	H26	学校活動上での児童による利用や壺屋地域や国際通りでのイベント等においての地域住民による利用など、幅広く利用頻度の高い施設であるため、屋外トイレを壺屋地域の景観に沿った外観に整備する。	壺屋小学校の屋外トイレの整備発注	壺屋小学校の屋外トイレの整備完了	(施設・備品の活用方法) 学校活動の他、那覇まつり等の地域イベントの集会場所として利用される運動場のトイレとして、多くの市民の活用が期待できる。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		伝統文化と新たな文化創造の発信都市へ！文化のまち推進事業	H24～H33					
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統芸能の継承発展のため沖縄芝居の公演を行う。また、市民ギャラリーの貴重な収蔵作品等を修復し、展示会を開催し市民文化の振興を図る。 沖縄芝居公演 市民ギャラリー収蔵絵画修復・展示会	沖縄芝居公演を開催する。 市民ギャラリー収蔵品展示会を開催する。	来場者数：1,200名 来場者数：500名	(今後の展開方針) 事業の継続を通して、市民文化の振興を拡充する。	
7	2	市民文化育成発信事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展及び市民文化活動の活性化を図るため、児童生徒や一般市民の参加・創造型の自主事業を実施する。	・那覇市芸術監督を設置し、市民音楽劇、舞台芸術体験事業の企画・運営・公演及び文化講演会等の実施。 ・市民音楽劇の成果公演を実施 ・ふれあいジャズフェスティバルを開催 ・那覇市民舞台芸術体験の成果公演を実施 ・創作エイサーコンテストの開催 ・うちなーぐち講座の開催と成果発表会 ・島くとぅば語やびら大会の開催 ・なは市民芸術展の開催	・文化講演会実施5回(市内小中学校)、市民文化活動への助言・指導 ・市民音楽劇公演実施1回、ワークショップ参加者30名、来場者数250名 ・ふれあいジャズ公演実施1回、参加校20校、来場者数1,500名 ・参加者数30名、来場者数500名 ・参加団体10団体、来場者数1,300名 ・うちなーぐち講座参加者40名、成果発表公演来場者数250名 ・来場者数250名 ・応募者数100名、芸術展開催期間来場者1,000名	(今後の展開方針) 事業の継続を通して市民の文化活動の活性化を拡充する。	
7	3	市民文化支援事業	H24～H33	沖縄振興に資する市民の実演芸術活動及び地域の伝統文化継承活動を支援するために補助金を交付する。 舞台公演事業補助金 文化団体等が行う舞台芸術の公演事業に対して補助金を交付する。 伝統芸能・文化の継承発展補助金 地域の歴史と深く関わる伝統芸能・民俗文化の継承発展に取り組む文化団体等へ交付する。	・文化団体等が行う舞台公演への補助 ・伝統芸能・民俗文化団体の継承発展活動への補助	・文化団体等：4団体 ・伝統芸能・民俗文化団体：10団体	(今後の展開方針) 事業の継続を通して、市民文化活動の拡充を図る。	
7	4	伝統文化継承種まき事業	H24～H33	那覇市立保育所(9ヶ所)に入所している児童及び保育従事者を対象に、沖縄の伝統文化に特化した専門講師を派遣する。また、本事業の成果をおゆうぎ会等の行事で披露したり、卒園記念品として創作するなど、保育の質の向上及び充実を図る。	1保育所、年間35回実施を予定。	専門講師派遣回数 315回	(今後の展開方針) ・実施回数増で浸透力を高める。 ・折に触れお披露目会を実施し児童の表現力を高めほめられることで、一層の意欲を持たせる。 ・地域との連携を図る。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			細	H26事業内容		H26活動目標(指標)	今後の展開方針等
7	5	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。	「子どもフェスタinなは」を開催し、子供達の活動発表の場を創出	子どもフェスタ参加児童生徒数:730人	(今後の展開方針) 参加児童生徒数750人規模の毎年度開催を維持しつつ、参加団体のネットワーク形成につながる、満足度の高いフェスタ運営を目指す。	
7	6	郷土資料整備事業	H24 ～ H33	沖縄振興に資する伝統文化等を継承するため、郷土資料を購入し充実を図る。沖縄関係、地元出版の図書等を豊富にそろえることで、沖縄に関する質の高い情報を観光客等を含めた利用者へ提供し活用を図る。	郷土関係資料の購入	郷土関係資料の購入:約1,000点	(今後の展開方針) 毎年郷土関係資料の購入を行う。	
7	7	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット)	H24 ～ H26	沖縄振興に資する文化発信拠点としての役割を担うパレット市民劇場において、市民及び県民へ、より魅力的な舞台芸術活動等の場を提供するための施設整備と機能強化を図る。	可動式高所作業装置の整備	可動式高所作業装置の購入	(施設・備品の活用方法) 照明や幕などの舞台装置の調整や整備点検などを行う。	
7	8	壺屋の歴史・文化発信事業(特別展事業)	H24 ～ H26	平成24年度に購入した沖縄独特の厨子資料群を調査・研究資料とともに一般公開するため、特別展を開催する。展示会開催期間中は、関連する文化講座等を実施する。	特別展開催:50日 解説会・関連文化講座開催:3回	・特別展観覧者数:3,000人 ・関連催事参加者数:100人	(今後の展開方針) ・厨子資料の継続した調査・研究 ・定期的な資料の展示・公開	
7	9	島クトゥバ継承・普及小冊子製作事業	H24 ～ H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、島クトゥバ小冊子を製作し、小中学校の児童・生徒に配布して、学校及び家庭での積極的な活用を推進する。	・しまくとぅば普及小冊子作成数: 3,500冊×2種類	・しまくとぅば普及小冊子配布数:3,500冊×2種類	(今後の展開方針) 「しまくとぅば県民意識調査」におけるしまくとぅば活用状況の向上	
7	10	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ H32	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた周辺環境整備計画策定、敷地調査を実施する。	敷地測量調査及び地質調査業務の実施 周辺環境整備計画の策定	基本設計の発注に必要な敷地情報を把握する。 施設建設計画に反映させるため、施設建設による周辺環境への影響を把握する。	H27～28年度:基本設計 H28～29年度:実施設計 H30～H32:建築工事、供用開始	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		ちゅい助き助き沖縄のチムグクル福祉のまちづくり事業	H24 ～ H33					
8	1	認可外保育施設の環境整備事業	H24 ～ H33	戦後は米国政権下のもと、日本政府による児童福祉政策が及ばず他県と比べ児童福祉整備が遅れた。それらの影響に対応した子育て施策の拡充を行うため、認可外保育施設指導監督基準を満たした施設に対し施設改修費の補助、害虫駆除等を行う。	は対象施設23ヶ所のうち約10施設の実施予定。 は衛生消毒、害虫防除を年2回、88施設以上を目標。	施設改善件数 10施設以上完了 衛生消毒及び害虫防除の実施件数 88施設完了	(今後の展開方針) H27年度:認可外保育施設改修10施設	
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ H33	低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、民間施設等に賃借して活動している児童クラブに対し、家賃等の補助を行う。	民間施設等を賃借して活動している児童クラブに対し、家賃等の補助を行う。	賃借料補助を行う児童クラブ数:24ヵ所	(今後の展開方針) H27年度より厚生労働省が児童クラブ40人定員の方針を打ち出ししており、分割等による増加が見込まれる。	
8	3	ナハノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ～ H28	認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のため、非常勤の保育施設情報相談員を常駐させ、保育施設情報の提供を行う。	保育施設相談への対応。	相談対応による保育施設情報の提供数 600件 (月当たり50件として12ヶ月)	(今後の展開方針) 認可外保育施設に関する情報提供が一般化することで、認可保育所と同様に認可外保育施設を選択する風土につなげていく。	
8	4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ H33	認可外保育施設において、保育従事者による「絵本読み聞かせ」を位置づけるため、専門講師による「読み聞かせ」研修会を実施し、入所している児童に絵本を配付する。	施設に合った絵本を配付し、他の研修とも連携させ保育従事者の保育の質向上へ誘導する。	首里、小禄、本庁・真和志地区で開催。施設にあった絵本を配付し他の研修とも連携させ保育従事者の質向上を図る。	(今後の展開方針) 指導監督を直接行っていることから、保育従事者と保育のソフト面についても向き合っていく。	
9		万国津梁、世界に広がるウチナンチュネットワークの拡充事業	H24 ～ H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H25 ~ H33	南米2か国の那覇市民会の子孫(2世・3世)を2ヵ月間研修生として受け入れる。市民との交流、沖縄文化の体験等により、自身のアイデンティティーのルーツを再確認する。 対象:ブラジル及びアルゼンチンからの那覇市出身者研修生(各1名)と那覇市民 期間:平成26年1月上旬~3月上旬(2ヶ月間)	研修生募集 年間2名	研修生受入 年間2名	(今後の展開方針) 受入研修生累計 平成25年度~34年度 20名	
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ~ H33	平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生8名を派遣する。また、隔年(H27・H29・H31・H33)で、長崎県より中学生40名が来沖し、本市中学生40名と合同で平和学習(南部戦跡巡り等)を行う。	長崎への平和学習派遣生徒:8人募集 事前研修及び報告会の開催	長崎への平和学習派遣生徒:8人 平和に対する意識の向上	(今後の展開方針) ・沖縄での平和学習 参加生徒数(累計) H25・27・29・31・33年度:200人 ・長崎への平和学習 派遣生徒数(累計) H25~33年度:72人	
10		未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ~ H33	全体計画 見直し版 に基づき、平成25年度に引き続き、全体計画の周知活動や土地活用に関する勉強会の開催、がじゃんぴら通信の発行による地権者等の「意識醸成」と若い世代を対象とする次世代の会等の開催による「組織づくり」に向けた取り組み、その他必要な取り組みを行う。	・全体計画の説明会:1回 ・地権者勉強会:2回 ・情報誌の発行:2回 ・次世代の会:3回 ・その他必要な取り組み	・全体計画の説明会:30名 ・地権者勉強会:60名 ・情報誌の発行:2,000部 ・次世代の会:15名 ・その他必要な取り組み	(今後の展開方針) ・跡地利用計画づくりに向けた意識醸成のための取り組みの継続 ・地主会と若い世代の組織による活動の展開	
11		離島があって那覇がある、連携共存共栄事業	H24 ~ H33					
11	1	離島連携事業	H24 ~ H26	県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜・久米島の5つの離島と連携事業を行い、5町村との交流強化に取り組む。	・那覇市民を対象に交通費と宿泊費の一部を助成(助成対象 5,550人)する対象者の募集	離島5町村(渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町)への渡航費及び宿泊費を助成した市民数:5,550人	(今後の展開方針) 新たな共存共栄の離島振興策を模索する	
11	2	離島体験学習支援事業	H24 ~ H33	県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。	・離島等派遣延べ人数:150人確保	離島等派遣延べ人数:150人派遣	(今後の展開方針) 離島等派遣人数(累計) H33年度:1,500人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12		環境共生都市の構築推進事業	H24 ～ H33					
12	1	水資源有効利用推進事業	H24 ～ H33	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。	雨水施設等設置費補助件数:30件	雨水施設等の設置支援数:30件	(今後の展開方針) 1.各支所・自治会へのチラシ配布 2.市民の友広報 3.建築士会へのチラシ配布	
13		安心安全な防災都市の構築推進事業	H24 ～ H33					
13	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ H33	自然災害に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・非常勤職員4人を採用し、定期救命講習、出前救命講習を実施 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動を実施	応急手当講習受講者数:6,000人	(今後の展開方針) ・定期講習会の実施(年27回) ・出前講座等の条件維持 ・小中学校への入門コースアップ ・応急手当普及員講習会強化 ・年間受講者(目標):6,000人	
13	2	小学校防災避難施設整備事業(校舎屋上)	H24 ～ H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小学校校舎の屋上手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	・小学校校舎屋上手摺整備:2校発注	小学校校舎屋上手摺整備:2校完了 ・全体計画の進捗率:100%	(今後の展開方針) 小学校校舎屋上手摺整備(H24～H26年度累計):6校	
13	3	中学校防災避難施設整備事業(校舎屋上)	H24 ～ H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	・中学校校舎屋上手摺整備:1校発注	中学校校舎屋上手摺整備:1校完了 ・全体計画の進捗率:100%	(今後の展開方針) 中学校校舎屋上手摺整備(H24～H26年度累計):3校	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等		
13	4	地域(防災)案内付き掲示板設置補助事業	H26	地域住民や観光客等の安全安心の向上及び地域の景観形成と自治会活動の活性化を図るため、防災情報に関する情報を取り込んだ沖縄らしいデザインの掲示板を作成する。自治会所有の掲示板について、当該掲示板設置あるいは、改修にあたっての費用を補助する。	・掲示板を新たに設置する場合の補助の件数 160件 ・既存の掲示板を改修する場合の補助の件数 150件	新設又は改修により防災情報を取り込んだ沖縄らしい掲示板的割合 50% (割合 = 新設又は改修を行った掲示板数 / 自治会所有の掲示板数)	(今後の展開方針) H26年度: 掲示板的の新設及び改修の実施		
13	5	濃煙体験用エアートント整備事業	H26	防火・防災イベント時や企業、自治会等の消防訓練などにおいて、火災時の煙の恐さを体験し、万が一火災時においても適切な行動が取れるよう体験学習を積重ねることで、防火思想を普及させ災害に対する対応力を育成する。	濃煙体験用エアートント(一式)の整備	・ファイヤーフェスタ/救急防災フェア開催: 2回 イベント来場者数: 2,000名 ・各種講習会: 年10回 受講者数: 500名 ・企業/自治会の防災訓練: 5回 参加者: 200名	(今後の展開方針) 「災害に強いまちづくり」の一環として、自主防災組織などとの連携を図り、濃煙体験用エアートントの貸出しなどを充実させ、火災等に対する対応力育成を図る。		
13	6	津波避難ビル建設事業	H24 ~ H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市の海拔が低い地域に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。また平時は、地域の交流拠点施設として利用し、地域コミュニティの活性化を図る。	津波避難ビルの建設 (建築場所: 那覇市松山2-22-1)	津波避難ビルの建設 (建築場所: 那覇市松山2-22-1) 万が一の大津波襲来時に約2,000名の方が避難可能	平成26年度 建設工事 平成27年度 供用開始 万が一の大津波襲来時に約2,000名の方が避難可能		
13	7	中心商店街防災ネットワーク整備事業	H26	大規模な災害が発生した場合、中心商店街(浮島通り会、第一公設市場、平和通り商店街、新栄通り商店街、むつみ橋通り会、カーブ川中央商店街、壺屋やちむん通り会)を訪れる観光客等に対し、災害情報を自動で一斉に放送できる防災ネットワークを整備する。	災害情報自動放送防災ネットワークの整備 ・災害情報受信機器設置: 1基 ・ネットワーク化: 7商店街	中心商店街を訪れる観光客等へ防災行政無線の災害情報等を素早く伝達する。 通り会、商店街で組織する自主防災組織において定期的に防災訓練を実施し自助・共助による防災体制の強化を図る。	各中心商店街で組織している自主防災組織による防災(火災・地震・津波)訓練をとおり、活用していただき実災害時に備える。	7月変更 (事業追加)	
13	8	那覇市コンビニAEDステーション設置事業	H24 ~ H33	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	・市内コンビニでAED未設置9店舗にAEDを設置(開店済み3店舗・開店予定6店舗)さらに、故障及び使用時並びに予測し得ない新規分に対応するため1台予備を保有する。	那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数(設置率): 100%	(今後の展開方針) AEDを市内コンビニ全店舗設置にする。 H24年度: 118店舗中118店舗(100%) H25年度: 126店舗中123店舗(98%) H26年度: 132店舗中132店舗(100%)	10月変更 (事業追加)	
14		いい暮らしより楽しい暮らし、更なる沖縄の飛躍促進事業	H24 ~ H33						

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
14	1		地下壕対策事業	H24 ～ H33	沖縄の抱える様々な特殊事情(地下壕)に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等を行う。	地下壕の埋戻等の実施:4箇所	地下壕の危険度軽減を図り(4箇所)、全体箇所数に対する実施率(危険度軽減率)を6%進捗させる。	(今後の展開方針) 危険な地下壕について順次、埋戻等を行っている。	
14	2		戦略的交通まちづくり推進事業	H24 ～ H33	日頃の車に頼りがちな生活を見直し、公共交通や自転車、徒歩など、より環境にやさしい移動手段を選択することで、都市環境の改善を促し、まちに人中心の賑わいを創り出そうというイベント「なはモビリティウィーク&カーフリーデー」を実施する。	なはモビリティウィーク&カーフリーデーの委託発注	なはモビリティウィーク&カーフリーデーの実施9/16～22日の1週間、なはモビリティウィーク&カーフリーデーを開催し、車に頼り過ぎない暮らしの社会啓発を行う。特に9/21はカーフリーデーイベントとして、トランジットモールをカーフリーゾーン(車のない空間の創出)に、啓発イベントを行い人中心の賑わいを創出する。	(今後の展開方針) より効果的で持続可能な「なはモビリティウィーク&カーフリーデー」の実施	
14	3		亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24 ～ H33	戦後無秩序に居住化されてきた特殊な地域も含め、道路基盤等の整備の遅れている地域に、新たなまちづくりと連動させた道路の整備を推進すべく基礎調査を行う。	まちづくり基礎調査の委託発注	まちづくり基礎調査についてとりまとめる。	(今後の展開方針) 本基礎調査結果をベースに地域住民のコンセンサスを得ながら、新たなまちづくりと連動させた道路の整備を推進することにより、密集市街地の生活環境の改善を図る。	
14	4		亜熱帯庭園都市形成推進調査(市街地再生)	H25 ～ H28	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収等により生じたまちづくりの課題)のために、都市機能の更新が進まない中心市街地の区域について、中心市街地の活性化に資する、地域に即したまちづくりを進めるための調査・検討を行う。	対象地区 ・栄町地区 主要な取り組み ・現況調査 ・地元勉強会の実施 ・まちづくり基本方針の決定	まちづくり基本方針についてとりまとめる	(今後の展開方針) H27年度:事業手法(案)等の検討(栄町地区) H28年度:・低未利用地等基礎調査(市内一円)	
14	5		亜熱帯庭園都市形成推進調査事業(密集住宅市街地再生方針)	H24 ～ H26	平成25年度方針案に基づき、具体的施策の導入を検討するとともに、整備優先地区の抽出や整備目標、整備プログラムを作成し、実現可能な整備方針への移行を段階的に進めていくため、「那覇市密集住宅市街地再生方針案(整備優先地区調査等)」を作成する。	具体的施策の提案 整備優先地区の選定 整備プログラムの作成	土地利用の増進、災害に強いまちづくり、安心・安全で良好な住環境づくりの再生方針を定める。	(今後の展開方針) 事業実施に向け、担当部課の取り組みを進める。	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、活動目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
14	6		アメリカ統治下議会議事録電子化事業	H25 ~ H26	祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録・議事録(1961年~1969年まで)を電子化し、本土とは異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるように整備する。	議事録電子化の実施 対象議事録:約18,000ページ	電子化した議事録をホームページで公開する。 ホームページ閲覧者数(1ヶ月):1000人	(今後の展開方針) 1960年以前の議事録についても、電子化の方法等を検討する。	
14	7		亜熱帯庭園都市形成推進調査事業 (まちなか居住推進策検討業務)	H24 ~ H27	中心市街地の人口流出に歯止めをかけ、若年層や子育て世帯の流入を促すような住宅政策としての具体的実施施策を検討し、まちなか居住を推進するための方針案を策定する。	まちなかの現状把握 基本方針(案)の策定 具体的施策の検討	報告書「那覇市まちなか居住推進方針(案)」についてとりまとめる。	(今後の展開方針) H26年度に方針(案)を策定。H27年度に方針を策定し、具体的施策を提案する。 H28年度よりまちなか居住に寄与する具体的施策を展開していく。	
15			元気いきいき「ちゃーがんじゅう」長寿沖縄の健康づくり事業	H25 ~ H29					
15	1		歯科保健予防対策モデル事業	H25 ~ H27	モデル地区を設定し、まちづくり協議会等の協力のもと、校区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯みがき教室やフッ化物洗口等の総合的な健康づくりを実施することによって、効果的な蝕予防や歯科保健の推進を図る。また、那覇市在住の妊婦に対し歯科健診を実施することで、出産後の乳幼児期やさらに妊産婦本人に対する口腔の健康管理の向上に繋げていきたい。	推進会議を開催 地区ごとに会場、日程等を決め、歯科健診・歯みがき教室、フッ化物洗口、食育教室、健康教室の実施 市内歯科診療所にて妊婦歯科健診を実施	推進会議:定例開催 歯科健診:2回開催 食育教室、健康教室:各1回開催 歯みがき指導受診率:小学生の80% フッ化物洗口受診率:小学生の60% 妊婦歯科健診の受診率:30%	(今後の展開方針) モデル地区小学校校区内の児童生徒に対して歯科健診・歯みがき教室・フッ化物洗口等を実施。保護者等の希望者にも対応。市在住の妊婦に対し歯科健診実施。事業の評価を行う。	
15	2		職場が主体的に取り組む健康づくり支援モデル事業	H25 ~ H27	前年度の職場の健康づくりの実態調査や健康づくりメニューブックを活かし、職場が主体的に企画・実施する健康づくりを支援する事業(10万円、20万円、30万円コースを設定し補助)の周知、公募、審査決定を行う。決定後は、健康づくりの取り組みの進捗確認、相談、報告会を実施し、さらにその取り組み後の状況を評価し検証する。	公募、審査の実施 各事業所に補助金を交付し支援する。 補助事業所の健康状況を把握する。	・公募、審査の実施。 ・各事業所に補助金を交付し支援する。 ・補助事業所の健康状況を評価・検証する。	(今後の展開方針) H26年度:モデル事業実施(各1事業所) H27年度:モデル事業拡大(各3事業所)	
15	3		那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ~ H33	市民の健康増進、生涯スポーツのまちづくりを目指し、市民健康ウォーキング大会を開催する。	那覇市健康ウォーキング大会の開催	那覇市健康ウォーキング大会参加者数:4,000人	(今後の展開方針) ・大会開催日を2日間に増やし参加者増を目指す ・ウォーキング講座:年7回の連続講座、年16回の単発教室の実施	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				15	4			

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		ねたての都市(まち)PR事業	H24 ~ H33					
1		道路景観整備事業	H24 ~ H33	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道及び、沖縄コンベンションセンターから国道58号までの市道を整備する。	・主要観光道路(市道)景観整備	・主要観光道路(市道)景観整備:1路線(歩道等)の約半分完了	(今後の展開方針) H33年度までに11路線(15.5km)を整備する予定。	
1		はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ~ H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。	・はごろも祭りプログラム 各イベント数(20イベント) ・カチャーシー大会参加数 子供・団体の部 (20チーム×20名) 個人の部(100名)	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 (来場者数:145,000人)	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1		企画展開催事業	H24 ~ H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展を開催	企画展を開催:3本	(今後の展開方針等) 年間3本開催	
1		宜野湾市産業まつり	H24 ~ H33	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりの開催	宜野湾市産業まつりの開催 (来場者数:25,000人)	H33年度目標値 来場者数:30,000人	
1		文化財説明板・標識設置事業	H24 ~ H33	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財標識・説明板設置 地域文化財案内板設置	文化財標識・説明板設置件数:3件 地域文化財案内板設置件数:1件	(今後の展開方針等) 地域文化財案内板を各行政区・自治会ごとに設置する。また指定・登録文化財への標識や説明板設置を進める。詳細な情報を提供することで観光振興・文化教育につなげる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	H25 ～ H33	本市の海浜公園及びその周辺で毎年12月に開催されるぎのわん車いすマラソン大会(宜野湾市社会福祉協議会が事務局)に対して、事業運営の補助を行う。	ぎのわん車いすマラソン大会に対して、補助を行う。	大会参加者(実走者)目標数 全体220名(内県外参加者30名)	(今後の展開方針等) 同大会に継続して補助を行い、一層充実したものにしていくことにより、全国的な大会として、より一層認知されるように取り組み、障害者スポーツの振興、本市及び沖縄県のPRにつなげる。 大会参加者(実走者)目標数(H33) 全体250名(内県外参加者50名)	
1			琉球海炎祭支援事業	H25 ～ H33	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭実行委員会への補助	琉球海炎祭有料エリア来場者数:4,000人	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1			横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ H33	プロ野球キャンプは、温かい沖縄を全国へアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。	植樹する花の苗 (15,000鉢)	・プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H26年度):28,000人 基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1			宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業	H25 ～ H33	観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能充実等のため、H25年度事業にて策定を行った基本構想について、更に詳細な調査を行い、西海岸地域における開発基本計画の策定を行う。	基本構想について、更に詳細な調査を行う 宜野湾市西海岸地域開発基本計画の策定	詳細調査完了 宜野湾市西海岸地域開発基本計画の策定	(今後の展開方針) 基本計画・実施計画を経て、観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能の充実整備等を目標とする。	
1			エンタテインメント産業支援事業	H26 ～ H28	エンタテインメントを沖縄の成長産業として育成していく試金石として、次世代を担う若年層が世界のエンタテインメントの最前線から直接学ぶ機会を提供するとともに、宜野湾市の新たなイメージを創出するオープンスクールイベント開催を支援する。	オープンスクールイベントの開催	オープンスクールイベント来場者数 (来場者数:1,000人)	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1			トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ H28	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を実施することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベントの開催	トロピカルビーチ入域者数 (来場者数:9月利用者24,000人)	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1		博物館機能強化事業	H26 ～ H33	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	案内板、照明設備等の整備 常設展示室整備基本計画策定	案内板設置：4枚 照明設備等整備箇所：展示ロビー、特別収蔵庫等 常設展示室整備基本計画策定完了	【市立博物館内整備】 H27：常設展示室整備（展示設計）、館内（企画展示室、図書室）照明機器LED化、 H28：常設展示室整備（展示工事）	
2		地域社会とともに学ぶ・育む人材育成事業	H24 ～ H33					
2		スクールカウンセラー活用事業	H24 ～ H33	スクールカウンセラーを市内4小学校に定期的に派遣し、学級担任、児童生徒、保護者との相談（不登校・いじめ・非行・発達に関する問題等）を行い、教育相談の充実を図る。	・スクールカウンセラー配置	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校（2名）	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 （出展）『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28に準じた目標値	
2		スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ H33	近年の子供たちを取り巻く社会環境が著しく変化するなかで、遊び非行型及び心因性による不登校児童生徒の増加が懸念されている。このようなことから、スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児童生徒の学校復帰に繋げる支援に取り組む。	スクールソーシャルワーカー配置	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室SSWアドバイザー（1名） 第一相談室SSWコーディネーター（3名） 市内小学校SSW（5名） 市内中学校SSW（8名）	非行系急学の不登校、心因性による不登校児童生徒の教育相談・家庭訪問・登校支援などの支援活動を行い、不登校児童の学校復帰、学級復帰に努める。	
2		適応指導教室事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談の実施	適応指導教室在籍児童生徒数：4名 不登校児童生徒を支援し、学校適応を促進 教育相談業務を充実、不登校児童生徒の「居場所づくり」を行う 保護者との連携を密にし、信頼関係を築く	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 （出展）『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28に準じた目標値	
2		児童生徒相談事業	H24 ～ H33	市内の幼児、児童生徒（18歳未満）及び保護者、教職員の悩みや教育上の問題について、教育相談指導員、臨床心理士を配置し、問題解決を図るために相談業務の充実を図る。	青少年教育相談指導員配置 臨床心理士配置	青少年教育相談指導員配置：4名（第二相談室） 臨床心理士配置：2名（第二相談室）	心因性による不登校児童生徒の相談支援、登校支援を行うなかで登校に向けての自立心の養成を促す。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ H33	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して青少年の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため夜間街頭指導員を配置する。	夜間街頭指導員配置	夜間街頭指導員活動人数 16人	夜間のはいかい箇所集約に努め巡回箇所の見直しを図り、児童生徒の犯罪や事故等の未然防止と抑止に繋げる。		
2	学習支援員活用事業	H24 ～ H33	学習に遅れをとっている児童・生徒が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員の配置	学習支援員の配置:13校13人 小学校9校9人、中学校4校4人	今後の展開方針 H27以降の配置 学習支援委員の配置:13校17人 小学校9校9人、中学校4校8人 中学1年の基礎的英語の強化を図るため、支援員を配置する。	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)	
2	派遣費補助金交付事業	H24 ～ H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	児童生徒の派遣補助	派遣補助団体数:30団体 (文化活動団体数:5団体 スポーツ活動団体数:25団体)	H27～H33の派遣補助団体見込数は、概ね210団体 各年度:30団体		
2	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ H33	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成を図るため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を補助する。	スポーツ少年団の派遣補助	16団体を目途に補助	各年度約16団体へ補助を予定。	7月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			文化財等保護・活用推進事業	H24 ～ H33					
3			文化財保存整備事業	H24 ～ H33	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。平成26年度は、市指定史跡「野嵩クシヌカー」の整備をめざし基本設計委託業務と、「本部御殿墓」の測量業務を実施する。	野嵩クシヌカー基本設計策定 本部御殿墓の測量業務	野嵩クシヌカー基本設計策定完了 本部御殿墓の測量業務完了	(今後の展開方針) H26年度の成果に基づき、実施設計・整備工事を実施する。	
3			歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的とする。業務は、公文書等の整理を直営または委託し、保存、公開の基準づくりや利用に供するための検索システム作成などを行う。	歴史的価値を有する公文書等の整理 公文書公開のための基準作り	歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数: 200冊	(今後の展開方針) H27年度からは公文書公開を目標とする。	
4			地域で安心子育て支援事業	H24 ～ H33					
4			預かり保育事業	H24 ～ H33	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	預かり保育実施幼稚園数:9園 預かり保育担当教諭:9人配置	預かり保育利用者数:1,500人 一時預かり保育利用者数:400人	(今後の展開方針) H33年度目標値: 預かり保育利用者数年間2,000人以上	
5			はごろも人材育成事業	H24 ～ H33					
5			中国廈門理工学院留学生派遣事業	H24 ～ H33	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	留学生派遣	留学生派遣人数:1人	(今後の展開方針) H24～H33年度 各年度1人 累計10人	
5			平和市民啓発事業	H24 ～ H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。	平和学習派遣	平和学習派遣生徒数:8人	(今後の展開方針) H24～H33年度 各年度8人 累計80人	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	小学校英語教育課程特例校事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	小学校児童英語検定受験者数の増 H25年度は2,032人の受験者数 H26年度も約2,000人余りの受験者を予定	(今後の展開方針) H24～H33年度 児童英語検定受験者数:20,000人以上(累計)		
5	外国人教師招致事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1人配置)	中学校英語検定受験者数の増 H25年度は1,287人の受験者数 H26年度も約1,500人の受験者を予定	(今後の展開方針) H24～H33年度 英語検定受験者数:13,000人以上(累計)		
5	学校ICT活用指導支援事業	H24～H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	情報夏期講習会 情報教育研究会検証授業 IT活用嘱託員・補助員の配置	・情報夏期講習会:計8回 ・情報教育研究会検証授業:計12回 ・IT活用嘱託員・補助員の配置:計2名	教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率が小学校では、9割に達したが、中学校は、5割に満たなかった。今後は、中学校を重点にICTの活用した授業の展開ができるよう研修の拡充を行う。小・中学校併せてICT活用率8割を目標とする。		
6	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33						
6	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、基地返還跡地転用推進基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	普天間飛行場及び西普天間住宅地区の土地を取得する。	必要な土地についての取得率 普天間飛行場 平成25年度末16.9% 平成26年度末20%以上 西普天間住宅地区 平成25年度末0% 平成26年度末75%以上	(今後の展開方針) 返還後の跡地利用の推進を図るべく、平成33年までの間で、普天間飛行場における必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
7	大規模駐留軍用地跡地等利用推進事業	H24～H33						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7		普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ~ H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「N Bミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	地権者・市民意向把握の実施、しくみづくりの取り組み	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 合意形成に向け、市全体の将来像(市全体の土地利用、道路網や跡地利用方針等)検討のための「(仮称)普天間飛行場まちづくり協議会」の立ち上げに向けて取り組んでいく。	
7		普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)	H24 ~ H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	全体計画の中間取りまとめについての意向把握	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画において、返還時期が示されたことを受け、具体的な跡地利用の取り組みについての行程計画を作成し、跡地利用計画の策定に向けて取り組んで行く。	
7		キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	H24 ~ H33	キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定完了	(今後の展開方針) 跡地利用計画の実施に向けて想定されるまちづくり体制上の課題を整理したうえで、施行主体及び地権者まちづくり推進体制等について取り組んで行く。	
7		埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	H24 ~ H33	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想(素案)」を基に、「遺跡(埋蔵文化財)以外の文化財」と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想(案)」を作成する	重要文化財基本構想(案)作成	重要文化財基本構想(案)作成完了	(今後の展開方針等) 重要文化財基本構想策定	
7		キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業	H24 ~ H33	平成26年度返還が予定されている西普天間住宅地区(キャンプ瑞慶覧)の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、基地内調査成果等に基づき当該地区の重要文化財保存整備実施計画を策定する。	重要文化財基本計画更新	重要文化財基本計画更新完了	(今後の展開方針等) 重要文化財保存整備実施計画策定	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				8				
8		市民会館機能強化事業	H24 ~ H29	宜野湾市市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成26年度はエレベーター設備設計業務と工事を実施する。	エレベーター改修工事	エレベーター改修による機能改善	(今後の展開方針) H27年度:大ホール舞台機構及び音響設備改修 H28~30年度:消防設備改修、空調設備改修、大ホール絨毯、客席取替工事等	
9		中央公民館機能強化事業	H24 ~ H27					
9		中央公民館機能強化事業	H24 ~ H27	宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、現在の研修室等を改修し、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成26年度は舞台照明設備改修設計業務を実施する。	舞台照明設備改修設計	舞台照明設備改修設計完了	(今後の展開方針) H27年度:舞台照明設備等改修工事 H27年度:集会場舞台設備改修設計及び工事	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光振興「いしがき」プロジェクト	H24 ～ H33					
1			観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	県外の主要都市及び沖縄県内において地元観光関係団体と連携した観光誘客プロモーションを展開し、新規観光客の獲得につなげる。	・効果的なメディアへの露出 ・直行便就航地でのイベント等の開催及び出展	・観光入域客数 100万人 ・メディア掲載件数 10媒体 ・誘客イベントの実施 6回	観光プロモーションの実施により、石垣への観光需要を喚起する。	
1			スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	H24 ～ H33	スポーツツーリズムを促進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等を誘致するための営業活動を実施する。	・プロモーションDVDを活用した営業活動。 ・Webページの充実	・プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ誘致2団体以上。	体育施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供を積極的に行う。	
1			石垣島観光物産PR事業	H24 ～ H33	新空港開港後において、需要の安定化とリピーター層の拡大を図るため、満足度及び地元消費額の向上そして通年型の観光魅力を創出する各種取り組みを行う。国内個人客、海外からのインバウンド客向けの新たな観光コンテンツの創出を図る。	・開港後PR:消費額UP、ボトム期解消をテーマにしたPR(広報・広告) ・物産PR:モノ(名産品)を通して島内外のコミュニケーションの創出を図り、島の魅力を発信する。 ・ターゲット毎のPR:誘客セグメントを意識したPR(広報・広告)の実施 ・星空資源の魅力を広報 ・ボトム期の集客コンテンツの創出(花火大会の開催等)	・観光入域客数100万人(平成25年937,000人) ・観光動態調査報告書の策定 ・ボトム期集客イベントの開催による海外直行便の運航数2便(2月期前年比) ・広報効果:一年を通じた各月の観光客数前年比増	石垣島ブランディングを推進 星の島、石垣島の定着と観光資源化。 石垣島の開散期解消のための通年型の観光魅力を創出し、通年型観光を定着させる。	10月変更(計画変更に伴う成果目標変更) 12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1			八重山博物館所蔵資料修復及び整理活用事業	H24 ～ H33	八重山博物館所蔵する資料のうち、劣化の著しい古文書等の資料を修復し修復済資料等を保管するための、資料収納単筒を製作する。	・所蔵資料の修復を行い、修復済資料のデジタル化。 ・所蔵資料のレプリカを作成、活用。 ・収蔵用単筒を作成し、保存と管理を充実させる。	・資料19件の修復、レプリカ作成1点、収蔵用単筒1点の製作	所蔵資料のうち状態の良くない資料を年次的に修復し、デジタル化を図りながら活用にする。また、資料保存管理の充実を図る。 博物館入館者数 平成26年度 7,000人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1		石垣島シネマフェスティバル事業	H24 ～ H33	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信する。	・シネマフェスティバルの開催 ・プロジェクターの購入	・シネマフェスティバルの入場者:8000人 ・プロジェクターの購入完了	今後の展開方針 ・目標総入場者数8万人(累計) ・目標マスコミ媒体30社以上(年累計)	
1		プロ野球キャンプ受入基盤強化事業	H24 ～ H30	来場者や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ中における見学者の誘導及び飛球対策に係る警備員の配置を行う。また総合案内所を設置し、来場者等へキャンプ開催とタイアップした取り組みを行って地域活性化につなげる。	・警備員配置・総合案内所の設置 ・キャンプ受入れに係る施設設置(控室、倉庫)	・プロ野球キャンプ見学者数:延べ1万3千人	プロ野球キャンプの受入れが継続できるように、来場者及び選手に安全で快適な会場を提供をする。	
1		いしがきの原風景写真等デジタル化事業	H24 ～ H28	市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等を新たな観光資源として活用するため、地域の歴史を視覚的に記録している写真等のデジタル化を行う。	・プリント写真4,000コマ、ネガフィルム6,000コマのデジタル化及びアーカイブス構築。	・いしがきの原風景写真等デジタル化実施率:20% ・アーカイブス構築率:30%	H28年度に全画像のデジタル化を完了させデータベースを作成。「石垣市史アーカイブ(仮称)」を立ち上げ公開し、一般市民の利用に供する。	
1		大浜地区歴史遺産活用事業	H25 ～ H27	大浜地域は、多様な歴史遺産が存在する地域であり、これらの歴史遺産とフルスト原遺跡を連結させる紐帯として隣接地を購入し、公園広場と来訪者の駐車場を整備する。	・用地取得の為の測量・登記、土地鑑定 ・駐車場整備個所に存するプレハブの撤去。	・用地の取得完了 ・プレハブの撤去完了	26年度には全用地の取得を終了し、27年度には駐車場、芝生広場を整備し、案内板説明版を設置することにより、史跡フルスト原遺跡と周辺に存する泉、御嶽等の歴史遺産を結び付けて活用する。	
1		石垣市民会館設備改修事業	H25 ～ H28	良好な環境を提供しやすい施設として整備することで、島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による公演の誘致を促進し、ファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致につなげる。	・大ホールミキサー卓購入 ・石垣市民会館大ホール照明調光操作卓の購入	公演誘致に適した環境の整備	27年度の実施予定内容 ・クーラー設備改修工事実施 ・中央監視盤改修工事の実施 ・音響設備改修の実施 ・照明設備改修工事設計仕様書作成 ・利用者数 H24:90,964人(基準年)H26:98,564人(整備後)7,600人増 ・公演回数(島外) H24:2回(基準年) H26:10回(整備後)	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			新石垣市立八重山博物館建設基本構想策定事業	H25 ～ H26	現石垣市立八重山博物館は、開館40年余が経つことから、時代のニーズや八重山の現状にあった建設計画及び内容等の構想を検討するため、基本構想を策定する。	基本構想検討委員会の開催(3回)	基本構想の策定	基本構想の策定後、基本計画の策定等、次の段階へ展開させる	
1			南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H33	本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施し、観光地としての信頼度を高める。	観光案内サービスの実施	H26年度案内所サービスの利用者数: 45,000人	国際線施設での案内サービスの実施も検討し、更なる観光客の利便性向上を図る。	
1			やいまびとぅ人材ネットワーク事業	H26	日本全国の八重山出身者が、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを目的とした、組織化作業やそれら結びつける人材ネットワークづくりを実施する。	人材ネットワーク構築基本構想策定 郷友等諸団体のリサーチ 郷友等諸団体の組織化 人材情報ネットワークシステムの構築	人材ネットワーク構築基本構想策定 郷友等諸団体のリサーチ(50団体) 郷友等諸団体の組織化(7団体) 人材情報ネットワークシステムの構築	やいまびとぅ人材ネットワークを通して、郷友よりのふるさとへの助言・提言や圏域のPR、特産品の販売、文化交流、人材交流につなげたい。	
2			訪れて良かった「いしがき」観光地プロジェクト	H24 ～ H33					
2			クルーズ船寄港誘致支援事業	H24 ～ H33	大型クルーズ船の寄港誘致のため、大型タグボートの経費の一部支援を行う。	タグボート支援:4回/年	大型クルーズ船の寄港回数:4回	これまでと同様、寄港オファー件数を基に支援する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			美ら島ファミリーサポート整備事業	H24 ～ H28	ファミリーで訪れる観光客に癒しのスポットを提供するために、石垣島らしさを演出する遊具等の設置を行い、子どもたちの遊び場を確保する。	・遊具施設の設置:2箇所	・遊具施設の設置完了:2箇所	(今後の展開方針) H26年度～H28年度まで同事業の実施。 本事業の目標 公園内の遊具施設を充実することで市民・観光客に憩いの場を提供する。	
2			観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ H33	観光客の受入れ基盤の強化を図るため、観光施設の整備、改修を行う。	・観光施設等の改修整備:1か所	・観光施設等の改修整備完了:1か所 (米原キャンプ場:トイレ、シャワー等)	(今後の展開方針) H27以降整備箇所 ・玉取崎展望台 ・底地ビーチ 今後主要な観光施設の整備を行い、受入基盤の強化を図る。	
2			バス停留所上屋整備事業	H24 ～ H26	新空港の開港に伴い、より快適な観光地としてのまちづくりを進めるため、バス停留所上屋を整備する。	・バス停留所上屋の整備:1箇所	・バス停留所上屋の整備完了:1箇所	H27年以降も観光客の利便性の向上のため、バス停留所上屋を整備する。	
2			川平風致公園観光利便性向上施設整備事業	H25 ～ H29	川平湾を訪れる観光客の利便性の向上や地域振興の為、物産販売所やグラスボートのチケット売場などの施設を統合した施設の基本設計業務を行う。また、公園区域外市有地の利活用のための測量設計を行う。	・観光利便性向上施設の基本設計の実施(石垣市字川平、300㎡程度) ・隣接市有地活用のための測量設計	・基本設計・測量設計完了	H27年度 実施計画 H28～29年度 整備工事	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
2			平久保半島エコロード整備調査事業	H25 ～ H28	平久保半島は、国立公園区域に指定されており、手付かずの自然景観が残っている。今年度は、エコロード整備に関する基本方針、平久保半島の地域資源等を活用した観光メニューの検討を含めた地域活性化に係る基本構想・基本計画を策定する。	・平久保半島エコロード整備調査基本構想・基本計画の実施	・平久保半島エコロード整備調査基本構想・基本計画の完了	H27 実施計画 H28 工事開始	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ H29	街区公園の利活用を目的として、石垣特有の拝所を中心とした街区公園整備を行う。今年度は測量設計業務を行う。	・街区公園3箇所の測量設計の実施(あんぐん・うぶ・宮島)	・測量設計完了	H27年度～ 用地取得・公園整備	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
2			イルカふれあい事業	H26	「イルカふれあい事業」を誘致し、一緒に泳いだり、給餌をしたり、イルカによるセラピー等を行うことで冬場も含めた新たな観光メニューを構築し、観光誘客を図る。	・生簀本体の設置	・生簀本体の設置完了	通年で体験できるプログラムを活用し、ボトム期の観光客増やMICEの誘致を促進する。	
2			VERAアクセス道路安全安心推進事業	H26 ～ H27	本市の観光スポットである「VERA石垣島観測所(国立天文台)」へのアクセス道路の整備を実施することにより、観光地としての安全・安心・快適を確保し、観光リゾート地の形成を目指す。	実施設計(工事場所:石垣市名蔵)建設工事(ボックスカルバート掘付:L=18m)	・実施設計完了	H27年度 建設工事	
2			石垣市道路網計画策定事業	H26	石垣市全体の道路交通機能について、観光地へのアクセス及び防災機能も含め望ましい道路の交通体系を構築するため、石垣市全体道路網計画を策定する。	・石垣市全体道路網計画の策定	・石垣市全体道路網計画の策定完了	H27年度以降、実施設計・道路整備を実施	
2			旧石垣空港跡地利用計画策定事業	H26	旧空港跡地周辺エリアは観光客や多数の市民で賑わっており、新たな市街地を形成しつつあることから、近接する旧空港跡地についても、今後開発が活発化する前に具体的な計画を定め、インフラ整備の促進と適正な土地利用の誘導を目指す。	・旧空港跡地利用計画の策定	・旧空港跡地利用計画の策定完了	跡地利用計画をもとに用途地域の検討やインフラ整備計画を策定する。	
2			人工ビーチ施設整備事業	H26～ H27	石垣港新港地区において整備を進めている、新港地区人工ビーチの供用に向け、利用者の利便性向上のため、ビーチ利用者が遊泳後に使用するシャワー施設・脱衣所・ロッカールーム等を整備する。	・設計業務委託の実施	・設計業務完了	H27年度整備工事 H28年度供用開始 早期の人工ビーチ一部供用を目処に、その後も整備を続けていく。 (全体施設年間利用者見込み数:137,413人)	10月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		青と緑が輝く「いしがき」プロジェクト	H24 ～ H33					
3		青と緑の再生プロジェクト	H24 ～ H26	川平湾の保全策として環境にやさしいEV船の導入推進を図るために、EV船の導入効果の検証及び普及について調査を行い、EV船が利用できる充電施設を設置する。	・充電施設の設置:1機 ・導入効果について検証	・充電施設の設置完了:1機 ・導入効果についての策定書	全国屈指の景勝地である川平湾の環境保全に取り組みつつ、観光客の満足度向上及びエコアイランドとしての知名度向上を目指す。	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
3		石垣市エコアイランド事業	H24 ～ H27	防犯灯及び街路灯をLED化し省電力化を図り、低炭素島しょ社会の実現に向けた取り組みを推進する。また、安全で自然豊かな石垣島の水をとおり、自然環境保全の必要性を知ってもらうため、石垣島マラソンやイベントなどでPRボトルウォーターを提供し普及啓発を図る。	防犯灯LED化数:774基 既存街路灯のLED取替工事 ペットボトル500mlを20,000個製造し、石垣島マラソンやイベント等で無償提供する。	防犯灯LED化完了:774基 既存街路灯のLED化完了:55基 PRボトル20,000個製造	H26年度、石垣市が管理、保有している1,532基の全ての防犯灯が環境に優しいLED化へ整備完了予定。また、地域振興に向け、防犯灯管理の地域管理型に向けた調整をしていく。	
3		オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業	H24 ～ H33	ここ数年大量に発生しているオニヒトデの駆除を継続して行い、漁業資源や観光資源でもあるサンゴ礁の保全に努める。	・オニヒトデの駆除	・1,000ダイブ	ダイビング業者によるヒヤリングを行い、予算に応じた効率的(駆除ポイント等)な駆除を行う。	
3		石垣市資源循環アイランド推進事業	H25 ～ H30	「石垣市資源循環産業都市構想(仮称)」を検討し、石垣市内外の産官学連携を一層強化することで、循環の島の構築と環境と調和した農業の確立を目指す。そのため、地域のバイオマス資源を活用したメタン発酵の実証試験を実施するためテストプラントを整備し、新たな産業(雇用)の創出、地域の活性化、循環石垣島ブランドの確立を図る。	・石垣市資源循環産業都市構想(仮称)」の検討(メタン発酵テストプラントの整備)	・液肥の供給体制の構築	・生ごみの分別収集による資源化 ・メタン発酵実機プラントの設計 ・家畜排泄物のたい肥化による耕畜連携農業の確立 ・教室の開催(H27) ・バイオマスの普及・啓発を図る 教室開催することで、島内全体へ循環型農業の意義を広めていく。協議会では、バイオマスの利活用の推進、方法、調査研究、事業化について議論する。	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			尖閣諸島 自然環境基礎調査事業	H26	絶海の孤島である尖閣諸島の貴重で固有な野生生物等の生態系ならびに自然環境保護の観点など、今後これらを検討していくために資料収集等の基礎調査を行う。	・既存資料の収集 ・航空機による画像等撮影 ・データベース作成 ・ビデオ、ジオラマ作成 ・報告書作成	・既存資料の収集の完了 ・航空機による画像等撮影の完了 ・データベース作成の完了 ・ビデオ、ジオラマ作成の完了 ・報告書作成の完了	ヤギの駆除や安全・安心な漁業環境の整備など、これらを実現するための検討を行っていく。	
3			野生動植物保全種及び保全地域等指定検討事業	H26	島内に生息する野生動植物の保全を図るため、石垣市自然環境保全条例に基づく保全種及び保全地域等の指定について検討する。	・保全地域の指定について調査検討	・保全地域の指定について調査検討完了	H27:保全種及び保全地域等指定	
3			南の島の猫アイランド事業	H24～ H27	新港地区緑地公園の衛生・環境保全のため、緑地公園内生息の猫を対象として避妊、去勢等を実施する。また、新港地区緑地公園内の猫の生息数を調査する。	緑地公園内猫の避妊去勢手術 緑地公園内猫の生息数調査	避妊去勢手術：80匹(生息数約130匹) 緑地公園内の猫のリスト作成	H27避妊・去勢手術 捨て猫等をしないよう普及・啓発を図る	10月変更(事業追加)
4			"島人の宝"ものづくり「いしがき」プロジェクト	H24～ H27					
4			ものづくり・マーケティング総合支援事業	H24～ H26	製造加工品等の販路拡大のため、国内各都市において物産展等を行うとともにバイヤーマッチング事業や商談会を企画する。また、出展者に対して、必要な助成をする。共同加工施設整備については、調査に基づく基本方針作成に取り組む。	(1)販路拡大・マーケティング 商談会・物産展の開催(国内外) (2)加工施設・・・基本方針策定	(1)販路拡大・マーケティング 商談会・物産展の開催実施(国内外) (2)加工施設の基本方針策定完了 事業で活動を実施した都市やその関係者等と具体的な商談や取引が発生する効果がある。	総合的にものづくり産業を支援する本スキームは今後も必要であり、よりレベルアップした内容となるよう工夫を凝らし、次年度以降も継続していきたい。	
4			就業支援マッチング事業・人材育成事業	H24～ H26	特産品の振興及び工芸産業の振興を図るため人材育成事業を実施する。具体的には、セミナーや講習会等を実施する。	伝統工芸品(八重山上布)の技術者人材育成(セミナー学習会の実施) 工芸品(やきもの)技術者の人材育成 特産品開発セミナーの実施	八重山上布技術者人材育成事業の実施により新たな人材が輩出 やきもの技術者人材育成によるやきもの振興特産品開発セミナーの実施	人材育成事業は息の長い取り組みが必要であるとの認識から、次年度以降も継続していきたい。特に、海外向け経営者セミナーを興し、内容の充実を図りたい。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			商店街・中心市街地並びに商業振興事業	H24～H26	石垣市商工会、まちづくり会社をはじめとする民間まちづくり組織等を交えて、実施する事業を具体的にリストアップし、行政計画(アクションプラン)に位置付ける。また、事業の企画、調整、実施管理等の業務を行うマネジメント体制の構築を図る。	商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)策定 ・「市民と観光客が[異日常]を楽しめるまち」を基本方針として検討 ・「行政主導プロジェクト」「民間関与型プロジェクト」の検討	商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)策定の完了	策定された計画を基に、マネジメント体制が機能し、まちの活性化につながる諸活動が実際に行われるかどうかがこのからの正念場。石垣市まちなかの活性化の新時代の幕開けととらえ、よりレベルアップした内容にしなければならないので、次年度以降も継続していきたい。	
4			文化産業創出事業	H25～H27	沖縄県の中でも更に独特の文化や伝統芸能等の豊富な地域資源を持つ本市において、それらを国内外へ広くPRし、文化産業の振興を図るため、本市に所縁のあるクリエイターによる展示会等を開催し、文化産業(第4次産業、第5次産業)の創出を図る。	人材のアーカイブ化 次世代育成プログラムの実施 EXPO等を活用した人材の国内外へのPR事業	製作受注件数:3件 受講者数:10名 PR事業回数:3回	・アーカイブ化の成長 ・継続的な周知活動 ・関連産業を巻き込んだ複合展開 ・次世代育成	
4			石垣市農林水産物等流通戦略構築実証事業	H25～H26	平成25年度実施の調査事業(品目調査、輸送ルート、マルシェ適地検討)の内容を踏まえ、各種実証事業を実施し、新石垣空港開港後における新たな流通戦略の構築へ向けた取り組みを行う。	・マルシェの開催(農水産物販売、調理販売)	・流通ルート体系の構築	本事業の目的は、民間事業者の経営に役立てる流通モデルを明示することであるが、H26に実施するマルシェ事業の内容と成果を見定めた上で、次年度へつなげたいと思う。	
5			「美味しいいっぱい「いしがき」プロジェクト	H24～H33					
5			熱帯果樹栽培研究事業	H24～H27	熱帯果樹産業の振興を図るため、石垣市パパイヤ研究所のノウハウを活用し、パパイヤを使った食材の研究、商品化やパパイヤ以外の熱帯果樹の栽培研究を行う。	・育種及び栽培研究 ・熱帯果樹苗配布	パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜(2個体) マンゴー根域制限栽培の検証(連年結果) パッションフルーツの種苗配布(300株)	新石垣島ブランドの開発。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
5		”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ H33	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用や淘汰費用の一部を助成し母牛群の更新・改良を図る。また、口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、空港、港湾での靴底消毒を徹底し水際対策を強化する。その他石垣牛の宣伝や肥育牛の増頭支援など、肉用牛生産を一体的に推進する。	靴底消毒の実施 優良母牛の導入 高齢母牛の淘汰 石垣牛広告を電光掲示 牛舎整備の補助	空港等への消毒マット設置 導入80頭 計画に対する進捗率35% 淘汰250頭 空港到着ロビーでの掲示 肥育牛の安定供給体制構築(30頭分の肥育牛牛舎整備補助)	全項目とも継続する必要がある 水際対策の徹底 目標：H33年度 500頭 実績：H25年度まで97頭 ・母牛更新・改良を推進する PRを行い、観光業にも寄与する 今後の観光客増にも対応し得る安定供給体制を支援する。H26:30頭 H27:170頭以上	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
5		水産振興事業	H24 ～ H33	養殖漁業の経営安定化を図るためヤイトハタの種苗の輸送補助を行い、新鮮な魚介類を安全に提供するため、清浄海水施設を改修する。また、沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための養殖実証試験を引き続き行う。	ヤイトハタ種苗輸送費の補助 清浄海水施設の改修 アカジン(スジアラ)養殖実証試験事業の実施	ヤイトハタ種苗輸送数:60,000尾 清浄海水施設の改修の完了 実証試験の実施によるアカジン(スジアラ)養殖のユーグレナ添加餌料投与成長比較データの把握	(今後の展開方針等) ・漁場保全事業:H27～H33まで実施 ・大型定置網関連事業:H27定置網作業船、網洗い機の購入 ・ヤイトハタ輸送費補助事業:H26～H33まで実施 ・技術移転等の展開 ・本事業の目標:ヤイトハタ生産量を23t(H23)から49t(H33)までの向上に資する。 ・アカジン(スジアラ)養殖実証試験事業:H26～H27まで実施。	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
5		生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ H33	生鮮水産物の生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路なみの輸送費となるよう、支援を行う。	・生鮮水産物の輸送費補助の実施	・生鮮水産物の輸送費補助の完了	(今後の展開方針等) 生鮮水産物流通条件不利性解消事業:H25～H33まで実施 本事業の目標:漁協水揚量(H24)から(H33)までの向上に資する。	
5		特用植物利活用推進事業	H26	全国ハーブサミットの開催を機に、本市におけるハーブ文化を内外に発信すると共に、ハーブの利活用についてライブラリーとして取りまとめ、先人の知恵として継承していくと共に商品開発を推進する。	・全国ハーブサミットの開催 ・石垣市ハーブフェスティバルの開催	・サミット、フェスティバル関連参加者6,000人	・ハーブの利活用による新商品の開発及び石垣島ブランドの販売促進効果	10月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			特産品加工施設調査事業	H26	甘蔗加工施設建設及び機械導入により安定的に加工品の供給を図るため、加工場の整備に向けて、生産者及び実需者の意向調査を行うとともに、先進地の取り組みについて調査し、今後の整備事業導入に資する。	・生産者及び実需者意向調査アンケート実施 ・先進事例調査	・加工施設の規模を決定 ・先進事例調査1回	・農産物処理加工場の整備 ・機械器具の整備	
5			さとうきび振興事業	H26	機械刈りにより収穫されたさとうきび原料に混入する副産物(葉柄、土砂等)や異物(大石、金物)を選別する機械を導入し、計画的な圧縮処理と品質向上を図る。また、選別された副産物(葉柄)を細かく破碎する機械を導入することにより、副産物の利用価値を高め農地での還元を図り、良好な土づくりを促進する。	・ロールスクリーン及び破碎機の整備 ・稼働	・トラッシュ除去率の改善:現状47.19% 目標55%	高齢化に対応した機械化一貫体系の収穫システムの構築とこれに伴い発生するトラッシュの農地還元による持続的な農業・農地保全効果が期待できる。	
6			災害に強い「いしがき」プロジェクト	H24 ~ H33					
6			地域防災力強化育成事業	H24 ~ H28	自主防災組織ごとに救急救助資機材と収納倉庫を整備し地域防災組織の強化と育成を図り、災害時に住民や観光客に衛生的な飲料水を供給出来るよう給水バックを購入し備蓄する。	・救急救助資機材と収納倉庫を整備 ・給水バック5,000個購入整備	・救急救助資機材と収納倉庫の整備:10箇所 ・給水バック購入備蓄:5,000個	現在26箇所の自主防災組織をH29年度までに65箇所に組織を増やし、整備を図る。	
6			防災避難道路整備事業	H24 ~ H26	予想される大地震時における安全な農村集落の環境整備をするため、津波避難道路を整備する。	・防災避難道路整備工事	・白保地区防災避難道路整備の完了	引き続き防災避難道路の整備を実施していく。	
6			防災体制整備事業	H24 ~ H33	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、情報伝達手段である防災無線について、未整備地区や難聴地区への整備及び改善を図り、情報伝達システム整備基本計画を策定する。また、津波避難ビル等への避難標識の設置、備蓄倉庫の整備を行う。	・防災無線屋外拡声子局整備:2基 ・避難標識整備:8箇所 ・防災備蓄倉庫整備:1棟 ・海拔表示設置:20箇所 ・防災等情報伝達システム整備に向けた計画策定	・防災無線屋外拡声子局整備完了:2基 ・避難標識整備完了:8本 ・防災備蓄倉庫設置完了:1棟 ・海拔表示設置完了:20箇所 ・防災等情報伝達システム整備基本計画策定完了	防災無線屋外拡声子局 (H33年度までに合計67基整備) 防災備蓄倉庫 (H27までに合計3棟整備)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業	H24～H26	災害時において高齢者や障がい者等の要援護者が、安心安全に避難生活がおくれるよう「福祉避難所」の整備を行う。今年度は、基本計画に沿って具体的な「基本設計」に取り組む。	・基本設計策定	・基本設計策定完了	平成27年度実施設計 平成28年度整備着手	
7			のびのび育ち、いきいき学ぶ「いしがき」プロジェクト	H24～H33					
7			ICT教育強化事業	H24～H33	児童・生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書、デジタル教材の充実を図り、ICT教育を有効活用した教育環境整備を行う。	・デジタル教科書、学習プリント作成問題データベースを整備(全小中学校)	・デジタル教科書(2教科)の整備完了(全小中学校) ・学習プリント作成ソフト等の整備完了(全小中学校)	(今後の展開方針) 他教科のデジタル教科書を整備 問題データベースの継続	
7			外国語学習支援事業	H24～H33	小学校5年生、6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い、市立小中学校へ外国語学習指導員の配置等の活動を支援をする。	・外国語学習支援員の配置	・外国語学習支援員配置数 小学校:3人、中学校1人	(今後の展開方針) 1ヶ月に一度は外国語学習支援員との授業を島内の全小学生が受けられるようにする。	
7			児童・生徒派遣費助成事業	H24～H33	児童・生徒がスポーツ・文化活動に参加する際の派遣費を補助する。	・児童生徒の派遣補助(県内・県外)	・県内派遣完了:3,000人 ・県外派遣完了:250人	[H26～H33年度] 各年度3,250人 累計:26,000人	
7			ユースアドバイザー事業	H24～H33	こどもたちの環境整備を図るため、不登校、引きこもり等の児童・生徒への支援体制を整備する。	・ユースアドバイザーの配置	・相談支援の受理件数 15件	子ども若者総合相談センターと連携して困難を有する子ども若者の早期発見・対応を図り、アウトリーチによる家庭支援を行うことにより自立支援を進める。	
7			すこやか子育て支援事業	H24～H33	幼稚園の教育時間終了後、同園において希望する園児を対象に預かり保育を実施するため、保育士の配置を行う。	・預かり保育担当者設置数 幼稚園:16人 ・新規市内預かり保育3園実施 ・市内預かり保育4園実施に伴う備品購入	・市内全園預かり保育の実施 ・幼稚園における預かり利用者の増加数:受入増数:130名見込み (24年実施4園も含めて) ・市内預かり保育4園実施に伴う4園備品購入完了	(今後の展開方針) 目標年度H33年度 預かり保育利用者数 320名	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
7		「八重山の歴史と文化」編集・発刊事業	H25 ～ H28	本市の中学生に郷土の歴史や文化に理解を深めてもらうための冊子を編集・刊行する。	・項目立て、編集委員(執筆者)の配置及び調査研究を行い発刊。	・郷土学習書の発刊:2500部	(今後の展開方針) 平成27年度に、市内全中学校生徒、石垣市の子どもたちが郷土の歴史や文化、自然に誇りと愛着を持つ人間の育成を図るため、郷土を学ぶ教材として配布する。 平成28年度以降は、引き続き中学校1年生を対象に配布する。	
7		地域交流子育て相談事業	H25 ～ H27	市街地の幼稚園5園に相談員を配置し、多様なニーズに対応した育児相談などの地域子育て支援、保育サービスの充実、児童の幼児期の教育に関する相談を実施する。	・地域子育て相談員配置	・子育て相談業務件数:180件	(今後の展開方針) 子育て相談業務 H27年度 250件	
7		平和推進事業	H24 ～ H33	次世代を担う児童生徒を対象に平和について学ぶ機会をつくる。また、「沖縄慰霊の日」に「全戦没者追悼式・平和祈念式」等を執り行い石垣市民の平和への願いを市内外へ発信するとともに、後世へ繋ぐため諸事業への取り組みを強化する。	・広島・長崎への平和大使派遣 ・平和フォーラム、講演会開催 ・平和モニュメント屋外説明プレート作成	・広島・長崎への平和大使派遣:小中高生4人 ・平和フォーラム等参加者:700人 ・平和モニュメント屋外説明プレート作成:3体	各事業を継続し、市民と行政が一体となって取り組む。	
7		尖閣諸島関係資料収集事業	H25 ～ H29	尖閣諸島に関するこれまでの動向を概観できるように、戦前・戦後の新聞等から関連する記事を収集し、日付や内容等から目的の記事が検索できるようデータベースを構築する。	戦前・戦後の新聞及び官報から収集された記事をデータベース化する。	・新聞等のデータベース化:500件	H26～H28:資料収集、データベース化 H29:データベース検索システム構築	
7		ICT教育充実事業(情報端末器配備事業)	H25 ～ H26	情報端末器(タブレット型PC)を活用することにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えた特別支援教育の充実とICT教育の推進による学力の向上、さらに主体的な活動及び遠隔協働学習を取り入れた「21世紀型スキル」を身に付けた人材の育成を図る。	・タブレット型PCを整備する。	・タブレット型PCの整備(全中学校に1学級分)	(今後の展開方針) タブレット型PCで使える教材を整備。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
7		オオゴマダラ地域交流事業	H25 ~ H29	奈良県橿原市の昆虫館と連携して、小学校3年生の教材である「チョウを調べる」単元でオオゴマダラに特化した教材と評価の問題を作成する。また、本市の蝶に指定されているオオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館へ児童を派遣し取材と学びの体験交流を行うことによって、日本の最南西に位置する石垣島の地理と気候の特異性を教材化する。	オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成。 児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣実施。	オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成完了 児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣完了 昆虫館取材後の学習報告会の完了	(今後の展開方針) 平成27年度まで、オオゴマダラを飼育・観察しての発表と昆虫館への取材活動のための児童教職員の派遣交流。	
7		学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業	H25 ~ H33	市街地校の各小中学校に学校教育支援員を配置し、授業等をサポートすることで、学校の状況に応じた適切な学習や体験活動の支援を行い、児童生徒の学力の向上を図る。	各小中学校に学校教育支援員配置	支援員導入率:72%	(今後の展開方針) 平成27年度までに支援員導入率100%を目指す。	
7		体験学習助成事業	H25 ~ H27	本市に住んでいる児童・生徒の体験学習の機会が制限されているため、他の地域に比べて児童・生徒の体験学習の機会の格差が生じている。他府県と本市の文化や芸術、産業での相違を学習しながら人的交流を推進し、学習向上を図り児童、生徒のコミュニケーションスキルを高める。また、東日本大震災の被害にあった地域を体験学習することにより、「共感」「思いやり」の心を育む。	体験学習の実施 (奈良・京都):小学生20名 (東京):中学生20名 交流体験学習の実施 (岩手県北上市):中学生20名 体験学習報告会の開催:1回	体験学習報告会の開催:1回 アンケートを実施し、体験学習を通して「共感」や「思いやり」の心が育まれるなど、事後の意識向上率85%以上達成。	体験学習児童・生徒数(累計) H30年度 290人	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
7		子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	H24 ~ H33	石垣市に居住する社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者に対し、地域の関係機関・個人がネットワークを形成し連携し、第一的な窓口として総合相談センターにおいて相談対応を行う。また、対象者の把握のために実態調査を行う。	相談対応の実施 実態把握調査の実施	子ども若者の受理相談件数60件(H24 38件) 対象者の実態把握	総合相談センターへ相談員(嘱託員)を配置する。 地域支援協議会の代表者会議(年2回)、実務者会議(年4回)、個別ケース検討会議(随時)開催する。 ユースアドバイザー養成講習を年3回開催する。 実態調査に基づき民生委員やその他地域の社会資源を活用し対象者個人の掘り起し等のほか、必要な対策を検討し具体的な支援につなげる。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			文化資産収蔵庫整備事業	H25 ～ H26	戦火を逃れた貴重な地域の史料を収蔵保管する為、八重山圏域で唯一の図書館の4階に収蔵庫を増設する事により、適切な管理と津波被災から防除を行う。	・収蔵庫の整備	・収蔵庫の整備完了	貴重な地域の史料の保管・利活用を進めていく。	
7			郷土文化学習事業	H26	小学校低学年の郷土学習資料として「やえやま探検隊シリーズ」を編集し、市内各学校の集合学習に活用するため、発行する。	・郷土資料の発行配布	・郷土資料の発行配布:1,000部	地域に根ざした教育を育む為にも、小学校低学年にわかり易い地域の伝統・文化資料が必要であります。脈々と受け継がれた文化に誇りを持ち、次世代へ継承していく為にも、その掘り起しが大切です。	
7			いきいきスポーツ活動助成事業	H26 ～ H30	地元から県大会や全国大会などに送り出せる体制づくりのためにトップアスリートとしての経験等を有した優れた指導者の活用を行う。また県外市町村の青少年と共通するスポーツを通して交流を図り、交流相手への興味、話題、関心を持つことを促す。	【スポーツ教室】 ・小、中、高生を対象にしたバレーボール教室及び駅伝(持久走)教室、選抜合同強化練習の及び指導者講習会の開催(駅伝は中、高生対象) 【友好都市スポーツ交流】 ・友好都市スポーツ交流である稚内市に対する認識の事前調査 ・稚内市への派遣 ・感想文の提出 ・報告書の作成	【バレーボール】 ・小学生バレーボール教室(4回) ・中学生バレーボール教室(8回) ・高校生バレーボール教室10回 ・選抜合同強化練習(2回) ・指導者講習会(2回) 【駅伝】 ・中学生駅伝(持久走)教室(10回) ・高校生駅伝(持久走)教室(10回) ・強化練習(4回) ・指導者講習会(2回) 【友好都市スポーツ交流 派遣】 交流者数 17名 (団員12名、リーダー1名、指導者4名)	小、中、高生の県大会上位入賞を目指す。	
7			冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業	H26～ H33	本市児童の学力向上を図る為、学校の授業終了後から部活動が始まるまでの隙間時間を利用した学習支援活動を行い、授業に対する予習・復習や家庭学習の習慣化を促進する。	・事業実施箇所数:14箇所以上 事業実施団体数:14団体以上 参加児童数:350人以上	・団体ごとの出席率70%達成 ・アンケートを実施し、家庭学習の習慣化70%以上達成。	各地域の自治公民館においても学習支援を実施できるよう、連携・協力を進めていきたい。	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
7		学力先進地域調査事業	H26～H28	市内小中学校教諭を県外学力先進地域の小中学校へ派遣し、学力向上や授業改善に係る取組に対する意識を高め、各小中学校における実践的な学力向上の取組推進を図る。 また、学力向上や授業改善に係る取組において、学校の中核となるミドルリーダーの育成を図る。	・学力先進地域調査に、小学校教諭3名、中学校教諭2名、学校長3名、指導主事2名の職員を派遣する。	・各学校へ調査内容(指導方法・学校運営等)の普及を図る。普及方法としては、いしがき教育の日(全体研修会)や管理職などの研修会。各学校から派遣された職員による校内研修等を行う。	平成28年度までに、小学校の国語、算数の中核となる教員9名と中学校の5教科の中核となる教員6名を派遣し、各学校の学力向上を図る。	10月変更 (事業追加)
8		国際交流「Ishigaki」プロジェクト	H24～H33					
8		国際定期便誘致事業	H24～H33	国際航空路線の活発化及び定期就航を図るために、近隣の台湾、香港、韓国へのプロモーション及び路線安定化に向けた取り組みを行う。	H25年度に策定した「インバウンド基本計画」に基づき、石垣空港の国際線施設の活発化を図り、インバウンド客の誘致を推進して、通年を通した国際線の就航定着化に取り組む。	・インバウンド誘客目標0.8万人(H26)	インバウンド誘客増を目指す。 H33年度目標値4万人程度	
9		福岡戸籍システム導入事業	H26					
		福岡戸籍システム導入事業	H26	今後の親族関係、身分関係を正確に登録・公証するため、紙で記録されている福岡戸籍を電算化することで、長期保存を可能とする。	・福岡戸籍等の電算化。	・福岡戸籍等の3,000枚余の電算化の完了。	沖縄関係戸籍(福岡戸籍)を電算化することにより、情報資産の経年劣化、滅失の危険性を除去し、証明等業務の迅速化を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		浦添市「あまくま歩っちゅん」推進事業	H24 ～ H33					
1		浦添市来り来り推進事業	H24 ～ H29	H25年度にて作成された屋富祖通り地区の基本構想案をもとに住民ワークショップの実施及び基本構想策定をする。また、シボルロード沿線地区及び港川道路シソカー周辺地区の抽出された課題をもとにまちづくりの検討を実施する。	・ワークショップの開催(2回) ・屋富祖通り地区の基本構想案をもとに基本構想策定に向けた検討 ・シボルロード沿線地区及び港川道路シソカー周辺地区の抽出された課題をもとに基本構想案の検討	・ワークショップ参加者数:延べ40人 ・屋富祖通り地区の基本構想案をもとに基本構想策定(対象区域、まちづくりコンセプト、道路及び沿道空間の整備方針等) ・シボルロード沿線地区及び港川道路シソカー周辺地区の抽出された課題をもとに検討された基本構想案の策定	・屋富祖通り地区基本構想をもとに整備計画案の策定(H29年度) ・シボルロード沿線地区及び港川道路シソカー周辺地区の実施に向けた基本構想の策定(H27年度) ・市街地密集地区の抽出された課題をもとに基本構想の検討・策定(検討:H28年度 策定:H29年度)	
1		浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業	H24 ～ H28	観光地としての価値向上に資するため、草花配布等を行う。	・市民への草花配布の実施 ・草花の植え付けの実施	・市民への草花配布件数:70件 (参考 H25年度実施) 草花配布件数63件 ・草花植付面積:3,250㎡ 植付延長:2,400m (参考 H25年度実施) 植付面積:3,001㎡ 植付延長:2,301m)	(今後の展開方針) H28年度目標 配布件数 75件 植付面積 3,500㎡ 植付延長 2,500m	
1		てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」	H24 ～ H33	スポーツツーリズム推進を図り、「いきいき生涯健康づくり」を推進するとともに、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げるため、「てだこウォーク～あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」を開催する。	てだこウォーク～あまくま歩っちゅん浪漫ウォークの開催	てだこウォーク参加人数 7,700 人 (平成23年 7,542人)	(今後の展開方針) てだこウォーク参加人数目標 H27年度:7,800人 H28年度:7,900人 H29年度:8,000人 H30年度:8,000人 H31年度:8,000人 H32年度:8,000人 H33年度:8,000人	
1		ありんくりんクリーン事業	H24 ～ H33	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するために美化や安全対策等の環境整備を図る。	文化財の美化活動・安全対策等環境整備に取り組む	・文化財の美化活動・安全対策等環境整備の実施 (環境整備が必要な箇所:10箇所) (H24実績:11箇所 H25実績11箇所)	(今後の展開方針) H33年度(目標値) 文化財見学者数3,000人 (平成23年:2,204人)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ~ H33					
			てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ~ H33	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、世界遺産の追加登録を目指す「浦添グスク周辺エリア」と基地跡地利用においても重要な役割を担う地区を含む「西海岸周辺エリア」を先導的エリアと位置付けながら、市全域を対象に景観法・都市計画法に基づく「景観地区」や「地区計画」等の地区指定を図りつつ、普遍的観光資源である地域景観資源を保全・再生、支援し活用することにより「住んでよし、訪れてよし」の浦添市の観光振興を含めた地域振興を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 風景づくりに係る人材育成の実施 風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討 古民家の活用方針の検討 まちづくり活動団体等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 風景づくりに係る人材育成数：3人 風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討（都市モノレール駅周辺やグスク周辺、西海岸エリアの各地区において景観地区指定等に向けたWSや協議会を行いウラオソイ風景づくりについて検討をおこなう。） 古民家の活用方針の策定 まちづくり活動団体等への支援の実施：3団体 	各年度の取り組み H27年度～地区指定に向けて検討を続け、目標としてH33年度に景観地区指定2地区を目標とする。 景観地区指定目標：2地区 （基準値：平成24年0地区）	
			地域資源復元推進事業	H24 ~ H28	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、観光の振興を図る。そのために、地域に所在する観光資源である市指定史跡等の文化財を整備するとともに、中頭方西海道や普天満参詣道などの歴史の道のルート上に石畳の舗装を施す。また、市内の文化財等に説明板を設置する。	<ul style="list-style-type: none"> 中頭方西海道ルート上への石畳舗装（舗装長約60m）。 文化財等説明板作成（7箇所）。 	<ul style="list-style-type: none"> 中頭方西海道ルート上への石畳舗装整備率：70.5% （舗装予定延長：680m H24:0m H25:420m H26:60m） 文化財等説明板の設置率：80% （設置予定総数10箇所 H24:0箇所 H25:1箇所 H26:7箇所）。 	（今後の展開方針） ・歴史の道のルート上へ石畳舗装工事を実施 （H27:0m H28:200m） ・市内文化財等の説明板の設置 （H27:1箇所 H28:1箇所） ・市内指定文化財の復元整備を実施 （H27:1箇所 H28:1箇所） ・文化財整備計画策定（H28年度を予定）	
			浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美化事業	H24 ~ H26	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史、文化の拠点である仲間地区の主要な道路について、コーラル舗装をイメージしたカラーアスファルト舗装を施す。	仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装：750㎡	<ul style="list-style-type: none"> カラーアスファルト舗装整備率：60.4% 舗装予定総面積：8,840㎡ H24:2,660㎡ H25:1,930㎡ H26:750㎡ 	（今後の展開方針） H27:750㎡ H28:750㎡ H29:2,000㎡ 供用開始	
3			歴史・文化とスポーツの十字路活性化推進事業	H24 ~ H28					

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	H24 ～ H28	琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介し観光振興に資するため、浦添美術館で琉球漆器に関連した企画展の開催及び常設展の充実を図る。また、広報宣伝事業・体験教室などを実施する。平成26年度は親子向けの企画展を開催、客層の幅を広げる。	・親子向け企画展の開催：1回 (参考) H24実施内容： 切った貼ったで盛り上がり！ 漆の技 TSUIKIN展 H25実施内容： 南への風・沖縄・台湾 ～ 近代沖縄の美術工芸展	・親子向け企画展来場者：3,000人 (40日間開催) ・年間来館者数：80,000人 ・常設観覧者数：2,200人	H27：近代絵画展(仮)の開催 ・企画展の開催：1回 ・常設展の充実：3回 ・広報宣伝：1回 ・体験教室：1回 H28：螺鈿展(仮)の開催 ・企画展の開催：1回 ・常設展の充実：3回 ・広報宣伝：1回 ・体験教室の開催：1回 平成28年度末累計来館者数50万人	
3			9月3日踊り観光・文化振興事業	H24 ～ H28	沖縄に古くから伝わる「組踊」は、「組踊」は、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産保護条約に基づく「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されており、その組踊を絡めたイベント及び鑑賞機会を実施する。	組踊まつり等のイベント3回開催 (参考) H24：5回 H25：2回	イベント参加人数 2,000人 (参考) H24：2,200人 H25：2,372人	各年度のイベント参加目標 H27年度：3,000人 H28年度：4,000人 H30年度：5,500人 H31年度：7,000人 H32年度：9,000人 H33年度：10,000人	
4			浦添へ観光客誘致と特産品の販売拡大プロジェクト	H24 ～ H28					

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
4		浦添「よしみち」観光振興事業	H24 ～ H28	琉球王統発祥の地であり、文化的施設、県内有数の製造業、西海岸に広がる自然の海岸線、市特産品など様々な「魅力」を活用しつつ、体験型観光に見られるような「観光客ニーズ」に沿って観光商品を開発。併せてヤクルトキャンプ地を生かした観光客誘客事業、市産品展示販売と観光展等のイベントを実施し、「うらそえ」の認知度向上を図る。	・観光資源開発と紹介 ・観光商品開発委託 ・観光商品の事業所向け提案 ・市産品展示販売の実施(2回) ・観光展等のイベント開催(2回)	・既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介 1件 (H24:0件 H25:0件) ・新たな観光商品の開発 1件 (H24:3件 H25:0件) ・観光商品の事業所向け提案 1件 ・市産品展示販売会販売額 3,000千円 ・観光展等のイベント来場者 100人	(今後の展開方針) H27取り組み ・「まるごと観光情報発信事業」との連携により効果的な広報を実施し、「販路拡大事業」とも連携することで更なる認知度向上を図る。 H28取り組み ・各商品に付加価値を持たせることで地位確立を図る。 H28年度(目標値) 着地型観光商品調査開発と利用者数 3,000人 (基準値:新規 平成24年0人) ヤクルトキャンプ・キャンペーン関連事業来場者数 40,000人 (基準値:新規 平成24年3,800人) 物産と観光展における販売実績額 8,000千円 (基準値:新規 平成24年390万円)	
4		来て・見て・楽しい”まるごと浦添”観光情報発信事業	H24 ～ H28	グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイル・ソフトの開発等を行う。	・観光ポータルサイト拡充 ・観光情報の編纂・発信	・観光ポータルサイト開発 1件 ・観光情報の編纂・発信 1件	今後の取り組み H27: ・観光情報の編纂・発信 1件 H28: ・観光情報の編纂・発信 1件 H28年度(目標値) ・新ポータルサイト閲覧数 72,000件	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			浦添うまれの絹が彩る観光特産品ブランド強化事業	H24 ～ H28	「うらそえ織」の観光特産品としてのブランド力を強化するため、広報活動、販売促進活動等を実施する。	うらそえ織の広報活動2回、展示販売会10回。	うらそえ織売上額 23,690千円 (基準値:平成23年9,910,614円)	(今後の展開方針) H27:観光・物産事業及び関係機関と連携を図り、効果的な広報活動を行う H28:市の産業・特産品として確立 H28年度(目標値) うらそえ織販売額 34,620千円	
4			浦添特産品の県外・国外への販路拡大事業	H24 ～ H28	生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。	県外物産展等の県外イベント参加 当面は県外のみを予定	県外物産展等のイベント参加企業 40社	(今後の展開方針) H27:45社 H28:50社 H28年度(目標値) 販路拡大に取り組んだ事業者数 50社	
4			島桑オジー&オーバーで観光産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ H28	特産品開発のため、沖縄特有の桑品種である「シマグワ」を活用し、養蚕業(繭の生産)のほか、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の商品化に取り組む。	商品化に向けた取組の実施 事業に要する桑園契約の締結 乾燥桑葉原料生産	商品開発:2種類 事業に要する桑園契約面積:5,800坪 乾燥桑葉原料:600kg	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 事業用桑木の作付け面積:7,500坪 乾燥桑葉原料:1,800kg	
4			浦添市農業フェスタ支援事業	H24 ～ H28	「農協まつり」における黒糖作りコーナー、集客イベント開催、会場整備等を支援することで、まつりの充実を通じ、県内だけでなく県外観光客誘致に取り組む観光振興・産業振興を図る。	農協まつり開催支援 (支援概要) 集客イベント開催:2回 黒糖作りコーナー 会場整備の実施	農協まつり来場者数:2,800人 (平成23年:1,800人) イベント時会場入り数:300名 黒糖作りコーナー設置 会場整備:会場テント・音響設備等	(今後の展開方針) H27:来場者数2,900名 H28:来場者数3,000名 H28年度(目標値) 農協まつり来場者数:3,000人 *今後早い段階での目標達成があれば目標の見直しを行う	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		浦添市産業支援機能強化事業	H24 ～ H28					
		創業者等相談事業	H24 ～ H28	新規に事業を起こしたい方及び事業を起こして3年未満の方の経営相談、事業計画相談等に対応するため、インキュベーション・マネージメントを民間事業者等に委託し、創業、経営革新、販路開拓などの相談業務等を行い、企業の拡大・雇用者の増を図る。	創業・経営革新・販路開拓などの相談の実施:250日	創業・経営革新・販路開拓などの相談件数 360件	(今後の展開方針) H27:380件 H28:400件 H28年度(目標値) 起業等相談者数 400件	
		スーパー・コミュニケーション・スクール事業	H24 ～ H28	国際社会に対応するため、スーパーコミュニケーション・スクールにおいて英語と中国語を集中的にマスターさせ、人材の育成を図る	学年別クラスの開設 2年次 20名 (1年次からの進級) 1年次 20名 (新たな入学)	学年別クラスの学習終了 1期生 2年次の終了(卒業) 20名 2期生 1年次の終了(2年次へ進級) 20名	(今後の展開方針) スクール生の輩出 H27年3月修了生 20名 H28年3月修了生 20名 H29年3月修了生 20名 スクール修了生: 60名(累計) 修了後のスクールの就職状況把握	
6		那覇港物流機能等強化事業	H24 ～ H26					
		ガントリークレーン整備事業	H24 ～ H26	那覇港において、利便性の高い港湾の整備・拡充を実施し、国際物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図るため、ガントリークレーンを増設する。	那覇港のガントリークレーン4号機製作1基	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン ・4号機製作1基	(今後の展開方針) 平成26年度 :3号機設置、供用開始 :4号機製作、設置 平成27年度 :4号機供用開始 (整備後の活用見込み) 那覇港の取扱貨物量:1,013万トン(H30)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			那覇港総合物流センター整備事業	H25 ～ H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際・国内物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センター実施設計の実施	総合物流センター実施設計業務の完了	(今後の展開方針) H27年度:液状化対策工事、基礎工事 H28～29年度:建築工事 H30年度:供用開始 (整備後の活用見込み) 那覇港の取扱貨物量: H24:989万トン H30:1,013万トン	10月変更 (事業追加)
6			那覇港輸出貨物増大促進事業	H26 ～ H28	香港直行航路等の社会実験を実施し、開設・定着への課題検討、方策の検討を行う。	社会実験実施計画作成 社会実験の実施	社会実験結果報告書の作成による改善点などの把握	(今後の展開方針) H26～H28 社会実験 H29 香港直行航路の定期航路化 (事業目標に向けた展開) 那覇港の取扱貨物量:1,013万トン(H30)	10月変更 (事業追加)
6			那覇港起点港機能強化事業	H26	経済波及効果の大きい那覇港発着のクルーズ船を誘致するため、那覇港クルーズターミナルに起点港として必要なチェックインカウンター、X線装置、荷物運搬用具等を整備する。	クルーズ船起点港機能の整備	クルーズ船起点港機能の整備完了 整備された備品: チェックインカウンター X線装置 荷物運搬用具 可動式通路	(今後の展開方針) H26 施設整備 (整備後の活用見込み) クルーズ船寄港回数: H25:56回 H28:74回	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24～H33	スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助する。	・派遣対象を拡大し、児童生徒の派遣を実施	・大会等派遣生徒数:450人	(今後の展開方針) H27年度:450人 H28年度:450人 H29年度:450人 H30年度:450人 H31年度:450人 H32年度:450人 H33年度:450人 ・派遣対象者の拡大(H26年度) 市立学校在籍 市内在住児童生徒 ・事業目標(指標):県外派遣機会の拡充や他県の児童生徒と交流し、技術向上や健全育成に役立てる。	
8			一人ひとりが輝くティーンズ	H24～H33					
			エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24～H33	社会性・協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため、小学校5年生全員を対象に自然・農業・漁業等の体験学習を行なう。	小学校5年生向け体験学習の実施: 市内11校 実施する体験学習 自然・農業・漁業それぞれ11回	小学校5年生1,348人の参加(一人当たり4体験) PA(冒険体験):1,348人 農業:403人 漁業:738人 登山:1,521人 カヌー自然体験:1,382人	(今後の展開方針) H28～H23 自然・農業・漁業に係る体験学習の実施	
			学力等底上げ推進支援事業	H24～H33	児童生徒の学力の底上げを図り、沖縄振興を支える人材を育成するため、学校教育支援員、日本語教育支援員を各学校へ配置する。	学校教育支援員32名 日本語教育支援員3名 学校教育支援員の採用要件を免許保持者に限らず、学習支援が可能な人材とし、適切な人員を配置する。	H26年度目標値 全国学力テストにおいて 正答率:全国平均との差 小学校6年:国語A…3P以内 国語B…2P以内 小学校6年:算数A…3P以内 算数B…2P以内 中学校3年:国語A…4P以内 国語B…1P以内 中学校3年:数学A…6P以内 数学B…6P以内	H28年度(目標値) 全国学力テストにおいて 小学校 正答率61.9%(H25の全国平均) 中学校 " 62.3%(")	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			課題を抱える児童生徒支援事業	H25 ～ H33	児童生徒の学力の底上げを図り、沖縄振興を支える人材を育成する環境を整えるため、青少年相談員、臨床心理相談員、教育相談員、教育相談支援員、生徒サポーター、そして青少年指導員を配置し、青少年の環境浄化・教育相談を行う。	(学校配置) 教育相談支援員16名、生徒サポーター5名、青少年指導員25名 (担当課配置) 臨床心理相談員2名、教育相談員6名、青少年相談員10名	不登校児童生徒数の10%減	(今後の展開方針) 青少年環境浄化、教育相談の充実に努める。学力底上げ推進に適した環境を整える。 H27年度以降については、当市児童生徒の現状に応じて、問題行動等の減少や遊び型非行の不登校減少など随時課題を設定し、改善に努める。	7月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
			適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ H33	適応指導教室に指導員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談などの支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	・適応指導教室に適応指導員2名配置 ・適応指導教室入級児童生徒数:5名	・適応指導教室入級児童生徒全員を学校に足を向かせる。 ・年間3回以上の不登校児童生徒保護者交流会を実施する。	(今後の展開の方針) 担当教諭及び指導員が情報・行動連携をこれまで以上に密接にし、長期化する不登校児童生徒の学校復帰をよりよく支援する。	
			ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ～ H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、IT指導員を定期的に派遣し、教育用PC、電子黒板及び、実物投影機、情報端末などを活用した情報教育授業を支援する。	・IT指導員3名を小中学校5～6校に1人を派遣 ・各校に年間30日程度IT指導員を派遣	小中学校の各学年において、ICTを活用した授業を総時数の2割実施する。	(今後の展開の方針) ・H26年度～H33年度:各年度3名派遣 ・各学校でICT機器を活用したわかる授業構築を支援するため、IT指導員を有効かつ効率よく派遣する。	
9			歴史と文化の薫るまち浦添	H24 ～ H32					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		浦添の歴史文化整備保存事業	H25 ～ H30	浦添市の収集・保有している資料の写真、証言記録をもとに『浦添市移民史 本編(仮題)』を刊行し、浦添の歴史を語る知的財産として浦添出身者の移民・出稼ぎ・移住の実態をまとめる。移民・出稼ぎ・移住に関する講演会・展示会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 移民史編集委員会の開催:3回 市内聴き取り調査の実施 『浦添市移民史本編』の編集・刊行 講演会・展示会の開催:各1回 	<ul style="list-style-type: none"> 移民史編集委員会の報告書作成 市内聴き取り調査結果報告の作成 『浦添市移民史本編』の編集・刊行 講演会・展示会入場者数:300人 	平成27年度以降 ・「浦添市移民史」の活用・普及 講演会・展示会の開催:H27年度	
		歴史にふれる館整備事業	H24 ～ H27	市内の遺跡出土の土器や石器等の遺物、市民寄贈の民具、近世浦添が窺える厨子甕や銘書などの展示活用及び保管収蔵の為、市立港川共同調理場移転後の施設を展示収蔵施設に改修する工事を実施する。合わせて収蔵品の搬入を委託実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史にふれる館」の改修工事の実施 収蔵品の搬入の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史にふれる館」の完成 収蔵品の搬入:蔵骨器2600点、民具390点、遺物収納用箱3500箱 	(今後の展開方針) 平成27年度は展示施設の開館を予定 (来場者見込み:600人)	
		琉球空手のルーツを探る事業	H24 ～ H26	文化と観光の振興に資するため、琉球固有の武術「手(ティー)」と中国武術の関連性について調査するとともに、相互の武術交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 中国武術研究を中国現地研究者と協力を得ながら進める。 シンポジウムの開催にあたって、市内関係機関および地元研究者、中国現地研究者と協力を得ながら進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査報告書の作成:100部 シンポジウム来場者数:300人 	(今後の展開方針) ・調査報告書を空手関係機関へ配布。 関係機関へ訪れる観光客へ空手に対する更なる興味を喚起し、沖縄の観光振興への効果につなげる。	
		歴史・文化ガイダンス強化事業	H25 ～ H32	国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、歴史・文化ガイダンスの充実を図る。具体的には浦添市の歴史・文化を理解しやすくするためにガイダンス施設の展示を充実させ、同展示の説明や市内文化財を紹介するガイドの体制を整え、歴史・文化に関する情報発信の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 展示物の制作 文化財案内マップ等の制作 歴史・文化情報発信等強化(情報発信強化を実施) 映像機器購入 	<ul style="list-style-type: none"> 展示物作成:1点 文化財案内マップ等作成:8000部 (マップ配置先:市内ガイダンス施設など) 歴史・文化情報発信等:NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会の活用 映像機器の導入 	(今後の展開方針) 展示物や文化財案内マップの拡充を図る。また、NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会を活用した情報発信等の強化を継続的に実施する。 H33年度(目標値) 文化財見学者数3,000人 (平成23年:2,204人)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10			浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ H33	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入:2人	南米移住者子弟研修生受入:2人 帰国後に、現地市人会及び県人会の行事等の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告する。また、積極的に市人会等の活動に参加し、現地における沖縄文化の継承及び本市と移住先国との交流の架け橋として、コミュニティーの発展に貢献することが期待される。	・実施予定内容 [H27] 研修生2名 [H28] フォローアップ研修生6名 世界のウチナーンチュ大会に合わせて過去の研修生を招聘し、その役割を更に認識させるためフォローアップ研修を行う。 [H29] 研修生2名 [H30] " " [H31] " " [H32] " " [H33] フォローアップ研修生6名 ・本事業の目標 帰国後に移住先国との友好親善に寄与できる人材を育成する。また、沖縄滞在期間における市民との交流を通して、市民の国際化及び国際理解の高揚に資する。	
11			～「子供が主役に」のまちづくり～子育て支援充実プロジェクト	H24 ～ H33					
			幼稚園でいーだっ子のびのび事業	H24 ～ H33	公立幼稚園における預かり保育の待機児童解消のため、担当教諭を増員し、預かり保育の拡充を図る	午後の時間を安全に過ごす場を確保するため5歳児の預かり保育を11園18学級実施	保護者が安心して就労できるよう5歳児の預かり保育希望者全員の受け入れ	(今後の展開方針) 教室にコトリがある園では、さらに学級を増やす	
			浦添市学童っ子供支援プロジェクト	H24 ～ H33	保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない放課後児童クラブに対し、公的施設移行までの間、家賃補助を行う。	学童クラブへの家賃補助の実施	家賃補助を受けた学童クラブ数:11か所	(今後の展開方針) 公的施設移行を進め、平成27年度に内間小学校区2学童クラブが公的施設入居予定だが、大規模化したクラブの分離予定もあるため、平成28年度には家賃補助対象クラブが13か所になる見込み。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12	「備えて安心安全」推進事業	H24 ～ H33						
	災害時備蓄食糧購入強化促進事業	H24 ～ H33	災害に備え、防災計画に基づき、市の人口の1/20の住民の食料3日分を備蓄する。	非常用食糧の備蓄	非常用食糧の目標値達成率:60% (市の人口の5%の3食3日分の食糧に対する割合)	(今後の展開方針) H27年度 非常用食糧の備蓄率(対市人口): 5%の3食3日の80% H28年度 非常用食糧の備蓄率(対市人口): 5%の3食3日の達成		
	災害時備蓄食糧保管倉庫等整備事業	H24 ～ H28	備蓄食糧等を保管するため、備蓄食糧保管倉庫等の整備や発電機等電源の確保、また簡易トイレ等の設置等を行う。	備蓄倉庫:4庫 発電機:4機 浄水機:4機 簡易トイレ:120個 トイレ用簡易テント:120個	備蓄倉庫整備率:60% (要整備数20庫 H26年度設置累計12庫) 発電機整備率:60% (要整備数20機 H26年度設置累計12機) 浄水機設置率:60% (要整備数20機 H26年度設置累計12機) 簡易トイレ整備率:60% (要整備数200個 H26年度設置累計120個) トイレ用簡易テント:60% (要整備数200個 H26年度設置累計120個) 発電機用オイル缶整備率:60% (要整備数20缶 H26年度設置累計12缶) 発電機用燃料携行缶整備率:60% (要整備数20缶 H26年度設置累計12缶)	(今後の展開方針) 平成28年度までに市内小中学校の全校及び収容避難所等に備蓄倉庫等を設置する。 備蓄倉庫:H27年4庫 H28年4庫 発電機:H27年4機 H28年4機 浄水機:H27年4機 H28年4機 簡易トイレ:H27年40個 H28年40個 簡易テント:H27年40個 H28年40個 オイル缶:H27年4缶 H28年4缶 燃料携行缶:H27年4缶 H28年4缶		
13	ひと・まち・未来が輝く「てだこのまち」平和推進プロジェクト	H24 ～ H33						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
		航空機騒音基礎調査事業	H24 ~ H33	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。	・発生する航空機騒音のうち、昼間(7:00~19:00)、夕方(19:00~22:00)、夜間(0:00~7:00、22:00~24:00)の各時間帯における騒音レベルを測定。	・騒音データ取得数(3か所計) 昼間(7:00~19:00): 13,100回 夕方(19:00~22:00): 1,690回 夜間(0:00~7:00): 250回 (22:00~24:00): 280回 ・測定結果をまとめてホームページ上で掲載する。	(今後の展開方針) ・正確な数値・データを把握することに努める。 ・航空機騒音被害の具体的な把握により、国・米軍側へ騒音軽減の要請活動を実施する際の資料として活用する。	
		浦添市中学生平和交流事業	H25 ~ H33	平和への願いを風化させることなく次代に引き継ぐため、中学生を対象に平和学習を実施する。県内では浦添市での戦争や平和祈念資料館等を活用した沖縄戦に関する研修を行い、長崎市では原子爆弾の実相を学ぶとともに、平和を希求する心を培う。	市立中学校5校より、中学生10人、教諭1人を浦添市中学生平和交流団として長崎市へ派遣。	浦添市立中学校5校より中学生平和交流団10人 長崎市への派遣後は、研修報告を提出させ、報告書としてまとめる。また、報告書と研修中に作成した平和に関する壁新聞を市役所内及び市立中学校に展示し、市民や各中学校の生徒に平和について考える機会としてもらう。 10月に開催される本市戦没者追悼式典において、平和のメッセージを朗読する。	・実施予定内容 中学生10人、教諭1人に対して長崎派遣を含む平和研修を継続して実施する。 ・本事業の目標 研修終了後は浦添市ピースメッセージャーとして認定し、市が実施する平和に関する行事に積極的に参加し、平和のメッセージを未来に向けて多くの人に語り伝えていく。平和への願いを次代に引き継ぐとともに、本市の平和行政の柱である「平和都市宣言」「核兵器廃絶宣言」の精神を更に高め、市民の平和意識の高揚を図る。	
		里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ~ H33	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	里道及び水路表示登記の実施	・約125kmの里道及び水路表示登記延長率:10%	(今後の展開方針) 里道及び水路表示登記延長率 H27:11% H28:15% H29:15% H30:15% H31:15% H32:15% H33:15%	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ H33	牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援:3回	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動への参加者:延べ27人(9人×3回)	(今後の展開方針) 今後の取組 H27:11人 H28:13人 H29:15人 H30:16人 H31:17人 H32:18人 H33:19人 ・まちづくり活動会員数の拡大 (若手組織の人数を現在の6名からH28年度までに10名以上に)	
			牧港補給地区情報システム事業	H24 ～ H33	平成24年度に構築した牧港補給地区情報システムを活用し、土地所有者等の最新情報を把握することで、跡地利用に関する業務に役立てる。	・牧港補給地区の土地及び所有者情報の取得・管理	・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・管理 ・跡地の先行取得調査業務への活用	(今後の展開方針) 今後の取組 H27～H33 返還進捗状況に応じて最新情報の把握及び先行取得調査 ・牧港補給地区の跡地利用計画に資す情報の活用 (地主会に属していない所有者等の所在を把握し、資料の送付や説明会の案内等に役立てる)	
			浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業	H24 ～ H33	戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。	・土地分筆業務、不動産鑑定、用地取得業務費として基金の積み立て12億円。 ・土地分筆業務委託:900筆 ・不動産鑑定委託:13路線 ・用地取得:8,000㎡	・用地取得率:14.3% (取得目標8,000㎡ H26年度累計取得8,000㎡)	・未買収道路用地取得基金は、4年間で積立てる予定。(H24年12.1億円、H25年11.7億円、H26年12億円、H27年2.7億円) ・執行について、平成25年度より9年間で、約4億2,700万円/年を執行予定。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			名護市特色ある教育環境整備事業	H24 ～ H33					
			学習指導支援者配置事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学習指導支援者配置数 小学校：7人	支援児童数(小学校4校の3・4年生)：789人	(今後の展開方針) ・学習指導支援者の効果的配置の検討	
			生徒指導支援者配置事業	H24 ～ H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	生徒指導支援者配置数 中学校：6人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数：10人	(今後の展開方針) ・生徒指導支援者の効果的配置の検討	
			小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	英語支援員の配置数：9人	支援児童数(小学校)：1,342人 支援生徒数(中学校)：2,210人 計：3,552人	(今後の展開方針) ・小中学校英語支援員の効果的配置の検討	
			中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	応募人数：8校×5人＝40人 派遣生徒選考人数：12人	海外短期留学派遣生徒数：12人 派遣後のフォローアップ ・帰国報告会での発表 ・在籍中学校及び中学校区学推での発表 ・帰国報告書の作成	(今後の展開方針) ・海外短期留学派遣生徒数(累計) H33年度120人 ・現地学習プログラムの充実	
			適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	適応指導教室支援員配置数：5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数：7人	(今後の展開方針) ・適応指導教室支援員の効果的な配置の検討	
			名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	大会派遣生徒数：80人	大会派遣生徒数 H26年度：80人	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度：80人	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			小中一貫教育推進事業	H26 ~ H33	小中一貫教育校の開校を目指して取り組んでいる屋我地域において、児童生徒の学力向上、小中学校の教育課程の研究や小中連携を図るための非常勤講師を配置する。	非常勤講師の配置数:2人	教育課程研究報告書を作成し、児童生徒学力向上に向けた取り組みの検討へつなげる	(今後の展開方針) 平成28年度より、教育課程研究報告書に基づく授業の展開	
2			名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	H24 ~ H27					
			名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業	H25 ~ H27	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。	堆肥工場の建築及び造成工事、ならびに備品購入の実施	堆肥工場の整備及び備品購入の完了	(今後の展開方針) H28年度:名護市堆肥センターの供用開始 堆肥生産目標:3,395トン	
			農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24 ~ H26	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	レストラン施設・観光農園・エントランス敷地造成設計、建築設計及び建築・造成工事の実施	レストラン施設・観光農園施設・エントランス整備の完了	(今後の展開方針) H27年度:アグリパーク全体の供用開始 入場客目標:30万人	
3			名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	H24 ~ H33					
			ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ~ H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、人気球団である日本ハムファイターズと連携したイベント「沖縄へ行こう!!名護デー」を札幌ドームで開催し、札幌より観光客誘客を図る。	・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。 ・札幌ドームで「名護デー」開催	プロ野球キャンプ見学者数 H26年度:24,000人 (H25年度目標:20,000人) (H24年度実績:17,799人)	(今後の展開方針) H27~33年度: ・駐車場確保 ・シャトルバス運行 ・警備員、誘導員配置 H27~28年度: ・「名護デー」開催 H27~28年度: ・少年野球チーム交流	
			名護市特産品販路拡大支援事業	H25 ~ H27	特産品の販路拡大のため、商品改良(品質表示、加工技術等)、商談会、展示会、販路開拓を実施し、地場産業の育成と観光産業の活性化を図っていく	ワークショップ開催:15回 物産展の開催:3回	物産展の来場者数:2,550人 物産展の売上高 :2,550千円	(今後の展開方針) H27年度:商品改良(品質表示等)、名護市フェア、物産展等の開催等	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			観光情報発信事業	H25 ～ H27	観光地としてのコンセプトを明確に打ち出した観光宣伝ツールの作成、広告宣伝(マスメディア、イベント等)、セールス誘致活動を行い観光情報発信力を強化し観光客の誘致拡大を目指す。 また地元で撮影された映像を活用し、映画・映像の追体験を促す広報宣伝を国内の映画館等で実施する。	観光宣伝物の作成 映像DVD(春・夏版) セールス活動 旅行見本市(ツーリズムエキスポ) 旅行見本市(ツーリズムエキスポ) 広告 ガイドブックへの広告掲載	観光宣伝物の作成 映像DVD(春・夏版)セールス: 100枚 旅行見本市(ツーリズムエキスポ) ブース来場者数1,000名 広告 ガイドブックへの広告掲載 発行部数90,000部	(今後の展開方針) H27年度:旅行見本市(国内・国外)、マスメディア広告	
			真喜屋運動広場整備事業	H24 ～ H27	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	真喜屋運動広場整備に係る実施設計の実施(真喜屋運動広場)	真喜屋運動広場整備に係る実施設計完了	(今後の展開方針) H27年度:整備工事 H28年度:供用開始 利用者数目標:13千人	
			名護市営市場機能強化整備事業	H25 ～ H26	観光施設としての機能を強化することにより、名護中心市街地の「にぎわい」回復に資するため、イベント対応天幕、周辺商店街への連絡通路、大型モニター等の整備を実施し、市営市場及び観光施策が抱える課題の解決を図る。	整備工事(1件)の実施 ・雨除け通路 ・パティオ屋根 ・前広場雨除け ・植栽 等	整備工事(1件)の完了 ・雨除け通路の設置 ・パティオ屋根の設置 ・前広場雨除けの設置 ・植栽の実施 等	(今後の展開方針) ・観光情報等の発信 ・買物広場等の利用促進(イベント開催等) 整備後の市場来場者見込み(駐車台数) H23:71千台 H27:100千台	
			名護市ICT活用モデル事業「WiFi化計画」	H25 ～ H28	名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	名護市役所周辺の無料公衆無線LAN環境構築	無線LANサービスの開始:AP1カ所以上	(今後の展開方針) 市街地周辺のWiFi化整備、サービス開始	
			津嘉山酒造所施設公開活用推進事業	H26	国指定重要文化財である津嘉山酒造所は、沖縄に唯一残る戦前の木造泡盛工場であり、沖縄県を代表する文化施設である。まちなか観光拠点として施設(便益施設、泡盛資料館、駐車場)の整備を行うため、酒造所敷地の一部を購入する。	・用地買収 1筆	・整備に必要な用地取得:100% (425㎡取得)	(今後の展開方針) H27・28年度:保存活用計画の策定 H28・29年度:まちなか観光の拠点施設整備(便益施設、泡盛資料館、駐車場) H30年度供用開始: 入場者目標:3.6千人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			二見以北4小学校跡地等利用事業	H24 ~ H26	閉校となった二見以北の小学校をウミガメ等の海洋生物の調査研究施設として活用するとともに、海洋生物や自然等の地域観光資源を生かした体験学習施設として活用するため、必要な環境整備を行う。	小学校跡利用に向けた環境整備(便益施設建築工事)	便益施設の建築	(今後の展開方針) H26年度:事業者による跡利用開始	
			轟の滝周辺整備事業	H24 ~ H28	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げるため、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けて整備する。	・用地買収 9筆 ・物件補償 1件 ・委託業務 1件(施設設計)	・整備に必要な用地取得:(累計:88%) (累計:7,113㎡取得) ・施設設計の完了	(今後の展開方針) H26~27年度:用地測量、用地買収、補償設計、物件補償 H27~28年度:周辺整備 H29年度:供用開始予定 県文化財指定の名勝地を自然・景観を活かした貴重な地域資源として効果的に活用する。	7月変更 (事業追加)
			陸上競技場機能強化事業	H26	県内レベル(沖縄県民体育大会等)の大会開催やスポーツコンベンションの誘致に向けて、更なる施設の機能向上を図るため、新たに必要が生じたフィニッシュレコーダー等の備品購入を実施する。	備品購入 1件	陸上競技場の機能強化	(今後の展開方針) H27年度:供用開始予定 県内レベルの大会実施や冬季における県内外実業団や大学、トップアスリートの合宿等による施設利用に効果的に活用する。 H27年度:34,000人 (H25年度実績:32,100人)	12月変更 (事業追加)
4			名護市行政区単位版ハザードマップ作成事業	H24 ~ H26	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。	行政区単位版ハザードマップ作成数:23区	行政区単位版ハザードマップ配付箇所数:55区 H24:5地区(9行政区)、H25:22地区(25行政区)、H26:21地区(21行政区)	(今後の展開方針) 危険箇所周知、防災訓練等での活用	
5			名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ~ H27	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車レーンの整備:300m	自転車レーンの整備率:14% (整備目標:11,920m、H24整備:1,120m、H25整備:330m、H26整備目標:300m)	(今後の展開方針) H27年度:自転車モデルレーンの整備(620m) 整備率:19%	
6			名護市雇用創出・企業誘致促進事業	H24 ~ H26					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ～ H26	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:20人	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致目標達成率:80% (招致目標:20人、H24招致:15人、H25招致:20人、H26年度目標:20人)	(今後の展開方針) H27年度:企業招聘セミナー開催、国内外での広報活動 経営者等の招致目標:20人	
		金融・IT産業等基盤施設等機能強化事業	H25 ～ H26	金融・情報関連企業が入居する施設(名護市マルチメディア館、みらい11号館、みらい13号館)に、無停電電源装置(UPS)の設置を実施し、台風等の災害時に停電が発生した際、自家発電機が稼働するまでの間、UPSから電気を供給することにより停電を無くし、企業の事業継続性を確保する。	無停電装置の設置工事の実施 (名護市マルチメディア館、みらい11号館、みらい13号館)	無停電装置の設置完了 (名護市マルチメディア館、みらい11号館、みらい13号館)	(今後の展開方針) H27年度以降:企業誘致活動の取組促進 誘致目標:10企業	
7		名護市沖縄関係戸籍の電算化事業	H24 ～ H26	本市の臨時戸籍は、現在でも各種行政証明や戸籍訂正の資料として重要な役割をはたしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な臨時戸籍に係るサービスを確保するため臨時戸籍の電算化を実施する。	臨時戸籍の電算化実施 対象戸籍数 12,866戸籍	臨時戸籍の電算化率:100%	(今後の展開方針等) システムの適切な運用、維持、管理	
8		名護市地域力発信交流拠点施設整備事業(運天原)	H25 ～ H26	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の継承や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	地域力発信交流拠点施設(運天原)の建築の実施	地域力発信交流拠点施設(運天原)の完成	(今後の展開方針) H27年度:供用開始 特産品開発のための活用 伝統芸能等の継承のための活用	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		糸満市まるごと博物館事業	H24 ~ H33					
1		沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ H33	本市は、農村と漁村の風景が残る他に類を見ない地域である。この魅力的な地域の風景を活かした観光地づくり等を進めるため、平成25年度に風景づくり計画を策定した。その計画に基づき、景観形成重点地区である国道331号沿道地区とジョーグラー地区の糸満独特の風景・まちなみ創生の整備を図る。また、米須集落地区における重点地区に向けての取組を行う。	基本計画策定に向けて、糸満協議会の開催(4回) 米須集落地区行動計画策定に向けて米須集落部会の開催(4回)	重点地区基本計画策定 米須集落地区風景づくり行動計画策定	(今後の展開方針) 重点地区のける風景・まちなみ創生の整備 米須集落地区の重点地区指定	
1		生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の民俗地図等を作成する。本年度は、旧高嶺村の5か字について民俗調査を実施し民俗地図を作成する。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・旧高嶺村5か字での民俗調査 ・市史講座の開催(2回)	・旧高嶺村5か字の民俗地図の印刷 ・市史講座の参加者数 50人	(今後の展開方針) H26年度:旧高嶺村民俗地図印刷 H27年度:旧真壁村民俗調査 H28年度:旧糸満村民俗地図印刷 H29年度:旧喜屋武村民俗調査 H30年度:旧真壁村民俗地図印刷 H31年度:旧摩文仁村民俗調査 H32年度:旧喜屋武村民俗地図印刷 H33年度:旧摩文仁村民俗地図印刷	
1		冬場のエコスポーツ拡大事業	H24 ~ H28	冬場(冬季)の観光振興を図るために、全国的なマウンテンバイク競技大会の開催が可能なコースの整備及び大会プロモーションを実施する。	マウンテンバイク競技大会の実施	大会来場者数 450人	(今後の展開方針) H28年度:大会来場者数 500人 H26~28年度:日本マウンテンバイク協会公認J2クラス競技を開催する	
1		新しい公共交通検討事業	H24 ~ H28	本市への観光客の誘客を図るため、平成25年度に策定した那覇空港直行バス実証実験運行計画に基づく実証実験を、平成27年度に行うための準備を進めつつ、地域観光交通運行計画(沖縄県道77号糸満与那原線以南の地域を対象)策定・実証実験に向けた準備を行う。	・那覇空港直行バス実証実験準備(観光プログラム作成・PR活動の実施・委員会開催・許認可申請) ・地域観光交通運行計画の検討 ・地域観光交通バス実証実験準備	・観光プログラム 5件作成 ・ポスター1,000部配布、リーフレット30,000部配布 ・那覇空港直行バスの運行許認可を受ける。 ・那覇空港直行バス実証実験及び地域観光交通運行計画に関する中間報告 ・車両整備 4台	(今後の展開方針) 平成26年度の中間報告を分析し、平成27年度に実証実験を開催。平成28年度以降は運行結果報告書を開示し、実証実験を継続していく。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			サンゴ移植造成事業	H26 ~ H28	天然のサンゴを西崎地先に移植する。その後の経過観察にてサンゴの定着・増殖、それに伴う魚種・魚数の変化、水質の変化等を調査する。また、児童、高校生、市民ボランティアを活用して移植・学習会等を行うことで、サンゴ礁保全の普及啓発活動を行う。以上の事業を行うことにより、市民の環境保全に対する意識の向上及び資源の増大による水産業・観光業の振興を目的とする。	・サンゴの移植 ・移植体験会 ・移植後の調査(3回) ・経過報告、学習会(1回)	魚種類数・・・1割増 魚の数・・・1割増 サンゴの面積・・・1割増 サンゴ生存率・・・95%	平成27年度、平成28年度ともに移植後のサンゴの経過観察、経過報告を兼ねた学習会を実施する。	
1			伝統民俗文化継承発展事業	H26	伝統文化の継承と文化の創造発展を目的に、国指定無形文化財である「組踊」を本市に伝える「白銀岩の由来」を題材に実演させることや糸満海人に歌い継がれてきた「ハーレー歌」、わらべ歌などの市の伝統文化を小中学生に実演体験させる舞台発表を行い、市の伝統民俗文化の啓蒙普及をはかる。	・パート、合同練習(12回) ・子供組踊隊公演(1回) ・アンケートの実施	・児童生徒参加者数 26人 ・公演会来場者 500人 ・アンケート有効回答のうち興味や関心が増加した人の割合 7割	子供組踊隊の参加者を継続して指導を行う。	10月変更(事業追加)
2			糸満市まるごとスマート化事業	H24 ~ H29					
2			省エネ設備化推進事業	H24 ~ H29	本市の環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、学校を含む公共施設の照明にLED対応器具を導入する。	自治会防犯灯LED照明設置1,029個 市管理道路照明灯 LED照明灯化211基	自治会防犯灯を100%LED設備化し、約670kgのCO2を削減する 市管理道路照明211基をLED設備化し、約140tのCO2を削減をする。	(今後の展開方針) H27:小学校体育館LED照明1校 H28:市消防本部LED照明設置 H29:市立図書館LED照明設置	7月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
2			燃料ごみ処理モデル事業	H24 ~ H29	最終処分場を保有していない本市では、自区内処理ができず、廃棄物の減量化及び資源化を推進する必要があるため、モデル地区の可燃ごみの固形燃料化を支援するとともに、同モデル地区との連携による他自治会への説明会等を行うなど同事業の拡大に取り組む。	・燃料ゴミ収集活動の実施100回/年 ・燃料ゴミ化推進広報の実施10回/年	・H26年度 再資源化(RPF)量121トン	(今後の展開方針) H26~H29 モデル地区拡大、燃料ごみ(再資源化)量を毎年度3~5トン増、H29年度に140トンを目指す。	
3			アマチュアスポーツのメッカ事業	H24 ~ H26					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	スポーツ観光分野開拓事業	H24～H26	生涯スポーツを推進するスポーツ都市宣言のまちとして、さらに他自治体と異なるアマチュアスポーツのメッカの地としてPRし市外からの誘客をもたらすため、海洋スポーツフェスティバルやウォーキング大会を開催する。	ウォーキング大会の開催 海洋スポーツフェスティバルの開催	スポーツイベント参加者数2,500人/年	(今後の展開方針) H24～26年度 参加累計6,200人 ウォーキング大会開催 海洋スポーツフェスティバル開催		
3	西崎運動公園有効活用調査	H26	冬季シーズンに温暖な気候の沖縄県の優位性を生かし、冬季を中心としたスポーツ団体や各種大会の誘致等により、西崎運動公園の有効な活用方法の調査を実施する。	検討委員会の開催 5回	有効活用計画の策定	(今後の展開方針) H28年度～ 有効活用方針による運営・管理 西崎運動公園・体育施設利用者数 H25 215千人 H28 275千人	10月変更 (事業追加)	
3	運動公園・体育施設機能強化事業	H24～H27	本市は、アマチュアスポーツのメッカのまちとしてPRし、合宿や大会参加など県外から多くの選手を受け入れており、スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化に取り組む。	音響設備整備	音響設備整備の完了	(今後の展開方針) H27 委託業務・工事(フェニスコト・プール) 西崎運動公園・体育施設利用者数 H25 215千人 H28 275千人	10月変更 (事業追加)	
4	観光客が安心して訪れるまち事業	H24～H30						
4	観光地危険生物駆除事業	H25～H30	本市に多くある慰霊碑や塔は、山間部や岩場等ハブなどの危険生物が生息する箇所が多く建立されており、そこを訪れる観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除及び注意喚起看板を設置する。	糸満市ハブ対策地域連絡協議会の開催 ハブ対策講習会・講演会の開催	ハブ捕獲頭数1,000匹/年	(今後の展開方針) 平成26～30年度 発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置により、ハブ咬傷被害0件を目標とする。		

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		防災行政無線増設事業	H26	本市は、観光客が多く訪れる地域であり、訪問先は海岸沿いやビーチが多い。海岸区域に防災無線が未整備な地域があり、防災行政無線を6基増設し、災害時に観光客や住民を防災行政無線により迅速に避難誘導を行う。	防災行政無線の6基増設	主要観光地カバー率 100%	主要観光地5か所中、既整備1箇所、H26年度中4か所整備。 (今後の展開方針) 防災無線整備計画にない観光地等へも防災無線設備にかわる伝達手段を整備し、災害情報の迅速な伝達をできるようにしたい。	
5		宣伝・受入体制整備事業	H24 ~ H29					
5		多言語観光案内マップ作成事業	H24 ~ H26	大型ホテルの営業に伴い増加傾向にある外国人観光客のさらなる誘客に向けて、外国人観光客の市内散策ができるよう、多言語マップ(ブック)を作成する。	多言語観光ガイドマップ(ブック)の作成 中国語版1,000部 韓国語版1,000部	多言語観光ガイドマップ(ブック)配布数 2,000部	(今後の展開方針) H24: 日本語版33,000部、韓国語版1,000部 H25: 中国語版1,000部、英語版1,000部 H26: 中国語版1,000部、韓国語版1,000部 市内観光関連施設に配布。	
5		糸満ふるさと祭推進事業	H24 ~ H29	ふるさと祭りを夏場の観光資源化と誘客力を高めるため、実行委員会へ補助金を交付する。	糸満ふるさと祭りの開催	糸満ふるさと祭り来場者 35,000人	(今後の展開方針) 来場者数 H29年度: 40,000人	
5		平和の光イベント推進事業	H24 ~ H29	冬場は本県並びに本市の観光客が閑散とするため、市内外の誘客を図るため、本県冬場の一大イベントである平和の光(イルミネーション)を実施する。	平和の光イベントの開催	平和の光イベント来場者数 80,000人	(今後の展開方針) 平和の光イベント来場者数 H29年度: 81,000人	
5		体験交流促進事業	H24 ~ H29	一次産業が盛んで体験型観光の最適地である本市の利点を生かし、観光客のさらなる誘客を図るため、体験型観光メニューの開発及び実施に取り組む。	体験交流指導員等の育成 体験交流イベントの開催 2回	体験観光メニュー開発 5個 体験交流指導員等の育成 5人 体験交流事業参加者数 200人	(今後の展開方針) H26~H29年度 体験交流指導員等育成20人(累計) 体験交流事業参加者数800人(累計)	

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	接客スキルアップ事業	H24 ～ H26	商業及び商店街の活性化に向けて、糸満市を訪れる中国及び東南アジア観光客が商店街へ回遊した際の接客技術等の向上を図るため、販売促進講座等を開催する。	講習会の実施 (中国語セミナー、戦略セミナー、印象アップセミナー及び接客マナーセミナー)	講習会実施回数 8回 160人	(今後の展開方針) H24～26年度累計目標 講習会実施回数31回 講習会参加人数480人 フォローアップ調査により効果を測定する		
5	伝統行事観光化事業	H24 ～ H29	市内の伝統行事を市内外からの観光客の誘客に活用するため、誘客マネジメント、観光客用観覧席の設置を行う。	誘客マネジメント(観覧席設置) 観光動向調査 2回	誘客マネジメント(糸満ハーレー、糸満大綱引行事観覧席設置 観覧席数180席) 観光動向調査 2回	(今後の展開方針) H26～29年度 観覧席設置2回(糸満ハーレー、糸満大綱引行事) 観覧者数年間360名		
5	民泊受入体制強化事業	H24 ～ H29	市を訪れる観光客のさらなる増加を目指し、民泊事業の市民への周知と受け入れ世帯の開拓による教育旅行の拡充を図るため、安心・安全な受け入れに向けた研修や知識向上などの民泊受入体制の整備に取り組む。	民泊受入民家向け講習会の開催数 6回	民泊受入民家向け講習会受講者数 150人 民泊受入世帯数 65世帯	(今後の展開方針) H29年度 講習会受講者数(延)600人 民泊観光客数 2,000人		
5	道の駅いとまんアーケード上屋建築事業	H25 ～ H26	観光客のさらなる誘客を目指し、市内で最も多くの観光客が来場する「道の駅いとまん」と周辺施設との連携強化を図り、雨天時や強い直射日光を避けて周辺施設の移動が可能となるよう、アーケード上屋の設置のため同施設管理組合を支援する。	アーケード上屋建築工事業補助金交付	アーケード上屋建築工事業の完了	(今後の展開方針) H27年度よりの運用開始を目指す。 ・完成後は「来場者数の増加」と「イベント広場の活用実績」で成果を図る		
5	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ～ H29	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を設置する。	管理運営基本計画の策定 ・管理運営基本方針 ・事業計画 など 展示基本計画の策定 ・展示資料の把握 ・配置計画 など	管理運営基本計画のとりまとめ 展示基本計画のとりまとめ	(今後の展開方針) H27年度:管理運営詳細計画、展示詳細計画、基本設計、用地取得、実施設計 H28年度:前期工事 H29年度:後期工事		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		糸満漁港整備事業	H25 ～ H28	海水交流の促進による水質の改善及び施設の利便性向上のため、糸満漁港ふれあい地区内ビーチを浚渫するとともに、養浜・通路・波除堤を整備する。また、観光漁業の推進を図るための調査及び施設整備を行う。	糸満漁港ふれあい地区内のビーチ浚渫に伴う工事の実施	糸満漁港ふれあい地区内のビーチ浚渫に伴う工事の完了	(今後の展開方針) H26年度:浚渫 H27年度:波除堤・通路・残土処理等 H28年度:養浜工事 H24総入園者数約454千人を3%増の467千人を目標とする	
6		海幸・陸幸振興事業	H24 ～ H33					
6		糸満市水産振興センター設置事業	H24 ～ H32	「漁業のまち」、「海人のまち」として市内外に知られ、市の発展に大きく貢献してきた水産業の振興に向けて、新たな水産技術の習得と応用による養殖・水産加工業等の新たな水産業の確立のための施設を整備する。	敷地造成工事の実施 ・外構工事の実施	敷地造成工事の完了 ・外構工事の完了	(今後の展開方針) H26:建設工事 H27:第2期実施計画書作成・建設工事 H28:第2期基本計画・実施設計作成 H28:第2期実施設計 H29:第2期:建築工事 H30:第3期:実施計画 :第3期実施設計 H31～:第3期:建築工事	
6		糸満和牛群改良整備事業	H24 ～ H29	農家の経営の安定化に向けて、仔牛のブランド化を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛のり - ス:40頭	優良母牛導入率:41% 55% (導入予定数269頭 H24～H25:109頭導入)	(今後の展開方針) 優良母牛り - ス計画年度別頭数 H24～25年度:109頭 H26年度:40頭 27～29年度:毎年40頭 H24～29年度:累計269頭 導入率:H29年度100% H32年度:子牛平均価格450,000円 (H23年度:321,583円)	10月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
6		小規模農家支援事業	H24 ～ H29	小規模農家の作業の効率化と農家経営の安定化に向けて、減農薬、減肥料及び鳥獣対策を推進するため、簡易パイプハウスの施設整備支援を行う。	防風ネット設置及び簡易パイプハウス設置	防風ネット設置数 32箇所 整備率:100% (設置予定数97箇所 H24～H25:65箇所) 簡易パイプハウス設置数 46基 整備率:100% (設置予定数110箇所 H24～H25:64箇所)	(今後の展開方針) ・防風ネット設置 H26～29年度:10箇所/年 H24～29年度:累計97箇所 ・簡易パイプハウス設置 H26:15基/年 H27～29年度:10基/年 H24～29年度:累計110基 H29年度:対象品目出荷量: 1,095t	10月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			島ヤサイ生産拡大及び消費拡大事業	H26 ~ H27	沖縄の観光資源にもなっている独特の食文化を継承し、流通及び消費拡大に繋げるとともに農家所得の向上を図るため、島ヤサイ栽培の実証用の防虫対策ハウスの設置と消費拡大に取り組む。	防虫ハウスの設置 料理教室の開催 学校給食への食材提供 レシピ開発 アンケート調査	防虫ハウスの設置:20基 0.7ha 料理教室の開催:5回 参加人数 述べ100人 学校給食への食材提供:2回 レシピ開発:5品目 アンケート調査:5回	(今後の展開方針) ・H27:防虫ハウス20基、作付面積0.7ha ・料理教室 6回 参加人数 120人 ・アンケート調査6回実施 ・実績報告書(総括)・レシピ作成6回	
6			地場産品販路拡大事業	H24 ~ H29	地場産品の販路が脆弱なため、姉妹都市・友好都市及び県内外において販路拡大を目的とした物産展を開催する。	物産展の開催:5回	物産交流会参加事業者数(延) 60事業者 物産交流展来場者数(延) 30,000人 商談会実施回数 6件 商談成立 3件	(今後の展開方針) 物産交流展来場者数 H29年度:(延)79,900人 (商談累計目標) 商談件数 36件 商談成立 18件	
6			糸満フェア開催事業	H25 ~ H29	本市の商工業の振興に向けて、多くの市民並びに県民へ地場産品をアピールし販路拡大を図るため、糸満フェアを開催する。	糸満フェアの開催:1回	参加事業者数 20事業者 糸満フェア来場者数 26,000人 H26年売上高 1,650,000円	(今後の展開方針) フェア来場者数 H25~29年度:120,000人(累計) H25年売上高(見込み) 1,595,721円	
6			衛星船舶電話購入設置補助事業	H26	漁業者の遠方操業における安全を確保し、緊急時の通報体制を強化するため、広域通信が可能な衛星船舶電話機の設置補助を行う。	衛星船舶電話の整備 対象漁船59隻	対象漁船に対する整備率 100%	(今後の展開方針) 遠方操業船の安全確保と水産業の振興を図る。	10月変更 (事業追加)
7			固有な歴史的経緯対応事業	H24 ~ H29					
7			平和の語り部育成事業	H24 ~ H29	戦争を身をもって体験した語り部が減少する中、苛烈を極めた地上戦が行われた沖縄県糸満市として、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世に継承するために、新たな「平和の語り部」を育成する。併せて、広く市民等に平和の啓発・発信するため、平和講演会並びにイベントを実施する。	語り部育成研修会の開催数 第1過程:3回/年 第2過程:3回/年 第3過程:10回/年 講演会開催数:1回	語り部育成人数 第1課程:18名 第2課程:15名 第3課程:13名 計46名 講演会観客数:約400名	(今後の展開方針) H27年度 育成者目標56名(延) H28年度 育成者目標66名(延) H29年度 育成者目標76名(延)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		糸満市戦争遺構保全・活用整備事業	H26 ~ H29	現在、市内に点在する避難壕や戦争で被害を受けた構築物は、かつての戦争の時代を物語る遺跡であり、後世に伝えることで歴史の生きた教材になりうる。 調査、保全・整備と段階を経て作業を行い、本市の平和教育・観光に役立つ資源として活用する。	戦争遺構保全・活用整備検討委員会開催数3回/年 保全・活用整備調査対象数30カ所	戦争遺構保全・活用基礎調査報告書	(今後の展開方針) H27年度 基本計画、地上部・壕内測量、地質・耐震解析調査 H28年度 実施計画、実施設計 H29年度 環境整備、管理手法の検討・実施 H30年度以降 県内外平和学習利用目標数6万人/年	
8		糸満市人材育成事業	H24 ~ H29					
8		確かな学力を育むサポート事業	H24 ~ H29	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	学習指導支援員配置数 小学校:5人 中学校:6人	・学習指導支援児童数 小学校:175人 生徒数 中学校:107人	(今後の展開方針) 学習指導支援員 H27~H29 毎年度16人配置 ・全国学力学習調査及び標準学力調査において全国との差を縮めていく。	
8		英語指導事業	H24 ~ H29	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	英語指導助手配置数 小学校:4人、中学校:3人	・英語指導助手配置クラス数 小学校:45クラス、中学校:61クラス	(今後の展開方針) 英語指導助手 H27~H29 毎年度7人配置 ・全国学力学習調査及び標準学力調査において全国との差を縮めていく。	
8		障害児支援ヘルパー派遣事業	H24 ~ H29	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置するとともに、ヘルパーの資質向上を目的とした研修会を開催する。	障害児支援ヘルパーの配置 幼稚園:5人、小学校:22人、中学校:3人	支援園児・児童・生徒数 幼稚園:11人、小学校:61人、中学校:2人	(今後の展開方針) 障害児支援ヘルパー H27~H29 毎年度40人配置	7月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
8		学びの体験事業	H24 ~ H26	学力調査で全国一低い沖縄県の状況を改善するため、学習に対する心構えや学校生活・放課後の過ごし方など、先進地の学校における“学び”を体験し、派遣元の生徒や地域に波及させ、学力向上を図るため、学力向上で成果を上げている秋田県に直接児童等を派遣する。	同交流参加者数 55人 (小学生20人、中学生16人、幼小中教諭14人、団長1人、看護師1人、事務局3人)	・報告会の開催(実践発表・報告書作成により派遣生徒等の意識向上。) ・報告書の配布(1,000部 学力向上における先進地の取り組みを周知する。)	(今後の展開方針) 先進地交流参加数 H26年度:55人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		特別支援教育指導コーディネーター配置事業	H25 ~ H29	障がいのある児童生徒に関し、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面から支援する特別支援教育を行うため、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	特別支援教育指導コーディネーター配置1人	市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談 年120回	(今後の展開方針) 特別支援教育コーディネーター配置 H27~H29 毎年度1人配置	
8		教育用コンピュータ整備事業	H25 ~ H29	学校のICT環境整備を行うことでパソコン・校内LANを通じたインターネットの活用等により、分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、コンピュータを導入する。	教育用コンピュータ整備:小学校3校(123台)	市内小中学校における教育用コンピュータの整備率:43%	(今後の展開方針) コンピューター整備総数:498台 H25:小学校3校(103台) H26:小学校3校(123台) H27:中学校3校(123台) H28:中学校2校(82台) H29:小学校2校(67台)	
8		適応指導教室設置事業	H25 ~ H29	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	適応指導教室 主任教諭配置数:1人 補助教諭配置数:1人 教育相談員:2人	サポート児童生徒の平均登校日数:80日	(今後の展開方針) 主任教諭・補助教諭・教育相談員配置 H27~H29 毎年度4人配置	
8		情報教育支援員配置事業	H25 ~ H29	児童生徒のコンピュータ授業支援及び教諭に対するコンピュータ教育の指導及び支援を行い、情報化時代に対応しうる人材を育成する情報教育を推進するため、市内小・中学校に情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員配置1人	市内小中学校16校へ派遣	(今後の展開方針) 情報教育支援員配置 H27~H29 毎年度1人配置	
8		教育環境整備事業	H25 ~ H29	児童・生徒の教育環境改善を目的に、小学校校舎屋根断熱防水工事、空調設備設置工事、ハブ侵入防止対策工事、中学校の校舎屋根断熱防水工事及び空調設備設置工事を行う。	小学校屋根断熱防水施工数:1校 小学校空調機設置数:4校 ハブ侵入防止柵設置数:1校 中学校屋根断熱防水施工数:1校 中学校空調機設置数:4校	小学校屋根断熱防水施工:1校 小学校空調機設置:4校 ハブ侵入防止柵設置:1校 中学校屋根断熱防水施工:1校 中学校空調機設置:4校	(今後の展開方針) H27:(断熱)幼稚園1園 (空調)小学校2校、中学校3校 H28:(断熱)幼稚園1園 (空調)小学校2校、中学校3校 H29:(断熱)幼稚園1園 (空調)小学校2校、中学校3校	
9		元気のつながるまち事業	H24 ~ H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
9		子育て応援NPO活動支援事業	H24 ～ H33	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。	相談活動、訪問活動、親対象の研修、支援者対象研修	<ul style="list-style-type: none"> ・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会 10回 ・支援者対象研修 12回 	(今後の展開方針) H27～33年度 <ul style="list-style-type: none"> ・相談活動 80件/年 ・訪問活動 70件/年 ・親対象の学習会 7回/年 ・支援者対象研修 9回/年 ・要支援家庭に対する定期的・継続的な体験学習(親子) 240回/年 	
9		障がい者就労支援事業	H24 ～ H28	障がいのある方の雇用は極めて厳しい状況にあり、住み慣れた地域での雇用の確保に向けて、障がいのある方が従事する施設で製造する商品等を自ら販売するため、市内数ヶ所に販売所を設置するとともに、商品開発、商品PR等物販に係るノウハウを習得のための支援を行う。	事業所連絡会議の開催 8回 事業所職員研修の開催10回	新商品開発件数:10件	(今後の展開方針) H27～H28年度 市内就労支援事業所への個別支援(市内全17箇所) 商品開発、販路拡大等件数(累計)48件	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		コザ文化を活かした観光振興プロジェクト	H24 ～ H33					
1		観光基盤整備事業	H24 ～ H26	魅力ある観光資源の情報発信および観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本市の観光情報等が入手できるよう、Wi-FiスポットやAR基盤アプリケーションの整備、利用者等の意見を踏まえた機能の追加・改善をおこなう。	無料公衆Wi-Fiの導入 観光ポータルサイトの構築・拡充 ICTサービスの実施 観光プロモーションの実施 各メディア1回以上 事業効果測定	主要イベント来場者数 684.8千人 (H23:628.0千人) 主要施設来場者数 2,324.5千人 (H23:2,255.2千人) 観光ポータルサイト閲覧数:270,000回	主要イベント 沖縄全島エイサーまつり、エイサーナイト、おきなわマラソン、ピースフルラブ・ロックフェスティバル、ミュージックタウン音市場イベント、キジムナーフェスタ、沖縄こどもの国フェスティバル、沖縄国際カーニバル、沖縄市産業まつり 主要施設 コザ運動公園、沖縄こどもの国、沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート、中部ファーマーズマーケットちゃんぶるー市場、倉敷ダム、バヤオ直売店、東南植物楽園	
1		kozafilmオフィス事業	H24 ～ H33	映画・ドラマ等の撮影誘致を行うことで、伝統文化や景観など本市の魅力ある地域資源を広く内外へ発信し、誘客の拡大による地域経済の活性化を図る。	誘致活動 6回 撮影支援 エキストラデータベース充実	市内撮影誘致 20件	(今後の展開方針) H27～33年度 撮影隊誘致活動 6回/年 撮影隊の支援 12ヶ月 ロケ地情報等の情報発信 HP充実等 主要イベント来場者数 平成28年度目標 73万人 主要施設来場者数 平成28年度目標 241万人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖繩市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		音楽資源収集事業	H24 ～ H28	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、関係者への聞き取り調査、収集した資料を用いた企画展の開催、展示室の運営など音楽資料の常設展示（音楽ミュージアム）に向け取り組む。	音楽・芸能資源収集数：100点 企画展の開催：2回 展示室の運営	企画展集客数：2,800人 展示室入場者数：8,000人	(今後の展開方針) H27年度 音楽資源の収集：100点 企画展の開催：2回 展示室の運営 H28年度 企画展の開催（集客数目標3,200人） 展示室の運営（入場者目標15,000人） 音楽資料の常設展示（音楽ミュージアム）の計画策定・検討	
1		音楽観光誘客事業	H24 ～ H28	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、観光資源であるライブハウスを活用した定期イベントや沖縄の伝統音楽および民俗芸能などを中心とした音楽イベントを開催する。 また、誘客を図るため、観光産業や音楽産業との連携によるプロモーションなどを実施する。	平日ライブの開催 275回 週末企画イベントの実施44回 各種自主企画イベントの実施61回 野外音楽イベントおよび沖縄芸能企画展の開催 1回 ワークショップの開催 10回	ライブハウス入場者数 12,400人 ライブハウス集客率 75% 野外音楽イベントおよび沖縄芸能企画展集客数 3,630人(3,600人) ワークショップ参加者数 130人(130人)	(今後の展開方針) H27年度 自主イベント補助 野外音楽イベントおよび沖縄芸能企画展の開催 1回 ワークショップの開催 15回 H28年度 自主イベント補助 野外音楽イベントおよび沖縄芸能企画展の開催 1回 ワークショップの開催 15回 (目標) ライブハウス入場者数 13,000人 野外イベント集客数 4,400人	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			文化活動拠点施設改修事業	H24 ～ H30	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設である沖縄市民会館の舞台機構や舞台照明、沖縄市民小劇場あしびなーの空調など設備の機能充実を図る。	沖縄市民会館 舞台機構物価調査 舞台照明物価調査 計2件 設計:舞台・照明設備改修工事設計 計1件 舞台機構改修 舞台照明改修 計2件 沖縄市民小劇場あしびなー空調改修 計1件	沖縄市民会館 稼働率 70%以上 沖縄市民小劇場あしびなー 稼働率 70%以上 利用者満足度の割合 70%以上	(今後の展開方針) H27年度 改修工事:舞台機構、舞台照明 H28年度 設計:音響・照明 改修工事:舞台機構(幕) 中ホール舞台照明 H29年度 設計:照明 改修工事:音響・照明 中ホール H30年度 設計:客席取替え 改修:照明 中ホール 施設機能強化後目標 施設稼働率:70%(H31)	
1			国際交流事業	H24 ～ H28	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を目指し、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などとの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。	コザインターナショナルプラザの運営 語学講座(英・中・スペイン) 週3回 多言語相談窓口(生活・法律)(上記言語) 週3回 日本語交流会 週2回 異文化理解講座 月1回 情報発信(市広報誌、コザインターナショナルプラザフェイスブック) 母語講座 月1回	受講者等人数 語学講座(英・中・スペイン) 4,500名(延べ) 多言語相談窓口(生活・法律)(上記言語) 120名 日本語交流会 1,100名(延べ) 異文化理解講座 500名(延べ) 情報発信5,000件(フェイスブック閲覧件数) 母語講座 60名(延べ)	(今後の展開方針) H27～28年度 語学講座(英・中・スペイン) 週3回 多言語相談窓口 週3回 日本語交流会 週2回 異文化理解講座 月1回 情報発信 母語講座 月1回	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		エイサーのまち推進事業	H24 ~ H33	<p>エイサーを活用した観光振興および地域活性化を図るため、エイサーの拠点となる(仮称)青年エイサー会館の整備に向け取り組むとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実、パナー掲揚やエイサーモニュメント設置によりエイサーのまち沖縄市をPRする。</p> <p>また、エイサー体験等による観光誘客を促進するとともに、エイサー関連資源のブランド化およびエイサーによる文化交流活動等を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エイサー会館準備室の運営 12ヶ月 ・沖縄全島エイサーまつりシャトルバスの運行 2日間 ・沖縄全島エイサーまつり打上花火、レーザーショーの実施 2日間 ・エイサー検定の支援 3級~1級:常時、特級:2回 ・エイサーキャラバンの支援 5回 ・エイサーグッズ開発の支援 1種類 ・エイサーコーディネート業務 12ヶ月 ・エイサー資源活用業務 12ヶ月 ・エイサーモニュメント設置 1箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄全島エイサーまつり来場者数 330千人 (H23:330千人) ・エイサーナイト来場者数 12千人 (H23:10千人) ・主要イベント来場者数 684.8千人 (H23:628.0千人) ・主要施設来場者数 2,324.5千人 (H23:2,255.2千人) ・エイサー検定受検者数:6,000人 	<p>(今後の展開方針)</p> <p>H27~33年度 エイサーキャラバン 5回/年 エイサー検定 4種類/年 沖縄全島エイサーまつり空間演出 2日/年 沖縄全島エイサーまつりシャトルバス 2日/年</p> <p>(仮称)青年エイサー会館 H27年度:基本設計 H28年度:用地取得 H29年度:実施設計 H30年度:建設工事 H31年度:オープン</p>	
1		伝統文化観光推進事業	H24 ~ H33	<p>本市の伝統文化や工芸を魅力ある観光資源として活用し、伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、伝統行事である「ンマハラシー(美ら競馬)」の復活への支援を行うとともに、より効果的な馬の飼育・調教等の技術習得や各種団体と連携した誘客活動を実施する。</p>	<p>ンマハラシーの開催 3回 ンマハラシーの普及活動 12ヶ月</p>	<p>ンマハラシー観覧者 2,000人×3回</p>	<p>(今後の展開方針)</p> <p>H27~33年度 ンマハラシーの大規模イベント 3回/年 普及活動 12ヶ月/年</p>	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		地域自然環境調査事業	H24 ～ H28	沖縄市全域の生物の生息状況確認を目指し、嘉手納弾薬庫等により市域が分断され貴重な自然環境資源が現存する「嶽山原」地域をはじめ、市内に点在する緑地の調査を実施する。	嶽山原地域等の自然調査の実施 市内調査 120回	市内陸域の動植物調査実施率 80% 採集した標本を活用した展示会 来館者 1,000人 (沖縄市立郷土博物館の来館者目標 15,500名)	(今後の展開方針) H27年度 生物調査、標本作製 原稿執筆など特別展示に向けた取り組み 28年度 報告書作成および展示	
1		文化財等整備事業	H24 ～ H31	貴重な文化資源の保存・活用による観光を創出するため、経年劣化による破損が著しい「奉安殿」と「忠魂碑」の修復等をおこなうとともに、見学通路など周辺環境整備を実施する。 また、各地域における文化財の周知等を図るため説明板等を設置する。	「奉安殿」「忠魂碑」保存修理工事 周辺環境整備の実施設計 文化財説明板等の整備数4地域	「奉安殿」「忠魂碑」保存修理工事実施率100% 周辺環境整備の実施設計実施率100% 文化財説明板等の整備数4地域	(今後の展開方針) H27年度奉安殿・忠魂碑周辺環境 整備工事 H27年度文化財説明板整備3地域 H28年度文化財説明板整備2地域 H29年度文化財説明板整備2地域 H30年度文化財説明板整備4地域 H31年度文化財説明板整備1地域	
1		文化財等公開デジタル化事業	H24 ～ H27	本市の歴史、民俗、自然を広く紹介するためサーバシステムを整備し、沖縄市立郷土博物館が保有する写真資料や収蔵品等台帳の情報をシステムへ掲載・公開し、借用手続きの簡素化等により来館者が利用しやすい環境整備を図る。	台帳公開7,500件 写真10,000点公開	公開システムを確認しての資料貸し出し100件	(今後の展開方針) 27年度: 英語に対応。公開できる写真を選別し公開 公開システム利用目標 H28以降:毎年100件以上	
1		戦後文化資料等展示事業(デジタル化)	H24 ～ H29	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」における観光誘客のさらなる拡大を図り、地域の活性化へつなげていくため、本市関係の戦後資料である映像資料の収集等及び新聞記事資料のデジタル化を実施する。	新聞記事デジタル化作業 1996年-2000年 戦後映像資料収集作業	新聞記事デジタル化作業進捗率 100%(H26年度分) 沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート来場者数 13,000名	(今後の展開方針) H27年度 映像資料収集作業、新聞記事デジタル化作業1995～1989年(7年) H28年度 新聞記事デジタル化作業1982～1988年(7年) H29年度 新聞記事デジタル化作業1974年5月～1981年(7年8月)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光宣伝事業	H25 ～ H33	観光誘客の拡大を図るため、観光プロモーション活動や観光情報誌の製作等による情報を発信する。 また、更なる誘客効果の拡大を目指すため、観光戦略プランにおいて基本戦略として位置づけられている「魅力ある観光メニューの展開」として、新たに音楽を活用した観光メニューを展開する。	観光情報誌 1種類 通年型観光マップ 3種類 季刊誌 2種類 観光ガイド養成講座:2回 観光メニュー開発 5種類 モニターツアー 3回 情報発信 12ヶ月	主要イベント来場者数 684.8千人 (H24:635.7千人) 主要施設来場者数 2,324.5千人 (H24:2,219.9千人) 観光ガイド養成数:20名 モニターツアー参加者数:60人	(今後の展開方針) H27～33年度 観光情報誌 1種類/年 通年型観光マップ 3種類/年 季刊誌 2種類/年 観光ガイド養成 20名/年 観光メニュー開発 5種類/年 モニターツアー 3回/年 情報発信 12ヶ月/年	
1			自主文化事業	H25 ～ H27	本市独自の魅力ある文化芸術作品と観光を連携させ、沖縄市をPRしさらなる誘客を図るため、沖縄市発の市民ミュージカル「コザ物語」を市内外で公演する。	市民ミュージカル「コザ物語」上演 2回	入場者数 約1,500人	平成27年度 コザ物語2回	
2			スポーツコンベンション推進プロジェクト	H24 ～ H33					
2			スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ H33	スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツ等団体のPRをはじめ、関係団体や地域等とのスポーツ交流・体験およびイベントの開催など、「スポーツコンベンションシティ沖縄市」の定着に向け取り組む。	スポーツ合宿誘致 12ヶ月 スポーツ大会誘致 12ヶ月 プロスポーツ団体等活動支援 4団体 スポーツコンベンション推進協議会開催	スポーツ合宿延べ宿泊者数 12,000人 スポーツ合宿団体数 50団体	(今後の展開方針) H27～29年度 スポーツ合宿誘致 12ヶ月/年 スポーツ大会誘致 12ヶ月/年 プロスポーツ団体活動等支援 4団体/年	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖繩市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		商店街スポーツイベント等連携促進事業	H25 ~ H33	商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客等を商店街等に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う。	シャトルバスの運行(沖縄市開催時) グッズ開発 3種類 まち歩きツアーの実施 5回 パンフレット制作:10,000枚	シャトルバスの利用者数 来場手段分担率10%以上 グッズ開発:3種類 まち歩きツアー参加者数:50人 パンフレット配布:10,000枚 ポイント発行数 5,000ポイント	(今後の展開方針) ・H25～H27年度 スポーツイベントと商店街等の効果的な連携手法の調査・実証 ・H28年度～H30年度 複数のスポーツイベントへの展開可能性に係る調査・実証 ・H31年度～H33年度 複数のスポーツイベントとの連携に係る統合的な運営体制の確立 歩行者通行量 H21年度:5,964人 H33年度:6,302人	
3		観光都市基盤整備事業	H24 ~ H33					
3		道路景観形成推進事業	H24 ~ H33	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路植栽の整備計画をはじめ、沿道美化業務や道路植栽等整備工事、道路照明器具の整備等を行う。	沿道美化業務の実施 実施設計(道路植栽等)の実施 道路植栽等整備の実施 照明灯LED化の実施	沿道美化業務 6路線の完了 実施設計(道路植栽等) 1路線の完了 道路植栽等整備 1路線の完了 照明灯LED化 取替16基の完了	(今後の展開方針) H27年度 沿道美化業務 5路線 実施設計(道路植栽等) 2路線 道路植栽等整備 2路線 照明灯LED化 取替10基 H28年度 沿道美化業務 5路線 実施設計(道路植栽等) 2路線 道路植栽等整備 2路線 照明灯LED化 取替10基 H29年度～H33年度 沿道美化業務 5路線 実施設計(道路植栽等) 2路線 道路植栽等整備 2路線 照明灯LED化 取替10基 主要施設来場者数 H22:219万人 H28:241万人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			観光地周辺道路整備事業	H24 ～ H27	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性を確保するため、歩行空間における小広場(ポケットパーク)の整備を行う。	小広場(ポケットパーク)整備の実施	小広場(ポケットパーク)の整備 1箇所の完了	(今後の展開方針) H27年度 サイン・モニュメント等の整備 3基 主要施設来場者数 H22:219万人 H28:241万人	
4			未来を創る人材育成事業	H24 ～ H33					
4			こども科学力育成事業	H24 ～ H33	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベント、出前科学教室を開催する。	科学イベント開催 13回 出前科学教室開催 70回	科学関連イベント参加者数 63,800人	(今後の展開方針) H27～33年度 イベント14回、出前教室70回 参加者数:64,000人を目指す	
4			児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ H33	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育補助者等の配置によるきめ細やかな学習支援、キャリア教育コーディネーターによる職場見学や職場体験の指導・支援、教科コーディネーターによる授業改善の指導・支援、児童生徒への外国語指導、外国人児童生徒への日本語指導等を行う。	キャリア教育コーディネーターの配置 2人 教科コーディネーターの配置 3人 日本語指導員の配置 3人 外国語指導助手の配置 25人 学習支援員の配置 16人	キャリア教育コーディネーターの配置 2人 目標 対応可能児童生徒数 1,270人 研修会・講演会等 5回 教科コーディネーターの配置 3人 目標 対応可能児童生徒数 1,280人 授業回数:202日 日本語指導員の配置:3人 目標 対応可能生徒数:26人 授業回数:1,630回 外国語指導助手の配置:25人 目標 対応可能生徒数14,814人 授業回数:202日 学習支援員の配置:16人 目標 対応可能児童数804人 授業回数:60日 沖縄県学力到達度調査(H27年2月実施)の対象学校における平均正答率30%未満児童の割合を、H25年度との比較で20%削減	(今後の展開方針) H27～33年度 コーディネーター及び学習支援員、指導助手等の配置 標準学力調査の実施及びその結果を活用し、沖縄県の総括目標に沿って、H29年度までに全国水準に高める活動を推進する。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ~ H33	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士 1人 ・介護福祉士 2人 ・幼稚園特別支援学級担当 40人 ・幼稚園特別支援教育支援員 6人 ・預かり保育特別支援教育支援員 8人 ・心理士 2人 ・保健師 1人 ・看護師 1人 ・市スクールカウンセラー 10人 ・心の教室相談員 8人 ・市スクールソーシャルワーカー 2人 ・学校支援教育補助者 15人 ・特別支援教育補助者 39人 ・教育相談員 2人 ・適応指導教室指導員 2人 ・巡回支援指導員 4人 ・適応指導教室正式入級数 10人 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士 1人 園児220名の対応 ・介護福祉士 2人 園児1名の対応 ・幼稚園特別支援担当 40人 園児78名の対応 ・幼稚園特別支援教育支援員 6人 園児142名の対応 ・預かり保育特別支援教育支援員 8人 園児33名の対応 ・心理士 2人 目標:検査件数160件 ・保健師 1人 目標:相談及び指導助言件数60回、健診業務16回 ・看護師 1人 目標:児童対応数1名 ・市スクールカウンセラー 10人 目標:カウンセリング実施数650件 ・心の教室相談員 8人 目標:相談件数650件 ・市スクールソーシャルワーカー 2人 目標:対応件数150件 ・学校支援教育補助者 15人 目標:不登校児童生徒数 H23年度215件を基準として毎年20%減(H26:138件) ・特別支援教育補助者 39人 目標:支援生徒数110名 ・教育相談員 2人 目標:相談活動等300件 ・適応指導教室指導員 2人 目標:適応指導教室正式入級数10名のうち70%を普通教室に通えるよう指導。 ・巡回支援指導員 4人 目標:巡回支援回数500回以上 	(今後の展開方針) H27～33年度 幼稚園・小学校・中学校へ特別支援担当及び教育補助者の設置 スクールカウンセラーの設置 16校/年 適応指導教室教育相談員及び指導員、巡回支援指導員の配置		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			青少年指導育成事業	H25 ～ H28	青少年の非行防止および健全育成を図るため、青少年指導員を配置し、電話・来所・訪問相談、登下校の巡回指導、夜間の街頭指導等を行う。	青少年教育相談指導員配置 8名 青少年指導員配置 126名	青少年教育相談指導員 8名 青少年指導員 126名 登下校の巡回指導 200回 夜間の街頭指導 250回	(今後の展開方針) H27～29年度 登下校の巡回指導 200回/年 夜間の街頭指導 250回/年	
4			中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25 ～ H29	国際社会で活躍できる人材育成のため、海外での短期ホームステイ活動を支援する。	派遣人数 14名	派遣人数:生徒14名 派遣後、アンケートによる意識調査を実施。 本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用する。	(今後の展開方針) H27～33年度:短期ホームステイ活動支援 派遣人数 14名	
5			すこやか子育て推進事業	H24 ～ H33					
5			こどもいきいき安心事業	H24 ～ H28	こどもたちが安心して過ごすことができる場の確保・充実のため、放課後児童支援センターによる放課後児童クラブの巡回指導等を実施するとともに、これまで行ってきた調査等を踏まえ、地域の公共施設等を活用したこどもの居場所づくりをすすめる。	放課後児童クラブ指導員の配置 3人 放課後児童クラブ研修会の開催 2回	放課後児童クラブへの訪問回数 延300回 放課後児童クラブの研修会参加者数 延100人	(今後の展開方針) H27～28年度: ・民間放課後児童クラブ強化・支援 ・地域、学校、放課後児童クラブ等連携強化 ・新たなこどもの居場所づくりの模索	
5			園児の健やかな成長を支える保育事業	H24 ～ H33	子育て家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園において、教育時間の終了後も引き続き園児を預けることのできる「預かり保育」を実施する。	預かり保育の実施	預かり保育実施学級数 24学級(16園)	(今後の展開方針) H27～28年度 16園にて預かり保育を実施し、安心して子育てができる環境を整える	
6			沖縄市きめ細かな就労支援事業	H24 ～ H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			若年者就労等支援事業	H24 ～ H28	若年者の雇用創出および失業者対策を図るため、若年求職者及び保護者等を対象に、専門の相談員等による地域巡回型の就労支援や人材育成に繋がる資格取得講座等の定期開催等を実施する。 また、心因性の理由等により就職が困難な若者を対象に、社会的・経済的自立支援を図るため、就労へ向けた支援や生活訓練、職業訓練等を実施する。	巡回就労相談 80回/年 資格取得講座 20回/年 アウトリーチ 400件/年 カウンセリング 90回/年 農業実習 48回/年 自立訓練 12回/年 学習支援 240日/年	巡回就労相談人数 100人 アウトリーチ人数 480人(述べ) カウンセリング受診者数:270人 農業実習受講者数:240人 自立訓練受講者数:48人 学習支援人数 300人	(今後の展開方針) H27～28年度 アウトリーチ(想定件数)400件/年 カウンセリング90回/年 学習支援・職業訓練等 農業実習 48回/年 自立訓練 12回/年 学習支援 240日/年 巡回就労相談回数 80回/年 人材育成(資格取得等)講座回数 20回/年	
6			中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24 ～ H26	港湾機能の充実により地元中小企業の振興と雇用の創出を図るため、中城湾港新港地区において運送費等にかかる物流促進支援を行う。	運送費等に対する助成の実施	中城湾港における実証実験船貨物量 750t / 回	(今後の展開方針) H27年度以降 定期船就航を週2回以上実施することにより、中城湾港新港地区西埠頭を充実強化し、市の産業振興を図る。	
6			就労支援センター運営事業	H25 ～ H28	雇用の対策を図るため、沖縄市就労支援センター等において、求職者を対象に、就労相談や就労支援講座等の開催および職場体験のコーディネート、職業斡旋などをおこなう。	就労相談 2,000人/年 就労支援講座等の開催 10回 職場体験のコーディネート 30件 職業斡旋(想定件数)500件/年	就職決定者数 700人	(今後の展開方針) H27年度 就労相談 約2,000人/年 就労支援講座の開催 11回 職場体験 35件 職業斡旋(想定件数)500件/年 就職決定者 725人 H28年度 就労相談約 2000人/年 就労支援講座の開催:12回 職場体験:40件 職業斡旋(想定件数)500件/年 就職決定者 750人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖繩市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		中小企業人材育成支援事業	H25 ~ H27	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のための人材育成支援をはじめ、在沖米軍発注業務の受注にかかる通訳・翻訳などの契約業務を支援することにより、本業務にかかるノウハウを持った人材を育成し、産業の振興や新たな雇用の創出を図る。	人材育成講座の開催 9回 米軍発注業務受注支援(情報発信) 12ヶ月	人材育成講座受講者数 162人 入札参加件数 10件	(今後の展開方針) H27年度 人材育成支援 米軍発注業務受注支援 目標 人材育成講座受講者 162人/年 米軍発注業務受注件数 10件 米軍発注業務受注金額 1億円	
6		雇用環境基盤検討調査事業	H24 ~ H33	本市の雇用対策を図るため、企業誘致や雇用創出の受け皿となる基盤整備の調査検討を行う。	基礎調査(交通)の実施	雇用基盤整備候補地区の交通量調査	(今後の展開方針) H27年度 基本計画策定 H28年度 現地測量実施 H29年度 基本設計 H30~H33年度 用地買収 事業実施後 雇用創出目標:8,023人	
		(仮称)雇用促進施設整備事業	H26 ~ H27	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。	・建物の取得:24,926.9556㎡(述床面積から市が既に所有している小劇場分を除いた面積) ・用地の取得:7,449.75456㎡(敷地面積から市が既に所有している小劇場分を除いた面積)	・建物取得の完了:24,926.9556㎡(達成率100%) ・用地取得の完了:7,449.75456㎡(達成率100%)	H27年度 修繕・改修工事 事業実施後(概ねH29年度目標) 被雇用者目標:300人 現状約150人	12月変更(事業追加)
7		地域資源を活かした沖縄市ブランド推進事業	H24 ~ H29					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		H26成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
7		伝統工芸産業支援事業	H24 ～ H29	工芸産業の振興を図るため、本市の伝統工芸、工芸産業振興の中核である知花花織事業協同組合の生産体制の強化や担い手の育成および販路拡大等に対し支援を行う。	知花花織事業協同組合への支援 スキルアップ研修の実施 3回 新製品の開発 1点 展示会の開催2回	知花花織生産後継者育成数:10名 スキルアップ研修参加者:20名 新製品の開発1件(累計3件) 展示会来場者数:400名	(今後の展開方針) H27～29年度 補助金 スキルアップ研修 3回/年 目標 知花花織事業協同組合員数 H25:43名、H26:53名、H27:63名、 H28:73名、H29:83名 新製品の開発、H25:1点、H26:1点、 H27:1点、H28:1点、H29:1点 販売額目標 H23:1,560千円 H26:18,000千円 H29:25,000千円		
7		工芸による街づくり事業	H24 ～ H29	工芸品の販路拡大をはじめ、工芸従事者の生産意欲の高揚および工芸に対する市民の意識啓発など、工芸産業の振興を図るため、沖縄市工芸フェアの開催等を支援するとともに、工芸産業の全般的な振興に寄与することを目的として、(仮称)沖縄市工芸の郷の整備に向けた取り組みを実施する。	県外での出展 1回 沖縄市工芸フェア開催 1回	沖縄市工芸フェア来場者 20,000人 県内外出展業者数 延べ74店舗	(今後の展開方針) H27年度 販売促進支援(市内支援1カ所、 県外展1回) (仮称)沖縄市工芸の郷整備 H27:基本設計、用地取得、管理運営計画 H28:建築審査に係る建築許可申請 、計画通知、実施設計、条例化、公募、決定業務 H29:建設工事及び運営準備 H27～29年度目標 工芸フェア来場者:20,000人		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		地域ブランド推進事業	H24 ～ H29	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源(二次加工品等)を沖縄市ブランドとして認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。	地域ブランド認定制度 3商品 地域資源選定制度 10商品 プロモーション活動 10ヶ月 地域ブランド補助金交付 3件/年	コザスター商品認定数 延べ11商品 コザチョイス商品選定数 延べ83商品 新商品開発 3件	(今後の展開方針) H27年度 地域ブランド認定制度 延べ14商品 地域資源選定制度 延べ93商品 プロモーション活動 10ヶ月 地域ブランド補助金交付 3件/年 H28年度 地域ブランド認定制度 延べ17商品 地域資源選定制度 延べ103商品 プロモーション活動 10ヶ月 地域ブランド補助金交付 3件/年 H29年度 地域ブランド認定制度 延べ20商品 地域資源選定制度 延べ113商品 プロモーション活動 10ヶ月 地域ブランド補助金交付 3件/年	
8		アグリビジネス推進事業	H24 ～ H26	農業生産および農業経営の安定化を図るため、台風等の自然災害に影響を受けにくい栽培施設の整備に対し支援を行う。	生産施設(強化型パイプハウス)の整備に対する支援	栽培施設面積 5,000㎡ 支援農家7戸	(今後の展開方針) 栽培施設整備(5,000㎡)による、農業生産の拡大	
9		災害に強いまちづくり事業	H24 ～ H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		地域防災対策事業	H24 ~ H33	<p>災害等に備えるため、災害用備蓄品の確保をはじめ、防災行政無線子局のデジタル整備(H26~H27年度)や避難場所標識の設置等に取り組む。 また、地域防災力を強化するため、継続して自主防災組織の結成促進・育成を実施する。</p>	<p>災害用備蓄品の確保:10,000食 防災無線子局のデジタル化:工事(80) 津波避難ビルタワー:基本計画 防災組織の結成:新規5組織 防災組織資機材整備:5組織 防災倉庫整備(8)</p>	<p>・災害用備蓄品の整備率 68.85% (備蓄目標 61,000食) H24~H26 42,000食</p> <p>・防災行政無線子局のデジタルカバー率 (市面積 49.00km²) 【市街地32.1km²・基地面積 16.9Km²】 H25~H26 カバー率(市街地32.1Km²) 56.63% 94/166</p> <p>・津波避難ビル・タワー(基本計画)</p> <p>・自主防災組織の結成率 34.15% 自主防災組織結成目標数 41組織 H17~H25結成数 14組織</p> <p>・自主防災組織資機材整備率 24.39% 資機材整備予定組織数 41組織 H17~H25設置数 10組織</p> <p>・防災倉庫整備率 24.36% 19/78 (防災倉庫整備予定数 78箇所 H24~H26 19箇所)</p>	<p>(今後の展開方針) H27年度 防災無線子局のデジタル化:工事(72) 津波避難ビルタワーの実設計 防災組織の結成:新規5組織 防災組織の資機材整備:新規5組織 防災倉庫整備(8)</p> <p>H28年度 津波避難ビル・タワーの工事 防災組織の結成:新規5組織 防災組織の資機材整備:新規5組織 防災倉庫整備(8)</p> <p>H29年度~H31年度 防災組織の結成:新規5組織 防災組織の資機材整備:新規5組織 防災倉庫整備(8)</p> <p>H32年度~H33年度 防災倉庫整備(8)</p>	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	災害時緊急避難通路整備事業	H24～H33	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 緊急避難通路 実施設計の実施 緊急避難通路 用地測量の実施 緊急避難通路 用地購入の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急避難通路 実施設計3ヶ所の完了 緊急避難通路 用地測量3ヶ所(H25年度実施設計力所)の完了 緊急避難通路 用地購入3ヶ所(H25年度実施設計力所)の完了 	(今後の展開方針) H27年度 緊急通路:実施設計2ヶ所、用地測量3ヶ所、用地購入3ヶ所、緊急通路工事3ヶ所 H28年度 実施設計2ヶ所、用地測量2ヶ所、用地購入2ヶ所、緊急通路工事3ヶ所 H29～H33年度 用地購入及び緊急通路工事 ・避難所までの避難時間の短縮 整備前:平均15分 整備後:平均8分(7分短縮) 仮の避難ルート(正式には自主防災組織にて決定)の距離をネット上で計測しているため、おおよその避難時間で算出		
9	救命処置普及強化事業	H25～H29	災害時等において、市民等に重篤な傷病者が発生した場合、居合わせた方が救急処置をおこなえるよう、救急講習会の開催を増やすとともに、24時間営業のコンビニにAEDを設置し、市民等の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	コンビニへのAED設置 新規4店舗 応急講習会の開催 180回	市内コンビニ AED設置率 100% 応急講習会開催 受講者数 3,800人 (平成25年度実績2,756人)	(今後の展開方針) H27年度 応急講習会 204回 受講者数 4,300人 H28年度 応急講習会 228回 受講者数 4,800人 H29年度 応急講習会 252回 受講者数 5,300人 (応急講習会受講者述べ人数 目標:21,500人)	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
9	学校安全対策強化事業	H24～H33	安全教育(防災・交通・防犯)で、子どもたちの安全への意識を高めるために、土地の標高や避難場所、危険箇所等の情報を盛り込んだハザードマップを、子どもたちが普段から活用する学習用具である下敷き(小学校区ごとに作成)にして幼稚園・小中学校に配布する。	小学校区ごとの安全下敷き作成・配布	市内幼児、児童生徒全員へ配布(約17,000枚)	(今後の展開方針) H27～33年度 市内幼稚園、小中学校 全員(約17,000人)に配布し、安全への意識を高める		
10	米軍統治期や基地等にかかる課題に対処する事業	H24～H33						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	里道および水路の境界確定復元事業	H24～H33	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。	里道の境界確定測量実施 水路の境界確定測量実施	里道 6,300mの境界確定測量完了 水路 4,375mの境界確定測量完了	(今後の展開方針) H27～33年度 里道の測量 各年度 9,000m 水路の測量 34km 各年度 4,375m 累計34km 最終年度 1,072m(但し、概算)		
10	沖縄市特定駐留軍用地内土地取得事業基金	H25～H33	特定駐留軍用地の指定を受けたキャンプ瑞慶覧口ウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、基金を創設し公用地の先行取得をおこなう。	用地取得 約2,700㎡	用地取得 約2,700㎡ 達成率:12.4%	(今後の展開方針) H27～33年度 用地取得 約19,000㎡ H33年度(最終年)取得予定総面積21,700㎡		
11	東部海浜地区開発事業	H25～H28	スポーツコンベンション拠点を目指す東部海浜開発地区の公共施設基本計画策定等(多目的広場)に取り組むとともに、イベント等を活用したPR業務を行う。	公共施設基本計画策定調査の実施 東部海浜開発事業PR業務の実施	公共施設(多目的広場)に関する基本計画を策定 PRポスター100箇所掲示、チラシ5,000部配布により、東部海浜開発事業の認知度向上を図る	(今後の展開方針) H27年度 景観計画検討調査 H28年度 防災計画検討調査 H27～28年度 PR業務		
12	沖縄こどもの国施設整備事業	H24～H33	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設整備を行う。	・動物舎施設設計の実施 ・動物舎施設工事の実施	・動物舎施設 1棟の実施設計完了 ・動物舎施設 1棟の工事完了	(今後の展開方針) H27年度 動物舎施設設計 3棟 動物舎施設工事 1棟 H28年度 動物舎施設設計 2棟 動物舎施設工事 3棟 H29年度 動物舎施設設計 1棟 動物舎施設工事 2棟 H30～H33年度 動物舎施設設計 動物舎施設工事 来園目標 H23年度:383,859人 H34年度:440,000人	10月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13		コミュニティーパーク整備事業	H24 ～ H28	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを伺いながら公園の基本設計を策定し、実施設計および造成工事等をおこなう。	(仮称)美東公園:施設整備工事及び修景施設調査設計の実施 若夏公園:実施設計の実施	(仮称)美東公園:施設整備工事及び修景施設調査設計の完了 若夏公園:実施設計の完了	(今後の展開方針) H27年度 (仮称)美東公園:施設整備工事 若夏公園:施設整備工事 H28年度 若夏公園:施設整備工事 整備後の施設活用した取組 (市民の健康づくり関連) ・スポーツ・レクリエーションを楽しむ、健康づくりのできる場として、ランニング・ウォーキング園路や多目的広場を利用する。 (地域住民相互の交流等) ・周辺から見通しのきく植栽配置や施設配置、近隣にある公共施設とのスムーズな連絡など安全な利用ができる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			地域特性を活かした観光振興事業	H24 ～ H33					
1			瀬長島観光拠点整備事業	H24 ～ H28	H24年度策定の瀬長島観光拠点整備計画を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い島全体の利便性の向上を図る。	瀬長島内の施設並びに設備等の設計、整備を実施。(無電柱化設計及び整備、現場技術委託、磁気探査、避難路設置、展望広場、駐車場、道路整備、子宝岩再現等)	瀬長島内の施設及び設備等の整備を実施	(H27年度) ・案内サイン ・防犯灯設置 ・無電柱化(入構等) (H28年度) ・リーフレット作成	
			観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ H29	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、ホテルへ繋がる市道沿いに、平成25年度に植栽した花木の管理を引続き行い、美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植樹樹の除草清掃 プランターの植栽管理(灌水等)	植樹樹の除草清掃(1390樹、3回除草清掃) プランターの植栽管理(464個)	(今後の展開方針) 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	
			景観計画策定事業	H25 ～ H27	豊かな自然や歴史文化等の地域独自の風土を感じさせる風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するために景観計画を策定する。	景観計画素案作成業務の委託	景観計画素案の作成	(今後の展開方針) 景観計画策定、条例制定、ガイドライン作成等を行い、本市の特徴を活かした良好な景観形成を図る。	
			観光振興等支援事業	H25 ～ H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業に対して補助することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討する。	豊見城市観光協会等の補助対象団体へ補助金交付	主要観光施設における観光客数 約230万人(H23年度) 約271万人(H26年度)	同事業の周知を広く行い、更なる観光客の誘客促進、地域活性化を図る。	
			観光ボランティアガイド養成事業	H26	豊見城市を訪れた観光客に対し、地域の魅力を詳しく紹介できるボランティアガイドを育成し、豊見城ファンを作れるよう取り組む。 また、市内在住および在勤の外国人を活用し外国人観光客への対応も可能となるよう取り組む。	観光ボランティアガイド養成講座の実施	観光ボランティアガイドの養成 ボランティアガイド登録数6名	登録されたボランティアガイドが、国内外観光客等に伊良波、瀬長、豊崎の「まちまーい」等において、市の観光スポットを案内する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	豊かな自然環境、恵まれた地勢のみならず、歴史文化に育まれた子どもエイサーや棒術や旗頭等の伝統芸能、豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつながる響むまちとみぐすく」を実現していくことを目的とする。	とみぐすく祭り実行委員会が開催する祭りに係る経費助成	とみぐすく祭りの来場者数:55,000人 基準年(24年):50,000人	(今後の展開方針) H26年度:55,000人 H27年度:57,000人 H28年度:59,000人	
			文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の土地利用基本計画を踏まえ、豊見城城址公園及びその周辺について、観光資源として活用するために園路等の整備に向けた調査・測量・設計等を実施し、用地の一部を取得する。	・園路等の整備に向けた調査・測量・設計等の委託の実施 ・補償を含めた用地の一部取得の実施	・園路等の基本設計等の完了 ・補償を含めた用地の一部取得の完了(取得予定面積の約37.2%)	(今後の展開方針) ・用地買収(H26～) ・用地買収後に文化財調査を実施し、その効果を踏まえて段階的に園路やグスクゾーンの実施設計及び整備を行う。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容兼、各目標変更)
2			持続可能な安全・安心なまちづくり事業	H24 ～ H27					
			防災情報通信設備整備事業	H24 ～ H27	本庁舎と市内沿岸地域、集落地域、地域施設等を無線で結び、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置する。25年度整備に加え、建替え等のあった、5箇所について本部機能施設等と連携した防災無線システムを構築する。	市内5箇所へ無線設備の設置 (座安小学校、大地保育園、もみじ保育園、ドレミ保育園、むつみ保育園)	市内防災無線システム整備率98.5%	(今後の展開方針) H27年度:2箇所へ設置	
			那覇空港周辺における航空機騒音測定業務	H24 ～ H26	那覇空港周辺地域の任意の3地点において航空機騒音測定を行い、地区内の騒音レベルを把握し、将来の快適な住民環境形成に資する。	航空機騒音測定の実施 (3地点×2回)	航空機騒音の実態把握(3地点)	将来の快適な住民環境形成を目指す 測定結果を市HP等で公表し情報を共有する。 関係機関と連携し改善策等を検討する。	
			救助艇・水上バイク積載トレーラー牽引車両整備事業	H26	救助艇及び水上バイクを積載したトレーラーを牽引可能な車両を整備することにより、海、河川等における水難事故等への迅速な対応を可能にする。	救助艇・水上バイク積載トレーラー牽引車両(1台)の整備	水難事故現場へ救助艇及び水上バイクを同時に投入することができ迅速な救助活動が行える	水難救助マニュアル等を作成し、あらゆる事案に対応できる継続的な訓練等の実施を行う。	7月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			低炭素社会構築事業 (省エネ設備導入促進事業)	H26 ～ H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	・市内の防犯灯等の現況調査及び配置図面作成 ・防犯灯等のCO2排出量の調査	・防犯灯等のCO2排出量を把握し、CO2排出量の削減目標を設定する。	【平成27・28年度】 ・自治会防犯灯(LED)設置補助 ・市管理照明設備等をLED化 本事業を通して、市民の省エネ意識を向上させ、市民協働による低炭素社会の構築を推進する。	10月変更 (事業追加)
3			地域特性を活かした産業活性化事業	H24 ～ H33					
			とみぐすく産業まつり事業	H25 ～ H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、豊見城市民および近隣市町村民、観光客に対し市内の各種産業のPRを行う事により、産業の振興、地域活性の起爆剤とする。 また、異業種間での情報交流や交流の場とすることで、産業間の連携を産み出し、新たな産業の創出を図る。	とみぐすく産業まつりの開催に係る業務を委託	とみぐすく産業まつりの来場者数:32,500人 基準年:平成25年度30,190人	(今後の展開方針) H27年度来場者:35,000人	
			豊見城産マンゴー販売促進事業	H24 ～ H27	豊見城産マンゴーは、県の拠点産地に認定されるなど、評価が高いことから産地ブランド化を目指して県内外での販売促進活動等を実施する。	県内外における豊見城産マンゴー販売促進活動	豊見城産マンゴー販売促進活動 6回 豊見城産マンゴー県外出荷量 214t	(今後の展開方針) 販売促進活動等を実施し、豊見城産マンゴーを県内外へ広くPRする。 豊見城産マンゴー県外出荷量 H27:215t H26:214t H25:213t H24:212t H23:211t(基準年)	
			産業立地可能性調査事業	H26	企業誘致による産業集積を積極・継続的に推進していくことが重要、かつ求められている。そのための企業誘致の受け皿となる産業用地の適地、および今後の企業誘致の方向性を定める。	・本土企業の立地意向調査 ・県内企業の移転、増設等の意向把握 ・立地・移転・増設意向企業のヒヤリング調査 ・企業誘致の取組内容の基本方針策定	・本土企業の立地意向調査 2,500社 ・県内企業の移転、増設等の意向把握 500社 ・立地・移転・増設意向企業のヒヤリング調査 20社 ・企業誘致の取組内容の基本方針策定	企画部商工観光課において、策定した基本方針に沿った企業誘致活動を推進する。(空き店舗情報などの集約、企業訪問)	
			西海岸地区活性化事業	H26	「西海岸地区整備基本構想」に位置づけされる与根地域(エアウェイゾーン、ヘルスケアゾーン等)を中心に空港近接性やIC周辺といった交通至便な特徴を最大限に活かした、物流機能をはじめとする企業立地を促進するため、関連法令等を遵守し実現可能な西海岸地区活性化基本計画書を策定する。	西海岸地区活性化基本計画策定業務の委託発注	西海岸地区活性化基本計画の策定	(今後の展開方針) インフラ整備(H27～H29) 企業等誘致PR(H26～H27) H26企業ニーズ調査中もPRを行う 税制優遇措置(H26～H27) 国際物流特区指定(H26.6予定)	
			県外販路拡大支援事業	H26	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図る目的のため県外において開催される展示会・見本市等への出展における経費の助成を行う。	県外で開催される、展示会・見本市等への出展する事業者へ経費の助成	県外展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築する	平成26年度の成果を検証し、商談成立件数の増が図れるよう、平成27年度以降の実施内容等を検討する。	7月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			とみぐすくPR動画制作事業	H26	豊見城市の特産品や観光資源をテーマにPR動画(多言語対応)を制作し、市外に発信することで経済交流・観光の振興を図る。	とみぐすくPR動画の制作	市、観光協会、商工会、姉妹都市、特産品販売店、市内観光地等20箇所以上のホームページへ掲載	PR動画を活用し、豊見城市の特産品や観光スポットを広くPRし、特産品販売や観光客誘客の促進を図る。 H27年度動画再生回数目標:2,250回	10月変更(事業追加)
4			次世代育成支援事業	H24 ~ H33					
			預かり保育事業	H24 ~ H28	市立幼稚園教育時間終了後、幼稚園施設内で預かり保育を実施し、園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	預かり保育担当教諭配置:28名予定	預かり保育をする園児:500名	(今後の展開方針) 預かり保育担当教諭を継続配置し、共働き世帯等の保護者の負担の解消及び園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	
			認可外保育園環境整備事業	H24 ~ H26	市においては、子育て世代の人口増に伴い待機児童数が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させるとともに認可化を促す。	認可外保育園の保育環境を向上させるため、施設整備に対して補助	1施設(施設改修)	認可外保育園の施設環境を整備し、保育内容を向上させ、今後の認可化移行に繋げる予定。	
			気になる子巡回相談事業	H26 ~ H33	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士を配置し、相談・支援を行う。	公立保育所 2ヶ所、法人立認可保育園 14ヶ所、認可外保育施設 28ヶ所への巡回相談等の実施	公立・法人・認可外保育施設に入園している児童で「気になる子」への対応や保護者への相談・支援件数50件	(今後の展開方針) 障害児保育等の実施、健診及び相談支援部門と保育部門の連帯性の確立、保育士に対する普及啓発や研修の実施	
			幼稚園給食導入事業	H26 ~ H27	市内幼稚園では、預かり保育の需要が高まっている状況を考慮し平成27年度より学校給食を導入するため、各幼稚園に給食配膳室を設置する。また、新たに発生する幼稚園への給食配送及び回収等業務に対応する給食センターのプラトホームを増設するため、実施設計等を行う。	・給食配膳室設置校数:幼稚園6校 ・蒸気釜2台設置(幼稚園専用) ・牛乳保冷庫7台設置 ・給食センタープラトホームの拡張工事設計の委託	・6幼稚園に給食配膳室を設置 ・給食センタープラトホーム拡張工事設計の実施	・市内幼稚園での学校給食の実施 ・プラトホーム拡張工事(H27)による安全、安心な給食の定時提供の確保を図る。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
5			生きる力を育む人材育成事業	H24 ~ H28					
			学力向上サポート事業	H24 ~ H28	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数 小学校:8人 中学校:3人	学力調査における県平均との差の改善: +0.8	(今後の展開方針) 学力向上推進補助員を継続配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			情報教育補助員派遣事業	H24 ～ H28	ICT教育補助員を派遣し、コンピュータを活用する授業で、教員をサポートしたり、児童生徒を指導を行うことにより、積極的にICTを活用した授業を実施する。	情報教育補助員配置数:3人	ICT機器等活用率:前年比 +0.5ポイント (操作・理解、関心・意欲)	(今後の展開方針) 情報教育補助員の継続配置を行い、ICT教育の推進を図る。	
			適応指導教室学習支援員配置事業	H24 ～ H28	不登校児童生徒やその保護者に対し指導員を配置し、教育相談や適応指導等の適切な支援を行うことにより学校復帰及び社会的自立を支援する。	適応指導教室学習支援員配置数 適応指導教室:2人	学校復帰率:30%(学校復帰した児童生徒/教室に在籍した児童生徒)	(今後の展開方針) 適応指導教室学習支援員の継続配置を行い、学校復帰率の改善を図る。	
			自立支援教育指導員配置事業	H25 ～ H28	不登校や問題行動のある児童生徒の日中の居場所を確保し、学級復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置する。	自立支援教室指導員配置数 中学校:3人	市内中学校への自立支援教室指導員派遣率:100%	(今後の展開方針) 自立支援教育指導員の継続配置を行い、学校(学級)復帰率の改善を図る。	
			登校支援員配置事業	H25 ～ H28	不登校や不登校傾向にある児童やその保護者に対し、相談等や適切な支援を充実するため、登校支援員を配置し巡回などを行う。	登校支援員配置数 小学校:4人	市内小学校への登校支援員派遣率:100%	(今後の展開方針) 登校支援員の継続配置を行い、学校復帰率の改善を図る。	
			学習支援補助員配置事業	H26 ～ H28	市内各中学校等の別室にて不登校(心因性や遊び・非行型)や問題行動のある生徒の生活指導や学習支援等を行うため、学習支援補助員を配置する。(主に中学校、状況に応じて小学校に配置する。)	学習支援補助員配置人数 中学校等:3人	問題行動等改善率:30%(補助員が関わった課題のある児童生徒のうち改善が見られた児童生徒数/補助員が関わった課題のある児童生徒数)	(今後の展開方針) 学習支援補助員を継続配置し、問題行動等の改善を図る。	
			パソコン教室整備事業	H25 ～ H28	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上ため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	パソコン教室パソコン整備	2学校のパソコン教室のパソコン整備(サーバー機、先生機、生徒機42台) 今年度は、パソコン教室の整備を行い、ICT機器等活用率:前年比 +0.5ポイントにつなげる(操作・理解、関心・意欲)	(今後の展開方針) H27:長嶺中学校(43台) H28:とよみ小学校(43台) の整備予定	
			電子黒板整備事業	H25 ～ H26	平成25年度の普通教室への電子黒板設置に加え、理科等の特別教室で行う授業に対して、ICT活用で効果的に理解を深める授業展開を目標に、各小中学校の特別教室、普通教室(増加分)及び分離新設校へ電子黒板を整備する。	電子黒板の整備(特別教室等及び分離新設校普通教室)	電子黒板の整備:79台 今年度は、電子黒板の整備を行い、ICT機器等活用率:前年比 +0.5ポイントにつなげる(操作・理解、関心・意欲)	整備した電子黒板を活用した授業等の実施	
			外国人英語講師配置事業	H25 ～ H28	児童生徒の英語学習や国際理解教育の向上を図るため、外国人講師を配置する。	外国語英語教師(ALT)の配置数 外国人:4名	市内小中学校への英語講師派遣率:100% 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持	(今後の展開方針) 外国人英語講師を継続配置し、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図る	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		計画 期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
	小学校英語活動講師派遣事業	H25 ～ H28	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を配置する。	英語指導講師派遣校数 小学校:7校	市内小学校への英語講師派遣率:100% 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持	(今後の展開方針) 英語活動講師の継続派遣を行い、小学生の英語に対する興味関心を引き出す。	
	児童生徒派遣費補助事業	H25 ～ H28	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	H26年度:195名目標	(今後の展開方針) 28年度までに累計340名の児童生徒の派遣の補助	
	青少年国際交流事業	H25 ～ H28	市内在住の中高校生をハワイ州に派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供するため、派遣に係る旅費などの一部を補助し、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生12名、高校生2名をハワイ州に派遣	現地(ハワイ)研修終了後、自国文化と異国文化の違いによる体験談を交えながら、報告会を行う。 また、アンケート調査により団員の興味関心高まった生徒の割合を70%にする。	(今後の展開方針) H27年度:中学生12名、高校生2名 H28年度:中学生12名、高校生2名	
	学校給食衛生管理機能拡充事業	H26	沖縄県の高湿多湿な気候の中で、食中毒から安全性を確保し、安全安心な給食の提供を行うため真空冷却機を新機種にし、児童生徒の健全育成を図る。	真空冷却機の発注	真空冷却機1台設置	設置した真空冷却機を活用し、安全安心な給食の提供を行う	
6	文化のまちづくり推進事業	H24 ～ H27					
	文化財説明板設置事業	H24 ～ H27	本市に存する文化財の説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置設置件数5基	市内文化財説明板設置件数:5基 ホームページへの紹介件数:計19基 平成23年(基準年:0基)	(今後の展開方針) H27年度:5基	
	組踊継承事業	H24 ～ H26	組踊「雪払」は昭和4～5年頃までは隣接する旧小禄村宇栄原で上演されていた。内容的には、豊見城の地名などが登場するなど、本市にゆかりのある組踊である。その台本は一部欠落しているため、平成24年度に沖縄振興特別推進交付金を用いて復元した。平成26年度は復元した台本を用いて上演を行い、地域にゆかりのある組踊として鑑賞の機会を与える。あわせて沖縄の伝統芸能である組踊の継承を図るものとする。	組踊り上演回数:1回 組踊学校鑑賞会実施校:2校	組踊「雪払」出演者数28名 組踊学校鑑賞会実施校:2校	組踊「未生の縁」「雪払」出演者延べ数272人(基準値:216人+H24年度:「未生の縁」+H26年度:「雪払」)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				7	健康文化と福祉のまちづくり事業			
		すこやかスポーツ振興事業	H26	新設される市民体育館において、観光振興の観点から大会・スポーツイベント等の開催を推進するため、また、市民のスポーツへの参加意欲向上や健康増進と体力づくりを推進するため市民体育館の備品整備を行う。	市民体育館への備品整備	・大会・イベント等実施数 各種スポーツ大会 :3回 プロバスケット公式戦:1回 ・トレーニングルーム利用者数: 1,000名(供用期間:H27年1月～3月)	H27年度以降の大会イベント等実施数の増加。 トレーニングルーム利用者数 H27年度5,800名(供用期間:通年)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			うるま市産業振興プロジェクト	H24 ～ H33					
			企業誘致推進業務委託事業	H24 ～ H33	当市への企業立地を効果的に促進するために、企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。	企業誘致訪問件数：年間120件	目標企業誘致件数：2社程度	将来的に、10社程度の企業誘致を目指す。	
			コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ～ H27	企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成事業(コンカレント人材養成事業など)を実施する。	人材育成 4研修実施 ・モールドエンジニア研修(ME) ・プロジェクトマネージャー研修(PM) ・コンカレントエンジニア研修(PM) ・短期研修	金型技術者人材育成数：32名	人材育成数 H24年：59人(実績) H25年～H27：32人(目標) 合計：155名	
			中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24 ～ H26	中城湾港新港地区の国際物流拠点産業集積地域としての基盤構築と定期船就航実現を図るため、新たな物流システムの構築及び貨物集積の仕組みづくりを実施する。	・アクションプラン内容の検討 ・審査委員会の開催 ・シンポジウムの開催	物流貨物集積アクションプランの策定	【今後の展開方針等】 港湾物流貨物集積のための物流倉庫整備などの実現を図るため、関係機関と調整の上、整備を進める。	
			商品開発プロモーション事業	H25 ～ H27	市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、県内外をはじめ中国・台湾などにおける市産品の物産展やアンテナショップ事業を実施する。 また、本市の豊かな農畜水産物を活かし、農商工連携による戦略的な商品開発と販路拡大に取り組む。さらに開発商品及び食のグルメなどのプロモーション活動を展開していく。	県外における物産展への出展 6回 特産品開発件数 2～3商品 プロモーション回数 2回 商談会出展件数 2回	出展者延べ数60社 物産展等売上額：1,500万円 特産品開発件数(2～3商品) 商談成立件数2件	(今後の展開方針) ・商品の開発を推進しながら、既存商品の販路拡大とバイヤー商談会への積極的な参加による商談成立を図る。あわせて県外向けにプロモーション活動を展開しながら販路開拓を実施する。	
			うるま市人材育成産業拠点整備調査事業	H25 ～ H27	グローバルに活躍する高度な人材を育成することを目的とした人材育成拠点を整備するために、旧学校施設等の公共施設の利活用について、施設利用の可能性と運営方法、さらに、民間資金も活用した人材育成拠点整備にかかる基本計画を策定する。	・基本計画の内容の検討 ・審査委員会(外部・内部)の開催 ・住民説明会の開催	・人材養成拠点整備に係る基本計画の策定	【今後の展開方針等】 人材育成拠点施設の整備による、地域振興及び経済振興の視点で施設整備を目指す。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			EV自動車コミュニティ構築事業	H25 ～ H27	中城湾港新港地区では、エンジニア養成事業を通じて多くの企業間の連携により小型EV自動車及びコンパクトEV車を製造するなど、新たな成果を納めている。 「うるま市EV普及促進委員会」(仮称)を設立し、EV自動車を本地域で製造・普及させるため調査を実施し、そのニーズを把握するための社会実験も合わせて実施することにより、ローカルニッチの新たなビジネスモデルの構築を目指す。	EV普及調査・啓発 EVの製造 EV社会実験の実施等	EVをつくる(地域の産業振興)・つかう(普及による経済効果)に関するあり方を調査し、普及の方向性を見出す。 EV製造及び技術課題の抽出 EV社会実験により、一般普及車両との走行性能、車両機能の比較ができる。	【今後の展開方針等】 本地域でEVの製造、普及を図り、経済波及効果の調査、地域でのEVのあり方を検討し、新たな産業としてEV普及、製造を促進する。	
2			うるま市雇用対策プロジェクト	H24 ～ H33					
			うるま市地域雇用人材育成事業	H24 ～ H33	当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業との連携による人材育成(OJT等)を実施する。	民間企業と連携による人材育成研修生の数(実人数):100人	H26年度当該事業における新規雇用者数:100人		
			街角コンタクトセンター設置運営事業	H24 ～ H33	雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。	相談の開設日数 240日	年間利用者数:4,365人 年間相談件数:1,440件	【今後の展開方針等】 ハローワークとの情報の連携や斡旋業務の執行等を検討することで、支援体制の充実を図る。	
			うるま市グッジョブ連携推進事業	H26 ～ H33	将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や商業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施する。	ジョブシャドウイング実施校:15校 受入れ企業数:100社	キャリア教育受講者数(生徒):1,000人	・市内全小中学校の実施 ・ジョブシャドウイング受入れ企業の開拓	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	うるま市観光振興プロジェクト	H24～H33						
	観光商品開発流通促進事業	H24～H34	地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、リゾートウェディングをはじめとする観光商品の企画運営等を行うとともに、「世界遺産勝連城跡」や自然・伝統芸能をはじめとした歴史・文化素材を活用し観光商品を開発する。	新観光商品開発：6件 リゾートウェディング商品開発：1件	満足度調査「非常に満足」+「満足」の割合：60% (モニターツアー参加者へのアンケートにより把握)	<p>【新観光商品開発】 本市の歴史・自然・農水産業等を活用した体験型プログラムを開発する。 本市の多様な観光資源を組み合わせることで、うるま市独自の訴求力の高い観光商品として売り出す。 【リゾートウェディング商品開発】 これまでのアンケート結果等を精査し、より顧客満足度の高い商品として醸成する。</p>		
	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24～H28	観光地としての魅力を県外向けにPRし、効果的な観光誘客を図るため、雑誌やテレビなどのメディアを有効活用した観光情報配信等による観光誘客を実施する。	TV番組：1件 旅行誌掲載：3件 SNS活用：1件	情報接触者数：50万人	<p>年度ごとに情報を発信する媒体を精査し、最大限の効果を発揮しうる媒体を選定し事業展開を実施する。 フェイスブックに代表されるSNS等を活用したPR活動の展開も検討する。</p>		
	うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業	H25～H29	冬季における新たな観光誘客を図るため、沖縄文化を象徴するチャンプルー文化を進化させ、新しい文化産業の確立を目指した、文化芸能イベント開催への支援を行う。	補助金交付：1件(500万円以内)	来場者総数：3,000人 うるま市外来場者：750人 市内団体出演数：3組	<p>会場内や会場周辺に地域特産品、観光、企業PRブースを設けて、沖縄ファン・リピート客の開拓及びうるま市の観光物産等の周知を図る。 「うるま市石川多目的ドーム」の観光・文化発信の新たな拠点としての可能性を県内外にアピールする。</p>		
	ゆいゆいウォーク事業(環金武湾ウォーキングフェスタ)	H25～H33	「健康長寿」と「観光振興」を結びつけた地域活性化の観点から、県内外のウォーカーが集い交流する「環金武湾ウォーキングフェスタ」による西海岸リゾート地域との差別化を図ってきた。プロモーション等による新たな参加者を掘り起し、参加人数を増やすことにより、観光振興及び地域資源の知名度の向上を目指す。	各メディアを活用したプロモーションの実施。(テレビCM、ラジオ広告、新聞広告、HP・FB活用) ウォーキング講習会の開催：60回	ゆいゆいウォーキング目標参加人数：2000人 講習会の参加者数：1200人(60回×20名)	<p>【今後の展開方針等】 ウォーキング大会で「健康長寿」と「観光振興」を結びつけた地域活性化。</p>		

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			海中道路ライトアップ観光景観形成事業	H24 ~ H26	知名度の高い海中道路の大橋をライトアップすることによって、当市における観光の付加価値向上と満足度を高め、観光誘客の促進と観光消費額の拡大を図る。	・海中道路大橋へのライトアップ機器の設置 ・ロードパーク内に、ライトアップ電力用の小型風車を2基設置している。	ライトアップの設備設置 工事完了 自然エネルギー(風車)設置 工事完了	(今後の展開方針) 平成27年度 ・夜間の観光イベントの開催 ・ライトアップを生かした観光プログラムの検討	
			観光プロデューサー派遣事業	H26 ~ H27	観光物産振興に関する専門的な知識、企画力及び実行力を有するとともにうるま市の観光物産産業を総合的にプロデュースできる優れた人材を招聘し、観光物産振興事業の企画運営のあり方等について指導助言を実施することで、多分野にわたる観光産業の連携の強化、継続的な観光産業の拡大、地域の地域活性化を図る。	派遣日数:150日(年間) セミナー開催:2回	観光事業者連絡会議(仮称)の開催:3回 観光事業者連絡会議参加事業所数:延べ15団体 セミナー参加者数:延べ100名	[今後の展開方針等] 市域の観光物産に携わる方々のトータル的なレベルの向上をとおし、より地域に根ざし、かつ訴求力の高い観光物産振興事業の展開を図る。	
			石川イベント公園機能強化事業	H24 ~ H30	観光誘客を促進するため、石川イベント公園(通称「石川ドーム」)において、多彩な伝統芸能・文化をはじめ、うるま市ならではの地域資源等を生かした観光イベント等の多種多様なイベント開催ができる施設環境整備を実施する。	「石川イベント公園機能強化調査事業」に基づく施設整備の実施 観客席ベンチ設置業務 設計・工事 券売所整備業務 設計・工事 物産販売施設業務 設計・工事 便所設置業務 設計・工事	観客席ベンチ設置業務 設計・工事完了 券売所整備業務 設計・工事完了 物産販売施設業務 設計・工事完了 便所設置業務 設計・工事完了	[今後の展開方針等] 平成25年度に策定した「石川イベント公園機能強化調査事業」による調査結果に基づき、より優先度が高い機能強化を年次的に実施していく事により、これまでは、闘牛大会が主であったが、今後は観光振興に資する音楽や芸能等のイベントにおいても活用する。	7月変更(事業追加)
			勝連城跡城郭内周遊環境整備事業	H26	世界遺産群に登録されている「勝連城跡」に、当史跡のもつ魅力をより効果的に訴求するため、案内サインの設置及び公衆無線LANの整備を実施し、さらに、ICTを活用し、より効果的な勝連城跡の解説や、多言語化への対応を実施することで、観光客の受入体制整備を実施する。	案内サインや公衆無線LAN等の整備後の活用に向けてプロモーション活動を行い、世界遺産 勝連城跡の魅力拡大を図り、外国人を含む来場者が快適に周遊できる環境を構築する。	案内サイン整備:15基以上 公衆無線LAN設置:1基 多言語対応案内アプリ(仮称)制作	[今後の展開方針等] 城郭内の主要個所に案内サインを整備することにより、勝連城跡の歴史・文化をより深く体感できる環境を構築する。 また、多言語対応のサイトを整備することで、増加しつつある外国人観光客を含めた来訪者受入環境の向上を図る。 加えて、公衆無線LAN環境を整備することにより、来訪者のSNS活用等による観光客目線からの情報発信の拡大や、更なる外国人観光客受入環境の確立を図る。	7月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		うるま市地域PRキャラクター制作事業	H26	うるま市を象徴するキャラクターをデザイン・着ぐるみ化し、市内外や県外で開催する各種イベント等において活用し、うるま市の認知度の向上を図る。	デザインの公募活動 ・ポスターによる周知 ・新聞広告による周知 ・デザインの選定 ・選定委員会運営 ・WEB投票	キャラクター及び着ぐるみ制作:1体 イラスト制作:20種 キャラクター制作により、うるま市のイメージを発信する機会が増える。	[今後の展開方針等] 県内外で開催される各種イベントへの参加や関連グッズの開発等によるうるま市観光PR等を実施する。	7月変更(事業追加)
4		うるま市文化観光振興プロジェクト	H24 ~ H33					
		勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ~ H32	世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。 そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	文化観光拠点整備の基本設計発注	基本設計策定 (文化観光拠点整備に向けた基本設計)	(今後の展開方針) うるま市の歴史文化の拠点及び観光の振興に資する空間として整備を進めていく。 H27～30年度:実施設計、用地取得等 H28～32年度:工事等 H33年度:全部供用開始予定	
		市内文化財総合整備調査活用事業	H24 ~ H28	文化の薫り高いまちづくり推進のために、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。また、その整備と調査を基に活用事業を実施し、市民に対して歴史遺産への愛着心を醸成し、市民自身が歴史遺産を再評価できる環境の構築に取り組む。	勝連城跡整備基本計画内容の調査検討 市内文化財の調査(2箇所) 市内文化財環境整備(2箇所)	勝連城跡整備基本計画の策定 (勝連城跡の史跡指定地を中心とした現状の把握と、近年の発掘調査成果や新たな知見を盛り込んだ中長期的な発掘調査と保存整備の計画を策定する。) 市内文化財の調査(2箇所) (与那城監視哨跡、東恩納博物館跡) 市内文化財環境整備(2箇所) (平敷屋製糖工場跡、仲原遺跡の環境整備工事)	(今後の展開方針) 市内文化財の環境整備(与那城監視哨跡、沖縄諮詢会堂跡) 活用事業の実施(パンフレット作成、文化財めぐり、展示会の実施)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		文化施設機能強化事業	H24 ～ H26	当市の多様な伝統芸能・文化を発信し、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、「うるま市ならではの文化観光商品」を展開し、本市の文化観光振興を展開するため、うるま市民芸術劇場の舞台機構等の機能強化を行う。	市民芸術劇場の舞台機構設備整備工事発注	市民芸術劇場の舞台機構設備整備工事完成(総事業量に対する達成率100%)	(今後の展開方針) ・劇場設備を整備する事により、将来的に稼働率80%台を目標とする。	
		南風原文書整理翻刻事業	H24 ～ H28	当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」等の整理、修復、デジタル化、複製本を作成するとともに翻刻を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。	南風原文書の整理、翻刻作業 戦後史料の修復・デジタル化 (史料15,000枚) 事業報告書、ガイドブックの発刊 (事業報告書 300部、ガイドブック 300部)	地域発見型学習会(歴史学編)参加者数(100人) 南風原文書翻刻作業(総事業数に対する達成率60%) 戦後史料の修復およびデジタル化(総事業量に対する達成率30%)	(今後の展開方針) 南風原文書の翻刻作業と解題作業。 H27年度:南風原文書関連内容を常設展示への転化 デジタル化した資料のデータベース化 H27年度:50% H28年度:100% ・活用事業の実施(展示会、ガイドブック)	
		マラン船等復元活用事業	H24 ～ H28	当市では、船大工のマラン船建造技術を指定文化財とし、伝統文化の保存・継承に取り組んできた。その結果マラン船は映画やドラマ、多くの番組に採用され、当市の広告媒体となっている。その人材を活用し、木造船(マラン船・琉球伝馬船・サバニ)を復元することで、造船技術の継承と後継者育成を図り、うるま市ならではの郷土教育の実践を推進する。	琉球伝馬船の建造(1艇) マラン船の企画展等の開催(5回)	琉球伝馬船の建造復元(1艇) 企画展入場者数(5,000人)(基準値 H25年度実績値3,854人) 学校教育関連イベント入場者数(300人)(基準値 H25年度実績値:200人) 生涯学習関連イベント入場者数(200人)(基準値 H25年度実績値:100人)	(今後の展開方針) 平成27年度:サバニ復元建造に伴う木材調達、マラン船乗船体験、琉球伝馬船の企画展、総合学習等の実施 平成28年度:サバニ復元建造、マラン船乗船体験、サバニの企画展、総合学習等の実施	
		景観調査活用事業	H24 ～ H28	勝連城跡及びその周辺の自然・民俗文化財、具志川及び照間のい草水田、海中道路とその周辺の干潟に依存する生業・伝統行事・生物等を記録・保存し、郷土教育や観光案内に利活用できる資料を発刊・提供することにより、教育及び観光の振興を図る。	勝連城跡周辺の自然調査(5箇所) 文化的景観に関する資料収集(3箇所) 自然及び文化的景観の企画展等の開催(5回)	自然標本(50点) 文化的景観等記録(2件) 企画展入場者数(5,000人)(基準値 H25年度実績値3,854人) 学校教育に係る入場者数(300人)(基準値 H25年度実績値:200人) 生涯学習に係る入場者数(200人)(基準値 H25年度実績値:100人)	(今後の展開方針) 文化的景観に関する伝統行事及び自然の生き物等を学校教育及び生涯学習へ展開。 平成27年度:水田の生き物等調査及びその企画展 平成28年度:干潟等調査及び企画展	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			新沖縄型エンターテインメント事業	H24 ～ H33	沖縄の結婚式で行なわれる「ニービチ余興」は、ダンスやショートコント、合唱、寸劇、舞踊など様々なジャンルがあり、非常にユニークな取り組みが多い。「ニービチ余興」は沖縄独自のコンテンツであることから、沖縄の観光イベントとして開催・情報発信し、観光誘客に取り組む。	本イベント開催：1回(2日間) 県内各地での予選会開催：3回	イベント参加者：200名 来場者数：2000人	「ニービチ余興王」選手権に加え、うるま市独自の伝統文化を活用したコンテストの実施や、観客参加型イベントを併せて実施するなど、更なる「うるま」発のイベントとしてブラッシュアップを図る。	
			文化財標柱等設置事業	H24 ～ H27	市内の文化財・旧跡等に標柱等を設置し、市民・観光客が広く活用しやすい環境を作る。	・標柱設置により、地域資源を保全しつつ、来訪者等への文化財・旧跡等の情報提供を行う。	文化財標柱等新規設置数(30箇所程度)	(今後の展開方針) H27年度：未設置の市内文化財・旧跡等に対して標柱等を順次、設置する。	
			蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業	H24 ～ H26	「伊計村遊草(イケムラユクワ)」と著者である蔡大鼎(サイタイイ)に関する調査・研究を進め、難解な漢文体の歴史史料を現代の教育文化に活用できるようカラー復刻本や翻刻解説本などを刊行することによって、伝統文化の保全・継承を図る。	展示会・講演会(1回) うるま「漢詩ロード散策」等の刊行(4,000部) 研究成果報告書の刊行(200部)	展示会・講演会の来場者数(600名)	(今後の展開方針) 歴史史料に関する刊行物を活用した教育文化、生涯学習への展開及び観光資源化に向けた検討を継続して行い、うるま市の文化観光振興に繋げていく。	
			勝連城跡周辺回遊観光整備事業	H26 ～ H31	世界遺産「勝連城跡」周辺において、地域に点在する歴史・文化的な資源の調査・整備を行うことにより良好なまちなみ景観を創出しつつ、それに伴う「勝連城跡」を中心とした資源回遊ルート・サイン・休憩施設等の整備計画及び回遊プログラムの作成を目的とする。	・地域内調査及びヒヤリング等 ・周辺回遊ルート検討	・周辺回遊基本計画策定 回遊路観光の展開に関して、関係者(団体)等の意向の集約ができる。 ・周辺回遊基本計画概要版作成(1000部)	(今後の展開方針) 平成27年度：基本設計 平成28年度：実施設計 平成29～31年度：整備・工事	7月変更 (事業追加)
5			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、市内2地区について景観地区の指定、その指定に向けた地域検討会の開催や景観地視察、景観重要公共施設指定等の景観・風景づくり推進に関する事業を実施する。	景観地区等の指定に向けた地域説明会の開催(南風原地区：3地域×3回程度) 景観地区の指定に向けた検討会の開催(浜比嘉地区：2地域×3回程度) 勝連南風原地区の公共施設等の景観重要公共施設指定に向けた調査 ・公共施設管理者等との調整協議の実施(県4部署、市9部署×2回程度)	景観地区等の指定(南風原地区) 住民向け景観かわら版の作成・配布(浜比嘉地区)(300部) 景観重要公共施設の指定(南風原地区)	(今後の展開方針) H27年度：景観地区等の指定に向けた取組の継続(浜比嘉地区) H28年度：景観地区等の指定(浜比嘉地区) H29～33年度：景観地区等の指定候補地の選定及び景観地区等の指定に向けた取組の実施。 ・指定地区における、遵守基準や推奨基準に基づいた整備等については、一部助成を実施予定。 例)外構の石垣・生け垣や県産赤瓦の使用等	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		島しょ地域振興プロジェクト	H24 ～ H33					
		島アートプロジェクト事業	H24 ～ H33	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート(造形物、オブジェ、美術など)による島おこしを実施する。	年2回(約2ヶ月間)開催	来場者数 :30,000人	地域住民との意見交換をとおし、住民参加型のイベントとして更なるブラッシュアップを図っていく。 島しょ地域産品の物販等、地域経済の発展に寄与するイベントとすることを常に念頭に置く。 将来的な有料イベント化に向け、今後の事業の方向性について検討を行う。	
		津堅・島おこし支援事業	H24 ～ H27	津堅島において、安心して暮らせる島づくりを推進するために策定した「H24年度島おこし支援事業報告書」に盛り込まれた施策案をフォローアップ事業として着実に実施し、地域資源を活用した島民主体の地域おこしに繋げていく仕掛けづくりとサポートを推進する。	住民WSや民泊講習会等の開催(3～4回) 地域住民・行政が一体となった清掃活動イベントの開催	住民WSや講習会等への参加人数(延べ45人) 清掃活動イベントへの参加人数(150人)	(今後の展開方針) 民泊事業の推進 地域の環境美化活動の推進	
7		うるま市元気な農水産業プロジェクト	H24 ～ H28					
		肉用牛生産強化拡大事業	H26 ～ H28	市内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入費用を一部助成する。	年間140頭の優良母牛候補牛導入	・年間140頭の優良母牛候補牛導入 ・予定導入率の35%を目標とする	(今後の展開)平成26年度～平成28年度にかけて400頭の優良母牛候補牛を導入予定	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24～H27	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を發揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。	・複合施設の運営主体の選考会議の開催 ・運営内容に合致した建築・外構設計	建築・外構工事実施設計等の作成 施設運営主体の選定	H27年度:工事实施 H28年度:供用開始 農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備 想定来客者数は約69万人/年	
		照間ビーグ活性化プロジェクト事業	H26～H28	生産農家の高齢化による農家数の減少や後継者不足の課題に対し、後継者や担い手等に魅力ある産業を目指し、照間ビーグ(い草)ブランドの周知や生産農家の意識向上と高収益商品の開発を生産者と協働で実施していく。	・生産農家・生産組合等へのヒヤリング及びフィールド調査 ・新商品の参考商品、魅力ある商品等の調査 ・ワークショップ開催	照間ビーグ生産農家の生産意識高揚が図られる ・「照間ビーグ(い草)」生産・販売戦略の策定	平成27年度 ・い草を使った新商品等の開発 ・ブランド構築の為の情報発信 平成28年度 ・持続可能な取組の構築 ・多面的機能の創出	7月変更(事業追加)
8		産業集積戦略構築事業	H24～H27	沖縄科学技術大学院大学のキャンパスタウンエリアという地理的特性を生かし、災害へのリスクが低い新たな企業集積地を整備するため調査業務を実施し、産業振興を図る。	・産業集積に係る調査業務の発注 ・審査委員会(外部・内部)の開催	・産業集積に係る調査結果の報告(企業ニーズや関係機関の意向調査等)	【今後の展開方針等】 産業集積地の整備にかかる基本計画の策定する。	
9		うるま市国際人材育成プロジェクト	H24～H33					
		小学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数(10人)	「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合(70%) (児童へのアンケートによる)	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:英語指導助手配置数 10人 (市内小学校(18校)を10人で巡回指導を実施。) 英語助手の研修会を充実させ、指導法の統一を行い、児童に対しての授業の機会均等、異文化理解を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		中学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数(6人)	英語検定5級から準2級の合格者 670人 平成24年度(合格人数:649人) 合格率 5級 80.3%、 4級 52.8%、 3級 36.2% 準2級 18.9% 2級 36.4%	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:英語指導助手配置数 6人 (市内中学校(10校)を6人で巡回指導を実施。) 生徒が自らの考えを表現する機会を提供するとともに、英語助手とのコミュニケーションが円滑に行われるような活動を奨励する。	
10		うるま市基礎学力向上対策プロジェクト	H24～H33					
		小学校学力向上対策推進事業	H24～H33	小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。	学習支援員配置数(33人)	沖縄県学力向上到達度調査算数・国語の平均正答率30%未満児童の割合(沖縄県との差)(3年生:-2.0%、5年生:-2.0%) (基準値:24年度 3年生-0.7 5年生-1.7%)	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:学習支援員配置数 33人 (市内全小学校へ2名配置(彩橋小学校除く)) 児童の基礎基本の定着に効果のある取り組みの共有化を図る等、支援員の研修内容を工夫し、指導に活かすことで更なる学力向上を目指す。	
		中学校学力向上対策推進事業	H24～H33	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。	学習支援員配置数(17人)	沖縄県の平均点との差(中2数学 沖縄県到達度調査):0 (基準値:24年度 沖縄県の平均点との差(中2数学沖縄県到達度調査 -1.6))	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:学習支援員配置数 17人 (市内全中学校へ各2名配置(彩橋中学校除く)) 生徒の基礎基本の定着に効果のある取り組みの共有化を図る等、支援員の研修内容を工夫し、指導に活かすことで更なる学力向上を目指す。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			島しょ地域小学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し児童の学習支援を実施する。	非常勤講師配置数(2人)	年間1,200時間	(今後の展開方針) 平成27年度～平成28年度:彩橋小学校に非常勤講師2名を配置。 校内における研修会や管理職からのアドバイス等を活用し、講師の指導技術力をアップし、更なる学力向上を目指す。	
			島しょ地域中学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し生徒の学習支援を実施する。	非常勤講師配置数(2人)	年間1,200時間	(今後の展開方針) 平成27年度～平成28年度:彩橋中学校に非常勤講師2名を配置。 校内における研修会や管理職からのアドバイス等を活用し、講師の指導技術力をアップし、更なる学力向上を目指す。	
			ICTを活用した学習支援・人材育成事業	H26～H29	ICT機器(電子黒板等)を市内小中学校の全教室(403教室)へ配置することにより、ICT機器を活用した授業の頻度を高め、児童生徒の高度情報化社会に対応できる情報活用能力・コミュニケーション能力の育成を目指す。	うるま市立小中学校普通教室403教室全てにICT機器(電子黒板等)を配置して教職員に対する操作研修を実施する。	ICT機器(電子黒板等)が整備されることにより、ICTによる新たな学習方法を提供できる環境が整備される。 うるま市小中学校全28校普通教室(403台)	ICT支援員配置及び活用支援 平成27年度 授業がわかりやすくなった割合 65% (小学校3年生以上アンケート実施予定) 授業での教えやすさ割合 85% (教師へのアンケート実施予定)	7月変更 (事業追加)
11			うるま市子ども健やか安心プロジェクト	H24～H33					
			配慮を要する子巡回指導事業	H24～H33	公立・法人・認可外保育施設における「配慮を要する子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、保育施設職員に対して、保育等に関する技術的助言・支援を行う。 また、各保育施設の保育の質の向上のため、平成25年度に引続き巡回指導と合わせて保育施設職員を対象に研修を企画・実施する。	巡回相談対象保育施設件数 (1)公立(5か所) (2)法人(26か所) (3)認可外(30か所) 保育施設職員を対象とした研修会(年5回開催)	巡回相談実施施設延数(50件)(H24年度実績:21件) 園訪問延数(120園)(H24年度実績:27園) 保育施設職員研修における理解度(80%)(H25年度:97%)	(今後の展開方針) H27～H33年度: 巡回相談実施施設数(延数): 各年度 50件 累計 350件 園訪問(延数): 各年度 120園 累計 840園	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			放課後児童クラブ支援事業	H24 ～ H28	学童クラブの運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、学童クラブへの訪問指導や指導員の研修などを実施することにより、放課後児童クラブ運営の適正化と指導員の資質向上を図る。	学童クラブ訪問指導員の配置(2人) 学童クラブ訪問指導回数(200回) 学童クラブ指導員等研修会	指導員研修における充実度(70%) 放課後児童クラブ加入児童数(1,400人)(基準値 H25年5月1日現在:1,267人) (指標の説明) 充実度については、研修参加者へのアンケート調査により把握する。	(今後の展開方針) 今後も訪問指導、研修会の充実を図り「安心して子育てができる環境整備」を図る。 上記事業により、学童クラブへの加入児童数の増加を図る。 ・学童クラブ加入児童数 平成26年度:1,400人 平成27年度:1,450人	
			母子家庭生活支援モデル事業	H25 ～ H29	支援が必要な母子家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童の学習支援等を実施し、自立に向けた支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	借上居室部屋数(10部屋) 就労スキルアップ講座開催数(24回) 入居者児童学習支援回数(144回)	支援全般に対する満足度(70%) 学習支援の充実度(65%) 就労スキルアップ講座資格取得者数(4人) (指標の説明) 満足度、充実度については、対象者へのアンケート調査により把握する。	(今後の展開方針) 今後事業実施していくなかで、入居世帯の個別のニーズにあった支援の拡充を図っていく。	
12			うるま市児童生徒健全育成プロジェクト	H24 ～ H28					
			問題を抱える子ども達の自立支援員配置事業	H24 ～ H28	問題を抱える児童生徒に対して未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、学校復帰や立ち直りに向けた支援や指導を行う。また、学校の生徒指導係と連携し、校内でのいじめ、暴力行為、授業は受けず徘徊している生徒等への声かけや指導を行う。	自立支援員配置数(2人)	問題を抱える生徒に対する相談及び支援の件数 460件	(今後の展開方針) 平成26～33年度:自立支援員配置数 2人(中学校) 保護者との連携を深め、キャリア教育を意識した進路指導を強化するなどの相談活動を行う。	
			中学校教育指導推進事業	H24 ～ H28	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。	スク-ルソ-シャルワ-カ-配置人数 (4人)	問題を抱える生徒に対する相談及び支援の件数 2,200件	(今後の展開方針) 平成26～33年度:スクールソーシャルワーカー 4人配置 関係者のSSWに対する認識を深め、連携を行い、生徒への効果的な支援を行う。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		教育相談事業	H24 ～ H28	教育相談室に嘱託員を配置し、幼児・児童・生徒の不登校や、教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援する。	教育相談員配置数(8人)	教育相談対応のべ件数(1,400件)(基準値 H24年度実績値1,697件<来所1,174件、学校訪問523件>)	(今後の展開方針) 学校訪問相談の充実を図り、早い段階で相談へ繋ぐことができる体制を作る。	
		適応指導教室事業	H24 ～ H28	うるま市立小・中学校に在籍する心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導支援を行い、人間関係の改善を図るとともに、自立心を高め社会性を身につけさせ、学校適応を促進するため、適応指導教室を実施し支援する。	適応指導教室指導員配置数(3人)	チャレンジ登校できた割合(80%)(基準値 H24年度実績値 57%)	(今後の展開方針) 原籍校や教育相談員と連携し学校への復帰に向けて支援する。 (チャレンジ登校とは) 学校への登校復帰へ向けて、登校する時間、居場所、対応する教諭等、児童生徒の状況に配慮して段階的に行う支援	
13		うるま市防災基盤強化推進プロジェクト	H24 ～ H33					
		防災避難通路整備事業	H24 ～ H27	当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全・安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する。	避難通路設計(4地区) 通路設計に基づく用地取得の実施	平成27年度に整備する防災避難通路に係る設計業務の完了 平成27年度に整備する防災避難通路に係る用地取得	(今後の展開方針) < H24-25年度整備箇所 > H26年度: 供用開始(浜地区、比嘉地区、屋慶名地区) < H26-27年度計画通路 > H26年度: 実施設計及び用地買収等 H27年度: 建設工事 H28年度: 供用開始(比嘉地区、屋慶名地区、南風原地区、塩屋地区)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
パ	細				H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
			防災倉庫等整備事業	H25 ～ H29	<p>当市は沖縄本島中部東海岸に位置し東に金武湾、南に中城湾に接しているほか、東南に伸びる半島部の海上には有人5島があり、風光明媚な自然景観と観光資源が残されており観光客も多く訪れる。本事業は、大規模災害等に備え、市民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、市内に防災倉庫(防災資機材や備蓄食糧等を備蓄する。)を整備し防災活動基盤を構築する。</p>	<p>防災倉庫の整備 3箇所 給水栓の整備 2箇所 備蓄品の整備 非常用毛布・非常用タオル各1,000枚 備蓄食料 10,000食 備蓄飲料水 10,000本 給水袋 1,000枚 簡易トイレ 33組 簡易テント 22組</p>	<p>防災倉庫の整備率:47%(H25以降累積) 給水栓の整備率:100%</p> <p>備蓄品の整備率 非常用毛布と非常用タオルの整備率:40%(H25以降累積) 備蓄食料と備蓄飲料水の整備率:40%(H25以降累積) 給水袋の整備率:25% 簡易トイレの整備率:55% 簡易テントの整備率:51%</p>	<p>(今後の展開方針) 設置後の施設については、自主防災組織を中心に、管理運営を行い災害時への備えとして活用を行う。 <25年度整備箇所> H26年度:供用開始(伊計島地区、宮城島地区、平安座島地区、浜比嘉地区及び津堅島地区) <H26-29年度計画箇所> H26～29年度:自主防災組織の整備に伴い、各年度、3箇所の整備を実施し随時供用開始。</p>		
			うるま市自主防災組織資機材整備事業	H25 ～ H33	<p>観光立県である本県の自主防災組織活動カバー率は全国平均77.4%に対し、10.5%と全国最低水準となっており、観光客の安心安全を確保するために防災体制の充実を図る必要がある。 市民や地理的情報に乏しい観光客の避難支援等としても機能する自主防災組織に対し資機材整備等の支援を実施する。</p>	<p>新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備団体数(4団体)</p>	<p>自主防災組織4団体への防災資機材整備率 津堅自主防災会 100% 南風原自主防災会 100% 江洲自主防災会 100% 照間自主防災会 100%</p>	<p>(今後の展開方針) 平成27年度以降:継続して自主防災組織の結成を推進し、各年度において、3団体程度の自主防災組織を結成し、防災資機材を整備。</p>		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	災害に強い島作り事業	H24 ～ H27						
1	緊急物資備蓄事業	H24 ～ H27	災害時の市民の生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う	緊急物資の備蓄	緊急物資5,000人分の備蓄 非常食:5,000人分 毛布:300枚 その他、衛生用品等	被災時の市民生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。		
1	海拔表示設置事業	H24 ～ H27	市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難できるよう、海拔表示を市内各地区に設置する。	海拔表示の設置 市内70箇所へ設置	海拔表示板設置箇所数(累計) H25 135箇所 H26 205箇所	H27年度までに約261箇所の海拔表示板を設置する。		
1	避難所看板設置事業	H26	本市が指定する避難所へ看板を設置することにより、避難所の把握と速やかな避難が出来る	避難所看板の設置	避難所看板設置箇所数 H25 0箇所 H26 102箇所	被災時における迅速な避難行動が取れるよう、避難所看板の設置を市民へ周知する。		
1	伊良部地区津波避難施設整備事業	H25 ～ H26	海沿いに面した海拔の低い伊良部南区に津波避難施設を整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	伊良部地区津波避難施設(RC造3階建て)の建築工事の実施	伊良部地区津波避難施設の整備完了	平成26年度供用開始		
1	池間地区防災センター整備事業	H26 ～ H27	海沿いに面した海拔の低い池間地区に津波避難施設を整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	池間地区防災センターの実勢設計委託	池間地区防災センターの実施設計完了	平成27年度供用開始		
2	観光拠点強化事業	H24 ～ H33						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			熱帯植物園再生事業	H24 ～ H27	熱帯植物園の集客機能を向上させるため、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。	熱帯植物園内集客機能の向上 遊歩道の整備:0.7km(総延長1.4km)	熱帯植物園の来客数の増加 H24 50,600人 H26 52,500人	熱帯植物園を有効に活用し、来客数の増加を図る為、年間を通して楽しめる花木の植栽を推進する。	
2			伊良部島・下地島間入江整備事業	H24 ～ H29	伊良部島・下地島間入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水路作濶、希少生物の調査並びに、排水処理施設の実施設計を行う。	水路作濶工事の施工 希少生物調査の実施 排水処理施設実施設計の実施	水路作濶工事(1区画)の完了 希少生物調査完了 排水処理施設実施設計完了	H27～H29水路作濶工事・排水施設建設 水路作濶による環境の変化を調査	
2			宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ～ H33	現在、平良地区に展開している歴史文化ロード「綾道(あやんづ)」を拠点とし、旧市町村の各地域に所在する「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とする散策コース等の整備を行い、伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」を巡る新たな観光資源の一つとして広く活用する。	・コースパンフレットの作成委託 ・コース案内板等の設置委託 ・御嶽等への標柱設置委託 ・戦争遺跡への標柱設置委託 ・土地購入に係る交渉及び各種手続き ・ウイビヤムトゥの祭場籠屋復元委託	・コースパンフレットの作成配布:12,000部 ・コース案内板等の設置箇所(累計) H25 10基 H26 15基 ・御嶽等への標柱設置箇所(累計) H25 0本 H26 10本 ・戦争遺跡への標柱設置(累計) H25 0本 H26 10本 ・土地の購入:1件 ・ウイビヤムトゥの祭場籠屋復元 文化財WEB公開システムポータルサイトアクセス数 5,000件	(今後の展開方針) H27:平良南、上野地区コース策定 H28:城辺、平良南、伊良部地区 コース策定 H29～33:各地区未整備物件整備	12月変更 (計画変更に伴う各 目標変更)
2			与那覇湾環境総合整備事業	H24 ～ H33	ラムサール条約に登録された与那覇湾の利活用についての総合的な整備計画を策定し、貴重な自然環境の有効活用を図る。	与那覇湾流入河川改良工事の実施 与那覇湾底質改善作濶工事の実施	【水質改善(湾内6ポイントの調査地点)】 (環境省:生活環境の保全に関する環境基準) COD:0.5mg/L超過(1ポイント) 2mg/L以下 全窒素:平均0.11mg/L超過(5ポイント) 0.2mg/L以下 全りん:0.001mg/L超過(1ポイント) 0.02mg/L以下 【底質改善(湾内6ポイントの調査地点)】 (日本水産資源保護協会:水産用水基準) SPSSランク:平均1.6kg/m ³ 超過(5ポイント) 6kg/m ³ 以下	遊歩道整備や自然学習観察館の設置、環境整備の実施	
2			城辺総合公園機能強化事業	H26	毎年2～3月にかけて社会人・大学・高校の野球チームがキャンプ使用している城辺総合公園を、ブルベン等施設整備を行い充実させる。	ブルベン等整備	稼働月数の増加 2月～3月 12月～3月	キャンプ日数の稼働率向上を目指す。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			スポーツ観光交流拠点整備事業	H24～H28	年間を通して、軽スポーツが楽しめる、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。	用地4筆・面積37,500㎡の買収及び所有権移転手続き 建築確認手続き 開発行為申請、林地開発申請、土壤汚染防止法事業行為通知等手続き 敷地造成工事及び進入路工事の実施	用地所有権移転登記 実施設計に基づく建築確認 開発行為等必須法規手続きの完了 敷地造成及び進入路工事の完了	施設建設工事、外構工事、供用開始準備、プロモーション、運営実施体制づくり、H29年度共用開始予定、想定稼働日数(年):興行16日、イベント31日、一般利用262日、会議室304日	7月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
2			宮古島市スポーツ施設機能向上事業	H26～H33	宮古島市スポーツマネジメントプランに基づき、大規模スポーツイベントや大会が開催できる環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指し、スポーツ施設の機能強化及び施設整備等を行う。	防球ネット整備設計委託・工事 ブルベン整備設計委託	防球ネットの整備完了 ブルベン整備設計完了	宮古島市スポーツマネジメントプランにおける整備計画を基に宮古島市スポーツ施設の機能向上を推進し、プロ野球キャンプ実施時の観光客等の安全を確保する等プロスポーツのキャンプ地にふさわしい環境を整備していく。	7月変更(事業追加)
3			観光地の緑化美化・景観向上事業	H24～H33					
3			観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。	観光アクセス道路の環境美化作業	観光アクセス道路の環境美化路線数:33路線	観光地アクセス道路環境の美化強化の為、引き続き取組を実施する。	
3			観光地公園環境美化強化事業	H24～H34	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	観光地公園の環境美化作業	観光地公園の環境美化 箇所数 東平安名崎公園・バイナガマ公園・カママ嶺公園等6カ所 定期的美化作業:年4回～年12回(月1程度)を目標	観光地公園環境の美化強化の為、引き続き取組を実施する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			大嶽城址公園環境整備事業	H24 ～ H28	本市で最も高台に位置する大嶽城址公園内に花木を植栽し、観光公園としての整備を図る。	観光地の形成(観光公園の整備)公園内の環境整備、花木等植栽整備の工事実施	観光地の形成(観光公園の整備)公園内の環境整備及び花木等植栽整備工事(本年度実施分)の完了	植物管理技術者を確保するなど管理体制を構築し、植物管理の充実を図る。	
3			花と緑のあふれる島づくり事業	H24 ～ H33	花と緑のあふれる島づくりを推進するため、花木、苗木等を安定的に供給できる施設を整備する。	苗畑施設の基盤強化に係る実施設計(かんがい施設等)	苗畑施設の基盤強化に係る実施設計(かんがい施設等)の完了	H27以降はかんがい施設等の整備	
3			イムギョーマリンガーデン遊歩道等改修工事	H26	宮古島の美しい海岸線や入江を利用した海浜公園で、島内でも有数の観光地であり、遊歩道や展望台からは美しい海を見ることができ散策にも最適である。しかしながら、平成5年の完成以来約20年が経過し、遊歩道や手すり等の経年劣化が著しいため、観光客が安心して散策できるよう、遊歩道及び周辺設備の改修工事を行う。	遊歩道等改修工事の実施。	遊歩道等改修工事の完了	H27年度供用開始。	10変更(計画変更に伴う成果目標変更)
3			花いっぱい推進事業	H26 ～ H28	観光地としての魅力向上を図るとともに、観光客が快適に過ごせるよう中心市街地及び観光地等に花木、プランター等を設置し花いっぱいの空間を形成する。	中心市街地及び観光地等での花木・プランター等設置 【市内3通り(西里通り・下里通り・市場通り)】 【観光地等 7ヶ所】	中心市街地及び観光地等での花木・プランター等の設置による観光地としてのイメージ向上	市街地の環境美化を図るため、継続的に実施していく。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
4			誘客促進事業	H24 ～ H33					
4			観光プロモーション事業	H24 ～ H33	観光情報発信力を強化するため、観光に特化したWEBサイトのコンテンツ等を整備するとともに、観光宣伝ツールを作成し、それらを活用した効果的な観光プロモーションを展開する。 また、本市の認知度を高めるため、県外における広告宣伝活動を実施するとともに、集客力の高いイベント等に参加し、本市の観光PRを実施しながら、観光閑散期対策として、閑散期におけるコンテンツの創出に取り組む。	・観光WEBサイトコンテンツ等の整備。 ・観光宣伝ツール(ポスター・パンフレット等)の作成。 ・県外で開催されるイベントへの参加 ・観光閑散期対策としての観光メニューの開発	・観光WEBサイトを活用した情報発信 ・観光宣伝ツールを活用したプロモーションの展開 ・集客力のあるイベントを活用した観光PRの実施 ・観光メニューの開発件数:1件	広告宣伝活動については毎年度、実施場所を変えながら実施し、WEBサイトコンテンツ等は随時更新を行い、観光宣伝ツールと併せたプロモーション活動を実施し、入域観光客数50万人を目指す。	7月変更(計画変更に伴う各目標変更)12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4		宮古島フラダンス全国大会支援事業	H25 ～ H29	観光客の誘致拡大や地域経済の活性化を図るため、フラダンス全国大会の開催を支援する。	宮古島フラダンス全国大会の支援	来場者数:4,100人(2日間)	大会開催後の実行委員会によって今後の支援方法のあり方を検討する。	
4		エコアイランド宮古島マラソン大会補助金	H24 ～ H33	島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	エコアイランド宮古島大会の開催支援	エコアイランド宮古島大会の参加者数 24年度参加者数:941人 25年度参加者数:1,261人 26年度参加者数:1,300人	大会開催後の実行委員会によって今後の支援方法のあり方を検討する。	7月変更 (事業追加)
4		宮古島100kmワイドマラソン大会補助金	H24 ～ H33	島外から多くの参加者が訪れる「宮古島100kmワイドマラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	宮古島100kmワイドマラソン大会の開催支援	宮古島100kmワイドマラソン大会の参加者数 24年度参加者数:1,146人 25年度参加者数:1,317人 26年度参加者数:1,350人	大会開催後の実行委員会によって今後の支援方法のあり方を検討する。	7月変更 (事業追加)
4		南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会補助金	H24 ～ H33	島外から多くの参加者が訪れる「南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の開催支援	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の参加者数 24年度参加者数:384人 25年度参加者数:415人 26年度参加者数:450人	大会開催後の実行委員会によって今後の支援方法のあり方を検討する。	7月変更 (事業追加)
4		平良港クルーズ等観光・人流計画調査事業	H26	平良港では平良港港湾計画書(平成20年11月改訂)において、漲水地区に貨物船と旅客船が供用可能な公共埠頭が計画されている。 クルーズ客船を誘致することが宮古島の経済及び国際観光の振興に大きく寄与するものと期待されており、本調査は、こうした状況にある平良港に大型クルーズ客船を誘致するための調査検討を目的として実施する。	平良港に大型クルーズ客船を誘致するための計画調査委託業務の実施	クルーズ寄港促進に向けて課題の把握と今後の対応方針のとりまとめ	平良港クルーズ客船誘致活動を行い、宮古島クルーズ観光振興を図る。	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
					5	エコアイランド宮古島形成事業			
5	エコアイランド宮古島周遊エコツアー整備事業	H24 ～ H26	本市のエコ関連施設において、観光客や市民等が設備を見学できるPR館を整備することにより観光振興を図る。 平成26年度においては、平成25年度事業で整備したPR館に係る展示物の充実及び各見学サイトにおける説明パネルや説明パンフレットの整備、普及啓発グッズの作成等を行う。	PR館に係る展示物の整備	来場者数:1,000名	PR館を活用し、修学旅行や行政視察等で宮古島を訪れる方や宮古の子ども達にエコアイランド宮古島を発信する。			
5	バイオエタノール高効率製造・流通事業	H24 ～ H28	当市の基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールの事業化を目指して以下の事業を実施する。 ・バイオエタノールの高効率製造事業 ・バイオ燃料の流通安定化検証 ・付加価値の高いバイオエタノールの用途開発等調査	1)事業性評価と見直し 2)バイオ燃料の流通安定化検証	バイオエタノールの製造(50k /年)	(今後の展開方針) H27～H28年度:商業生産への準備			
6	農林水産業活性化事業	H24 ～ H33							

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	ヤソ防除事業	H24 ～ H28	さとうきびをヤソの被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。	ヤソ被害からの防除活動の実施	ヤソ被害からの防除剤の散布 1) 航空防除: (宮古島市)池間、伊良部地区も含む (12,100kg) 2) 地上防除: (宮古島市)池間、伊良部地区も含む (900kg)	ヤソ被害からの防除活動を引き続き実施するほか、ヤソ被害を回避する為の周知活動を実施する。		
6	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ H33	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、補助金を交付する。	生鮮水産物の沖縄本島への出荷補助	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量:255トン	(今後の展開方針) 沖縄本島への出荷量の増加 H33年目標:280トン		
6	資源循環型農業推進事業	H24 ～ H26	本市は、資源リサイクルセンターにおいて、家畜糞尿や枝葉等を利用して有機質肥料を製造し、農地へ還元するとともに化学肥料の低減や地下水の保全につなげている。しかし、家畜糞尿や剪定枝等以外の原材料に対し、既存の発酵槽では処理が十分に対応できない為、他の堆肥化原料の処理が行える発酵プラントを増設し、施設の機能強化を図る。	発酵槽設備設計、発酵槽増設工事の実施	発酵プラントの整備及び稼働(1.2倍増産)	堆肥原材料確保による生産量増加		
6	宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ H28	海業センターを機能強化することにより、養殖業の支援、栽培漁業の推進を図る為、取水管及び取水井戸、研修センターの建築に係る実施設計委託業務を実施する。	取水管測量設計委託業務、研修施設建築設計委託業務の実施	取水管測量設計完了 研修施設建築設計完了	今後の展開方針等 H27取水管設置工事・水槽建築工事 H28研修施設建築・太陽光発電設置工事		
6	新技術実証栽培施設(ポットファーム栽培施設)整備事業	H26	新しい農業の形である、「育成ノウハウの共有・継承や環境情報・育成情報の整理及び履歴化などの環境変化や育成状況の見える化」、「再生可能なエネルギーの積極的な活用及びクリーンエネルギーを利用した停電対策などエコアイランドの推進」、「次世代の農業従事者の育成」を目標に実証施設を整備する。	新技術実証栽培施設整備	栽培施設(ハウス)の整備完了 栽培施設(ハウス)作業棟の整備完了 再生可能エネルギー設備の整備完了	H27年度:実証実験の実施		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			モズク加工施設機能強化事業	H26	本市水産業の主要品目である養殖モズクのさらなる振興を図るため、宮古島漁協が行うモズク加工施設の機能強化に向けた設備の整備・導入に対し、支援を行う。	モズク搬送用ポンプの整備 3台 電動フォークリフトの導入 2台	加工場の機能強化による、モズク処理能力の向上 375kg/h 462kg/h	作業時間・待機時間の短縮により、品質の高いモズクの安定出荷を継続的に行っていく。 H27以降の年間出荷量:481トン(平成25年度出荷量の維持)	10月変更(事業追加)
6			側面透過型糖度計導入事業	H26	定品質のマンゴー出荷と宮古島産マンゴーのブランド化を推進する為、生産農家に対し側面透過型糖度計の導入支援を行う。	側面透過型糖度計の導入	側面透過型糖度計導入完了と生産農家への指導方針のとりまとめ	宮古島市マンゴー産地協議会(県、JAを含む)のなかで、JAMANGO専門講師を招聘して、栽培講習会を実施し、平成31年度のA品比率を県平均の4%に向上させる(宮古島市の平成26年度A品比率1.6%)。	10月変更(事業追加)
7			「結いの島」推進事業	H25 ~ H26					
7			離島急患搬送備船事業	H25 ~ H26	伊良部島及び大神島において定期航路や定期航路時間外に宮古本島の病院へ移送を要する急患が発生した場合、定期船及び備船による搬送を行う。	船舶会社との急患搬送業務委託締結	急患搬送体制の安定的確保	宮古島-伊良部島間については伊良部大橋開通(H27年1月予定)までの期間実施し、宮古島-大神島間のH27年度以降実施については、実績をみて判断する。	
8			人材育成強化事業	H24 ~ H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向け、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、学校及び対象児童生徒宅などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通して、ニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者等と連携・協働しながら、同児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。	・スクールソーシャルワーカーの配置	・スクールソーシャルワーカー配置数 教育委員会学校教育課:6人	(今後の展開方針) 支援の早期対応、早期解決を目指し、定期的な連絡協議会の開催と、組織内の円滑な支援及び連携体制の構築を図る。		
8	問題行動等学習支援者配置事業	H24～H33	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。	問題行動学習支援者の配置	問題行動学習支援者配置数 中学校3人	(今後の展開方針) 対象生徒を取り巻く環境整備に努め、校内体制の構築、学習支援等の個別計画をもとに支援活動にあたる。		
8	選手派遣補助金交付事業	H24～H33	本市の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。	H26年度計画人数 大会等派遣児童生徒数:1,944人 内訳 小学校 769人(県外含む) 中学校 1,175人(県外含む)	補助による保護者負担の軽減	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数 H24年度～H33年度 各年度:1,944人 累計:19,491人		
8	宮古島市こども劇団設立事業	H24～H33	こども劇団を設立し、演劇を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミュニケーション能力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し宮古島を表現することで、地域のアイデンティティーを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。	オリジナル創作劇東京公演 オリジナル創作劇宮古公演	東京公演:3回公演 宮古公演:2回公演	H27年度:劇団運営を父母会へ移行し本市は支援する。		
9	地下水保全事業	H24～H26						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9			水道水源流域保全調査及び啓発事業	H24 ～ H26	H24～25年度において、本市水道水源流域で最も重要な白川田・東添道地下水流域について、地下水流域境界と同流域における地下水貯水量を明らかにするための調査を実施している。H26年度においては、調査結果を活用して「第3次宮古島市地下水利用基本計画」の改訂を行い、中長期スパンでの計画的な地下水利用と保全を図る。また水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置する。	(1) 第3次宮古島市地下水利用基本計画の改訂に係る取組 (2) 同計画の印刷製本 (3) 水道水源保全地域表示看板設置	(1) 第3次宮古島市地下水利用基本計画改訂版の発効及び運用開始 (2) 同計画印刷製本及び配布数:300部 (3) 水道水源保全地域表示看板設置数:60基	宮古島市地下水保全条例及び第3次宮古島市地下水利用基本計画改訂版に基づく、地下水の利用と保全を徹底する。	
10			文化振興事業	H24 ～ H28					
10			博物館図録等作成事業	H24 ～ H28	本市の博物館には、約8,000点に及ぶ資料が収蔵されており、これらの幅広い活用を図るため、収蔵資料を整理し、データベース化、デジタル化及び図録等を作成し、貴重な資料の半永久的な保存と、情報の共有化を図る。	「民俗資料編」の目録作成に係る資料整理及びデータベース化。	データベースの整備率:60%	【H27年度】 「宮古島市民俗資料編2」整理 「民俗資料編」の目録を作成 (400部)。 【H28年度】 宮古島市美術・工芸編の整理及び目録作成(400部)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光客等誘客促進・受入体制強化事業	H24～H30						
	市域景観形成強化事業	H24～H26	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法を用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。	市道植樹帯防草工事実施	市道植樹帯防草工事実施完了 ・整備路線数 1路線 ・整備延長 L=597m	防草除去を行いカラー舗装をすることによって歩行者及び自転車の安全と市道の景観形成を行う。		
	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24～H26	散策道、木製階段等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘致促進を図る。	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・石畳参道及び戦争遺跡修復工事 ・周辺整備工事測量委託業務 ・周辺整備工事実施設計委託業務 ・周辺整備工事施工監理委託業務	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備完了	世界遺産斎場御嶽だけでなく、周辺地域や観光施設等とリンクしたエリアマネジメントを目指すことで、より観光客にとって味わい深い観光地づくりを目指す。		
	なんじょうハートプロジェクト推進事業	H24～H26	地域資源を生かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり・市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。	・PRグッズ等の制作 ・PRイベントの開催 ・ラッピングカーの活用による市内外へのPR活動	・PRグッズ等の制作(3点) ・PRイベントへの誘客(2,000人) ・ラッピングカーでの出勤回数(10回)	市キャラクター「なんじい」を活用して、本事業で構築してきた南城市ブランドの更なるPRを行う。		
	スポーツツーリズム推進事業	H24～H30	本市陸上競技場はスポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持を図り、芝生管理を図るための人材を育成する。	・芝生管理に精通した人材の育成 ・良質な状態での芝生の維持管理	・芝生管理人の雇用(1人) ・サッカーキャンプ等の受け入れ(平成25年度受入チーム数 3チーム) ・平成26年7月までしりリーグ公式戦開催予定	芝生管理人を継続雇用しながら、芝生を良質な状態で維持管理していき、引き続きプロサッカーチームのキャンプを受け入れていく。		
	観光交流サイン整備事業	H25～H28	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	・道路愛称板の設置工事 ・サイン設置工事 ・観光関連施設への誘導案内版の整備	・道路愛称板の設置工事完了 20箇所 ・サイン設置完了 8ヶ所 ・観光誘導案内板の整備完了:15ヶ所	(今後の展開方針) H27年度～:集落域文化遺産サイン整備、観光誘導案内板の整備		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			デマンド交通実証実験事業	H24 ～ H27	デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25～H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。	・地域公共交通会議の開催 ・実証実験実施	・地域公共交通会議の開催:3回 ・乗車人数(1日):150人 ・有償実証事業の委託先の選定	(今後の展開方針) H27年度:有償実証事業 H28年度:本格運行	
			観光振興計画(前期・中期)評価・検証及びアクションプラン策定業務	H26	南城市観光振興計画(前期・中期)の評価・検証を行い、南城市観光振興計画における実施済みの取組みに対する評価・検証、実施課題の整理、観光客動態調査等を実施し、南城市として目指す観光の方向性を確実に実行していくための方策を位置づける。	・市内観光事業者の状況把握 ・観光客の動向把握 ・広域での状況把握 ・社会動向の把握	・南城市観光振興計画の評価・検証 ・アクションプラン(実施計画)の策定	(今後の展開方針) 評価・検証結果及びアクションプランに基づき南城市らしい観光の推進を図る。	
			南城市クロスメディア情報発信事業	H26	南城市の観光産業振興に資するため、本市の有する「観光コンテンツ」を効果的に発信するための手段を構築し、南城市観光に関する情報を国内外へ配信することにより、南城市の魅力を広げるとともに、周遊型観光の推進、歴史・文化、体験滞在、癒しをテーマとした観光振興を図る。	観光ポータルサイトの構築(PC、スマホ)及び多言語化対応(英語・中国語・韓国語)	・南城市観光情報の配信開始(事前・事中情報の発信) ・外国人観光客への情報の配信開始	(今後の展開方針) 目標アクセス数:10,000PV/月	
			尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ H30	平成25年度で策定される予定の「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。平成26年度は尚巴志を普及していく事業、尚巴志スピリットを育成する事業、エコミュージアムの基礎を築く事業などを行う。	1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 「尚巴志のまちづくりコンサート&シンポジウム」 「尚巴志のまちづくりコンサート&シンポジウム」 「紙芝居学校アウトリーチ」 「紙芝居学校アウトリーチ」 「文化講演会」 2.地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 3.エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」 「観光タイアップ事業」 「地域孫会議事業」 「琉歌募集事業」	1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 「尚巴志のまちづくりコンサート&シンポジウム」 ・目標客数:200名 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内9小学校のアウトリーチ 「文化講演会」 ・目標客数:100名 2.地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者10名 3.エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」 「観光タイアップ事業」 ・合計観客動員数:200名 「観光タイアップ事業」 ・目標客数:500名 「琉歌募集事業」 ・応募者数:150首	(今後の展開方針) 1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 H27年度:尚巴志講座 H28年度:尚巴志グッズの開発 H29年度:尚巴志副読本の発刊 H30年度:尚巴志まつりの実施 2.地域興しの人材育成 H27年度:視野の醸成 H28年度:海外派遣 H29年度:地域デザインと人材配置 H30年度:実践事業 3.エコミュージアムの創造 H27年度:尚巴志関連トレイル作成 H28年度:デジタルミュージアム作成 H29年度:マーケティング H30年度:マーケティング	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		観光振興将来拠点地整備事業	H25 ~ H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	・土地所有者及び利害関係者説明会 ・事業認定申請および土地取得に係る手続き等、関係機関調整 ・観光拠点地として整備する用地取得業務(161,000千円)	・用地取得率87%(内H25繰越取得分28%) ・土地所有者及び利害関係者説明会の実施 ・事業認定申請の提出。	(今後の展開方針) H27年度:実施設計・用地取得予定(11,000㎡) H28年度:造成、面整備	
		観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25 ~ H26	住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。	観光交流拠点施設の実施設計及び整備工事	観光交流拠点施設完成	(今後の展開方針) H27年度:体験交流施設の供用開始(H27年5月予定) 観光客の誘客に関する交流事業について ・ハーリー体験 ・地域の伝統芸能体験(エイサー・ヌーバレ・アヤグ) ・三味線教室 ・青年会 ・女性会との交流(地域の伝統料理体験) 防災について台風・各警報発令時の一時避難	
		世界遺産「斎場御嶽」ガイダンス施設整備事業	H26 ~ H28	世界遺産斎場御嶽を3Dデータとして整備し、既存施設「がんじゅう駅・南城」及び「緑の館セーファ」を活用し「斎場御嶽ガイダンス施設」として再整備する。 斎場御嶽の現状をデジタルデータ化することで、斎場御嶽へ入域出来ない観光客へのサービスの向上と災害時の復旧に寄与する。又、歴史的な背景をビジュアル的に演出することにより、斎場御嶽にまつわる伝説や信仰を、“ものがたる”ことによって、本市を起点とする県域観光の促進を図る。	調査・測量及び斎場御嶽の3Dデータ化及び映像の作成	・斎場御嶽調査及び測量業務の完了 ・3Dデータ化 ・映像コンテンツの作成	(今後の展開方針) H27年度:ガイダンス施設整備	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			農水産業活性化プロジェクト事業	H24 ~ H30					
			蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ~ H28	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。	既存の農業用施設強化、防風壁の設置を行い、台風等災害に強い農業を推進する。	既存の農業用施設等の整備(20ヶ所)	(今後の展開方針) 施設整備の継続 H26年度:施設の整備20ヶ所 H27年度:施設の整備5ヶ所 H28年度:施設の整備5ヶ所	
			水溶性天然ガス利活用案策定事業	H25 ~ H26	市内から採掘される水溶性天然ガスを利用した、一次産業分野への活用案を策定する。	南城市水溶性天然ガス利活用案の概要版を策定しており、さらに概要版に基づき詳細版の作成する。	南城市水溶性天然ガス利活用案の詳細版策定完了	(今後の展開方針) 排熱を利用した農業、温泉水を活用した養殖、効率的設備・システムやLED等を活用した植物工場型事業を目指す。	
			つくり育てる漁業振興支援事業	H26	獲る漁業からつくり育てる漁業への転換を目指し、水産物の漁獲高や生産高を増やすことに対し支援を行う。	・安定した漁獲及び生産高の向上を図るため、漁場や養殖場等の整備への補助。 ・漁獲高及び生産高の増加、販路拡大を目標にした計画書の作成。	・漁場及び養殖場等の整備完了 ・漁獲高及び生産高の増加、販路拡大を目標にした計画書完成。	売上高増による、雇用促進や漁協による水産事業拡大を図る。	
			優良繁殖牛リース支援事業	H26 ~ H30	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛貸付頭数:50頭/年 優良自家保留牛の確保:1頭/5年(1頭あたり)	優良母牛50頭導入及び貸付開始(導入初年度のため下記指標は次年度以降から) ・分娩間隔の短縮 ・繁殖雌牛の若齢化 ・飼養頭数の増加等	(今後の展開方針) H27年度~ 優良母牛貸付頭数:50頭/年 優良自家保留牛の確保:1頭/5年(1頭あたり)	
			畜産悪臭対策普及推進事業	H26 ~ H27	畜産悪臭対策について実証実験を行う。その後、畜産農家に対し、悪臭対策に配慮した持続可能な経営技術の普及を行う。	実証実験	実証実験の効果検証	(今後の展開方針) H27年度~ 市内農家への悪臭対策技術普及	
3			防災安全基盤強化事業	H24 ~ H26					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			台風・大雨浸水被害対策事業	H24 ~ H26	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルート調査を実施する。	南城市東部地区雨水流域調査	南城市東部地区雨水流域調査完了 玉城・知念 A = 463ha	今後、調査結果に基づいて南城市全域の排水路計画を予定しています。	
			水難救助車整備事業	H26	各種水難救助用の資機材を装備した、水難救助車両を購入し、迅速・確実な水難救助活動を行うことで、観光客等を水難事故から守り、防災体制の強化を図る。	水難救助車整備：1台	水難救助車の納車：1台 納車後は非常時に備え日頃から訓練を実施し、万全の対策を期する。	H27年度：運用開始 水難救助車導入後は、住民及び観光客の水難事故防止に取り組み、事故発生時は迅速に対応する。	
			久高地区津波避難施設整備事業	H26	久高島は標高が低く、津波災害が起きた際甚大な被害が想定されるため、津波避難施設(防災タワー)を建設し、住民や観光客の安全、安心を確保する。	津波避難施設(防災タワー)の工事	津波避難施設(防災タワー)の完成	H27年度：供用開始 津波が起きた際に、避難場所ができたことにより、住民や観光客の安全、安心を確保できる。	
4			心豊かな人材育成事業	H24 ~ H29					
			幼小中学校学習教室空調設備整備事業	H24 ~ H26	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。	空調設備整備工事	・幼稚園 保育室 1室 冷暖房設備 2台設置完了 ・中学校 音楽室、美術室 冷暖房設備 4台設置完了	安全・快適な学習空間保持できるよう計画的に空調設備の整備を行う。	
			小中学校パソコン機器整備事業	H25 ~ H29	学校教育振興に資する学校教育用パソコンを小・中学校へ導入することで、児童・生徒がICTを活用する上で必要な知識・技能の習得や、また、様々な教科の中でICTを活用した学習活動に取り組むことにより、情報化社会に即応する技能を身につけた人材の育成を図る。	市立2小学校コンピューター教室パソコン及び附属機器等一式整備	市立2小学校コンピューター教室パソコン及び附属機器等一式整備完了 ・ブートサーバー4台、ADサーバー4台、 プリンター2台、プロジェクター2台、 パソコン82台、ソフトウェア等付属品一式	(今後の展開方針) 市立小中学校14校PC教室パソコン機器等一式を年次的に整備 H26年度：2小学校整備 H27年度：3小学校整備 H28年度：2中学校整備 H29年度：2小学校整備	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		学習支援員配置事業	H25 ~ H29	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的として、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	・小学校学習支援員：8名 ・中学校学習支援員：4名の配置	・小学校：8校、支援児童数294名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の児童を支援する。) ・中学校：4校、支援生徒数135名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の生徒を支援する。)	(今後の展開方針) 平成27年度～29年度 学習支援員の配置	
		特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25 ~ H29	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の受入れ機会が増加しているところであり、そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携の上、適切な特別支援教育を行う。	市立3幼稚園、8小学校、4中学校へ特別支援教育支援員、障害児ヘルパーの配置	・3幼稚園へ障害児ヘルパー(保育)8名、 (預かり保育)3名配置 ・8小学校へ特別支援教育支援員1名、 障害児ヘルパー24名配置 ・4中学校へ障害児ヘルパー10名配置	(今後の展開方針) 平成27年度～29年度 特別支援教育・障害児ヘルパーの配置	
5		地域文化の継承と生涯学習実践事業	H24 ~ H29	/	/	/	/	/
		なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ~ H29	本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	・専門委員会議の開催 御嶽・グスク 5回 資料集戦争 5回 ・調査資料の収集及び調査	・御嶽・グスク 調査個票の完成 ・資料集戦争 国立国会図書館より米国資料の収集	(今後の展開方針) H27年度：御嶽・グスク編発刊 H28年度：戦争編執筆依頼 H29年度：戦争編発刊	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		文化センター機能強化事業	H25 ~ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、空調及びホールの照明機器の整備を行う。	工事入札契約、工事着手	文化センター機能整備の実施、完了	(今後の展開方針) H27年度・備品等 H28年度・備品等 ・文化芸術創造発信の拠点として活用 ・県内唯一の音楽専用ホールとしての活用を促進 ・文化芸術のさらなる発展への寄与	
		シュガーホール国際音楽祭事業(20周年記念事業)	H26	沖縄県内唯一の音楽専用ホールとして、これまで多くの創造的な文化事業を展開し、おきなわのシュガーホールとして知られるようになってきたこれまで実績を生かし、多様な目的をもって訪れる県内外の人々をターゲットとし、本市の自然・歴史とホールの文化芸術事業を連携させた全国的・国際的な一連事業を実施していく。	主要イベントへの運営費補助 9件	・新人演奏会受賞者による公演 ・優れた国内・海外演奏家による公演 ・市民合唱団と県内外合唱団の交流演奏会 ・オーケストラと伝統芸能の競演 ・海外伝統芸能と地域民俗芸能の競演 ・創作オペラの制作	(今後の展開方針) 今後、シュガーホールを活用し、多彩な事業を展開していく。	
6		福寿のまちづくり事業	H25 ~ H28					
		健康づくり支援調査検証事業	H25 ~ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催、公園等への健康器具等の設置及び、生活習慣病予防対策、保健指導等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	・講演会、健康体操等の実施 34回 ・健康器具の設置工事設計及び3公園等への健康器具設置 ・中学生を対象とした健康調査及び保健指導の実施	・講演会、健康体操等の実施及び効果の評価検証 ・3公園等への健康器具の設置完了 ・中学生(約500名)を対象とした保健指導の評価検証	(今後の展開方針) 事業効果を検証しながら市民の健康づくりを支援する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光客の誘客推進事業	H24 ~ H30					
1			国頭トレイルランニング大会推進事業	H26 ~ H30	本村の資産である「森林」を活用した新しいIECOスポーツプログラムを開発・普及を図る。スポーツを通じて「ECOスピリット(自然に畏敬の念を持ち、(古道を残した)先祖に感謝する気持ち(スピリット)」を伝承・普及啓発していく。	国頭トレイルランニング大会の実施	国頭トレイルランニング大会の開催 (大会参加人数:県内1,200人 県外300人)	(今後の展開方針) トレイルランニング大会の実施	
1			スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ~ H26	本村でのスポーツキャンプによる滞在人口の増加を図り観光振興に向けて、受け入れ施設の充実・強化を図るため、野球場のブルベン整備及び外柵の取り替え工事を行う。	実施設計(委託) ブルベン施設工事 外柵取替工事	ブルベン施設完了 外柵の設置	(今後の展開方針) 野球場を活用したスポーツキャンプの受け入れ目標 H24:18団体 H27:20団体 滞在人口の増加(延べ人数) H24:4,313人 H27:4,659人	
1			国頭村ブランディング推進戦略事業	H26 ~ H27	「やんばるの希少動物」のレアキャラを構築するため、キャラクターのデザイン及びネーミング等を付けて着ぐるみで県内の各種イベント及び関連施設でのロードキル防止のキャンペーンの他、各レアキャラのグッズ開発等、又、ヤンバルクイナ保護活動をメインに短編映画を制作し沖縄国際映画祭などでPRし、自然の保全を活かした観光づくりへ向けた取り組みと知名度アップを図る。	デザイン公募 レアキャラ構築 キャラバン隊(県内) 短編映画作成	レアキャラ構築:1種類 デザイン商標登録:21種類 キャラバン隊:県内7箇所・県外2箇所 国頭村PRのため沖縄国際映画祭・国頭村で短編映画を各1回上映	(今後の展開方針) H27:国頭村の知名度向上のためのキャンペーン (県内各イベントへ参加) 映画上映2回 H28:映画上映2回	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
2			ヤンバルクイナの郷づくり構想事業	H24 ~ H30					
2			くいなふれあい公園施設機能強化事業	H26	「安田くいなふれあい公園」内の「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」や「くいなパークゴルフ場」等の既存施設と、新たな拠点施設整備による公園利用者及び観光客の利便性向上等、有効な利活用及び良好な管理運営の充実を図るため、施設倉庫及び備品購入を整備し施設機能を強化する。	倉庫実施設計の実施 工事の実施 公園内施設備品の購入	くいなふれあい公園の倉庫の設置 くいなふれあい公園備品の整備完了 (車両・厨房器具・テーブル・椅子等)	(今後の展開方針) 公園内の既存施設と新設置施設の有効な利活用及び良好な管理運営の実施 H27年度来場者目標:15,000人	
2			ヤンバルクイナ生態保全確立事業	H25 ~ H30	「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」に展示飼育しているヤンバルクイナの個体を自然状態で安定的に生育できる状態に保つため、適切な飼育技術向上及び飼育技術育成を図り、種の保存法に基づく保護・増殖の確立を目指した管理体制を構築する。	飼育員の配置1名	専門知識を有する飼育技術員の人材育成	(今後の展開方針) H30:飼育技術員の適正配置:3人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			比地大滝歩道改修事業	H24 ~ H27	観光客受け入れ態勢に資するため、比地大滝遊歩道の起伏の激しい箇所を、既存の歩道も残しながら迂回路を整備した健全者以外の利用も気軽に散策できるようにバリアフリー化を施した歩道を整備し利用者への安全・安心を提供し施設の充実を図る。	歩道舗装工事の実施	透水性舗装の完了 (L=364m)	(今後の展開方針) H27予定 展望デッキ設置工事	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
4			多自然川づくり事業	H24 ~ H30	中心市街地を流れる辺土名川を整備し河川敷などの空間の有効活用、治水安全度の向上等、河川全体の自然環境を最大に生かした河川再生を図るとともに街づくりとリンクして、地域の活性化を図る為、他事業のボックス架替工事と隣接工事を行う。	測量調査設計の実施 用地購入 河川工事の実施 実施設計の作成(700m)	測量調査設計の完了 用地の取得(7件 350.7㎡) 実施設計進捗率:66.6% (H26実施:700m H27道路詳細:350m 全体延長:1,050m) 河川工事進捗率:3.3% (H26実施箇所:40m 全体延長:1,200m)	(今後の展開方針) H27:用地物件購入(98.8㎡) 道路詳細設計(350m) 現場管理業務 河川工事(140m) H28:現場管理業務 河川工事(200m) H29:現場管理業務 河川工事(420m) H30:現場管理業務 河川工事(400m) 河川環境等モニタリング	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
5			国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ~ H29	農家の経営安定化に向けて、国頭村ブランド牛基盤づくりの為、優良母牛の導入に対する支援を行う。	優良母牛導入支援	13農家×2頭=26頭導入	(今後の展開方針) 優良母牛導入による産地基盤整備を図る。 H27:26頭 H28:26頭 H29:26頭	
6			平張網掛施設整備事業	H24 ~ H28	国頭村においては、露地栽培作物の柑橘類への有害鳥獣等による被害が多く発生しており、農家の生産意欲を低下させる要因となっている。このため、農家の圃地平張網掛施設を整備し、ノグテガラ、ヒヨドリ、コウモリ等からの被害を防除する。	平張網掛施設の整備実施:6件	平張網掛施設の設置率:43.8% (設置累計14/設置目標数32) (設置目標数:32件 H24:8件 H25:6件 H26予定:6件)	(今後の展開方針) 平張網掛施設整備件数(累計) H27~H28 12施設	
7			森林資源活用推進事業	H24 ~ H28	森林資源のさらなる有効活用のため、新たな国頭型「森林業」創出するとともに、森林の癒し効果を活かした森林セラピーガイド育成、国頭村木材を活かした「木育」推進を行う。	セラピーガイドの育成講座の開催 「木育」人材養成講座開催 有用樹種苗木開発	セラピーガイドの育成:認定人数5人 「木育」人材養成講座修了者数:5人 有用樹種苗木開発数:500本	(今後の展開方針) セラピーガイドの育成(累計) H29年度:20人 「木育」サポート人材育成(累計) H29年度:20人 有用樹種苗木開発(累計) H29年度:3,000本	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		辺戸岬周辺整備推進事業	H26 ~ H30					
8		辺戸岬周辺整備計画策定事業	H26 ~ H30	沖縄海岸国定公園に位置する辺戸岬園地の特性を活かした施設機能や、観光地でのアクティビティ機能等を活かした観光地としての利活用及び観光施設整備の方針を明らかにする基本計画を策定し、地域の特色を活かした観光業の振興、国内外からの観光客の増大を目指す。	基本計画の検討 委員会開催:3回 事例調査:1回	基本計画の策定	(今後の展開方針) 辺戸岬園地の施設整備 (H26年度:策定委員会にて施設整備を検討)	
8		辺戸岬周辺施設整備事業	H26 ~ H30	沖縄海岸国定公園に位置する辺戸岬園地の特性を活かした施設機能や、観光地でのアクティビティ機能等を活かした観光地としての利活用を図るための施設を整備し、地域の特色を活かした観光業の振興、観光客の利便性の向上を図るため、今年度は辺戸岬公衆トイレの設置を行う。	辺戸岬公衆トイレ整備工事の実施	辺戸岬公衆トイレの設置	(今後の展開方針) H27:施設整備に向けた関係機関調整 H28:辺戸岬園地施設整備基本設計 H29:辺戸岬園地施設整備実施設計 H30:辺戸岬園地施設整備工事 辺戸岬来場者の増加に向けた周辺整備に取り組む	10月変更 (計画変更に伴う事業概要変更)
9		安全・安心で住みよい村づくり事業	H24 ~ H28					
9		国頭村減災地域社会形成事業	H24 ~ H28	昨年度実施した地域防災計画の修正に引き続き、災害対応マニュアルを整備し、災害時の住民と観光客に対する安全対策の確保を図る。	災害対応マニュアルの検討 集落別の課題抽出	災害対応マニュアルの作成 集落の課題整理:3集落	(今後の展開方針) 各種災害対応マニュアルを整備し、全集落(20集落)の課題を整理する。 H27:3集落 H28:3集落	
9		集落別減災地域社会形成事業	H24 ~ H28	津波対策としての避難経路を計画し、避難路を整備することで、災害時の住民と観光客の安全・安心を確保する。	避難経路の計画の検討 避難路整備の実施	避難経路の計画策定:3集落 桃原地区避難路整備:約320m	(今後の展開方針) 全集落(20集落)の津波避難経路の計画及び避難路の整備検討 H27:3集落 H28:3集落	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10			教育・福祉環境整備事業	H25 ～ H29	/		/		
10			学習支援員配置事業	H25 ～ H29	児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を取りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	学習支援員配置数 小学校3人 中学校1人	学習支援員を村内小学校3校(対象児童数264人)、中学校1校(対象生徒数150人)に配置 小学校:全国達成度75点(H26年度村平均) 中学校:全国達成度70点(H26年度村平均)	(今後の展開方針) 学習支援員の効果的配置に向けて、毎年度検討を行う。	
10			中学校英語指導員配置事業	H25 ～ H29	中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、中学校に英語指導員を配置することで教育環境の充実を図り、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上に資することで、基礎学力の向上に繋げる。	英語指導員配置数 中学校1人	英語指導員を村内中学校1校(対象生徒数150人)に配置 英語検定5級取得者:12名 英語検定4級取得者:16名 英語検定3級取得者:6名	(今後の展開方針) 中学校英語指導員の効果的配置	
10			中学生海外短期留学派遣事業	H25 ～ H29	中学生を英語圏に短期間派遣し英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒数 2人	海外短期派遣生徒数 2人 ホームステイ報告発表の実施	(今後の展開方針) 海外短期派遣生徒数(累計)18人	
10			小学生県外体験学習派遣事業	H25 ～ H29	小学生を県外に短期間派遣し、気候風土の異なった遠隔の地で見聞を広めるとともに、郷土意識の高揚を図り、新時代を担う視野の広い心身ともに健全なジュニアリーダーの育成を目指す。	鳥取県岩美町交流事業 受入派遣各1回 団員22人	事前学習・受入・派遣・活動内容展示会・報告会等の実施による児童の郷土意識の向上を図る	(今後の展開方針) 派遣地の選定、引率指導者の研修	
10			児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H25 ～ H29	小・中学校の児童生徒が、運動競技または文化関係大会に参加するため、県外に派遣する必要がある場合に補助金を交付する。	大会等へ参加する児童・生徒への派遣に対する補助の実施	大会等派遣見込数 中学生:10人	(今後の展開方針) 大会等派遣数(累計)400人	
10			ひとり親家庭の子育て応援事業	H25 ～ H29	学習福祉支援員を配置し、母子・父子・養育家庭における子育ての相談対応の強化を行うと共に、学校・家庭・地域の連携を強化し、非行・不登校・発達障害や思春期うつなどの精神疾患・自殺対策など子どもが抱える問題に対する支援を行う。	学習福祉支援員配置数:1人	学習福祉支援員が村内小学校7校、中学校1校を巡回し支援する。 巡回回数:150回 相談件数:75回	(今後の展開方針) 学習支援員の効果的配置に向けて、毎年度検討を行う。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11		地域資源継承・交流拠点整備事業	H24 ～ H27	国頭村と那地区において、グリーンツーリズムやエコツーリズム、文化ツーリズム(海神祭や豊年祭、田舎の暮らし等)等による観光客との交流・体験活動を促進する拠点整備を行う。	建設施工監理の委託 交流拠点建設工事の実施 撤去工事の実施 備品の購入 (机・椅子)等	交流拠点整設の整備完了	(今後の展開方針) H27 避難道路整備の整備 交流拠点施設供用開始 滞在型交流:345人/年 伝統文化行事:4回/年 体験プログラム: 26回/年 地域イベント開催: 5回/年 出張売店:5回/年	
12		幼保連携型総合施設整備事業	H26 ～ H28	子どもの成長支援・子育て支援の充実や環境整備を図るため、就学前の幼児教育・保育を一体的に行う機能を担う「幼保連携型総合施設」を整備する。	基本計画・基本設計の検討	基本計画・基本設計の作成	(今後の展開方針) H26:基本計画・基本設計 H27:測量・土質調査 土木・建築基本設計、 実施設計、用地取得 H28:土木・建築施工監理、 建築・土木・電気工事 H29:供用開始 村内の0～5歳までのこどもを受入	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧 【公表版】

大宜味村		計画 期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
1	大宜味村観光受入体制強化促進事業	H24 ～ H30					
1	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ H28	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつりを開催し、誘客を促進する。	・産業まつり誘客イベント開催支援	・産業まつり参加者数:5,500名	(今後の展開方針) 産業まつり参加者数(累計) H24～H28年度:12,000名	
1	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ H31	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化が図られる施策として、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に、大川川とその周辺整備を実施する。	・村内12の河川において、植物・生物生息調査、環境影響調査を実施 ・推進計画策定業務の実施	・自然環境調査の実施 ・推進計画の制定	H27年度:実施設計 H28年度:用地及び補償 H29～H31年度:河川工事	
1	大宜味村文化財活用促進事業	H25 ～ H28	観光立県である沖縄振興に寄与することを目的に、地域資源文化財を活かした村内に現存する貴重な歴史民俗資料・野生生物の保存整備を行い、その展示・活用を行う事で村の魅力の1つとし、そこから文化資源を活かした観光振興・地域の活性化を図る。	・おおぎみの昔話絵本化	・おおぎみの昔話の伝承 ・方言等の継承・保存 ・郷土学習等での活用	(今後の展開方針) H27年度:民具修復、標本製作 H28年度:展示準備	
1	大宜味村歴史と文化検証事業	H26 ～ H29	昭和53年度に刊行された「大宜味村史」を再点検し、取り上げられていない分野(自然・沖縄戦・民俗)ことば・移民・出稼ぎ・映像記録・写真等)を新たに編纂し、村を訪れる人々への情報提供すると共に、沖縄本島最北の築城である根謝銘城趾を調査することにより観光資源として活用していく。	・戦争証言集印刷の発注 ・戦争遺跡調査報告書の発注 ・根謝銘城趾調査計画の発注 ・海外移民調査の発注	・戦争証言集発刊 ・戦争遺跡調査報告書の製本 ・根謝銘城趾調査計画の策定 ・海外移民調査の完了	(今後の展開方針) H27年度:調査・印刷、根謝銘城趾調査 H28年度:根謝銘城趾調査	
1	「芭蕉布の里」整備事業	H26 ～ H29	国の重要無形文化財である芭蕉布を県内外にPRするため、新築移転の検討を含めた「芭蕉布の里」基本構想を策定する。	施設導入機能、施設整備計画の検討	「芭蕉布の里」基本構想策定の実施	(今後の展開方針) H27年度:基本設計 H28年度:実施設計 H29年度:施設整備工事	
1	大宜味村観光周遊ルート形成整備事業	H24 ～ H27	大宜味村の特徴ある観光資源(自然・文化・歴史・祭・文化財等)を連携させる観光周遊ルートを形成し、観光拠点施設や特産品の販売促進施設などを整備し、また、観光事業推進のためにインフラ整備を実施し、受入体制の強化による観光振興を図る。	・平南川駐車場等整備工事の発注 ・大保ダム湖面棧橋設置工事の発注 ・商業振興可能性調査の着手 ・空き家利用推進実態調査の着手	・平南川駐車場等整備の完成 ・大保ダム湖面棧橋の完成 ・商業振興可能性調査の完了 ・空き家利用推進実態調査の完了	(今後の展開方針) H27年度:大保ダム湖面を利用したエコツーリズムの展開 H27年度:むらおこし事業補助金	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧 【公表版】

大宜味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			「ぶながやの里」学力向上推進事業	H25 ～ H28					
2			学習支援員配置事業	H25 ～ H27	将来の大宜味村を担う児童生徒の基礎学力の定着を図るため、村内の小学校4校と中学校1校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 村内小学校4人・中学校1人	・支援を要する学校のうち、教育環境課が改善された割合 80%(アンケートを実施) ・支援を要する学校のうち、学習支援員が配置されている学級の割合 100%	(今後の展開方針) 学力到達度調査 H28年度:県平均を目標	
2			地域支援員配置事業	H25 ～ H27	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等のない学校教育を支援する地域支援員を配置する。	・地域支援員配置数 ・村内中学校1人	・地域支援員(村内1中学校に配置) ・不登校者出席率:現在27% 40%	(今後の展開方針) 不登校者出席率 H28年度:60%	
2			「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ H28	各種団体の生涯学習及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習コーディネーターを配置する。	・生涯学習コーディネーター配置数 ・教育委員会1人	・生涯学習コーディネーター配置(教育委員会1人) ・生涯学習講座 10回開催 ・講座受講者数 H26年度:100名	(今後の展開方針) 講座受講者数(累計) H28年度:400名	
2			児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ H33	大宜味村に在住する児童・生徒(小学生・中学生・高校生)に対し、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会に、予選及び審査等の結果、代表として参加する際の派遣費用を補助する。	児童生徒派遣費の一部を補助	派遣対象生徒の大会派遣率100%	(今後の展開方針) 経費負担軽減により、九州・全国大会を経験し、総合的な学力の糧とする。	10月変更 (事業追加)
3			沖縄特殊戸籍電算化事業	H26	福岡戸籍・臨時戸籍・受付帳は戸籍業務において、特殊な照会事例において用いられている基礎資料であり、当時の紙資料が保管されている。著しく劣化が厳しいため電子データ化及び管理システムの構築を図る。	紙戸籍の電算化の実施 福岡戸籍数:1,560件 臨時戸籍数:9,799件 受付帳:2,744件	沖縄特殊戸籍の電算化率:100%		
4			結の浜安心安全な環境づくり整備事業	H26 ～ H27	村の中心地区形成のために造成された公有水面埋立地「結の浜」には、公営住宅、村立診療所、賃貸工場が整備されており、現在、結の浜公園や小・中学校も整備中である。そこで、結の浜地区における津波や火災等の自然災害に対し、村民及び本村を訪れる観光客に安心・安全を提供するため、環境整備を行う。	避難路及び結の浜地内の消火栓選定調査測量設計・地質調査の実施	調査測量設計・地質調査の完了	(今後の展開方針) H27年度:避難路整備工事、消火栓設置工事	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【変更後】

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考			
パ	細				H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等
1			東村観光客受入体制強化事業	H25 ~ H28							
			ブルーツーリズム体験施設等整備事業	H25 ~ H27	東村内において新たな観光フィールドを開発するため、平成25年度に策定した基本計画をもとに宮城地区にブルーツーリズムの体験に必要な便益施設(トイレ、更衣室、シャワー、駐車場等)及び海へのアクセス道の整備を行う。	ブルーツーリズム体験施設等の設計及び工事	○便益施設の整備完了 トイレ、シャワー、更衣室 ○駐車場の整備完了 ○海へのアクセス道の整備完了	利用者見込み ○H27年度見込 120名 ○H28年度見込 400名 ○H31年度以降 2,000名	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)		
			東村観光産業人材育成事業	H26	村内の観光関連事業所と連携のもと、必要なノウハウを実践的に身につけることにより、東村観光案内人(観光ガイド)や沖縄本島で唯一のプロジェクトアドベンチャー(冒険教育)のインストラクターを育成する。	観光ガイド育成及びPAインストラクター育成	観光ガイド育成 1人 PAインストラクター育成 2人 PA育成講習会 参加者10人	育成した人材を雇用につなげる。			
			東村の魅力PR事業	H26	観光、産業、特産品、文化、移住等に関する東村の魅力を大々的に県内外でPR活動を行い、本村への誘客及び人口増加に繋げる。	PRイベントの開催及び県外イベント等の参加	県内PRイベント 1回(3日間開催予定) 県外PRイベント等の参加 1回(東京予定)	次年度以降も観光・特産品・定住等の各分野においてPRを行う。			
			観光基盤整備事業	H26	魅力ある観光資源の情報発信及び観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本村の観光情報等が入手できるよう、Wi-Fiスポットの環境整備などを行う。	無料公衆Wi-Fiの導入 4エリア	主要イベント来場者数 40千人 主要施設来場者数 90千人	無料公衆Wi-Fiの提供 主要イベント 東村夏祭り・福地ダム夏休み自然体験会・つじ祭り			
			東村花いっぱい運動推進事業	H26 ~ H28	一年をとおして花いっぱいの村づくりを推進するために、村内各種団体と連携して県道沿いへのプランター設置や、花の植え付けなどを行う。また、「東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会(仮称)」を設立する。	・「東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会(仮称)」を設立する。 ・村内主要道路沿いへのプランターの設置 ・村内各箇所への花の植え付け	・「東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会(仮称)」を設立する。 ・村内主要道路沿いへのプランターの設置(250箇所) ・村内各箇所への花の植え付け(参加者400人)	東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会(仮称)を村内各種団体により会員構成を行い、地域住民の意見を取り入れた地域主導の取り組みを図る。			
			福地川河口周辺海岸環境調査	H26 ~ H27	本村では観光レクリエーション資源には、山や川を生かしたものが多く、太平洋に面しながらも海でのレクリエーションを楽しめる場が少ない。そのため、新たな観光産業の推進を図るため、福地川周辺及び平良湾の利活用を計画し、平良湾における赤土流出等における海域での現況調査、影響調査及び改善方策を検討し、観光フィールドの活用、保全を図っていく。	・現況調査 ・影響予測調査 ・概算設計	現状の把握をし、改善策を策定する。	基本計画を基に新たな観光フィールドの改善方策を実施し活用及び保全を図る。	7月変更(事業追加)		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【変更後】

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
パ	細				H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
			沖縄やんばるアドベンチャーラー推進事業	H26 ~ H28	「沖縄やんばるアドベンチャーラー」は、東村の豊かな自然をフィールドにトレイルランとシーカヤックを活用したアドベンチャーレースであり、当該イベントの実施・普及を図る。	沖縄やんばるアドベンチャーラーの実施	沖縄やんばるアドベンチャーラーの開催 (大会目標参加者210名 うち県外参加者20名) (前回参加者143名 うち県外参加者11名)	沖縄やんばるアドベンチャーラーを継続的に実施し、参加者の増員に取り組み、本村及び沖縄県のPRにつなげる。	10月変更 (事業追加)	
			東村海洋資源活用推進事業	H26	修学旅行等による村の観光振興に向けて、受け入れ体制の強化を図るため、海洋資源を活用して行う新規事業の立ち上げに必要な初期経費の一部を補助するとともに、海岸の保全・活用の推進のためビーチクリーナーを整備する。	東村海洋資源活用推進事業実施に係る経費の一部補助実施 ビーチクリーナーの購入	事業実施体制の整備完了 (指定管理者による事業実施に係る備品等の整備完了) 海岸の保全・活用推進のための体制整備完了 (ビーチクリーナー購入の完了)	(今後の展開方針) マリンスポーツ体験プログラム利用者数: 平成26年度 0人 平成27年度 3,100人 平成30年度 4,000人 海浜清掃の実施により、海岸の景観保全と海浜利用者の安全確保を図る。 海浜清掃年10回実施	1月変更 (事業追加)	
2			村内小中学校電子黒板設置事業	H26	村内小中学校の普通教室に電子黒板を設置することにより、より解りやすくより効果的な授業を展開し児童生徒の学習効果、学習意欲の向上を図る。	電子黒板の整備	村内3小中学校の普通教室20カ所に電子黒板一式を設置	教師個々の電子黒板活用スキルの向上を図り、児童生徒の県及び国の学力検査(テスト)のレベルアップを図る。		
3			東村ブロードバンド整備事業	H26	村内における情報通信の格差を解消するため、未整備である地域に無線LANのアクセスポイントを整備する。	無線LANアクセスポイントの設置	村内の未整備である地域に2基の無線LANのアクセスポイントの設置を行い住民の利便性を図る。 (既存カバー率95.2% 設置後カバー率100%)	今後の定住促進を促進するため、情報通信環境を整備し、住民生活の利便性の向上、産業振興などの充実に向けて情報通信基盤の高度化を図る。	7月変更 (事業追加)	
4			東村屋内運動施設機能強化事業	H26 ~ H27	各種競技会・合宿・観光事業等の利便性向上を図るため、施設の機能強化を図る。	調査測量設計の実施 施設機能強化工事(第1工区)の実施 第1工区 壁面塗装、ジョギングエリアゴムチップ舗装	調査測量設計の完了 壁面塗装、ジョギングエリアゴムチップ舗装の整備完了	・H26 完了箇所供用開始 ・H27 施設機能強化工事(第2工区) 整備後の利活用 ・各種スポーツ大会の開催 ・健康増進イベントの開催 ・修学旅行等の入村離村式 ・スポーツ合宿等 年間利用者: 13,300人(過去3年平均) 年間目標値: 20,000人(H28)	10月変更 (事業追加)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【変更後】

東村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		東村観光誘客施設(仮称)整備事業	H25 ~ H28	観光振興を図るため、東村が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う施設を整備するため、調査や基本設計を実施する。	調査(測量、土質調査)の実施 基本設計(建築、展示)の実施	調査(測量、土質調査)の完了 基本設計(建築、展示)の完了	H27:実施設計、工事 H28: 工事 整備後の利用人数 23,500人/年	10月変更 (事業追加)
6		東村文化交流施設機能強化事業	H26 ~ H27	利用者のニーズに対応するため、施設の舞台周り(舞台照明、音響設備、ホール・舞台カーテン、控え室)の改修を行い、効率良く文化行事及び研修等が行えるよう施設の機能強化を図る。	改修設計の実施	改修設計の完了	H27:改修工事 整備後の利活用 ・民謡ライブの開催 ・文化芸能団による舞台鑑賞会 ・各種団体活動 年間利用者:4,200人(過去3年平均) 年間目標値:5,500人(H28)	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	H24 ～ H27	健康長寿体験滞在型観光を促進するため、これまでに実施された村民アンケート調査を基に、健康長寿作戦会議と健康づくりプログラムを村民と共に作成し実施する。また、村観光協会とヘルスツーリズム組織づくり、ツアープログラムづくりを推進する。	・健康長寿作戦会議開催(3回) ・健康長寿作戦実施(3回) ・ヘルスツーリズムにおけるプロジェクトチームの設立	・地域で共に支えあう健康づくりプログラムの立案と実施 ・プロジェクトチーム会議の開催(1回)	(今後の展開方針) ・H27年度においても健康長寿作戦会議、健康長寿作戦及びプロジェクトチームの会議を継続して実施する。	
2			今帰仁村子ども教育充実事業	H24 ～ H33					
2			人材育成事業	H24 ～ H33	小学校を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行う。また、大都会の東京大学等を見学し、子供達の視野の広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与える。	・派遣生徒数:36人	・派遣生徒数:36人 ・報告会の実施(1回)	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計):360人 ・地域及び本村のジュニアリーグの団員として活動 ・北山ていーだの会団員として「現代版組踊北山の風」のメンバーとして活動	
2			東ティモールと本村児童の交流推進事業	H24 ～ H33	東ティモールの児童を招聘し、本村3小学校との交流で国際感覚を育成し、今後村としても人道的支援や姉妹校締結を目指し、交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材の育成を図る。	・受入児童数:2人、引率:3人	国際交流活動による海外からの受入者数 ・受入児童数:2人、引率:3人	(今後の展開方針) 研修生受入者数(累計):50人 ・本村の児童生徒を東ティモールに派遣する。 ・東ティモールの学校(1校)と姉妹校を締結する。	
2			芸術家招聘事業	H24 ～ H27	本村の小学校校歌の作詞者関係者であるソプラノ歌手(講師)を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る公演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流を図る。	・公演会開催校:小学校3校	・公演会に参加した児童生徒数:600人	(今後の展開方針) ・芸術家の公演会等を年1回継続的に開催する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	未来を担う人材育成事業	H24 ~ H33	大学進学に特化した大学進学講座を実施し、進学実績の向上と地域に根差した特色ある学校づくりの観点から地域教育資源を活用し学力向上と地域の活性化を目指す。	・大学進学講座の開催 開催期間：6月～3月 開催日数：120日(週3日程度) 開催講座数：1日あたり90分×2コマ	・講座参加人数：10人	(今後の展開方針) ・参加者数の増加及び参加者の大学合格率の向上を図りながら、大学進学講座を継続して実施する。		
2	学習支援者配置事業	H25 ~ H33	学力向上のための学習支援員や、障害のある園児・児童生徒(多動性や情緒も含む)のための特別支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら支援を行うことで教育環境を充実させる。	(学習支援員及び特別支援員の配置人数) 幼稚園(学)0人(特)1人 小学校(学)3人(特)6人 中学校(学)1人(特)1人	(学習支援員及び特別支援員の配置人数) 幼稚園(学)0人(特)1人 小学校(学)3人(特)6人 中学校(学)1人(特)1人 ・学力や学習意欲の向上 ・村内の幼稚園・小学校・中学校への支援員配置率100%	(今後の展開方針) ・園児、児童生徒の学力向上及び学習意欲の向上を図るため、学習支援員及び特別支援員を継続して配置する。		
2	中高生海外語学留学支援事業	H25 ~ H33	英語を学ぶことの関心・意欲を高めるとともに、「今帰仁村」の将来を担う、国際感覚豊かな人材育成のため、本村今帰仁中学校に在学する中学生3人及び北山高等学校に在学する高校生2人を対象に、夏季休学中にアメリカ(ハワイ2週間・シアトル4週間)で学習する機会を与え、世界に羽ばたく人材を育成する。	・留学生徒数 中学生：3人 高校生：2人	・古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動 ・今帰仁城跡やさくら祭りなどで外国人観光客の通訳及びボランティア活動	(今後の展開方針) ・留学生徒数の増加及び自己負担の軽減を図りながら、留学支援を継続する。 ・留学生徒数累計(中学生：27人 高校生：18人)		
2	児童生徒等の県外・国外派遣事業	H25 ~ H33	小・中学生の児童生徒や県立高等学校の生徒が、県外・国外で開催される各種スポーツ大会や文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	・村内児童生徒等のスポーツ大会等への派遣費用を補助する。	・県外少年団野球大会 20人 ・県外スポーツ大会 156人	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計)：1,746人		
3	今帰仁村観光客受入強化事業	H24 ~ H33						

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		景観形成強化事業	H24 ~ H28	村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入体制を整える。	・歩きやすい歩行空間の確保(道路の舗装、粉塵防止、雑草防止、防護柵設置等)	・快適な観光アクセスルートの整備 全体整備計画の26%(4.2km)を整備	(今後の展開方針) H27~H28:防護柵設置・舗装 ・道路整備工事・張りコン工事 (全体整備計画) ・H28年度までに16.1kmを整備	
3		環境保全美化推進事業	H24 ~ H33	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。	・村内の観光地の美化作業の実施。 ・歴史・文化的な松並木の景観保全の実施。	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・観光ルートの美化 全体計画の13%(27路線)完了 ・歴史的・文化的な松並木の景観保全 白アリの防除 全体計画の30%(55本)を防除 樹木の強化 全体計画の50%(110本)を強化	(今後の展開方針) ・観光アクセスルートの整備を継続的に行う。 ・松並木の調査を進めながら、白アリの防除及び樹木の強化を図る。 (全体計画) ・観光ルートの美化:201路線(H33) ・白アリ防除:185本(H28) ・樹木の強化:220本(H27)	
3		風景づくり推進事業	H24 ~ H28	平成25年度「今帰仁村風景づくり推進事業」モデル地区となった今泊地区における景観形成に係る行動計画の作成を受け、行動計画に位置付けられた地域で進めていくべき施策・事業等(ハード・ソフト)の実現化に向けた検討を行う。また、検討機関として庁内プロジェクトチームを設置し、事業内容等について調整・協議を行う。	・景観形成に係るハード事業・ソフト事業の行動計画の策定。(今泊地区)	・景観形成に係るハード事業・ソフト事業の行動計画についてとりまとめる。(今泊地区)	(今後の展開方針) 村の景観を保全・継承するため、H27~H28年度は今帰仁村全体の景観形成におけるハード事業ソフト事業にかかる支援メニューの作成及び支援実施要綱等を策定する。	
3		観光力基盤強化事業	H24 ~ H33	今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、総合まつり、ハーリー、さくら祭り、三村交流事業などのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	・現代版組踊「北山の風」、総合祭りなど各種イベントの開催を支援する。	・現代版組踊「北山の風」の開催来場数(1,000人) ・古宇利ハーフマラソン(参加者:2,500人) ・今帰仁城跡ライトアップ及びさくら祭り(来場者:39,000人) ・今帰仁総合まつり(来場者:10,000人) ・今帰仁ハーリー大会(出場者数:770人) ・三村交流事業(来場者:800人)	(今後の展開方針) ・村の活性化を図るため、イベント等の支援を継続して行う。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3		観光地安全強化事業	H24 ~ H33	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車両の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	・交通整理員の配置:4人(12月~2月) ・今帰仁城跡来訪者安全対策の実施	・今帰仁城跡来訪者(約266,500名見込み)の安全の確保(12月~2月)	(今後の展開方針) ・イベント時の来訪者の安全対策を図るため、今帰仁城跡に交通整理員を継続して配置する。	
3		今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ~ H30	世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要な地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効活用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくら祭りのさくらを植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。	・河川改修工事(左岸) L=90m	・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上。 ・観光客の安全・安心な観光基盤構築。 ・平成26年度は延長560mの内下流左岸90mの工事を実施する。(全体整備計画の16%を整備)	(今後の展開方針) ・H27~30年度:河川の整備 ・H31年度:供用開始 ・全体整備計画 560m(H30)	
3		今帰仁村体験型観光振興事業	H24 ~ H26	今帰仁村の体験型観光の振興に向けて、安心安全の民泊受け入れ体制づくり、村内の自然資源、文化資源を活かし体験型観光商品の開発、修学旅行、社会人研修、スポーツキャンプ、合宿の誘致及び今帰仁村の体験型観光の情報発信等を実施する。	・民泊受入家庭向け講習会5回開催 ・スタッフ、受入家庭視察研修2回 ・村内体験商品メニュー作成調査2回 ・県外誘致活動2回 ・体験型観光マップ、パンフレット作成	・簡易宿所営業許可取得済民泊受入家庭50軒確保 ・修学旅行15受入 ・新規体験型観光商品メニュー作成 ・体験型観光パンフレット、マップ作成	(今後の展開方針) ・H27年度、修学旅行30校確保に伴う自主運営	
3		今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ~ H33	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来場者に無料ガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。	・案内に資する知識を得るために講演会(1回)及び研修会(2回)を開催する。	・ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ・ガイドによる来訪者の案内 11,600名目標(平成25年度、案内した来訪者数 11,400名)	(今後の展開方針) ・来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。	
3		金装宝剣拵事業 (千代金丸:国宝の模造作成)	H26	尚家主尚裕より平成7年、8年、に同家伝承文化財が沖縄県那覇市に寄贈され、平成14年に三振りとも「琉球王家尚家伝来品」の一つとして重要文化財に指定される。さらに、平成18年歴史文書類を加えて「琉球国王尚家関係資料」として国宝に指定される。その宝剣の模造品を作成する。	・金装宝剣拵(千代金丸:国宝)の模造作成(1振り)	歴史文化センター入館者 133,000人 (H25: 131,000人)	・金装宝剣拵(千代金丸:国宝)の模造作成後今帰仁村歴史文化センターで展示を行う。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24 ~ H28	「スポーツ交流むら」は天然芝グラウンド、温水プール、クラブハウスなどが集積され、各種大会、合宿、キャンプ地として高い評価を受けている。しかしながら、夜間照明の改善による夜間トレーニングへの対応や、故障者のコンディショニングへの対応、駐車場等の整備などの課題を抱えており、課題解決のための機能強化を推進する。	・多目的広場設計委託 ・テニスコート改築工事(4コート) ・テニスコート照明電気設備工事	・テニスコート(4面)の改築工事の完成 ・多目的広場設計業務の完了 ・テニスコート照明電気設備工事の完成	(今後の展開方針) ・H27年度:プールの改築工事 ・H28年度:イベント広場の建設工事 ・全体整備計画 10,508㎡ ・年度毎に改修・整備した施設の利用を促進するために、ホームページ等を活用し広報活動を行う。 ・合宿数の基準値(H25 30団体)をH30年度までに合宿団体を40団体誘致する。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
4			今帰仁村地域安心・安全告知整備事業	H25 ~ H26	近年では、地震発生・集中雨の頻発による土地災害への懸念や津波による大規模災害も想定されることから、緊急性の高い情報伝達、予測段階(注意喚起)での活用、また行政情報の住民への伝達など防災情報に特化せず幅広く活用するための情報伝達手段を整備する。	・行政情報等の住民への伝達手段の整備の実施。	・効果的な情報伝達システム構築(19行政区 小学校3校 中学校1校)	(今後の展開方針) ・H27年度 供用開始	
5			今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ~ H33	安定した素生産地の確立のため今帰仁村和牛改良組合が沖縄県農業協同組合の貸付牛を導入する際に、1頭あたり50万円を上限に導入牛の価格の半額を補助する。	・繁殖牛を導入する際に1頭あたり50万円を上限に補助する。	繁殖牛 21頭(全体計画の12.3%)導入	(今後の展開方針) ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 ・導入全体計画 170頭(H33)	
6			墓地基本計画策定事業	H26 ~ H27	墓地実地調査により、墓地分布図などを作成して墓地の立地特性の把握を行う。村で墓地等経営許可の事務を処理し、墓地利用に的確に対応するために、「今帰仁村墓地基本計画」を策定する。さらに、住民調査などによって、住民ニーズの把握を行う。	・墓地実地調査の実施 ・墓地の立地特性の把握	実態調査(19字) 村内の墓地分布図の作成	(今後の展開方針) H27 墓地基本計画策定	
7			地域活動拠点活性化事業	H25 ~ H26	玉城地区は、県道72号線が通って北部の市街地の名護市へアクセスルートが便利な地域である。今後も地域住民の交流の場として利用できる施設が必要であり、かつ各種行事・伝統芸能(芸能祭等)の練習や料理講習、さらに都市及び観光客とも交流できる拠点としての施設を整備する。	・地域活動拠点施設の設計及び建築工事の実施	・地域活動拠点施設の完成	(今後の展開方針) ・H27年度 供用開始 ・観光客等との交流を図るため、伝統芸能等(芸能祭)をはじめとする各種行事を開催する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		本部町観光拠点形成事業	H24 ～ H29					
1		花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ H28	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等に、プランターの設置やくの植え付けを行う。実施は、「本部まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター設置 = 125基	プランター設置率: 80.6% 【5年間の設置目標に対するH26年度までに設置する割合】 (5年間設置目標: 1160基 H24実績540基 H25実績270基 H26予定125基)	(今後の展開方針) 5年間で1160基のプランター設置等を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。 (今後の設置予定) H27年度125基 H28年度100基	
1		周遊観光実証調査事業	H24 ～ H28	既存のタクシーを活用して、観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットの周遊観光及び環境整備、各観光スポットの観光ガイドや各種体験観光のサポートを行う人材の育成を行う。	周遊タクシーの試験稼働: 3台	周遊タクシー利用客: 70名	(今後の展開方針) 新たな実施主体(事務局)による事業の本格稼働・ブラッシュアップ。	
1		ハブ咬傷防止事業	H25 ～ H29	台湾ハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約150カ所に設置	ハブ捕獲数年間: 200匹	(今後の展開方針) 安心・安全な観光地づくりのため、町内のハブ咬傷事件の低減を図る。	
1		本部町観光プラットフォーム構築事業	H25 ～ H27	近年、観光客のニーズが多様化している中で、今後の観光推進を図るには、それらに対応した観光プラットフォームづくりが必要となる。そこで今回、本事業を本部町観光協会に委託し、観光コンテンツ開発・地域関連事業者との連携・販路開拓などを行う組織づくりを行う。	・地域事業者とのネットワーク構築 ・ビジネスモデルの検証	・ワークショップの開催 2回 ・観光ビジョンの構築 ・モニターツアーの実施 3回	(今後の展開方針) ・組織運営体制の強化・ネットワーク拡充 ・収益スキームの開発・検討 ・情報発信(SNS、イベント出展) ・県内外旅行会社との連携	

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		山里山百合増殖普及事業	H25 ~ H27	在来種の山百合(鉄砲百合)を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。	山百合の補植:30,000株 山里地区でのイベント(山百合祭などの)開催(1回)	イベント実施による観客数:300人 【3年間の補植目標に対するH26年度までに補植する割合】 山百合の補植率:41.6%	(今後の展開方針) 山百合の補植 H25~27年度で120,000株 H25年度:20,000株 H26年度:30,000株 H27年度:70,000株	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1		伝統興行観光化事業	H25 ~ H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。あわせて観光客へも広く伝統興行が鑑賞できる環境を整備し、観光資源化を促進させることで、伝統興行の担い手の経営安定化につなげていく。	伝統興行の実施:3回	伝統興行の実施による観客数(累計):900人	(今後の展開方針) 伝統興行の実施 H27~H28年度:6回	
1		本部町2大まつり事業	H25 ~ H28	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつりの実施 ・海洋祭り 8月 ・桜祭り 1月	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人(2日間合計) ・桜まつり 10,000人(期間中1日平均) (参考)過去実績 ・海洋まつり H22度6,441名 H23度6,037名 H24度8,629名 ・桜まつり(H22度8,202人、H23度9,425人、H24度9,668人)	(今後の展開方針) エーゼント等との連携を図り、県外からも多くの方が訪れるようなイベントを目指す。	
1		本部町フクギ集落整備事業	H25 ~ H27	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギの剪定や案内板等を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	フクギ集落の排水・舗装・案内板等の実施設計	フクギ集落の排水・舗装・案内板等の実施設計の完了	(今後の展開方針) ・フクギ集落の排水・舗装・案内板等の設置完了 ・町や観光協会とフクギ集落地区のネットワーク強化 ・県内外旅行会社と連携したフクギ集落景観を活かした観光コースの検討	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1		本部半島カルスト案内板設置事業	H26	本部半島カルスト地域において、沖縄県による「ふるさと歩道の整備事業」が平成23年度～平成26年度の期間で行われている。沖縄県の整備する範囲以外の町管理道路(町道・農道)沿いに案内板(誘導版)を適所に設置することにより、来訪者がより一層、安心・安全に観光できる地域づくりを行う。	案内版(誘導版)設置工事の実施=3ヶ所	案内版(誘導版)設置率=100% (案内板等の設置が必要な箇所:3カ所 H26年度での設置予定箇所:3カ所)	(今後の展開方針) 本部半島カルスト地域を訪れる観光客等が、安心・安全に地域を散策できる地域づくりを推進する。	
1		本部町民泊推進・発展事業	H26	本部町民泊事業の発展・向上のため、受入民家スキルアップを目的とする各種講習会の実施、充実した体験学習、本部町民泊PRを行い、地域資源の活用や各種団体との連携を図り、地域の活性化へつなげる。	スキルアップ講習会:6件 体験学習向上:7件 PR宣伝:パンフレット等作成	スキルアップ講習会参加延人数:180名 体験学習向上:7件 PR宣伝:パンフレット等作成	(今後の展開方針) 修学旅行で民泊を経験した子供達、卒業旅行やハネムーン、家族旅行等に今後リピーターとして訪れる可能性があり、地域の活性化に貢献することができる。	
1		八重岳観光拠点整備事業	H25 ~ H28	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水工事の実施 L=3,331m 伐採工の実施 A=37,675m2	排水工事の完了 L=3,331m 伐採工の完了 A=37,675m2	(今後の展開方針) H26年度:八重岳入口河川の親水護岸及び排水路整備 H27年度～H29年度:法面崩壊防止のための排水路整備及び新たな拠点(広場)づくり	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1		本部町景観形成重点地区指定等事業	H26 ~ H27	本部町景観計画の景観重点地区に新たに「名護本部線周辺地区(仮)」「八重岳桜の森公園(仮)」の指定に向け景観形成方針・景観形成基準(案)を検討し、住民ワークショップ等を開催して住民との合意形成を図り、景観審議会の意見も踏まえ景観形成方針・景観形成基準の案を作成する。	現況把握 景観形成方針(案)の検討 景観形成基準(案)の検討 住民ワークショップ等の開催 景観審議会の開催	景観重点地区の景観形成方針及び基準についてとりまとめる	(今後の展開方針) H27年度 景観形成重点地区指定2カ所 「名護本部線周辺地区」 「八重岳桜の森公園地区」	
1		観光漁業実証調査事業	H26 ~ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここできか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	・中層型浮漁礁整備2基設置 ・観光プログラム確立に向けた計画及び実証試験の実施	中層型浮漁礁を2基設置し、観光プログラム確立に向けた計画策定及び実証試験の検証をとりまとめる	(今後の展開方針) 継続した基盤整備と実証試験の考察を行い改善していく。	7月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		本部町亜熱帯農業生産体制強化事業	H24 ~ H29					
2		本部町キク拠点産地強化事業	H24 ~ H26	本部町のキク栽培における現状は、栽培農家の高齢化による労働力不足や、新たな担い手の確保等が課題となっている。そこで、下葉とり、高さ揃え、重量選別、結束を同一機械で行う花き選別機の整備を図り、一連の出荷作業の機械化体系を確立することにより、品質及び生産性の向上、経営規模の拡大を進め、担い手農家の確保や、農家所得の向上を図る。	自動結束ロボット付重量選別機導入数:6台 (内訳) 沖縄県農業協同組合:3台 沖縄県花卉園芸農業協同組合:3台	農家の選別作業の軽減を図り、キクの品質及び生産性を向上させる	(今後の展開方針) 出荷作業の効率化	
2		園芸農業防災施設整備事業	H24 ~ H26	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数:5件	・自然災害や病害虫による農作物被害の低減化を図る ・ビニールハウスの活用により生産性の向上を図る	(今後の展開方針) ・自然災害による農作物被害の低減 ・施設整備による産地形成	
2		本部町有害鳥獣駆除対策事業	H24 ~ H28	本町の果樹類については、カラス、ヒヨドリ等による鳥獣被害が増大しており、果樹農家の生産意欲が低下している。そこで鳥獣被害対策が非常に重要な課題となっており、その対策を実施する。	タンカン網掛け:1,500枚	107-ル当たりのタンカン収量を800kg目標	(今後の展開方針) 鳥獣被害の防除	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24 ～ H28	観光文化の町である本町は、観光客向けのホテルやレストラン、飲食店等を数多く有しているが、地元産食材のまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため、地元産の食材はほとんど活用されていない。地元で生産されたものを地元で消費する『自産地消推進モデル』を構築し、年間300万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせることで地域経済の活性化につなげる。	生産者直売所モデルの構築 地域に適した移動集荷・販売モデルの実証 伝統的な島ヤサイの普及	出品登録者数 : 60人 町内取引先数 : 30業者	(H28年度末時点) 出品登録者数(累計) : 100人 町内取引先数 : 50業者	
2			もとぶピージャー産地確立推進事業	H25 ～ H26	沖縄県内で消費されている山羊肉の約8割が輸入山羊肉であるという事実から、本事業により県内産の山羊を改良増殖することで地産地消を推進する。	山羊舎整備:1棟 ホイルローダー購入:1台 飼料カッター購入:1台	本部町内飼養頭数 640頭 対象施設出荷頭数 40頭	(今後の展開方針) 本事業にて整備した山羊舎からの安定出荷及び町内山羊飼養頭数の増加を図る。	
2			もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ H29	優良母牛の地域基盤創出のため、優良母牛導入につき補助金を交付する。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数:35頭	(今後の展開方針) 平成26～29年度にかけて各年度目標導入頭数:35頭	
3			本部町地域産業安定化事業	H25 ～ H28					
3			もとぶのマーサムン・ミジラムンづくり支援事業	H25 ～ H28	本部町の特産品を開発するため、本部町内の企業等に開発を委託し、より多くの特産品をつくりあげる。なお、開発した特産品については、その製法・仕様を本部町内の企業等に無償で提供する。	特産品の開発:5品 開発した特産品の広告・宣伝	開発した特産品の製法・仕様の公開	(今後の展開方針) 開発した商品は、産業まつりなどでPRし、本部町ブランドとして確立する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				4				
4		音楽のまちづくり事業	H24～H28	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラシック、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンルの音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。また音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。	音楽イベント等開催5回	音楽イベント来場者数 450人	(今後の展開方針) イベント等動員数単年度累計 H28年度 1,250人	
4		モトブンチュ人材育成事業	H25～H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	全町民を対象とした三線、琉舞教室等の伝統文化教室、町内イベントでの体験型プレイショップの提供を行い、伝統文化継承事業を展開する。	伝統文化継承教室開催数 三線・琉舞等 240回 目標参加者数 2,600人 町内イベントでの体験型プレイショップ開催数 3回 目標参加者数 600人	(今後の展開方針) H25～H30延利用者数 15,000人	
5		赤土流出防止検討調査事業	H24～H28	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている。海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び排水路でのフィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。	流出源現地調査業務、流出対策に係る事業およびNPOやボランティアを活用したグリーンベルト植栽事業の実施する	現地調査事業：満名川支線流域：1流域 流出対策事業：調査済流域：1件 グリーンベルト植栽事業：1件	(今後の展開方針) 調査検討業務の成果を活用し、順次町内で対策事業を実施する。	
6		本部町墓地基本計画策定事業	H26	沖縄県は、他県とは歴史的・文化的に背景が異なることから、個人で墓地を所有する習慣が根強く、これらの地域特性を考慮して個人墓地を認めてきた経緯がある。その結果、幹線道路沿いや住宅街などにも墓地の散在化が見られ、住環境や景観上の問題とともに都市計画や土地利用の面からも支障が生じている。このような墓地問題に的確に対応することが急務となっているため総合的な指針となる「本部町墓地基本計画(仮)」を策定する。	本部町墓地基本計画の策定	・本部町墓地基本計画一式 本町の墓地行政の指針を示すことにより、墓地に関する住民意識の向上及び墓地の散在化防止を図り、住環境の保全に努める	(今後の展開方針) 策定した墓地基本計画を基に、墓地の集約化、適正配置に努め、住環境の保全を図る。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
7		本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちに対し学力向上の支援を行う。町内小、中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行う。	小・中学校に学習支援員配置 教育委員会事務局に取りまとめ係りとして配置	沖縄県学力到達度調査において県平均値以上を目標	(今後の展開方針) H33年度全国学力・学習状況調査 全国平均以上。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	恩納村観光促進・安心滞在型観光推進事業	H24～H28						
1	文化・観光情報発信拠点整備事業	H24～H26	恩納村の歴史・文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信する拠点及び、地域住民が郷土の歴史・文化等を学習する場とし、新しい観光資源を活用した文化交流型産業を担う人材の育成を図る拠点として、「恩納村文化情報センター」の建設工事及び観光情報システムの整備を実施する。	・文化情報センター建設工事 ・文化情報センター観光情報システムの整備	・文化情報センター建設工事の完了 ・文化情報センター観光情報システムの整備の完了	・H27年度供用開始 利用者目標：60,000人		
1	仲泊内海周辺活性化施設整備事業	H24～H28	恩納村及び西海岸リゾート地域の玄関口である仲泊内海を魅力あふれる観光地として更なる誘客活動を実施するため、平成24年度に実施したプロムナードに引き続き、魅力あふれる観光地づくりとして駐車場拡充及び周辺外構等の整備を実施する。	・仲泊内海周辺に隣接する駐車場改修設計・工事及び周辺外構工事を実施	・仲泊内海周辺に隣接する駐車場改修設計・工事及び周辺外構工事の完了	H27年度：駐車場供用開始、外構工事 H28年度：内海浚渫工事 H29年度：木栈道等整備予定 事業完了後の目標誘客数：78.5万人(H25年度71.4万人(10%増))	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
1	県外観光客誘客促進事業(おんな村観光物産展事業)	H24～H26	東京池袋(サンシャインシティ)において、本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。エイサー演舞や特産品の販売等を行い、特産品の販路拡大、観光PRを実施する。	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展の開催	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数：69,000人 基準年(H23)：48,000人	(今後の展開方針) より効果的なPR方法等を検証し、H27年度以降のフェスタ参加について検討する。		
1	恩納村「みどりの回廊」整備事業	H24～H28	魅力ある観光地づくりを行うため、国道58号線及び村内景勝地周辺を緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化へ繋げる。	・観光地周辺や海岸沿いの花等の植栽 ・漂着ゴミの除去の実施	・植栽本数：400本 ・漂着ゴミ除去箇所：11箇所	(今後の展開方針) 植栽本数は年間400本ずつ増加、平成28年度には2,000本(累計)		
1	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24～H26	外来種の台湾ハブ等が観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)周辺で頻りに発見、捕獲され、観光地での散策者への咬症事故が予想されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数：400箇所	・ハブ捕獲器設置完了 ・ハブ捕獲数：180匹	捕獲状況を分析し、ハブ生息地拡大を防ぐため、H27年度以降の事業計画を検討する。		
1	恩納村観光ナビマップ(多言語)作成事業	H26	国内外から来訪する観光客や長期滞在者に対応するため、日本語を含めた4カ国語のナビマップを作成する。	・既存マップの内容を検証し、関係機関と連携を図りながら情報を更新する。	・恩納村観光ナビマップの作成 日本語+英語：6万部 日本語+韓国語：2万部 日本語+中国語：2万部	・村内ホテル、商工会、事業所、県外旅行社等へ配布 ・2年おきにナビマップの更新を予定		

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				1				
1		保安林等環境整備事業	H26	海岸線や沿道沿いの保安林内の樹木による隣接する住宅、農地等への被害防止及び沿道の歩行者やビーチ利用者の安全・安心を確保するため、枯死・衰退した危険木の伐倒及び枝の剪定を実施する。	・海岸線や沿道沿いの保安林等の危険木の伐倒及び剪定 ・伐倒箇所:10か所 ・伐倒本数:200本	・歩行者やビーチ利用者の安全性の確保 ・景観の保全 ・伐倒の完了(調査済み箇所の100%)	・危険木の除去により、住民や通行人に対し、安全性確保や利便性向上につなげる。 ・「みどりの回廊」整備事業とタイアップし、保安林に適した沖縄在来の樹種を植栽することにより、沖縄らしい景観の保全につなげる。	10月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光振興プロジェクト事業	H24 ～ H33					
		阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ H33	阪神春季キャンプの受入態勢の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源を開拓していく。	・野球場仮設ブルペン、防球ネット、エアアーチ等設置 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	・阪神新規キャンプ受入 ・オープン戦の開催 ・キャンプ来場者(90,000人)	(今後の展開方針) 関係団体(観光推進協議会、商工会)との連携をし、集客を図る。 集客目標 H28:96,000人 H33:110,000人	
		宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ H33	教育・観光振興、人材育成を図るとともに、宜野座村の魅力をアピールし村全体の活性化を図るために、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に、文化イベント事業の開催やお出かけアウトリーチ事業、国際交流イベント事業を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の開催数(26) ・お出かけ公演実施数(16) ・子ども育成事業数(1)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数 H24年:3940名 H25年:2200名余 H26年:2500名 ・お出かけ公演実施対象者数 H24年:2565人 H25年:2151人 H26年:2650人 ・子ども育成事業人数(30名) (ストリートダンス教室)	(今後の展開方針) H26～H33 ・芸術文化・伝統芸能公演の開催 25公演/年 ・お出かけ公演実施:15公演/年 ・子ども育成事業実施:1事業/年	7月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ	細							
		宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ~ H33	<p>宜野座村の着地型観光を推進するため、地域資源を活用した地域発信の観光事業を展開するとともに、観光商品の事業化に向けた取り組みを推進する。また、地域企業との連携を密にし、地域コーディネーターの強化、PR活動に必要な情報媒体の整備、イベント事業展開等の支援を行う。</p>	<p>1. 観光誘客プロモーション事業 (1) 案内所設置 (2) PR活動 (3) 観光ノベリティーグッズ ファイル/手提げ紙袋/グッズ (4) 媒体作成事業 パンフレット/Web/情報誌掲載 (5) 観光カレンダー 2. 観光プログラム開発実施事業 (1) 親子体験ツアー 3. 観光人材育成事業 (1) 先進地研修(長崎県) 4. イベント事業 (1) 第2回沖縄バーガーフェスタ (2) 第1回フラワーロードフェスティバル</p>	<p>1. 観光誘客プロモーション事業 (1) 案内所来場者数:1,000名 (2) PR活動: ブースPR展(5回) (3) 観光ノベリティーグッズ ファイルでバッグ(1,000枚) 手提げ袋(1,000枚) スティック消しゴム(768個) タンブラー(60個) ふせん・メモセット(100個) ピンノックボールペン(100個) (4) 媒体作成事業 パンフレット (1,000部)/Web(閲覧者36,000人年/情報誌掲載(1回)) (5) 観光カレンダー(300部) 2. 観光プログラム開発実施事業 (1) 親子体験ツアー1回(40人) 3. 観光人材育成事業 (1) 先進地研修(長崎県)1回、報告会(1回) 4. イベント事業 (1) 第2回沖縄バーガーフェスタ(5,000人) (2) 第1回フラワーロードフェスティバル(50,000人)</p>	<p>(今後の展開方針) H27~H33 ・観光誘客プロモーション事業 案内所来場者数500人/年増 PR活動5回/年 ノベリティーグッズ作成1回/年 パンフ、WEB、掲載誌1回/年 ・観光プログラム開発実施事業 観光プログラム開発1回/年 ・観光人材育成事業 先進地研修、報告会1年/回 ・イベント事業 バーガーフェスタ開催1回/年 フラワーロードフェスティバル開催1回/年 観光案内所誘客目標 H29:3千人 H33:5千人</p>	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			リバーパーク整備事業(未来のぞ周辺整備)	H24 ~ H33	平成23年度に作成した「漢那福地川リバーパーク基本計画」を素案として、検討委員会にて計画実施にむけての細部を協議し、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点整備を推進する。一昨年はパークゴルフ場を整備し、昨年度は拠点整備用地(無地番地)について測量調査を実施した。本年度は当該地の用途廃止及び村有地化を図る。	・リバーパーク整備等検討委員会の設置、開催(具体的な実施整備について協議) ・無地番地の土地購入(売買契約)	・リバーパーク整備等検討委員会を設置し、漢那福地川周辺と宜野座村の観光振興に向けた施策について取りまとめる。 ・無地番地の村有地化を図る。	(今後の展開方針) H27:ゲートゾーンの実施設計 H28:ゲートゾーンの工事 H29:リバーサイドゾーンの実施設計 H30:リバーサイドゾーンの工事 H31:フルーツ・フラワーガーデンゾーンの実施設計 H33:フルーツ・フラワーガーデンゾーンの工事	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
			スポーツ施設機能高度化事業(総合体育館機能高度化事業)	H25 ~ H26	観光振興の観点からスポーツイベントの誘致を推進する為、又、青少年や競技者の技術向上に寄与し幅広い年齢層人々に対して健康増進及び地域のスポーツ振興に貢献する為施設の機能強化を図る。	・アリーナ床全面張替え ・アリーナ床下換気取付 ・サッシュー部取替 ・消防設備取替 ・内装工事(床シート張り・内壁補修及び塗装) ・内部照明取替 ・身障者用トイレ補修 ・シャワー室器具取替 ・木建具取替 ・玄関回り塗装及びタイル張替 ・ピロティタイル張替 ・外構整備	地域のスポーツ振興に資するため平成26年度において左記活動目標を実施し、機能強化を完了する。	(今後の展開方針) 整備後はスポーツの関わり方を活かし、地域が輝く村づくりにむけて以下内容で利活用を行う ・スポーツ交流大会の開催 ・健康増進イベントの開催 ・観光交流イベント等の誘致 ・県内外のスポーツ合宿等の誘致	7月変更(計画変更に伴う各目標変更) 12月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
2			学力向上及び教育支援等事業	H24 ~ H33					
			小学校学力向上対策事業	H24 ~ H33	児童一人一人へ確かな学力と生きる力を育成するとともにTT(チームティーチング)による指導で判断力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図るため、小学校に学習支援員を配置する。	支援員配置数:4人	支援児童数:449人 平成26年4月22日に実施される、全国学力学習状況調査における平均正答率目標 国語A:B:60.0%(平成25年度結果:58.2%) 算数A:B:65.5%(平成25年度結果:65.3%)	全国学力学習状況調査平均正答率 国語AB:H23(54.5%) H33(65%) 算数AB:H23(64.8%) H33(68%)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		中学校学力向上対策事業	H24 ～ H33	中学校に学習支援員(習熟度別対応支援員)を配置し、生徒一人一人へ確かな学力を身につけさせ、生きる力を育成するとともに、TT(チームティーチング)による指導で判断力、思考力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図る。	支援員配置数:3人	支援生徒数:194人 平成26年4月22日に実施される度全国学力学習状況調査における平均正答率目標 国語A B:60.0%(平成25年度結果:57.9%) 算数A B:41.3%(平成25年度結果:36.3%)	全国学力学習状況調査平均正答率 国語AB:H23(54.0%) H33(65%) 数学AB:H23(26.9%) H33(50%)	
		幼稚園預かり保育事業	H24 ～ H33	幼稚園において、預かり保育を実施し、親子が健やかで安心して日常生活が送れるような支援を充実させていく。	預かり保育員配置数:5人	預かり保育希望園児の受入率:100% (預かり保育受け入れ可能園児数:60人)	H24～H33 預かり保育受け入れ園児数:550人(延べ)	
		学校ICT機器整備事業	H25 ～ H28	村内小中学校のICT機器の整備拡充及びその活用により、児童生徒の基礎学力の向上充実を図る。	タブレットPC購入設置:29台 タブレット収納保管庫購入設置:1台	タブレットPC購入設置:29台 タブレット収納保管庫購入設置:1台 タブレットを整備することにより、わかりやすい授業を行い児童生徒の学力向上につなげる。	(今後の展開方針) ICT機器導入後の活用 デジタル教科書、デジタルドリル等利用した授業に活用	
3		農林水産活性化プロジェクト事業	H24 ～ H33					
		有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ H33	エコビレッジ構想を推進するため、専門技術員による栽培指導を実施し、エコ農産物の有利販売を行う。	推進協議会の開催:6回 アドバイザーによるアドバイス:5回 農業技術営農指導員の配置:1人 土壌分析・肥料設計・エコファーマー認定指導員の配置:1人 販売戦略担当の配置:1人 エコ販売袋、シール等の作成:20セット	宜野座村エコビレッジ推進協議会で、アドバイスを受けた農家数や農業技術営農指導体制・エコファーマー認定数・エコ農産物販売等の内容について報告し検討する。 アドバイスを受けた農家数:10農家 農業技術営農指導:5回実施 エコファーマーの認定数:2名 エコ農産物の有利販売量: H23 0トン H26 80トン	エコファーマーの認定数(延べ30名)平成25年度現在15名、平成26～H32年度:2名/年 平成33年度:1名/年 エコ農産物生産量目標 H240トン H28 160トン H33 230トン	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		宜野座村エコビレッジ推進事業	H25 ~ H33	エコビレッジ構想を行うため、宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催や農業アドバイザーの設置、滞在型・日帰り型市民農園の開設の検討を行う。	宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催:3回 農業経営アドバイザーの配置:1人	農業体験や滞在型市民農園を中心とした宜野座村エコビレッジ構想について、協議会において取りまとめる。	(今後の展開方針) H27:市民農園の開設検討 H28:市民農園(クラインガルテン)基本計画 H29:市民農園開設 H30:市民農園管理運営 H31:市民農園管理運営 H32:市民農園管理運営 H33:市民農園管理運営 整備後の施設利用者数 H34:1千人	
4		宜野座村サーバーファーム設備機能高度化事業	H25 ~ H28	宜野座サーバーファームについては現在、施設機能の旧式化が課題となっている。そのため昨年度実施した基本調査を踏まえ、今年度は空調設備の増設や付帯工事を行うことでバックアップデータセンターとしての施設機能の高度化を図り入居企業の誘致及び支援に寄与する。	第一期工事として下記内容を実施する。 空調設備(5台)の増設 付帯工事(分電盤、排水工事)	・空調設備の増強による、ラック数増加に向けた入居企業の営業展開支援基盤の整備 ・データセンター機能の高度化と合わせた企業誘致活動への反映	(今後の展開方針) 施設の機能高度化を進めることにより、入居企業の事業支援、及び更なる企業誘致を図る。 企業ラック増加数:70ラック 新規企業進出数:1(平成27年度)	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		特用林産物・農産物生産促進事業	H26 ~ H27					
		特用林産物(ぶなしめじ)販売促進事業	H26 ~ H27	町内で年間260トン生産される「ぶなしめじ」の販売促進を行う為の冷蔵車備品購入と冷蔵倉庫施設実設計業務委託を行い、林業の振興を図る。	冷蔵車2台の発注 冷蔵庫設計の発注	冷蔵車2台の納車 冷蔵庫設計の完了	冷蔵車(ぶなしめじ販売量) 平成27年度:275t 冷蔵庫 平成27年度:建設工事	
		家畜排泄物有効利用事業	H26 ~ H27	平成20年7月に公表された「金武町バイオマスタウン構想」に基づき、液肥利用による減化学肥料による環境循環型農業を目指すものである。畜産農家と耕種農家の連携強化を図るため、バキューム車を購入する。事業の内容は、畜産農家から家畜排泄物を回収、町の貯留タンクを活用し嫌気発酵により液肥を製造、製造した液肥を耕種農家の畑地等に散布する環境循環型の農業を目指すものである。	バキューム車購入 3台	平成26年度 液肥利用 2,319t/3台(1月~3月)	27年度 液肥利用13,915t/6台(うち3台は、10月から導入) 28年度 液肥利用18,555t/6台 農家液肥利用率向上 平成27年度: 利用農家120戸/全農家270戸 平成28年度 利用農家180戸/全農家270戸 平成29年度 利用農家220戸/全農家270戸	
2		金武町雇用対策事業	H25 ~ H29	ギンバル訓練場跡地利用に係る進出企業等へ、運営開始等の新たなる雇用を促進するため、進出企業等が町民を雇用した場合の研修費用を支援する。 金武町雇用対策事業	進出企業等が採用した雇用者へ、研修費等の支援	雇用者数:5人	金武町地域雇用創造協議会 金武町の目標雇用者数:68人 金武町雇用対策事業 H26年度:5人雇用 H27年度:5人雇用 H28年度:5人雇用 H29年度:5人雇用 計:25人雇用 (が連携し雇用促進を図る)	
3		教育の振興に資する事業						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		小中学校学習等支援事業	H24 ~ H33	チームティーチング指導、電子黒板等による情報化教育、英語指導助手を活用した英語教育、習熟度別によりきめ細かな学習支援を実施する。	学習支援員配置数 小学校: 9人 中学校: 4人	町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率 小学校A問題(国語) 58%(H25) 59%(H26) 小学校A問題(算数) 64%(H25) 65%(H26) 小学校B問題(国語) 41%(H25) 42%(H26) 小学校B問題(算数) 48%(H25) 49%(H26) 中学校A問題(国語) 66%(H25) 67%(H26) 中学校A問題(数学) 46%(H25) 47%(H26) 中学校B問題(国語) 62%(H25) 63%(H26) 中学校B問題(数学) 22%(H25) 23%(H26)	今後も継続して学習支援員を配置する。 H33までの学習支援員配置数(累計) 小学校: 70人 中学校: 60人	
3		幼稚園預かり保育事業	H24 ~ H33	子育て環境改善を目的に嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。	預かり保育支援員 幼稚園: 3人	今年度の預かり保育受入率 100%	預かり保育受入率 平成24年度~平成33年度 100%	
3		特別支援教育支援事業	H24 ~ H33	発達障害等を持つ幼児・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。	特別支援教育支援員充足率100% 特別教育支援員配置数 幼稚園: 2人 小学校: 10人 中学校: 3人	就学指導委員会判定(特別支援)にかかる幼児・児童・生徒の在園、在学児童生徒数に対する減少率 減少率: 4%	就学指導委員会判定(特別支援)にかかる幼児・児童・生徒の在園、在学児童生徒数に対する減少率 平成24年度~平成33年度 減少率: 2%	
3		ICT教育備品整備事業	H25 ~ H29	児童・生徒への情報教育推進のためにIT教室にパソコンを導入。情報教育による学力向上を図る。	IT教室にパソコン52台及び教育用ソフトウェアを整備する。 小学校1校: 12台 中学校1校: 40台	IT教室パソコン整備進捗率 39%	平成28年度までにIT教室のパソコン整備率を100%とし、整備した機器を円滑に活用できるよう校内LAN整備を行なう。 また、これらの設備を利用し、情報教育における学習活動を通して情報活用能力を向上させるとともに情報モラル教育を推進し、情報を活用する場面での基本的な考え方や態度を育成する。	10月変更(事業追加)

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもので、
H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもので、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	金武町青年海外派遣事業	H24 ~ H33	本町と海外移住国との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に、金武町の青年2人を南米に派遣する。	金武町海外移住者子弟研修生(5名~6名)との交流 帰国後、町内小・中学校での出前講座:4回	帰国後、対米請求権地域振興事業の助成金で受入れている金武町海外移住者子弟研修生(5名~6名)との交流の場をもうけ各国町人会との絆の発展を図る。 町内小・中学校での報告を兼ねた出前授業を実施することで児童・生徒の国際理解教育につなげていく。	・派遣国から帰国後、町内小・中学校で研修生2人による出前授業を実施。町内の児童生徒への国際理解教育につなげていく。 ・平成28年度開催予定の「世界のうちなーんちゅ大会」に向けて、移住地の方とスムーズな連携が取れるように、移住地と本町との懸け橋となり絆を更に深めていく。		
5	文化観光振興拠点施設機能強化事業	H25 ~ H26	自然・スポーツ・各種イベント等の既存の地域観光資源と連帯した魅力あるまちづくりの形成及び本島北部地域(やんばる)、本島の観光振興に寄与することを目的に、地域文化の継承発展や生涯学習の振興など文化力の向上を図るため、文化振興拠点施設の機能強化を実施する。	照明器具設置工事	照明器具の充実強化 (既存の照明器具をデジタル化することにより機能強化を図り、多種多様なイベントに対応できるよう整備し、施設利用者の増につなげる。)	H25~H26:工事 施設利用者数目標 H23年度:約40千人 H27年度:60千人 H27年度以降 イベント開催:年12回 (キャラクターショー等)		
6	金武町防災情報システム整備事業	H25 ~ H27	大規模災害等の発生に備え、迅速かつ正確な情報を住民や観光客等に伝達するため、防災情報システムを整備することにより、災害に強く安全な町づくりを行う。 平成26年度は、ネットワークの延長及び屋外スピーカーを19箇所整備する。	屋外拡声子局の整備 19箇所	・屋外拡声子局放送周知エリアの拡大(人口比) H25 25.9% H26 92.0% H27 100% ・上記エリアの避難訓練参加率 40%以上	屋外拡声子局設置数 H25 10基 H26 19基 H27 14基		
7	ギンバル地区電線地中化事業	H26 ~ H28	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場において田園と海と川を活かしたウエルネスの里をテーマに跡地利用のための整備を進めている。そのギンバル訓練場跡地では電気や電話の電線を地中に埋設し景観に配慮した空間を整備し、周辺住民や観光客を対象とした誘客を図り町の活性化を目指すものである。	電気・電話線の地中化	電線地中化総延長:2,414m 平成26年度 L=1,306m	・景観整備による観光客増、停電等の防止による施設利用者の安全性・利便性の向上につなげる。 電線地中化工事:H27~H28 平成27年度 L=554m 平成28年度 L=554m	10月変更(計画変更に伴う成果目標変更) 12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		伊江村HPサービス拡充強化事業	H26～H27	観光客の誘客拡大を目指し、村のHPにおいて観光情報や防災情報など国内外に情報発信するため多言語対応や船舶予約システムなどコンテンツ開発やシステム構築をの機能拡充強化を図る。	・伊江村HPシステム構築 (多国語対応・動画対応・CMS機能改良・スマートフォン対応等) ・車両航送予約システム構築 (予約管理機能構築) ・車両航送業務システム構築 (データベース・精算システム構築)	・伊江村HPシステムの構築 ・車両航送予約システムの構築 ・車両航送業務システム構築	(今後の展開方針) 平成27年度に伊江村HPシステム拡充(機能連携)及びフェリー券売機システム構築(機能連携含む)を行い、住民を含めた国内外の観光客の利便性向上を図る。 平成27年度:アクセス数8%向上 H25年度月間アクセス数平均値:24.8万アクセス H27年度月間アクセス数平均値目標:26.8万アクセス	
2		離島防災備蓄品設置対策事業	H26	本村の地域防災計画において、避難場所を数か所選定しているが、防災に関する備蓄品、備蓄倉庫が整っていないという状況である。地震・津波等で避難所となる場所に、非常食や生活必需品等の整備及び備蓄品の収納可能な備蓄倉庫を整備する。	・備蓄倉庫の整備 8カ所 ・備蓄用品・資機材等の整備 8カ所分	・備蓄倉庫の整備8カ所完了 ・備蓄用品・資機材等の整備8カ所分完了 ・伊江村地域防災計画に基づき、非常用食糧の目標達成率100%(2250食)整備完了。 【内訳:村の人口(観光客含む)の1/20の3日分】	(期待される事業効果) 災害時に、避難所として、備蓄を備えた事により、迅速で安心・安全な運営を図ることができる。また、日頃から、村民や観光客に対し、避難場所の周知、非常用持出品の備えを推進することにより、防災に対する意識の向上に繋がる。	
3		伊江村観光振興事業	H24～H28					
3		フラワーロードプロジェクト推進業務	H24～H26	年間を通じて休耕地や沿道沿い等に四季を通じた植栽を行い、フラワーアイランドとして県内外へアピールし観光上の向上に努める。	・主要幹線道への花の苗2,400本 ・プランター100個設置	・主要幹線道への配置計画整備率100% 【3年間の設置目標に対するH26年度までの配置割合】 (3年間設置目標) ・プランター400個(H24・25 300個、H26 100個) ・花の苗7,200本植栽(H24・25 4,800本、H26 2,400本)	フラワーアイランドの推進として、プランターの管理を行い、観光振興に努める。	
3		村花・世界のゆり植栽推進業務	H24～H28	村花・世界のゆりを植栽し、花の島づくりを推進する。	・てっぽうゆり球根50,000球購入植栽 ・世界のゆり球根20,000球購入植栽	伊江島ゆり祭り来場者(H24年33,000人 H26年34,000人)	ゆり球根を更新する事でゆり祭り時の会場のボリュームアップを図り、観光誘客の向上に取り組む。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				3		名所・景勝地等案内板設置工事		
3		集客イベント活性化支援事業	H26	地域外からの集客を想定したスポーツ、文化、観光イベントの実施に付帯するテントや音響設備等の環境を整備し、集客の増加を図る。	・パワーテント、音響・照明機器購入	・パワーテント、音響・照明機器購入	伊江島マラソン、ゆり祭り、ハイビスカス祭り、産業まつりなど、既存イベントでの活用を基本に、スポーツ、音楽、文化等の新規イベントや地域の祭りなど広範な催事に活用する。	
3		地域認知向上支援事業	H26～H27	観光・物産の対外戦略を支援するため、地域キャラクターを公募等で選定し、認知工場戦略の一助として活用する。各種イベントや地域PRに向けたツールとして制作する。	・地域キャラクターの公募・制作	・地域キャラクターの制作完了	(今後の展開方針) 地域外イベントへ活用し、幅広いターゲット層へ訴求することで観光誘致に取組む。	
3		観光客誘客環境整備事業	H26	観光客が安心、安全、快適に村内観光施設等を利用できるよう、炎天・雨天時の修学旅行、各種団体が全体で入村、離村の集会が可能な全天候型の集会施設の整備や青少年旅行村内炊事場の設置、ハブクラゲネットの設置など観光地としての環境整備及び機能拡充を図る。	青少年旅行村内炊事場設置工事 リリーフィールドゆり展示棟工事 村内観光地トイレ工事 伊江港多目的集会施設工事 ニーバンガジュマル施設整備工事 アハシャガマ環境整備工事 ハブクラゲネット設置 トラクター購入	キャンプや野外活動に必要な炊事・調理スペースを利用者のニーズに即したキャンプ場炊事場工事。 数々の原種、園芸品種を植栽展示する展示園場施設の整備 利用者の利便性向上のため、村内各所の観光地のトイレを和式から洋式に整備 炎天・雨天時の修学旅行や各種団体観光客の全体で行う入村・離村等の集会を行うための施設を整備する。 ニーバンガジュマル施設を駐車施設の整備 アハシャガマにおける見学や交通の安全性を確保のため防護柵設置 伊江ビーチに海洋危険生物防護ネットを整備 伊江ビーチの海岸漂着物等を効率的に除去し、ビーチ及び旅行村内を整備するためのトラクター購入	(期待される事業効果) 伊江港での入村離村や、青少年旅行村、リリーフィールド公園等の主要観光地などを利用する観光客の利便性と快適性を向上し、観光立村としての機能を充実することで、年間約14万人以上(H24 137,848人)の観光客の来島が見込まれる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	衛星船舶電話購入設置補助事業	H26	現在、漁業者が所有する衛星船舶電話は通信方式の変更で平成26年3月末で使用することができなくなる。通信方式の変更に伴い、高額な衛星電話の購入が必要となるが、昨今の燃油コストの高騰や魚価の低迷のなか、漁業者への更なる経済的負担の軽減及び安全な操業を確保する為、漁船へ衛星電話の設置補助を行う。	船舶電話の設置:30台(艘)	船舶電話の設置:30台(艘) (対象:漁業組合所属96艘中、ソデイカ・マグロ漁を行う30艘)	(期待される事業効果) 衛星電話を設置することにより、気象や潮流情報等の収集量や正確性が大幅に確保でき、安全な操業及び漁獲の向上が見込まれる。		
5	伊江村畜産振興事業	H26 ~ H30						
5	乳用牛繁殖雌牛更新事業	H26 ~ H30	伊江村酪農経営の安定化及び村畜産業における乳生産量の向上を図るため、2産(4歳)以上した母牛を淘汰し地域保留や県外から導入した優良繁殖雌牛(素牛)に対して、補助金を交付し、安定した生乳出荷を行う事で、信頼性のある産地づくりを図る。	乳用繁殖母牛の更新 20頭	活動目標指数(年間:20頭更新)の達成 (今年度において、20頭の乳用経産牛を更新し、全体計画のうち20%の更新率を成果目標とする。またこれにより、泌乳量増加や乳質改善が図られ本村の畜産業の振興に繋げる。)	(今後の展開方針) H26~H30年度にかけて100頭(20頭×5年)の乳用繁殖雌牛を更新予定 (期待される事業効果) 廃用牛の淘汰、優良若雌牛の導入により母牛の更新を図り、子牛繁殖生産率が向上し廃用牛と育成牛の回転率が上昇することで、泌乳量増加や乳質改善が見られ、安定した生乳の供給が見込まれる。		
5	優良繁殖雌牛導入事業	H26 ~ H30	子牛の生産性向上並びに畜産業の新規担い手や後継者育成のため、県内・外の家畜セリ市場において優良繁殖素牛(雌)を購入した伊江村和牛改良組合員に対して、補助金を交付し、経営の安定化及び優良遺伝繁殖雌牛の生産を図る。	優良繁殖素牛(雌)の導入 100頭	活動目標指数(年間:100頭導入)の達成 (今年度において、優良繁殖雌牛を100頭導入し全体計画のうち20%の導入率を成果目標とする。これにより飼養頭数拡大及び、優良遺伝生産子数の増加が期待され、市場性の向上並びに本村の畜産振興を図る)	(今後の展開方針) H26~H30年度にかけて500頭(100頭×5年)の優良繁殖素牛(雌)を導入予定 (期待される事業効果) 肉用牛飼養頭数の拡大及び優良遺伝子牛の生産を図り、肉用子牛生産拠点産地として信頼性のある産地づくりを目指す。また、新規担い手や後継者不足問題の解消に繋がる。		
5	死亡獣畜冷凍輸送事業	H26	疾病や事故等で死亡した家畜については、島内に処理施設がないため、埋却処分を行っていたが、島外へ輸送する為の冷凍輸送型コンテナを導入することで、本島施設での焼却処分が可能となり、畜産環境整備や衛生管理の向上を図る。	冷凍装置付輸送コンテナの購入 2台 ステンレス製バクタン6台(コンテナ1台につきバクタン3台収納)	冷凍装置付輸送コンテナ、ステンレス製バクタンを購入し、畜産環境整備や衛生管理の向上を図る。	(今後の展開方針) 死亡家畜の島外輸送処理を行うことにより、環境対策や衛生管理を徹底していく。 整備後の目標 島内における埋却処分0件		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	伊江村海岸美化推進事業	H26	周囲を海で囲まれた村において、漂着ごみの処理及び自然環境の保全は重要であり、美しい景観を形成し観光振興を図るために小型焼却炉の導入及び付帯するストックヤードの整備や大型のごみの破砕機を購入する。	・小型焼却炉の導入 1基 ・建屋の整備 ・ミニショベル購入 1台	小型焼却炉導入、建屋整備、破砕機購入を行う。	(今後の展開方針) 海岸清掃より発生する漂着ごみ(プラスチック類、ビニール類、流木、タイヤ等)を小型焼却炉で処理する。 小型焼却炉で漂着ごみを処理する事により、焼却処理施設及び最終処分場への負荷を軽減する。また、島内で漂着ごみを処理する事が可能となり島外搬出に関わるコストが削減される。		
7	小型高速旅客船就航可能性調査	H26	離島住民の定住及び離島振興のためには交通手段の快適性・利便性の向上を図るとともに、船舶事業の健全経営による継続可能な運航体制が重要である。 既存カーフェリーと新たな小型高速船の航路体系の在り方の検討及びその採算性、小型高速船の就航に係る課題等の整理、本島への通勤・通学の可能性についての調査を行う。	・地域性にあった既存カーフェリーと新たな小型高速船の航路体系の在り方の検討。 ・新航路の採算性、小型高速船の就航に係る課題等の調査検討。	小型高速船の航路体系の在り方の検討及びその採算性、小型高速船の就航に係る課題等の調査を行い、船舶事業の健全経営による継続可能な運航体制等を検証する。	(今後の展開方針) 調査結果報告書をふまへ船舶事業の健全経営による継続可能な運航体制を検討する。		
8	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ~ H30	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送運賃コスト負担の軽減の助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する補助	車両航送に対する補助台数 年間約1.6万台	(今後の展開方針) 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進を図る。(年間車両航送利用者数の維持)		
9	伊江村人材育成事業	H25 ~ H33						
9	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ~ H33	小、中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障がいなど様々な障がいがある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていくための土台づくりを行う。	・学習支援員配置学校数:3校 ・学習支援員12名配置	・児童生徒(対象数:380人)個々の習熟度に応じた学習支援体制を整えることにより、学習意欲の向上・学力の底上げを図る。 ・県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒数の割合を減らし、村全体の学力向上を図る。	(今後の展開方針) 学習支援員が効果的に配置されているか、毎年度見直しを行う。支援児童数(累計)H34年度:3,000人		
9	各種大会派遣費助成事業	H25 ~ H33	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について助成する。	・各種大会派遣費の助成:680人	・各種大会派遣人数:680人	(今後の展開方針) 派遣人数(累計)H34年度:6,000人		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷型観光の振興事業	H24 ～ H33					
1		景観形成事業	H24 ～ H28	読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のため、ヤチムンの里地区を景観地区に指定する。 また、座喜味地区においては意見交換等を行い、景観地区(案)を作成する。	(ヤチムンの里地区) ・景観地区の指定に向けた法定手続を進める (座喜味地区) ・意見交換又はヒアリング(2回)	(ヤチムンの里地区) ・景観地区の指定 (座喜味地区) ・景観地区(案)の作成		・ヤチムンの里地区及び座喜味地区において、景観地区の指定を行う。
1		読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ H33	読谷村のスポーツ施設の状況や受け入れ体制のアピールをするとともに読谷村の観光資源や特産物をPRするイベント(仮称「読谷デイ」)を実施することにより、キャンプの継続実施とキャンプ開催時期における誘客を図る。	・誘致PRイベントにてPR演舞(11回) ・集客イベントの開催(1日) ・観光PRチラシ作成3,000枚	・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(40,000人) ・集客イベントの来場者数(2,000人) ・観光PRチラシ配布3,000枚		(今後の展開方針等) 当事業は平成33年度まで予定しており、今後もスポーツキャンプ継続誘致のため下記のとおり事業を実施予定。 ・伝統芸能の披露 ・観光PR映像の上映 ・読谷村PRブースの設置 ・観光PRチラシ等の配布 ・各プロスポーツチーム等に対する誘致活動 ・読谷村観光大使の活用
1		危険生物駆除事業	H25 ～ H33	危険生物として駆除の対象となっているハブの咬症被害が、本村においても毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。また、これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすとともに、より安全な観光地を目指す。	村内に捕獲器を400基設置し、巡回する	・捕獲数:100匹/年		・ハブ捕獲器400基の設置、巡回、駆除、移動業務 ・マウス(ハツカネズミ)の飼育
1		ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ H33	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。 また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。	FM放送を活用した観光情報の提供 チラシ 100,000枚作成	・FM放送番組の制作・放送(毎日) ・チラシ 100,000枚配布		(今後の展開方針等) H33年度までFM放送番組の制作・放送を継続する予定

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
バ	細				H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H26事業内容					
1			世界遺産座喜味城跡管理活用事業	H25～H29	読谷村（沖縄県）には歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群（座喜味城跡）」を筆頭に、様々な歴史的文化的遺産が存在する。これらを重層的に活用し、冬場の観光客の減少時期の観光客の誘導を狙う。	・座喜味城跡のライトアップの実施 ・座喜味城跡ガイドリーフレット印刷 ・城壁清掃の実施 ・入場者計測の実施	・座喜味城跡のライトアップ 来場者数150人/日 ・座喜味城跡ガイドリーフレットの配布 45,000部 ・座喜味城跡の入場者計測回数(3回:計21日)	(今後の展開方針等) H27年度:座喜味城跡の模型の作製 ～H29年度:ライトアップ及び座喜味城跡の美化		
1			ヨミタンブランドカパワー・アップ大作戦事業	H25～H30	読谷村そのものや読谷村で生産される、ヤチムン、織物等の伝統工芸品や農水産物及び加工品等のいわゆる読谷村の特産品をトータルで読谷ブランド品と位置づけ、その良さを全世界に発信するための取り組みを行う。 平成26年度は、平成25年度事業において決定したブランドキャッチコピー、ロゴ、イメージキャラクター等を活用したプロモーション活動を展開していく。	・イメージキャラクター着ぐるみの作成 ・プロモーション事業の検討	・イメージキャラクター着ぐるみの完成 ・プロモーション事業の実施(3事業を予定)	(今後の展開方針等) H30年度までブランドキャッチコピー、ロゴ、イメージキャラクター等を活用したプロモーション活動を展開する予定		
1			読谷村スポーツコンベンション誘致促進施設整備基本計画策定事業	H26	平成24年度に策定された第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画に示す運動施設の整備を進めるにあたり、本村及び沖縄県が推進するスポーツコンベンション等のスポーツと観光の融合を視野に入れた施設の整備を計画的、効果的に推進するため、各施設の整備計画を定めるなど、業務執行の指針を策定する。	村民センター地区内の運動施設ゾーンの施設整備計画及び施設規模、施設利用計画等の検討	基本計画の策定完了			
1			読谷まつり運営事業	H26	地域の伝統文化を継承・創造・発展するため、村民総参加により開催している読谷まつりを村内外、県外等へ広くPRするとともに観光誘客へ繋げるため、40周年の節目として第40回読谷まつり開催する。	まつりの開催日数:3日 (平成25年度 まつり開催日数:2日)	来場者数:10万人(H25:7万人/2日) 県外団体受入:7団体(H25:3団体)	地域に根ざした産業、経済、文化、芸術の発展を目指し、まつり実行委員会と連携し、村民総参加、手づくりのまつりを継続実施する。	7月変更(事業追加)	
1			スポーツコンベンション誘致促進事業(設備等強化事業)	H26	体育施設における利用者のニーズが高い設備等を設置し、利便性の向上を図るとともに、スポーツコンベンションの誘致促進に寄与する。	スポーツコンベンションに係る設備等発注	スポーツコンベンションに係る設備等設置完了	(設備等の活用方法) プロのスポーツ等のキャンプや大会開催等に活用する。 ○スポーツキャンプ(プロ、実業団等) H24:6チーム(実績) H25:8チーム(実績) H28:10チーム(目標)	10月変更(事業追加)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷村地域振興センター(仮称)整備事業	H25 ~ H27	読谷補助飛行場跡地における主な課題である「農業を主体とした6次産業化」、「情報の共有と発信による地域振興」の解決を図るため農漁工商の連携による地域振興と交流拠点づくりのため「読谷村地域振興センター(仮称)」を整備する。	建築工事の実施(延べ床面積:3,355㎡)	建築物(地域振興センター)の一部完了(進捗率35.5%)	(今後の展開方針等) H27:工事(残り部分) H27.8:完成 観光案内所や、FMラジオ・インターネット動画配信を使った観光情報の発信を行い、観光振興に資する。また、キッチンスタジオ等での村産農産物等を使用した商品開発や、村産品の販売等により年間利用者数168,000人を目指す	10月変更(事業追加)
1		観光漁業推進事業	H26	観光漁業の推進及び漁業振興を図るため、増加する漁業研修や観光客の受入体制を強化する必要があることから、漁業協同組合集会施設の機能強化を図る。	集会施設機能強化補助	空調設備設置 研修・視察対応機器等設置	(今後の展開方針等) 視察研修及び団体受入 H25実績:約40回 H27目標:80回	1月変更(事業追加)
2		共に学び、共に育つ場づくり事業	H24 ~ H33					
2		小中学校情報教育支援員配置事業	H24 ~ H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。	情報教育支援員配置 小学校(5校):2名 中学校(2校):1名	情報教育支援員を小学校(5校)、中学校(2校)で3名配置し、ICT関連機器の活用のため、児童生徒、教員へのサポートを行う。	(今後の展開方針等) H25~H33年度までの配置支援員数(累計)26名	
2		日本語教育支援員配置事業	H24 ~ H33	二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行う。	日本語教育支援員配置 小学校(5校):2名	日本語を習得していない外国籍児童や二重国籍児童及び帰国児童への対応でクラス全体の授業の進捗に影響が生じているなどの教育現場の課題解消に努めるため日本語教育支援員2名を配置する。	(今後の展開方針等) H25~H33年度までの配置支援員数(累計)18名	
2		小中学校学習支援員配置事業	H26 ~ H33	小中学校において学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員配置 小学校(5校):5名 中学校(2校):2名	担任教諭、算数・数学指導教諭と連携し、算数・数学等の学習に遅れのある児童生徒への支援を行う。	(今後の展開方針等) H26~H33年度までの配置支援員数(累計)56人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	各幼稚園・小学校・中学校に在籍している、園児・児童・生徒で特別な支援が必要な子たちへの個別支援を行い、対象児に合わせた学校生活を送れるようにする。	・特別支援教育支援員 幼稚園(5園): 5名 小学校(5校): 10名 中学校(2校): 4名 ・特別支援教育専門指導員: 1名 ・特別支援教育推進員: 1名	支援が必要な子に合わせた支援を行う事で、在籍中の困り感をなくし、また、自立へ向けた支援を行う事で、通常学級への復帰、社会適正能力を高める。	(今後の展開方針等) H26~H33年度までの配置支援員数(累計)168人		
2		中学校ICTパソコン教室機能強化事業	H26	学校教育に資する学校教育用パソコンを中学校へ導入し、情報化社会に対応する上で必要な知識・技能の習得を図る。また、教科の中で活用することにより効率的な知識の習得定着に役立てる。	[中学校] 読谷中学校...41台の購入 古堅中学校...41台の購入	教育用PCを読谷中学校へ41台、古堅中学校へ41台設置整備する。	ICTを活用する上で必要な知識・技能の習得及びICTを活用した学習機会の充実を図る。	7月変更(事業追加)	
2		小中学校日除け休憩所設置事業	H26	村内小中学校の屋外運動場に日除けになる休憩所を設置することにより、児童生徒等の熱中症予防を図る。	[小学校] 4校に設置 喜名小:1箇所 古堅小:1箇所 古堅南小:2箇所 渡慶次小:1箇所 [中学校] 2校に設置 読谷中:2箇所 古堅中学校:2箇所	屋外運動場内に日除け休憩所を中学校へ4箇所、小学校へ5箇所、計9箇所に設置完了(設置率:100%)	体育や課外活動等において活用を図る。	10月変更(事業追加)	
3		駐留軍用地跡地利用推進事業	H24 ~ H29						
3		楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定事業	H26	平成25年度実施の楚辺通信所跡地シムクガマ整備・保全基礎調査委託業務報告書に基づき、楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務を実施する。	楚辺通信所跡地にあるシムクガマの戦跡・カー森広場整備に向けた規模等を検討する	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務報告書の完成			
3		読谷補助飛行場返還の碑整備事業	H26	平成25年度に実施した読谷補助飛行場返還の碑基本計画策定業務に基づき、整備事業を実施する。	読谷補助飛行場の返還を記念した返還の碑整備工事の実施	読谷補助飛行場返還の碑の完成			

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
				3					読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計等支援委託事業
3		読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計策定事業	H26	読谷補助飛行場跡地における赤犬子・展望広場及びロードパークの基本計画について、今後密接に連携する国道バイパスや区画整理地との整合を図るため、基本設計を行う。	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計の実施	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計委託業務報告書の完成	平成27年に国道バイパスとの調整を行う。また、国道バイパス及び区画整理事業の進捗状況に合わせて、実施設計、工事を行う。	7月変更(事業追加)	
3		嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地(国道東南部地区及び周辺)都市計画決定図書等作成支援事業	H25～H26	多様な環境資源を保全する事で大規模駐留軍用地跡地等の利用推進を図るため、昨年度作成した説明書に基づき、公園と緑地の予定地にかかる都市計画道路を一部変更する事に向けた法定手続図書の作成を行う。	・都市計画決定図書等作成支援業務の発注	・当該地区のまちづくりや、豊かな自然河川と遺跡地区の保全活用の指針をとりまとめる。	H26:都市計画図書作成 H27:都市計画事前協議・変更 H28:土地区画整理地内公園及び周辺設計・施工計	10月変更(事業追加)	
4		地域文化の創造発展事業	H24～H28						
4		ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24～H28	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再整理する。	3地区の自然、歴史、文化資源等の調査	文化財ガイドマップ設置完了:3箇所	(今後の展開方針等) 各字文化財ガイドマップ設置数 H24年度:3箇所、H25年度:3箇所、H26年度:3箇所、H27年度:3箇所、H28年度:4箇所(合計16箇所)		
4		座喜味城跡駐車場整備事業	H25～H26	世界遺産座喜味城跡への来客者の利便性を図るために駐車場を整備する。	駐車場工事	駐車場(普通車約30台収容)の整備完了	(今後の展開方針等) 建設予定のユンタンザミュージアムの駐車場として利活用する。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24 ～ H29	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。	H25年度調査報告書作成。被調査者の調査、記録テープ反訳等の整理。 八重山現地調査(第1回目)	・H25年度調査報告書完成 ・記録テープ数(100本)の反訳原稿の整理	(今後の展開方針等) H27年度:南洋群島及び南米各国、八重山現地調査 H28年度:南米各国現地調査、全体まとめ H29年度:HPより情報発信	
4			沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ H29	沖縄語で伝承されてきた民話を調査・整理し、沖縄語に親しめる教材(絵本やDVD等)を製作する。また、これらを村内幼小中学校や図書館へ配布し、学校や家庭での活用を推進する。	民話調査・整理	絵本「読谷の民話(5話)」の発刊 DVD「読谷の民話(5話)」の発刊	(今後の展開方針等) H29年度までに絵本5種、DVD5種の製作	
4			沖縄戦後教育史・復帰関連資料整理活用事業	H26 ～ H27	本村が所有する歴史的価値の高い戦後の教育や復帰運動に関する資料を整理し、デジタル保存するとともに、デジタルアーカイブとしてインターネットで公開を行い、沖縄の戦後史に関する学習や調査研究の機会充実を図る。	・目録の作成 ・資料のデジタル化	・資料のデジタル化:500箱	H27年度 ・資料のデジタル化 500箱 ・デジタルアーカイブの公開	
4			ユンタンザミュージアム建設事業	H26 ～ H29	観光振興・地域振興を図るため、世界遺産座喜味城跡と連携した魅力ある博物館を建設し、世界遺産ガイドランスとして博物館機能の強化拡充を行う。	・基本設計の実施	・基本設計の完了	H27年度:実施設計 H28～29年度:工事開始及び完了(予定)	
5			中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ H33	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現のため、中学生12人を英語圏に短期派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	短期留学費の補助:12人	海外短期派遣生徒数:12人	(今後の展開方針等) 海外短期派遣生徒数(累計) H33年度:108人	
6			長寿調査検証事業	H25 ～ H26	地域の高齢者を支えるボランティア(レク担当、調理担当、健康チェック担当)と役場職員総勢30名を長寿日本一の長野県に派遣し、高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組み等、長寿日本一の地域や病院等を視察し、各公民館で行われているミニサービス「ゆいま～る事業」の充実と地域の健康基盤づくりの調査検証を行う。	派遣総数30名 (地域ボランティア:27名 役場職員3名(保健師等))	・調査報告会の実施(「ゆいま～る事業」を実施しているコミュニティ等、21カ所) ・報告書の完成	(今後の展開方針等) H26年度:30名派遣 H25～H26年度:60人(累計) 報告会を通して、地域の中高年層を主に介護予防や生活習慣病予防の重要性を認識させる活動に取り組む	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			地域資源を活かした農業推進事業	H25 ~ H29					
7			地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25 ~ H29	年間を通じた多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通じた地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を補助する。	栽培施設設置補助	・栽培施設の設置:面積3488.6㎡(予定) ・導入農家:7人(予定)		
8			航空機騒音常時観測システム購入事業	H26	米重機から発生する航空機騒音を測定する装置を設置する。	航空機騒音常時観測システムの購入	航空機騒音常時観測システムの設置 1箇所		7月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
9			地域にあったものづくり支援事業	H26 ~ H28	読谷村の特産品や商品を県内外へPRするために物産展等への出展し販路拡大を図るとともに、本村地域資源を活用した新たな特産品づくりを調査するため、読谷村商工会へ補助を行う。	県内外物産展への出店及び調査補助	出店数(開発支援含):5件	(今後の展開方針等) 県内外物産展への出展及び調査補助	
10			読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ~ H33	今後のヤチムン(琉球陶器)の持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成を図る。	テストマーケティングの実施 展示会の開催	・次年度以降のプロモーション戦略等効果検証 ・展示会出店作家 15人	(今後の展開方針等) 展示会への出展支援	
11			読谷村都屋漁港水産物展示販売等施設基本設計事業	H26	読谷村、唯一の漁業協同組合である読谷漁協の所在している都屋漁港に水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)を整備するため、基本設計を行う。	水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計の実施	水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計の完了	(今後の展開方針等) 他補助事業において実施設計、建築工事を行う	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		嘉手納町観光客誘客促進基盤整備事業	H24 ~ H33					
1		道の駅かでな機能拡充事業	H25 ~ H29	道の駅かでなは、年間約50万人の観光客が来場するが、展望場で米軍基地を展望した後、すぐ施設を退館する通過型の施設になっている。このような課題を解決し、道の駅かでなの観光誘客施設としての魅力を高めるために、道の駅かでな機能拡充基本計画を策定するとともに、観光客の受け入れに不足している駐車場用地を取得し、観光産業の推進による地域活性化を図る。	道の駅かでな機能拡充基本計画の検討 ・機能拡充に必要な用地取得(面積:2,459㎡)	道の駅かでな機能拡充基本計画策定 用地取得(用地取得率:100%)	(今後の展開方針等) H27年度:実施設計 H28,29年度:工事 目標利用者数:H30年約60万人 (H25年約50万人)	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1		フラワーロード景観整備事業	H26	観光客誘客に寄与するため、嘉手納町の中心市街地である嘉手納ロータリー周辺及び幹線道路沿いに色鮮やかな花を咲かせ、魅力ある景観を構築する。	花壇整備及び植栽の設置	花壇整備:2箇所 植栽の設置:3箇所	(今後の展開方針等) H26年度:実施設計、工事 H27年度以降:維持管理(単費)	
1		うたの日コンサート事業	H25 ~ H26	沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」における会場設営に係る経費の一部を補助し、同コンサートを誘致することで多くの観光客を誘客し、町の活性化を図る。	県内の大型イベントの誘致	来場者数:8,000人 町特産品のPR:5作品以上 町商工業者の出店:5店舗以上	今後のイベント等に町の特産品等の出店し、PRしていく。	
1		屋良城跡公園総合再整備基本計画策定事業	H25 ~ H29	観光資源に乏しい本町においても、屋良城跡公園及び比謝川沿岸部等風情のある場所を有しており、近年では自然を生かしたエコツアーや川祭りの開催等観光源となりうる素材が増えつつある。そのようなことから、城跡の名勝や比謝川の自然を体験する設備を整備することで、観光入域客数の増加や地域活性化を図り、魅力的な嘉手納町の形成を目指し、基本計画を策定する。	H25度にて執行した基礎調査業務に引き続いて、基本計画策定業務を実施	基本計画の策定	(今後の展開方針等) H26年度:基本計画 H27年度:基本設計 H28年度:実施設計 H29年度~:整備工事	
1		比謝川緑地広場整備事業	H24 ~ H27	本町は、米軍基地が町域の83%を占める特異な地域であるが、比謝川等風光明媚な場所も有しており、近年では自然を生かしたエコツアーの開催等観光資源となりうる素材が増えつつある。そのことから、古くからの景勝地で今ではエコツアーを開催している比謝川の自然を観光客に体験してもらうことで、観光入域客数の増加や地域活性化を図り、魅力的な嘉手納町の形成を目指す。	緑地広場実施設計の実施(嘉手納町字水釜地内)	緑地広場実施設計の完了(嘉手納町字水釜地内)	(今後の展開方針等) 設置場所:嘉手納町字水釜 H24年度:用地取得 H25年度:基本計画 H26年度:実施設計 H27年度:建築工事	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	嘉手納町観光客受入体制整備事業	H26	嘉手納町観光振興基本計画に基づき、観光振興の基盤となる人材の確保・育成を目的としてこれからの嘉手納町を担う人材の育成を推進する。また、本事業を実施することにより、新たに本町を訪れた観光客に町の魅力をアピールすることで、観光客誘客の促進が図られる。	・研修講座 ・先行事例視察	観光ガイドの育成人数:5名	ガイドを養成することによって、本町の魅力を訪れる観光客に発信する。		
1	嘉手納野球場機能拡充事業	H26 ~ H30	嘉手納町内外に周知されたプロ野球チームのキャンプ地である嘉手納野球場のスタンド・ベンチ及び防球ネット等を改修し、施設整備を行い観光資源の創出と拡充を図る。	・諸条件の収集整理 ・事例調査 ・基本方針の設定	機能拡充基本構想策定	(今後の展開方針) H27年度:基本設計・実施設計 H28~H30年度:工事実施 H31年度:供用開始	7月変更 (事業追加)	
1	兼久海浜公園リニューアル基本構想策定事業	H26 ~ H30	公園施設全体の機能強化を図ることにより、観光振興に資する施設として整備を図る。 その為、公園全体の整備方針の見直しを行うことにより、これまでの施設利用方法と利用者層に加え、プロスポーツ等の観戦客や公園を利用する観光客等の入域数の増加を図る。本事業の整備の影響が町への入域客数の増加に起因する地域活性化に連続することで、魅力的な嘉手納町の形成を果たす。	・現況把握 ・町民意向調査 ・施設整備方針の策定	兼久海浜公園リニューアル基本構想策定	(今後の展開方針) H27:基本計画 H28:基本計画、基本・実施設計 H29:基本・実施設計 H30:整備工事	7月変更 (事業追加)	
1	かでな文化センター機能向上事業	H24 ~ H27	観光振興促進を図るため、音楽や芸能、講演会など様々な催事に対応できるよう、かでな文化センター施設の機能向上を図る。	かでな文化センターバリアフリー化実施設計策定 かでな文化センター舞台機構制御盤及び操作盤取替工事	かでな文化センターバリアフリー化実施設計策定完了 舞台設備操作の電動化の基盤を整備する。	(今後の展開方針) H27年度:工事実施 H28年度:供用開始 利用者数基準値(過去5年平均値):44,000人 利用者数目標値(平成28年度):50,000人	10月変更 (事業追加) 12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
1	観光史跡等説明板整備事業	H24 ~ H27	魅力ある観光地づくりを目指し、地域資源、文化資源を活用した観光振興を図るため、町内に点在する史跡、旧跡等への多言語表記した史跡等説明板を設置する。	町内の観光史跡等に説明板を設置	史跡等説明板の設置により、町内外に観光に資する情報を発信することができる。 整備率59%	(今後の展開方針) H27:設置工事(2箇所) 整備率68% 残りの32%については史跡等の所在地が民地等であるため検討・交渉中である。	10月変更 (事業追加)	
2	嘉手納町未来へ羽ばたく人材育成支援事業	H24 ~ H33						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	学習支援員配置事業	H24 ～ H33	算数、数学、国語中心に授業ではチームティーチング、習熟度別授業を行い、また、長期休業における個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。特に授業内容が定着していない児童生徒への対応を行い、漢字検定等の個別指導も行う。	学習支援員配置数 小学校:3人、中学校:1人	県到達度調査における国語算数正答率を各学年とも県平均以上とする	県到達度調査における国語算数正答率を各学年とも県平均以上とする		
2	英語力強化事業	H24 ～ H33	教育課程特例校としての特典を生かし、英語力を向上させるため、ネイティブスピーカーの講師の活用で、日常的に英語に親しむ環境をつくり、英会話を中心とした授業を展開する。また、英語力向上のために英語検定にむけた学習講座を実施し、目標級取得の支援を行うため中学校教員免許を所持した人材を活用する。	英会話指導員配置数 小学校:3人、中学校:2人 英語指導員配置数 中学校:1人	英語検定3級以上の合格者数 50人	英語検定3級以上の合格者数 50人		
2	ICT活用事業	H24 ～ H33	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、パソコン指導員を配置し、教師の授業の補佐・支援を行う。また、授業でのPC活用を推進するためフラッシュ教材を活用した授業支援も行う。	パソコン指導員配置数 小学校:2人、中学校:1人	(小学校)キーボード操作能力検定目標級の達成 3学年 23級(80%以上) 4学年 17級(60%以上) 5学年 8級(40%以上) 6学年 初段(20%以上) (中学校)パソコン検定目標級の達成 1・2年 5～4級、 3年 3級	(小学校)キーボード操作能力検定目標級の達成 3学年 23級(80%以上) 4学年 17級(60%以上) 5学年 8級(40%以上) 6学年 初段(20%以上) (中学校)パソコン検定目標級の達成 1・2年 5～4級、 3年 3級		
2	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ H33	不登校の生徒に対応するため、指導員による家庭訪問を行い、在宅確認及び本人と家族支援を実施することにより生活リズムの正常化を目指す。また、時差登校をする生徒へ相談の実施を行う。	生徒指導支援員配置数 中学校:2人	不登校生徒数を全生徒数の 3.3%以下にする	不登校生徒数を全生徒数の 3.3%以下にする		
2	スクールカウンセラー活用事業	H25 ～ H33	青少年センターにスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置し、児童生徒と保護者の相談業務を行い、教職員に対しては障害等への対応に関する研修会を実施する。また、適応教室相談員に助言や児童生徒のカウンセリングを通して学校復帰を支援する。	スクールカウンセラー配置数:1人	サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数: 3人	サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数: 27人		
2	秋田交流学習体験事業	H26 ～ H28	全国学力・学習状況調査で高い学力を維持している秋田県へ町内の小中学校児童生徒及び教諭を派遣し、派遣先学校の授業に参加することで学習・指導を体験するとができ、学力向上に生かしていく。	秋田県へ町内小中学校児童生徒及び教諭の派遣	各学校における児童・生徒の学校評価項目における発表力の向上、積極的授業への参加を醸成し学力(活用力)の数値をH25年度(小学校37%、中学校26%)から向上させる。	発表力、授業規律及びけじめある行動が向上することにより、県到達度テストや全国学力状況調査における学力(活用力)の向上に資する。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	学校ICT機器整備事業	H26 ~ H28	電子黒板及び実物投影機等を町立小中学校普通教室及び特別教室へ整備し、教材の視覚化、明確化による魅力的かつ分かりやすい授業環境を整える。	電子黒板及び実物投影機、周辺機器等の整備:機器を納品し、既存の無線LANへ接続、付属ソフト等をインストールし、普通教室及び特別教室へ配置する。 電子黒板64台、実物投影機55台整備。	電子黒板64台、実物投影機55台整備。 整備率100% ICT機器を活用した校内研修等を充実させ、ICTを授業の場で活用する機会を設け、魅力的かつ分かりやすい授業スタイルへの変化、効率的な知識の習得と学習意欲の向上に繋げる。	デジタル教科書整備予定(H27年度:小学校、H28年度:中学校) 日常的にICT機器を活用する授業展開を実現を目指す。 活用開始の平成27年度にアンケートを3月と10月実施予定。 生徒:授業の分かりやすくなった割合65%目標 教師:授業の教えやすさ割合、機器活用割合85%目標	10月変更(事業追加)	
3	雇用促進事業	H25 ~ H29	全国に比べ失業率の高い沖縄において雇用情勢の改善を図るため、就職相談窓口を開設する。就職相談窓口により求人・求職者を結び就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げていく。	相談窓口開設数:98回 セミナー回数:51回	相談人数:200人 就職人数:50人	就職相談窓口の相談件数及び就職人数において、年度毎の数値の増を図る。		
4	墓地整備基本計画策定事業	H25 ~ H26	本計画は嘉手納町全域(米軍基地は除く)を対象とし町内に立地する墓地の状況や住民意向を把握し、墓地の集約や適正配置に関する計画を策定するとともに、住民に対して墓の建設や管理に関する規則の周知徹底を行い、嘉手納町における墓地の望ましいあり方の方針を示すため実施する。	町内に立地する墓地の状況を踏まえ、集約地域や集団墓の検討を行う。	墓地基本計画の策定	この計画を策定することで、墓地の適正配置や集約化を推進し、「墓地経営許可」等の権限委譲、条例の整備に備えていく。		
5	廃棄物リサイクル事業	H25 ~ H33	本町では、一般家庭及び事業者から年間約600トン程度の木くず(草、剪定枝等)が排出されており、また、台風等での公園、街路樹の倒木処理は産業廃棄物として最終処分場で処理している状況である。一方、本町で策定されている一般廃棄物処理基本計画において、木くず等を焼却せずチップ化し、再資源化することで町内の土地づくりや堆肥に利活用する施策があり、これらの木くず等の再資源化を実施し、本計画の推進を図る	1 嘉手納町一般廃棄物処理基本計画推進 2 不適正処理(不法投棄等)の是正 3 木くずの再資源化(チップ化)	1 ごみの減量化(目標約5%削減) 2 処理費の節減	草木のチップ化の堆肥化による農業の振興、バイオマスへの利用によるエコエネルギーへの活用が可能か検討していく。		
6	安全・安心、人にやさしく、災害に強いまち「嘉手納町」整備事業	H26	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、地域防災計画の整備を行い、合わせて避難マニュアルの作成、避難所の運営マニュアルの作成を行い、町民をはじめとする来町者に対する災害時の速やかな避難行動・避難誘導、避難所設置運営を図り、本町の安全・安心の確保と人にやさしく、災害に強いまちづくりを実施する。	嘉手納町の防災・減災の強化	・地域防災計画の整備 ・避難マニュアルの作成 ・避難所の運営マニュアルの作成	この計画、マニュアルを活用した、町民をはじめとする来町者の参加による、防災訓練の実施を行って行く。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		沖縄フェスティバルinハワイ派遣事業	H25 ~ H26	沖縄の伝統文化の継承を目的とし、ハワイで開催される「沖縄フェスティバル」へ町内の無形文化財保存団体を派遣し、ハワイ在住の県人会、町人会との伝統芸能を通しての交流を図るとともに、町内の無形文化財保存団体等の育成を図る。	フェスティバル参加(演舞2回) 県人会、町人会交流	・派遣団体の町内活動の強化 ・派遣報告書作成及び報告会の開催 ・現地での県人会・町人会との交流活動 ・フェスティバルへの派遣人数:35名	町内・外の文化芸能に関する活動の強化。 町内の無形文化財保存団体等同士の情報の共有化を図る。	7月変更 (事業追加)
8		公共施設等省エネ化推進事業	H26 ~ H29					
8		ロータリープラザ照明機能向上事業	H26	低炭素島しょ社会の実現に向けて嘉手納町ロータリープラザ照明をLED化するため、設計、工事を行う。	ロータリープラザ照明機能向上実施設計 ロータリープラザ照明機能向上工事	CO2削減量において、対前年度同月比のCO2削減量40%削減	本事業を実施し、CO2排出量削減を図ることで、観光資源である自然環境の保全に寄与する。	10月変更 (事業追加)
8		嘉手納町防犯灯・街路灯LED化事業	H26 ~ H30	低炭素島しょ社会の実現に向けて嘉手納町防犯灯・街路灯LED化するため、現況の調査及び設計をおこなう。	町内全域の防犯灯・街路灯の現況調査設計	全防犯灯・街路灯の調査完了	防犯灯・街路灯のLED化工事を行い、平成26年度比で消費電力の50%削減、CO2排出量の50%削減を目標とする。	10月変更 (事業追加)
9		食育まんが啓発推進事業	H26 ~ H28	地域の高齢者から長寿といわれる戦前の食生活を聞き取りまんがを制作する。食育まんがを普及啓発することにより長寿の知恵を次世代へ継承し、健やか長寿のまちかでの実現を図る。	まんがの配布3,000部 児童生徒への配布率(100%)	平成26年度 町立保育所実施「食生活に関するアンケート」により「食育」の周知度や食生活の意識の向上度を測る。	食育まんがを普及啓発することにより長寿の知恵を次世代へ継承し、健やか長寿のまちかでの実現を図る。 H27: 日常食、行事食について H28: 間食について 医食同源について	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光振興事業	H24 ～ H33					
		北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ H33	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と地域特産品の交流を図るため、県外、国外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。	プロモーションコンテンツ開発業務 ・ワークショップ 北谷町観光物産プロモーション ・国内プロモーション 2回 ・海外プロモーション 2回	・国内プロモーションブース来場者：1,000人(アンケート回収：200人) ・国外プロモーションブース来場者：2,000人(アンケート回収：200人)	(今後の展開方針) H26～33年度 継続実施	
		観光振興地域活性化事業	H25 ～ H26	観光地としての景観形成のため本町の観光拠点地域において、ハローウィンやクリスマス、年末年始等で利用するイルミネーション装飾等の補助を行う。	観光振興地域活性化事業企画運営業務を実施	・イルミネーション装飾日数：120日間(アンケート回収：200人) ・エンターテインメントイベント開催数：4回 ・多言語コンテンツ等を利用したアンケートを実施300名 ・多言語コンテンツ利用者数の目標指標：5000アクセス/4か月	(今後の展開方針) 各種イベントやイルミネーションの実施及び多言語コンテンツの活用により、観光地としての知名度向上を図り国内外の観光客の誘致を図る。	
		海業振興事業	H25 ～ H26	観光客誘客を図る施設整備の一環としてフィッシャリーナ地区へアプローチする道路の付帯施設整備(舗装、植栽等)、及び景観性向上を図るため西防波堤等景観整備を実施する。	フィッシャリーナ地区へアプローチする道路付帯の整備、西防波堤景観の整備	西防波堤等景観整備工事 (西防波堤L=300m) 道路植栽等整備工事 (植栽N=約80本)	(今後の展開方針) 今回実施する景観整備や中核ホテルの開業と合わせ、観光客及び当該地域への進出企業の誘致を図る。 ・地区内観光客数：H24年度 0人 " 目標値：H27年度 20万人 ・地区内進出企業数：H24年度 5社 " 目標値：H27年度 10社	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容			今後の展開方針等	補足説明等
					H26活動目標(指標)				
			宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業	H24～H27	県内有数のダイビングスポット、サーフスポットである宮城海岸において、居心地の良い空間を提供し観光客の満足度を高めマリン産業の振興を図るため、宮城海岸マリンレジャーゾーンとして海岸護岸の舗装整備をする。H24年度からの継続事業であり、H26年度はH24～25年度で実施出来なかった場所を整備する。	インターロック舗装 A=425㎡	景観に優れた護岸の整備 (インターロック舗装 A=425㎡) ・全体計画のうち80.3%の整備が完了 西海岸周遊道路140m整備	(今後の展開方針) ・H27年度 インターロック舗装506㎡ 工事完了区間ごとに供用開始していく。	
			北谷公園野球場スコアボード改修事業	H26	中日ドラゴンズのキャンプ地として利用されている、北谷公園野球場の既存の手动スコアボードを、LEDによる新たなスコアボードに改修し、多機能表示を可能にすることで、オープン戦や練習風景を盛り上げ、来場者の満足度を高めリピーター率を向上させる。	スコアボード改修工事 1式 画面面積 A = 85㎡	スコアボードを手動式から電光掲示板(LED)へ改修する。(画面面積 A = 85㎡) 年間利用: 中日ドラゴンズキャンプ24日間、オープン戦2日間、各種イベント7日間	平成26年度に完成予定。 野球以外のイベント等の活用	
			北谷町文化発信拠点整備事業	H24～H30	キャンプ桑江北側米軍基地の返還に伴い発見された「伊礼原遺跡」は約7,000年前から連続と続く集落跡として、国史跡として指定された。今後縄文時代に生活空間の具現化をテーマとし、住民の憩いの場、観光資源として公園整備を行う。また、隣接地に伊礼原遺跡の出土品を含む町内に点在する文化財の公開活用を行うため、町立博物館を建設する。H26年度は、伊礼原遺跡保存整備事業、博物館整備事業の基本計画を策定する。	伊礼原遺跡保存整備事業、博物館整備事業の基本計画の検討	・伊礼原遺跡整備基本計画策定 ・北谷町立博物館基本計画策定	(今後の展開方針) 博物館整備事業(19-2) H24線～H25: 用地取得 H25年度: 基礎調査 H26年度: 基本計画 H27年度: 基本設計 H28年度: 実施設計 H29～30年度: 施設建設、公開準備、PR H31年度: 供用開始(年間来館見込15,000人) 伊礼原遺跡保存整備事業(19-1) H25、26年度: 基本計画 H27年度: 基本設計 H28年度: 実施設計 H29～30年度: 建設工事、公開準備PR(年間来園見込50,000人)	
			コミュニティーバス導入調査検討事業	H26～H28	観光客や交通弱者(高齢者、障がい者、学生)にとっての公共交通に関する現状やニーズの把握により、課題を整理するとともに、地域間交流の活性化と観光客誘客推進のための持続可能なコミュニティーバスシステムについて検討する。	県内コミュニティーバス導入自治体からの聞き取り 実証実験の手順書の作成	北谷町の公共交通実証実験等手順書作成。観光客や交通弱者にとっての公共交通に関する現状及びニーズを把握する。	現況の公共交通機関(バス等)の利用分析やバス事業者等をはじめとする関係機関との協議に用いる基礎資料を作成するとともに、社会実験を行い本格導入の可能性を調査する。	12月変更(計画変更に伴う各成果目標変更)

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			人材育成事業	H24 ～ H33					
			英語指導助手派遣事業(小学校)	H24 ～ H33	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小学校に1人の英語指導助手を派遣する。	英語指導助手(AET)配置数4人: 全小学校に各1人	・支援生徒数:全小学校合計2,104人 ・児童英語検定:前年の正答率と比較し1%向上	(今後の展開方針) H33年度 児童英語検定の平均正答率90%	
			英語指導助手派遣事業(中学校)	H24 ～ H33	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各中学校に1人の英語指導助手を派遣する。	英語指導助手(AET)配置数2人: 全中学校に各1人	・支援生徒数:全中学校合計1,088人 ・沖縄県達成度調査(英語):前年の正答率と比較し1%向上	(今後の展開方針) H33年度 沖縄県達成度調査(英語)の正答率60%	
			日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ～ H33	日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童生徒や帰国児童生徒等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員配置数:1人	支援生徒数:10人	(今後の展開方針) 日本語指導が必要な児童生徒が今後増加した場合、日本語指導学習支援員配置人数を2人へ増員。	
			学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ H33	学習に遅れをとっている児童生徒に対して、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な学習内容を理解させることで、学習環境の充実・強化を図る。	学力向上学習支援員配置数6人: 全小中学校に各1人	・学習形態は担任とのチームティーチングを主とし、習熟の遅い子への学習支援を行う。 ・放課後の補修の充実を図る。 ・小学生の沖縄県達成度調査(算数):前年の正答率と比較し1%向上 ・中学生の沖縄県達成度調査(数学):前年の正答率と比較し1%向上	(今後の展開方針) H28年度 ・沖縄県達成度調査の無答率の半減。 ・中学校は学力向上学習支援員配置人数を2人へ増員。	
			スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ～ H33	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のおかれた様々な環境の問題(家庭、友人環境等)に働きかけ、問題を抱える児童に対して未然防止、早期発見、早期対応に努める。	スクールソーシャルワーカー配置数:1人	・不登校等の問題行動の減少を図る。 ・学校内でのケース会議の推進や、関係機関、団体とのネットワークの構築、連携、調整を行う。	(今後の展開方針) ・全中学校区に各1人と、青少年センターに1人を配置し、3人体制へ増員。	
			北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ H29	ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイの町人会、県人会、ハワイ大学生との交流会を実施しているウチナンチュとの親睦を図り世界的な視野を持った人材を育てる。 また、ハワイの文化・歴史関連施設等を視察学習することにより、異文化の国際理解や郷土文化の良さを再認識して相互理解を図る。	派遣生徒数(累計):15人	派遣に係る報告書の作成及び報告会の開催により、町内児童生徒のグローバルな視点の醸成を図る。	(今後の展開方針) ハワイ短期派遣生徒数(累計) H29年度:60人	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	跡地利用推進事業	H24 ～ H33	「キャンプ桑江南側地区」における将来の公共施設用地の確保に向けた地権者説明会及び跡地利用に関する情報提供を実施する。	「キャンプ桑江南側地区」における地権者説明会及び跡地利用に関する情報提供を実施	・跡地利用に対する地権者等の理解促進、協力的体制構築への寄与	・有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた調査検討 ・跡地利用に対する地権者等の意向醸成促進	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
4	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ H33	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、沖縄振興特別推進市町村交付金を財源とした基金を活用して特定駐留軍用地内の土地の先行取得を実施する。	キャンプ桑江南側地区内の土地取得面積: 13,104㎡	公共用地取得率: 約29.1% (取得予定(学校用地)面積45,000㎡)	継続的なキャンプ桑江南側地区内土地の先行取得	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 1月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
5	墓地整備基本計画策定事業	H26	本計画は、北谷町全域(米軍基地を除く。)を対象とし、町内に点在する墓地の状況を把握し、墓地の適正配置や集約に関する計画を策定するとともに、町民に対して墓地の建設や管理に関する周知を行い、社会状況の変化や北谷町の墓地問題に的確に対応するため、総合的な墓地対策指針となる墓地整備基本計画を策定する。	墓地実態調査 墓地整備基本計画策定に向けた委員会、検討部会及び住民説明会の開催	墓地分布図・墓地台帳の作成 墓地整備基本計画策定	・散在する個人墓地、無許可墓地や無縁墓の実態の把握 ・墓地区域(墓地禁止区域)の指定 ・墓地の適正配置や集約の方針決定		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	1	ツーリズム「北中城」促進事業	H24 ～ H33					
1	1	あやかりの社滞在型施設活用事業	H24 ～ H28	長期滞在型のある宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用した、野外活動や沖縄の自然や伝統文化の学習等を実施する。	・体験交流事業:6事業	・体験交流人数:150人	(今後の展開方針) 体験交流人数目標(H28):700人 (延べ人数)	
1	1	歴史文化散策路ネットワーク整備事業	H24 ～ H29	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するとともに、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備を実施する。散策遊歩道整備の実施箇所は、重点地区となっている喜舎場・仲順地区とする。	・散策路案内カラー舗装 ・里道整備の実施	・「喜舎場・仲順」地区の第1期整備工事の完了	(今後の展開方針) ・H26年度:第1期整備工事(喜舎場・仲順地区) ・H27年度:第2期整備工事(喜舎場・仲順地区) ・H28年度:実施計画(島袋・比嘉地区) ・H29年度:整備工事(島袋地区)	
1	1	北中城まつり活性化事業	H24 ～ H33	県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして、沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりまつりin北中城」を開催する。	・まつりの実施:3回 ・まつり開催日数:19日	・三大祭りにおける来場者数:11万人(H24:11万人) ・地元産業事業者及び村内団体参画数:40事業所(H24:37事業所及び団体)	(今後の展開方針) 各まつりにて、村内事業所及び観光施設のPRを実施するブース及び特産品販売ブースを設置する。三大祭りにおける来場者数目標(H33):11万人 基準年(H23):9万7千人	
1	1	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24 ～ H28	平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備を実施する。	・誘客等拠点施設配置の検討 ・湧水保全地区の雨水浸透方策の検討	・誘客等拠点施設配置計画の策定	(今後の展開方針) ・H27年度:用地取得(予定) ・H28年度:整備・運用開始(予定)	
1	1	観光コミュニティバス導入事業	H24 ～ H29	村内にある観光資源をターゲットとした観光コミュニティバス導入に向け、本村の観光特性・交通特性・課題を把握し、地域間交流の活性化と観光客誘客推進のための公共交通構築を図る。	・コミュニティバス実証実験にむけた関係機関との協議	・交流活性化基本計画・実施計画の策定 ・コミュニティバス社会実験運行計画の策定	(今後の展開方針) ・H26年度:社会実験運行計画策定(関係機関との協議含む) ・H27年度～H28年度:社会実験(予定) H29年度:本格運用(予定)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			地域活性化キャラクター活用事業	H25 ～ H33	本村の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、平成25年度に誕生した地活キャラを村内地域イベント、県内外でのキャラクターを介したイベントに積極的に参加しPR活動を行う。さらにキャラクターの運用を通して、本村内の観光案内人となる人材の育成を行う。 また、ARアプリケーションについて、本村内の観光スポットを効率よく巡るための、地形高低表示機能等を追加する。	・ARアプリ機能の拡張 ・キャラクター県内・外イベント参加	・ARアプリダウンロード数:1,000回 ・キャラクター実働回数:50回	(今後の展開方針) 村内外のイベントへの参加を通して、本村のPRを強化すると共に、来村頂いた方々から意見を集約しながら、キャラの展開及びアプリの更新を図る。	
1			公営墓地整備事業	H24 ～ H28	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地用地の確保とともに、基本設計及び納骨堂等の実施設計を行う。	・公営墓地用地の取得 ・納骨堂・管理棟の実施設計	・公営墓地用地の取得率(30%目標) ・納骨堂・管理棟の実施設計の完了	(今後の展開方針) 平成27年度 ・用地取得 ・取付道路の整備工事 平成28年度 ・公営墓地整備工事	
1			中城城跡アクセス(大城登又線)整備事業	H26 ～ H27	世界遺産「中城城跡」を核とした県営中城公園整備が進んでいる中で、公園西側入口に面する村道大城登又線の拡幅整備を推進するための検討を行う。	・アクセス道路の検討	・アクセス道路予備設計の完了	(今後の展開方針) 平成27年度 ・アクセス道路実施設計	
1			東海岸まちづくり整備事業	H24 ～ H29	本村の東海岸地域における低未利用地(遊休農地等)の有効的な土地利用を図るため、津波等の災害に強い防災基盤施設等の整備と併せて、魅力ある「食」の資源を活かした特色ある観光地としての都市的基盤整備を行う。	・地権者合意形成の推進 ・関係機関協議	・基本計画策定にむけた土地利用(案)の策定と地権者合意形成	(今後の展開方針) ・H27基本計画策定・環境調査 ・H28用地取得 ・H29区画整理事業等による整備	
1			観光情報発信拠点推進事業	H26 ～ H28	平成27年春に開店する大型商業施設「イオンモール沖縄ライカム」内に、観光情報発信の拠点となる北中城村観光案内所(仮称)を設置し、北中城村のみならず、沖縄県内全域の観光案内・情報発信等のサービスを提供するとともに、当該商業施設を訪れる観光客等のおもてなしを充実させる。具体的には、平成26年度において、商業施設内のブースの内装工事及び共益部分の工事負担金支出、備品・什器の購入と案内所の準備業務委託を行い、平成27年度以降には観光協会や商工会、県内ホテル等との連携による観光商品(ツアー、イベント等)商品開発を行う。	・観光案内所ブースの内装工事 ・備品購入 ・観光案内所事業計画の検討	・ブース設置完了 ・運営及び事業計画書の策定	(今後の展開方針) ・案内所において観光客のニーズを把握し、新たな観光商品開発につなげるなど、観光協会、商工会、県内ホテル等と連携し、より良い観光情報の送受信所として活用する。 ・年間案内所利用者数目標値: 7,500人	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			駐留軍用地跡地等利活用事業	H24 ～ H30					
2			アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業	H24 ～ H28	観光客誘客が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりを推進し、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指し、災害時及び災害復旧時を想定した避難路、輸送路、物資供給などの調査・計画策定を実施する。	・多言語案内標識(防災・観光)の試作品(3点)と設置(1点) ・歩道等に関する景観検討	・まちなみ景観及び標識等デザイン計画の完了	(今後の展開方針) 平成27年度～平成29年度 決定したデザイン等をもとに、本地区の整備工事を推進する	
2			アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ H30	アワセゴルフ場地区は、戦前は肥沃な土地に恵まれた比嘉集落が形成され、自作農で生産性も高く豊かな集落であったが、戦後、強制的に土地が収用され60年余あまりにわたって米軍娯楽施設のゴルフ場として使用され、平成22年7月に返還された。そのような戦前の営みからゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため、映像記録、編集を実施する。	・記録映像の撮影時間：3時間	・アワセゴルフ場開発の記録映像の作成	(今後の展開方針) H25年度～H29年度： アワセゴルフ場まちびらき映像保存	
2			アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト管理事業	H24 ～ H27	プロジェクト管理能力のあるプロジェクトマネージャーの助言を得て跡地利用の迅速な推進を図るため、アワセゴルフ場跡地開発の全体計画の作成、工期の短縮検討、進捗管理、将来予測、ステークホルダー(プロジェクトに関係しているあらゆる人々)との調整及び管理を実施する。	・使用収益開始までの、全体工程管理と関係機関との調整	・全体工程の80%完了	(今後の展開方針) H26年度：公共施設等整備管理 H27年度：使用収益開始等管理	
2			アワセゴルフ場地区公共用地取得マネジメント事業	H26 ～ H28	駐留軍用地アワセゴルフ場跡地は、平成25年度より造成工事が開始され、造成工事の進捗に合わせ平成26年度より公共用地の取得を開始する。跡地利用の計画的な整備促進を図るため、公共用地の取得も計画的に進める必要があることから、用地アセスメントから買収・登記まで一連して計画的に進めるために用地取得マネジメントを行い跡地利用の迅速な推進を図る。	・用地アセスメントを実施し、公共用地取得計画を策定	・公共用地取得計画策定の完了	(今後の展開方針) 平成27年度～平成28年度 ・用地取得	
2			喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ～ H29	駐留軍用地キャンブ瑞慶覧「喜舎場ハウジング地区」内における跡地利用推進計画として、喜舎場スマートICのフルインター化に向けた、交通量調査、道路構造、跡地利用などの調査を実施する。	・フルインター化に向けた検討・調査 ・スマートインター地区協議会作業部会の開催(1回)	・喜舎場スマートIC周辺アクセス道及び跡地利用の検討	(今後の展開方針) ・喜舎場スマートICの形式検討の絞り込み及び早期返還に向けた取組みと関係機関協議を行う。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ H29	キャンプ瑞慶覧ロワーブラザ住宅地区の跡地利用を促進するための基金を創設し、公用地の先行取得に必要な費用を積み立てる。 また、基金に積み立てた費用の円滑な執行及び先行取得に向けて、調査支援等を実施する。	・先行取得のための不動産鑑定 ・地権者説明会の実施(2回程度)	・跡地の見通し作成・公表 ・基金の積立 114,000千円	(今後の展開方針) H25年度～H29年度 ・基金の積立 H27～H31年度 ・用地取得	7月変更(計画変更に伴う事業内容変更)
3			雇用サポートセンター事業	H24 ～ H33	活力ある地域づくりを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るため、若者や退職期を迎えた団塊の世代の再就職希望対応など、雇用サポートセンターでの継続した雇用支援を実施する。	・登録企業の開拓 ・求職者のマナー等指導実施 ・事業活動の周知拡大	・失業者のマッチング人数:24人 (H24:7人) ・新規求人数:150件 (H24:105件)	(今後の展開方針) 登録企業の開拓を周辺市町村へ広げ、職種の幅を広げ、求職者の選択肢を広げる。 ・マッチング目標:年間24人 ・登録企業目標:年間40社	
4			農水産アクティビティ事業	H24 ～ H33					
4			地域ブランド構築事業	H24 ～ H33	産業振興、担い手育成を図ることを目指し、農水産物資源を活かし付加価値を高めるための北中城村独自のブランド化に向けた商品開発を行うとともに、商品選定委員会で選定された特産品の販売拡大や県外物産フェアへの出店を行う。また、本村の観光及びブランドプロモーションのためのパンフレットを作成し、PR強化を図る。	・ブランディング推進委員会開催数:5回 ・県外商談 ・PR活動回数:2回 ・パンフレット作成:3万部	・販路拡大の為の県外物産フェア参加(10品目販売モニター調査、販売額目標40万円) ・量販店等への取引契約(チェーン展開する店舗1以上) ・新商品の開発2アイテム ・ポータルサイトアクセス数10%増(H25年度60,000アクセス)	(今後の展開方針) H26年度:組織強化・商品化等 H27年度以降:組織強化・販路拡大・パンフレットの情報内容更新等。また、平成26年度ブランディング推進委員会で策定する目標に基づいた新商品の販売等を行う	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
4			軟弱野菜生産支援事業	H25 ～ H29	村内の農家は露地生産が多く、天候不良による影響を受けやすく計画生産が難しい状況にある。耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)を導入し、軟弱野菜の産地形成に取り組む。	・耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)導入に対する補助実施	・耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)の設置(30a)	(今後の展開方針) 軟弱野菜の生産量 目標(H29):5,250千円 (H24:2,190千円)	
4			農業経営改善支援事業	H24 ～ H33	生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者の技術支援及び助言と、就農を希望する若者の人材育成のため、農業経営改善支援員を派遣する。	・農業経営改善指導員配置(2名)	・農家への経営指導及び技術支援の実施(40件)	(今後の展開方針) 地産地消(学校給食での食材活用)の拡大を図る。	
5			災害時要援護者避難支援事業	H24 ～ H28	観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援事業及び自主防災組織等への災害時の要援護者支援に活用する防災資機材を整備し、支援体制の整備・強化を行う。	・要援護者個別支援計画策定 ・要援護者支援体制の整備・強化	・要援護者個別支援計画の新規策定件数:30件 ・自主防災組織設立:2団体 ・防災資機材整備:2団体	(今後の展開方針) 引き続き個別支援計画の策定及び見直しを継続していく。また、防災資機材の整備を順次拡大していく。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			エコアクション推進事業	H24 ～ H33					
6			全村植物公苑化推進事業	H24 ～ H33	本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみため、観光拠点周辺の地域緑化を行う。	・公共、観光施設及び村内主要道路の景観美化・緑化の実施	・村内主要道路等の美化・緑化率：2,000㎡	(今後の展開方針) ・公共・観光施設管理者及び道路管理者との連携を図る。 ・村内団体へ緑化ボランティアの呼びかけを実施する。 緑化・美化協力団体数 目標(H33)：5団体	
6			公共施設等エコアクション推進事業	H24 ～ H29	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、公共施設においてクリーンエネルギー(太陽光)の先行導入と照明機器等の省エネルギー化のためのLEDへの切り替え、エコアクションプログラムの策定を行う。	・再生可能エネルギー導入年次計画検討 ・一般家庭向け太陽光導入補助金の検討 ・LED街灯設置 ・公共施設等太陽光発電設備設置	・エコアクションプログラム策定の完了 ・太陽光発電システム設置：1箇所 ・村道へのLED街灯5本設置	(今後の展開方針) 平成27年度： 太陽光発電システム設置1箇所、LED街灯5本設置 平成28年度： 太陽光発電システム設置1箇所、LED街灯5本設置	
7			国際化・ICT人材教育推進事業	H24 ～ H33					
7			総合英会話指導支援事業	H24 ～ H33	国際性豊かな人材育成を目指し、外国人や英会話能力の優れた講師による生きた英語に触れることにより「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの時間において、国際理解教育の一環として、指導員による英会話指導を行う。	英会話指導員配置数 小学校：1人 中学校：1人 幼小兼務：1人	・英語検定合格率 (H25:53% H26:54%)	(今後の展開方針) ・英語検定合格率：60%	
7			アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ H33	国際化社会に対応できるよう、子どもから大人までを対象とした人材育成・教育方法を教育現場に活かすため、米国の教育機関(ワシントン州立大学)とWEBシステムを活用して、米国大学教員による集中講座を行う。	・中学生クラス：64回(前期32回・後期32回) ・小学生クラス：64回(前期32回・後期32回) 受講生人数(H24:19人、H25:19人)	・受講生人数(前期10人、後期10人)	(今後の展開方針) H33年度まで 受講生人数(累計)：200人	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7		海外子弟青年交流事業	H24 ～ H33	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多く経済発展を遂げている南米3カ国(ペルー、アルゼンチン・ブラジル)及び交流可能な海外村人会に研修生を派遣する。また、世代交代が進行する海外子弟の青年に、沖縄の文化・伝統芸能の習得によるウチナーンチュとしてのルーツを再確認してもらい、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図る。	海外子弟受入人数:3人 海外村人会派遣:2人	・研修報告会の開催(各研修1回) 報告会により、派遣者等の国際相互理解に対する意識向上	(今後の展開方針) 派遣・受け入れを継続し、研修生を中心に各国村人会との活動を活性化させ、絆の形成を図る。	
8		歴史文化継承基盤整備事業	H24 ～ H29					
8		琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ H29	村内に所在する旧跡・文化財等の現況を把握するための現地調査(所見作成・写真等記録作成・位置測量等)を実施するとともに、調査成果や既存の資料について情報発信のための資料整理(台帳の整理とPC打ち込み・実測図作成・材質分析等)を行う。	・民俗祭祀行事及び現地調査の実施	・現地調査箇所数:200箇所 ・民俗祭祀行事調査:15件 ・過年度分補足調査:100箇所	(今後の展開方針) 次年度もH26年度と同様の内容を継続して実施。 将来的には、調査成果の公開活用と歴史風致を踏まえたまちづくり計画を策定する。	
8		中城間切ノロ関係資料集作事業	H24 ～ H29	島袋ノロらが活動していたとされる近世～近代の中城間切(当時の行政単位で現在の北中城村・中城村)に焦点を絞り、ノロが執り行った祭祀実態などを明らかにするため、それぞれのノロが管轄した拝所の現地調査や、関連資料(古文書・位牌等)の収集や聞き取り調査を実施する。	・ノロ家系関係者への聞き取り及び現地調査	・ノロ家系関係者への聞き取り調査 10件 ・ノロに関連する祭祀場等の現地調査 3件	(今後の展開方針) H29発行へ向け、各種調査及び資料整理を継続して実施する。	
9		特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	村内の幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児・児童・生徒のうち、特別に支援を要する子ども達に対し、支援員を配置することで、障害のある子どもが他の子どもと平等に教育をうけることができるよう環境の充実を図る。	特別支援教育支援員配置数 小学校:11名 中学校:4名 幼稚園:4名	・支援児童数(小):32名 ・支援生徒数(中):7名 支・援園児数:9名	(今後の展開方針) 全ての幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援を要する子ども達に対する早期からの一貫した支援に努める。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
10		健康長寿まちづくりアクション事業	H26 ～ H28	<p>本村は平成26年3月、村民一人ひとりの健康づくりを通して「村民の楽しみ・生きがい増」「村民の所得増」「産業振興・観光振興」等、様々な良い効果が出ることを目標とした「北中城村 健康長寿のまちづくり計画」を策定した。本年度においては、「女性長寿日本一のPR事業」や「健康づくり村民会議」を実施するとともに、経済・産業・観光・教育・環境・都市基盤など様々な分野が連携し、「心と体」の健康づくりと「暮らし」の環境づくりについて、地域住民が一体となって取り組むためのアクションプラン策定を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿のまちづくりアクションプラン策定 ・健康長寿のまちづくり村民会議の開催 	・アクションプラン策定の完了	<p>(今後の展開方針) 平成27年度以降 ・策定したアクションプランをもとに、村内各団体等とが連携しての健康長寿のまちづくり事業の実施・推進を図る。</p>	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
				1	護佐丸が村を守るグスク整備事業				
1		防災体制整備事業	H26 ~ H30	災害に強く安心して暮らせるむらづくりを推進するため、災害時に地域住民・観光客等が避難生活を送ることとなった際に、物資の搬送が再開されるまでの非常食や生活物資等の備蓄を行う。また、防災基盤整備の一環として、災害が起こった際に効率的・実働的な災害対策に当たることができるよう、災害対策本部の備品の拡充を図る。	・備蓄品の整備 ・災害対策本部の備品整備	・非常食 1,000食 ・災害時用生活用品(毛布) 155枚 ・災害対策本部備品の拡充	(今後の展開方針等) H27~30年度:非常食、災害時用生活用品、災害対策本部備品の整備		
1		災害関係表示板設置事業	H26 ~ H28	災害に強く安心して暮らせるむらづくりを推進するため、普段から目につきやすい場所に海拔表示板や避難場所標識、避難場所までの誘導表示板等を設置し、地域住民や観光客等の防災意識高揚を図る。	・海拔表示板の設置	・海拔表示板 50枚	(今後の展開方針等) H27~28年度:海拔表示板、避難所標識、避難ルート表示板の設置		
2		観光客誘客促進・受入基盤強化整備事業	H25 ~ H28						
2		クラブハウス施設整備事業	H25 ~ H26	スポーツコンベンションの推進を図る目的で当交付金の平成25年度事業として整備を行っている吉の浦公園周辺施設の一つであるサッカー場に、キャンプ誘致の受入基盤を更に強化整備するため、ミーティングルームやレフリールーム、選手控室、シャワールーム、更衣室等の設備を兼ね備えた「クラブハウス」を整備する。	・クラブハウス建設工事の実施	・クラブハウス建設工事の完了	(今後の展開方針等) 平成26年度:供用開始し、スポーツキャンプ誘致に向けた受入体制の強化促進を図る		
2		キャンプ誘致施設整備事業	H25 ~ H28	プロサッカーチームの一時キャンプやプロバスケットボールチームの練習場として利用されている吉の浦公園各種施設への今後更なるキャンプ誘致に向けて、公園内の各種施設の機能強化整備を行うとともに、県内でも数少ないサッカー専用の芝生を有するサッカー場の適正管理を行い、スポーツコンベンションの推進を図る。	・村民体育館内トイレ・シャワー室整備工事の実施 ・芝適正管理業務の実施	・村民体育館内トイレ・シャワー室整備工事の完了 ・サッカーチームのキャンプ受入に適した芝の整備	(今後の展開方針等) スポーツキャンプ継続誘致に向けた受入体制の強化		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			中城城跡プロジェクションマッピング事業	H25 ～ H33	風光明媚な世界遺産「中城城跡」を観光振興の目玉として更に推進するため、世界遺産と伝統芸能を活かした中城城跡プロジェクションマッピング事業を実施する。光の演出による日没後の観光メニューを提供することにより集客増を目指す。	・プロジェクションマッピング事業の実施	・プロジェクションマッピングイベント来場者数：6,000人 (基準年：H25 5,352人)	(今後の展開方針等) イベント内容を強化し、日没後の観光メニューの構築を図る	7月変更 (事業追加)
2			プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ H33	本村や沖縄県のスポーツツーリズムの推進に向け、スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化する。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプの支援事業実施	・プロサッカーチームのキャンプ誘致：2チーム ・キャンプの支援：2チーム	(今後の展開方針等) H27～：プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化し、継続的なキャンプ誘致を図る	7月変更 (事業追加)
3			海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ H33	南米に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、日本語研修、ウチナーグチ、沖縄の歴史や三線、琉球舞踊、エイサーなどの伝統文化を取得し、企業等での技術研修や村民との交流を通して、社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に資することを目的として実施する。	・アルゼンチン、ペルー、ブラジルから研修生の受入実施	・受入研修生数：年間3名(アルゼンチン、ペルー、ブラジル、各1名)	(今後の展開方針等) ・各国日系社会のコミュニティの強化と沖縄と各国の相互交流につなげる ・受入研修生数(H33累計)：27人	
4			教育・子育て環境づくり整備事業	H24 ～ H33					
4			中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	H24 ～ H26	「郷土の歴史・文化についての学習」の充実を図る為に、「護佐丸」「中城城跡」を通して中城村の歴史と文化を学ぶカリキュラムを編成し、効果的な指導体制の構築のために副読本・教材等の整備を図る。	・中学校社会科歴史分野副読本の編集 ・中学校史劇脚本の編集 ・小学校用カリキュラムの作成	・中学校教材の出版 ・脚本の出版 ・小学校用カリキュラムの出版	(今後の展開方針等) 教材を活用した授業の実施	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
4			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ H33	児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しみ、適切に活用出来るように情報機器環境を構築する。また、情報教育対応補助者を配置し、きめ細かな指導を行う。	・情報教育対応補助者の配置 ・パソコン設置学校数：中学校1校	・情報教育対応補助者配置数：1人 ・情報機器整備 中学校1校 41台	(今後の展開方針等) ・情報教育対応補助の人員確保 ・購入機器の活用	
4			きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ H33	個々に応じた特別な教育的支援が行えるよう個別のサポートを行い、該当児童生徒が落ち着いて学校生活を送れるよう支援員等を配置をする。	・特別支援員の配置 (幼稚園 2人、小学校 6人、中学校 2人、相談員 2人、心理士 1人)	・不登校児童生徒数：0人 基準年(H23)：12人	(今後の展開方針等) ・特別支援員の人員確保 ・継続した教育的支援及び相談体制の充実	
4			国際理解人材育成事業	H24 ～ H33	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校の外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	・英語指導員の配置	・英語指導員配置数：小中学校 1人 ・英検受験者数：80人 基準年(H23)：15人	(今後の展開方針等) ・英語指導員の人員確保 ・継続した英語指導及び国際理解教育の充実	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
パ	細				H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H26事業内容					
4			ごさまる学力パワーアップ事業	H25 ~ H33	沖縄県の学力向上策は、県の主要施策の「にぬいっ星プラン」のもと推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査においては全国平均と比較してマイナス5.7と全国と大きな差がある。そこで教育委員会は学力向上の下支えとなる中学生の補習を中心に、生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるため、「学習定着のための機会」の提供として平日講座等を開催する。	・実施要項案の作成と連絡調整会の実施 ・定期テスト前講座の実施 ・平日講座の実施	・受講生の事前テスト・事後テストの平均10点の向上 ・県到達度調査の数学・英語の県平均を上回る	(今後の展開方針等) 全国学力調査等において沖縄県の学力は全国平均を下回っているため、その向上に努める		
5			文化まつり事業	H26	当該事業は、文化まつり実行委員会に補助金を交付し、11月の土・日を利用して2日間「文化まつり」を実施する。まつりは「保存、継承、発展」をテーマに掲げ、中城村文化協会を中心に一般個人やプロの芸術家、各種団体に参加してもらい中城組踊「護佐丸」、民俗芸能・古典舞踊・古典音楽などの舞台部門、書道・絵画・生花などの展示部門に会場を分けて実施する。	・「文化まつり実行委員会」に対する事業支援の実施	・文化まつりの実施 < 展示部門 > ・出展者(出展団体)数:130名 基準年(H23):出展者数91名 < 舞台部門 > ・出演団体数:13団体 基準年(H23):10団体	(今後の展開方針等) まつりを通して郷土の文化振興を図る		
6			吉の浦会館施設機能強化事業	H24 ・ H26	伝統芸能や学習、サークル活動の発表の場として活用する等、人材育成や生涯学習を推進する施設となっている吉の浦会館を、村民が安心して利用できるための施設の機能強化整備を行う。	・吉の浦会館空調整備工事の実施	・吉の浦会館空調整備工事の完了	(今後の展開方針等) 施設環境を整備し、村民の利用促進を図る		
7			中城村文化財総合調査整備活用事業	H25 ~ H29						
7			文化財悉皆調査事業	H25 ~ H29	5ヵ年計画で民俗調査専門員(嘱託員)による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況等を把握し、それを整理公開していくことで村民の文化財の保護意識高揚と活用を図っていく。	・各集落での聞き取り調査の実施	・調査概報(各字パンフレット)の作成	(今後の展開方針等) H27~H28:調査の継続 H29:5ヵ年分の調査報告書の作成		
7			古道ハンタ道保全活用基本計画作成事業	H25 ・ H26	中城村では平成14年から内閣府や文化庁の補助を得て村内を横断する古道「ハンタ道」の整備を行っており、平成25年度に整備が完了する予定である。整備後の保存や活用についての基本計画を2ヵ年かけて作成し、今後の観光振興につなげていく計画である。	・地域住民ワークショップの開催 ・基本計画検討委員会の開催	・保全活用基本計画の策定 ・報告書の発刊	(今後の展開方針等) H27~:本計画に基づき沿道文化財の環境整備及び地域住民の利用推進や観光振興につなげるような活用を図る		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		ごさまるエネルギー活用に向けた調査研究事業	H24 ~ H26	「ごさまるエネルギープロジェクト」として産学官連携による共同研究の結果、冷凍粉碎製品を利用した商品開発等の可能性について成果が得られた。そこで、更なる中城村の地域振興・産業振興を図るため、冷凍粉碎及び製氷実験の結果に基づく事業化へ向けた取組の可能性について調査事業を実施する。	・産学官による冷熱エネルギー利用システムの共同研究	・事業化計画の提案	(今後の展開方針等) 事業化に向けた取組の促進	
9		(仮称)護佐丸歴史資料図書館の整備事業	H24 ~ H27	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について村民等が学ぶ場所として、また、村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、歴史資料図書館の建設を行う。当該施設は、災害時の安全を確保するため防災タワーも兼ねた複合施設として整備する。	・(仮称)護佐丸歴史資料図書館の建設工事の実施	・(仮称)護佐丸歴史資料図書館の建設工事(進捗率:60~65%)の実施	(今後の展開方針等) 平成26~27年度:建設工事 平成28年度:供用開始	
10		世代間交流・人材育成センター整備事業	H26 ~ H27	世界遺産「中城城跡」をはじめとした数多くの有形・無形の文化遺産を次世代へ継承していくため、また、「地域の子は地域で育てる」という意識を養い、地域の各世代の特性を生かした子育て支援・人材育成を行える環境を整備するため、世代間交流・人材育成センターを整備する。	・世代間交流・人材育成センター基本設計の実施	・世代間交流・人材育成センター基本設計の完了	(今後の展開方針等) 平成27年度:実施設計・建設工事 平成28年度:供用開始 文化継承、人材育成、高齢者の生きがいづくりの場として活用	10月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		西原町観光客受入基盤強化事業	H24 ~ H33					
1		公園樹木等環境整備事業	H24 ~ H28	観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。	町内公園の美化・緑化実施:3箇所 西原運動公園 東崎公園 東崎都市緑地	樹木等や芝管理、雑草等の除草作業を行うことで、沖縄らしい景観・美観の保全する 町内公園の美化・緑化実施:3箇所 西原運動公園 東崎公園 東崎都市緑地	(今後の展開方針) 平成28年度まで同事業を継続 町内主要観光施設利用者数(西原マリンパーク)500,000人(H23) 550,000人(H28)	
1		文化財及び文化財周辺環境保全事業	H25 ~ H33	観光振興及び文化財保護の観点から、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境整備を行う。	・文化財及び文化財周辺の清掃の実施:17件 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察:1回(前年度の状態からの経年変化観察を実施する。)	・対象文化財及びその周辺の清掃の実施:17件の活用。 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察:1回(前年度の状態からの経年変化観察を実施する。)	・町及びガイド団体等による文化財の活用。 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の保護、周知。	
1		文化財保存活用事業	H26 ~ H30	観光振興及び文化財保護の観点から、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境整備を行う。	・文化財記録保存	・文化財記録保存	・町及びガイド団体等による文化財の活用。	7月変更(事業追加)
2		次代を担う人材育成事業	H24 ~ H33					
2		小学校英語活動指導員派遣事業	H24 ~ H33	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。 児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	英語指導員2名配置	・町内小学校への英語指導員派遣率:100% ・英語の授業が「好き」と答えた児童が70%を超える。 ・児童英検(ブロンズ)の平均正答率:小5で60%、小6で70%	(今後の展開方針) ・町内小学校における沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上 ・児童英検(ブロンズ)の平均得点向上	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	中学校英語活動指導員派遣事業	H26 ~ H33	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。 生徒の国際感覚を育むため、町立中学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	英語指導員2名配置	・町内中学校への英語指導員派遣率:100% ・中1で英検5級程度、中2で4級程度、中3で3級合格程度の英語力をつける。	(今後の展開方針) 町内中学校における沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上 ・英検取得率の向上		
2	教育相談員配置事業	H24 ~ H33	いじめや校内暴力、不登校等、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置する。	教育相談員配置数:4人	・教育相談員への相談件数:700件 ・児童生徒の不登校数を前年度より減らす。(H25年度39人 H26年度30人)	(今後の展開方針) 不登校児童生徒の減少		
2	学習支援員配置事業	H25 ~ H33	全国学習状況調査で、全国最下位という結果が続く本県において、児童生徒の学力向上及び人材育成を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校:8人 中学校:6人	・学習支援員を町内全小中学校に配置:6校 ・全国学習状況調査の平均点:町平均点が全国並み(小学校)、町平均点が全国平均より下限5%以内(中学校)	(今後の展開方針) 学力状況調査等で、学力向上に努める。		
2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ H33	教育振興の観点から、特別な支援を要する児童生徒に対し、個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援体制の拡充と質の向上を図る。	特別支援教育支援員配置数 小中学校:20人	特別支援教育支援員を町内小中学校に配置 小中学校(6校):20人 ・支援員の町内研修を2回以上実施し、資質の向上を図る。	(今後の展開方針) ・個に応じた支援を行い、支援体制の拡充と質の向上を図る。		
2	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	心身の発達に支援を必要とする幼児を幼稚園に受け入れ、集団保育の中で支援児に対する適切な指導を実施するために必要な幼稚園特別支援教育支援員を配置する。	幼稚園特別支援教育支援員配置数 幼稚園:6人	・特別支援教育実施幼稚園数:4園(町立幼稚園全園) ・支援児の状況に応じて支援員を配置する。	(今後の展開方針) ・個に応じた支援を行い、支援体制の拡充と質の向上を図る。 ・集団保育の中で支援児に対する適切な指導を実施することにより、健全な社会性の成長及び発達を促す。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	児童生徒県外派遣助成事業	H26 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、沖縄県を代表して派遣される児童生徒の運動競技や文化活動の大会等に対し、県外大会派遣費用の助成を行う。	大会等派遣生徒数:200人	地理的要因及び低所得県ゆえの経済負担を軽減する 大会等派遣生徒数:200人	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度(1,600人)		
2	西原町中学生海外短期留学派遣事業	H26 ~ H33	西原町の中学生を海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広めるとともに、海外青少年との友情を深め、国際性を身につけ、21世紀の国際社会に対応できる青少年の育成を図る。	海外短期留学派遣生徒数:8人	海外短期留学派遣生徒数:8人 帰国報告会実施 町スキットコンテストへの参加 国際社会への意識の向上	海外短期留学派遣生徒数(累計) H33年度:64人 事業内容と帰国報告会の内容の充実		
2	教育情報化支援事業	H25 ~ H30	将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童生徒の学力・情報活用能力等の向上を図るため、各小中学校に電子黒板やタブレット等のICT環境を整備する。また、各小中学校へICT支援員を定期的に派遣し、ICT機器の効果的な活用を支援する体制を整え、「分かる授業」を実現する。	電子黒板の追加整備台数:96台 H25に引き続き、各小中学校へ電子黒板の追加整備を行う。 タブレット連携ソフトウェアを導入し、電子黒板とタブレットを組み合わせた授業の学習効果について検証を開始する。 ICT支援員の派遣開始 派遣先:町立小中学校6校 派遣回数:各学校月2回以上	ICT機器・教育用ソフト 整備進捗率:100% 教職員のICT活用能力底上げの有効策を見出す。 ICT機器・教育用ソフト整備進捗率とは、全教室(普通教室・理科室等)整備を100%とした場合の整備状況	(今後の展開方針) ICT支援員を継続的に配置し、児童生徒の学習活動におけるICT機器の効果的な活用を支援する。 児童生徒の学力・情報活用能力の向上を目指した本格的な取り組みを行う。 状況に応じて必要な機器・ソフトウェアの追加整備を行う。 (H27~H30年度)	7月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
2	しまくとぅば継承・推進事業	H26 ~ H28	大人から幼時までしまくとぅばを話せるようにするために、町内の幼稚園・小学生・中学生・高校生(学生と教師)・自治会・老人会を募り、うちなー芝居へ出演する。これにより、しまくとぅばを話せる者が増え、また、うちなー芝居を見に来た人に興味や良さを認識してもらい、自らしまくとぅばを話したい、学びたいという意識高揚も図り、沖縄のこぼ文化を大切に継承していくことを目指す。	・親子しまくとぅば講座の開催 40回 ・うちなー芝居(立方)の講座の開催 30回 ・うちなー芝居の上演 1回	・親子しまくとぅば講座の開催(受講者20名) ・うちなー芝居(立方)の講座の開催(受講者20名) ・うちなー芝居の上演 1回(観客数500人)	・しまくとぅば講座、うちなー芝居の上演を開催し、沖縄のこぼ文化の継承を目指す。 H28 1,500人(観客数累計)		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	町立小学校空調設備設置事業	H26	教室内の熱中症対策及び快適な学習環境づくりを行うため、空調設備を設置する。	空調機器設置 2台	坂田小学校音楽教室へ空調機器を設置(学習環境の改善が必要な教室に空調機器の設置を行う)	学校における学習環境の改善検討		
3	ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業	H24～H27	ICTを活用して、観光サイト観光アプリ等を構築し、観光キャラクターを作成する。また、本町の観光情報を広く発信していくために、IT人材育成講座を開催し、動画作品を制作できる人材を育成するとともに、観光客等が利用できる公衆wifiを整備する。	・観光サイト・アプリに掲載する店舗数の増 ・IT人材育成講座の開催 年5回定員20名 ・観光キャラクター製作 ・公衆wifiの整備	・観光サイト・アプリに掲載する店舗数 50件 ・IT人材育成講座の開催 年5回定員20名 ・観光キャラクター製作 ・公衆wifiの整備	(今後の展開方針) H25の事業成果を踏まえて、今後の事業執行の方法を決めてゆく	1月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
4	西原町平和推進プロジェクト事業	H25～H29	第二次世界大戦で唯一地上戦となった沖縄戦の実情を風化させることなく後世へ継承し、平和思想を世界に発信するため、西原町平和音楽祭を開催や、町非核反戦平和都市宣言碑を整備する。	西原町平和音楽祭の開催 非核反戦平和都市宣言碑の整備	西原町平和音楽祭観客動員数1,660人 非核反戦平和都市宣言碑の完了	西原町平和音楽祭観客動員数: H29年度:1,900人 沖縄戦の実情を風化させることなく後世へ継承、平和意識の高揚を図る	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
5	子育て世代ゆいまーる支援事業	H25～H33						
5	認可外保育施設支援事業	H25～H28	認可外保育施設において安心して子どもを預けられるようにするため、支援員を派遣し、保育士の事務負担を軽減し、もって保育士が保育業務に専念できる環境を整備するとともに、認可外保育施設の各クラスの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・支援員配置数:1人 ・町内認可外保育施設(10箇所)に対し、支援員の巡回の実施	・役場窓口にて認可外保育施設の定員空き状況リスト、保育料、保育方針等の情報提供の実施。 ・窓口にての認可外保育施設の情報提供	(今後の展開方針) ・私立保育連絡協議会の充実 ・窓口にての認可外保育施設の情報提供		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	放課後児童クラブ障害児保育支援事業	H26 ~ H33	西原町内にある学童クラブに対し、潜在的な障害児童を把握しその児童に携わる支援員を配置することで、障害児童の学童保育ニーズに対応することができる放課後児童クラブの実現を目指す。	・支援員配置数:8人 ・町内学童(8箇所)に支援員を派遣	・発達障害がある子どもの、学童受入れの支援体制を整備するため支援員を配置し、サポートプラン(個別指導計画)を作成し児童の全体像をとらえながら、障害児童の学童保育ニーズに応えることができる学童クラブ実現を目指す。	・次世代を担う子どもの安心安全な子育て環境の整備や共稼ぎ世帯を中心とした子育て支援に寄与する。		
6	地域健康づくりモデル事業	H26 ~ H28	沖縄の健康課題である肥満を解決するために、フードモデルを活用した体験型栄養教育を行い、住民が自らの力で肥満を予防するための食を選択できるスキルの習得を目指す。	管理栄養士の配置:1名 食育SATシステムの導入 食育SATシステムとは、ICタグが内蔵された実物大フードモデルを活用した体験型の栄養教育システム	・健康教育の実施:7回 ・自分の適正体重を維持することのできる食事を理解できた人の増加 ・自分の食生活に問題があると思う人のうち、改善意欲がある人の増加	管理栄養士嘱託職員の配置、食育SATシステムの購入、住民への事業実施の周知等		
7	農家経営安定支援事業	H26 ~ H30	栽培技術指導・農業経営相談のための営農指導員を配置することにより、既存農家の栽培技術向上による高品質農産物の安定生産と農業経営の改善による農家経営の安定を図るとともに、新規就農者や農業後継者の育成を図る。	指導員の配置 2名	農家への経営指導及び技術支援の実施(50件)	(今後の展開方針) 耕作放棄地の解消を図る。 地域農業者の技術向上。 新規就農者・後継者の育成。		
8	防災道路整備事業	H26	災害時に車両や歩行者及び交通弱者、障がい者が避難場所まで安全円滑に避難を行うために防災道路整備を行う。	町道与那城4号線(全長170メートル)の舗装実施	町道与那城4号線(全長170メートル)の舗装完了(車両や歩行者及び交通弱者の安全確保)	防災道路の維持管理を図る		
9	スポーツ環境整備事業	H24 ~ H26	西原町陸上競技場は、毎年プロサッカーチームの試合や合宿等が行われている。今後、国内外トップチームの誘致をさらに進め観光資源としても活用するため、芝管理用トラクターやその他の備品を整備し、機能強化に取り組む。	芝刈機、トラクター、目砂散布機等の整備	芝刈機、トラクター、目砂散布機等の整備し、芝管理の向上、機能強化を図る	国内外のトップチームの誘致を図る		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
バ	細				H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H26事業内容					
1			与那原町観光振興事業	H24 ～ H33						
1			地域活性化イベント支援事業	H24 ～ H33	商店街大通りににおいてイベントを開催して誘客活動を活発に行うことにより商業・観光活性化につなげていく。そのイベント実施に要する経費助成を行い、観光振興と商業振興を図る。	・ちゃんぶる～市・軽便市を6回開催	・ちゃんぶる～市・軽便市を6回開催 ・集客数 6,000人 (基準値:H24年 3,350人)	(今後の展開方針) 平成33年度までに 60,000人集客		
1			滞在型観光構築推進事業	H25 ～ H33	本町に滞在し集客できる仕組みを構築するため、町内観光ガイドの育成等人材育成事業、地域特性を生かした体験メニューの開発、民泊家庭の発掘を行う。	・民泊家庭登録説明会開催 ・町内観光ガイド養成講座開講 ・町の事業者を活用した体験メニューの開発	・民泊受入家庭の発掘:5軒 ・町内観光ガイド養成数:5人 ・体験メニュー開発数:2メニュー	(今後の展開方針) 平成33年度までに ・民泊受入家庭の発掘:50軒 ・町内観光ガイド養成数:50人 ・体験メニュー開発数:20メニュー		
1			商工会青年部南北交流支援事業	H24 ～ H33	若年交流を通して沖縄のPRを図るとともに将来のリピーターを生み出すことで誘客と観光振興につなげることを目的として、本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部が共同して行う「南北青少年体験交流」事業へ支援を実施する。	・交流派遣者数 24人 ・浜中町交流団25名受入	・交流事業以外で、浜中町からの観光来町者数30名以上を目標とする。 ・交流事業以外で平成26年度中に浜中町から本町を訪れる観光客数30名	(今後の展開方針) ・平成33年度までに240人派遣 ・平成33年度までに250人受入		
1			地域特産品開発・販路開拓支援事業	H26 ～ H28	本町の滞在型・体験型観光の推進を図るため、地域資源を活用した特産品の開発と販売促進、販路開拓を図る活動支援を行う。	・試作品開発支援 2品	・特産品の開発 2品	(今後の展開方針) ・平成27年度 特産品2品のブラッシュアップ 一般向け試食会の開催 4回 専門家向け試食会の開催 2回 ・平成28年度 開発商品の取り扱い店舗の開拓 10店舗 取り扱い店舗の売り上げ25年度比 5%アップ		
1			観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ H29	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ちよく町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。	散策コース美化清掃の実施 沿岸線緑化工事実施(0.6km)	・散策コース(10km)を年2回以上美化清掃を行い、美化を保つ。 ・散策コース内の本年度緑化予定箇所の工事(0.6km)を完了する。	(今後の展開方針) 美化清掃にて回遊箇所の緑化、及び植栽工事を実施		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	大綱曳倉庫・作業場整備事業	H26 ~ H27	仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳関連備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び綱づくり作業場となる倉庫建設にかかる用地取得のための事業認定業務を行う。	倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き	倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き完了後、速やかに用地購入を完了する。	平成27年度 大綱曳倉庫建築工事 供用開始	7月変更 (事業追加)	
1	与那原町観光計画実施計画基礎調査事業	H26	本町の来町観光客の現況を把握し、今後策定する観光計画実施計画をより実情に沿った、効果的なものとするため、町内にレンタカーで訪れた方や、斎場御嶽等の近隣市町村の観光地でのアンケート調査を行う。	アンケート調査の実施 観光データの解析	・与那原町への観光来町者の人数・目的の把握	・与那原町観光計画実施計画の策定に活用 ・与那原町への観光来町者の人数・目的を把握することにより、現財育成中のまちあるきガイドの新コース作成や、他の関連事業に役立てる。	10月変更 (事業追加)	
2	軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業	H24 ~ H27	与那原駅跡を復元し、軽便鉄道の歴史を感じる 与那原町の新しい観光スポットとして公園及び道路の整備を行う。 平成26年度においては、平成25年度に建築した建築物の内部の展示スペースの整備や映像記録作成・事務室内の備品の購入及び公園追加整備に伴う物件補償・用地取得をおこなう。	内部展示室の整備 展示品の制作、映像記録制作 物件補償及び用地取得	内部展示室の完成及び一部施設共用開始	(今後の展開方針) 施設を県内外にPRし、多くの観光客が訪れる施設となるよう取り組みを行う。 ・年間来場者数を8,100名見込んでいる。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
3	与那原町景観形成強化事業	H24 ~ H27	本町は、沖縄らしい風景を象徴する赤瓦の県内唯一の生産地であることから、赤瓦を利用した与那原町らしいまちづくりを形成し観光振興を図る為の景観計画を策定する。	・平成24年度に策定した報告書に基づき、景観サポーターを中心に勉強会、説明会を行い、景観計画(案)を策定 ・景観行政団体へ移行の為の沖縄県との協議を実施	・景観計画(案)の策定 (住民の合意形成を行い、良好な景観形成に関する行為の制限に係る事項、良好な景観形成の方針に係る事項を定める) ・景観行政団体への移行	(今後の展開方針) ・H27年度：与那原町景観計画の策定 ・景観条例(素案)の策定		
4	与那原町親水性護岸修景施設整備事業	H26 ~ H27	中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間には水路が創出され、新たな観光資源としての東浜水路を活かした観光産業の育成を図るための拠点として、水路沿い親水性護岸に修景施設(東屋)を整備する。	修景施設・便所の詳細設計及び土地鑑定評価の実施	修景施設・便所の詳細設計及び土地鑑定評価の完了	(今後の展開方針) H27:用地取得 修景施設・建築工事		
5	次代を担う人材育成事業	H24 ~ H29						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ~ H29	将来を担う児童生徒の学力向上及び人材育成を図る為、各教職員や情報教育支援員が、ICTを活用した、きめ細かな教育が支援できるよう人員配置を行う。	・情報教育支援員の配置 2人	・パソコンの基本的操作を行える児童の割合 65%以上	(今後の展開方針) ・情報教育支援員の人員確保 ・情報機器の基本的操作と活用のできる児童生徒の割合を9割以上に高める。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
			きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ~ H28	特別な支援を要する児童生徒をはじめ、学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為に、スクールカウンセラー・学習支援員・特別支援員を配置する。	学習支援員の配置 21人 スクールカウンセラーの配置 1人 特別支援教育支援員の配置 11人	・全国学力調査等での、全国との学力差縮小させる。 ・当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善目標 年間 1~2名減	(今後の展開方針) ・学習支援員、特別支援員、スクールカウンセラーの人員確保 ・不登校者数の人数減 ・全国学力調査の平均正答率において、全国との差を年間0.2ポイント縮める事を目標とする。	
			国際理解人材育成事業	H24 ~ H28	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員(ALT)の他に英語指導の補助員を配置し、外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	英語指導助手の配置2人	英語検定取得(1~4級)135人(平成26年度中) (参考年度実績 平成24年度116人)	(今後の展開方針) ・H24~28 英検前年度取得者数 年間10人増 ・英語指導助手の人員確保	
			沖縄文化推進事業	H24 ~ H28	沖縄の特異文化である歌・三味線や、様々な音楽文化を継承するため、地域人材を生かした音楽教室を開催し、地域イベントへの積極的な参加をはかる。	指導者派遣による講習会の実施 60回(延回数) 地域イベントでの成果発表(与那原大綱曳まつり等)	講習会参加人数520人(延人数) 地域イベントでの発表実施回数 4回	(今後の展開方針) ・楽器指導者 派遣	
6			ほっとハート子育て応援事業	H24 ~ H33	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師を雇用する認可保育所へ、その経費の一部を助成する。	認可保育園への看護師配置 5施設中5施設(各1名配置)	0歳児待機児童減 看護師を未設置の受入可能人数(50名) 看護師を配置の受入可能人数(75名) 対象保育園へ看護師を配置することで、25名の待機児童数減。	今後の展開方針 ・年度途中より増える0歳児の受入体制の強化 ・看護師確保支援	
7			災害時避難道整備事業	H26 ~ H27	想定される津波等の災害に対して、里道を活用して安全に高台まで避難できる災害時避難道の整備に向けて実施設計を行う。	災害時避難道の実施設計(1箇所)	災害時避難道の実施設計完了	(今後の展開方針) H27:整備工事(与那原町江口地内(2箇所)) 本事業を活用することにより、町営江口団地避難者が海拔2.5m以上に避難でき、かつ他の避難所へ避難できる道路へ接続させる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			防災拠点機能強化事業	H26 ~ H27	町内の学校や公民館等の避難拠点を災害時にも継続して使用できるよう調査し、さらに災害時の活動拠点となるよう整備していく。平成26年度は継続使用可能調査及び改修設計を行う。	・継続使用可能性調査の実施 ・改修設計の実施	・継続使用可能性調査完了 ・改修設計の実施完了	(今後の展開方針) H27:整備工事(与那原町地内(14箇所)) 本事業を活用することにより、避難収容者を3日間収容できる機能を確保し、さらに減災機能も有する災害拠点として整備を図る。	
9			与那原町地域防災計画策定事業	H25 ~ H26	本町は太平洋に面し、住宅街が低海拔に密集した地勢にあるため、平成25年度末には南海トラフ地震防災対策推進地域にも指定される予定である。大規模地震・津波災害に備え、町民と来訪者の安心と安全を確保するため、平成25年度事業で整備した避難所台帳、地区別カルテ、避難計画等を踏まえ、町地域防災計画を全面的に見直し、減災対策の充実に図る。	・地域防災計画の見直し(避難勧告指示基準の検討) (総合防災マップの検討) (災害対策本部運営マニュアルの検討) (避難所開設・運営マニュアルの検討) (職員災害時初動マニュアルの検討)	・地域防災計画の策定完了(避難勧告指示基準策定) (総合防災マップ作成) (災害対策本部運営マニュアル作成) (避難所開設・運営マニュアル作成) (職員災害時初動マニュアル作成)	病院、百貨店、学校、児童施設、保育施設、社会福祉施設等の避難支援者や不特定多数の者が出入りする施設等について、施設ごとに避難対策計画の策定を目指す。また、沖縄県広域地震・津波避難訓練の規模を拡大するとともに、ひざを交えた協議を重ねることで、町全体として「計画策定 検証 見直し」PDCAサイクルの確立を目指す。	
10			与那原町魅力発信事業	H26	与那原町の魅力を県内外に発信するため、各種事業を行う。 平成26年度においては、沖縄県営鉄道の営業開始から100年を迎える平成26年度を記念の年として位置付け、同年オープン予定となっている一括交付金で整備する「軽便鉄道与那原駅」にて記念事業を行うことで、県内外へ同施設と与那原町の魅力を発信し、観光客の誘致を図る。	復元した軽便与那原駅舎をPRする為の記念事業を実施	記念事業に、より多くの観光客、町民に参加していただき、与那原町の魅力を県内外へ発信する。 目標延来場者数:950名	(今後の展開方針) 継続して魅力を発信する事業を実施し、与那原町の魅力を県内外に発信し続けることで、与那原町に訪れる観光客を増やす。	
11			来訪者と町民の交流施設整備事業	H24 ~ H27	来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備し、将来のリピーターを生み出し持続可能な観光振興を図る。また、台風や地震といった災害時には来訪者の避難施設として活用し、安全安心な観光受け入れ体制を整備し本町の観光振興を図る。	観光交流施設の整備	観光交流施設の完成	(今後の展開方針) 平成27年度より備品整備を中心に、平成28年度オープンを目指す。 年間利用者目標延べ9万人(H28年度中利用者数)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12			与那原町東浜水路憩いの広場整備事業	H25 ~ H27	中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間には水路が創出され、新たな観光資源としての東浜水路を活かした観光産業の育成を図るための拠点として、東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を整備する。	東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を設計に基づき事業認定申請及び用地取得を実施 ・用地取得(裁判に係る土地を除く)(2,088㎡) ・事業認定申請	・事業認定後、用地取得(裁判に係る土地を除く、2,088㎡) ・裁判申請図書作成及び裁判申請	(今後の展開方針) H27年度:収用裁判申請 広場及び展示施設工事 H28年度:供用開始 ・供用開始後は歴史の道等と併せ、当町を通過する観光客を呼び込むとともに、当該場所を活用し各種イベント実施するなど事業展開を図る。	
13			与那原町墓地整備基本計画実施計画策定事業	H26 ~ H27	市街地と墓地区域が混在・近接しており墓地の整備について策定した「与那原町墓地整備基本計画」を推進するため実施計画を策定する。	・墓地実態調査 ・墓地整備基本計画実施計画策定委員会の開催	・墓地分布図の作成 ・墓地整備基本計画実施計画策定委員会の開催1回	(今後の展開方針) 墓地整備基本計画実施計画に基づき、本町内の墓地の集積及び規制を図る。 実施計画の結果によっては、公営墓地整備も推進していく。	7月変更(事業追加)
14			地球温暖化を防止するための循環型社会形成事業	H26 ~ H27	異常気象の要因や、生態系への影響が懸念される地球温暖化への対策として策定された「与那原町地球温暖化防止実行計画」を達成する取組みの一つとして、町内全域の防犯灯、街路灯をLED化する。	・防犯灯・街路灯の配置図面作成 ・防犯灯・街路灯LED化設計作成	・現在の防犯灯・街路灯を現地調査のうえ、配置図面を作成する。 ・防犯灯・街路灯LED化するための設計業務委託	(今後の展開) 平成27年度、「防犯灯・街路灯LED化設計」に基づき、防犯灯・街路灯をLED化する。また、本町の「与那原町地球温暖化防止計画」に基づき二酸化炭素の排出を抑制するとともに、職員及び町民の皆様へ広報誌や、街路灯のフラグ等を通じ、地球温暖化防止の普及・啓蒙を図っていく。	7月変更(事業追加)
15			与那原町海拔表示整備事業	H26	今年、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定され、これまで以上の避難対策を促すことが求められているため、避難誘導対策の充実を図るため町内の主要な施設や道路標識へ海拔表示板を設置する。	海拔表示板の設置 ・町内施設 103箇所 ・道路標識 16箇所	海拔表示板の設置完了により、より安全な地域への避難誘導が可能となる。 ・海拔表示板の設置完了(町内施設103箇所、道路標識16箇所)	(今後の展開方針) 本事業で設置した海拔情報を活かし、避難場所への導線上に特定の行動を円滑に誘導又は禁止するサインを町内適所に配置する。また、日夜を問わずに避難場所を誘導できるよう、蓄電素材やソーラー電源を使用し、一時避難場所、広域避難場所の他、公共施設等を表記する。平常時には観光誘導として機能する総合的なサインシステムを構築する。	7月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
17		与那原町歴史・文化資料保管施設整備事業	H26	本町の町史編纂室において調査・収集した貴重な文化的・歴史的資料を良質な状態で後世まで伝えていくために、資料や文献の保管・管理に適した保管管理施設を整備する。	保管管理施設の整備	保管管理施設の整備完了により貴重な資料文献の長期保存が可能となる。 また、保管された資料を活用し企画展などを実施することで歴史、文化の継承を図る	調査・収集した貴重な資料や歴史資料館建設の為に今後、収集する資料を良質な状態で保管・管理し、常設展示や企画展・講演会等での資料の活用を推進していく。	7月変更(事業追加)
18		与那原町観光客受入に係る交通状況調査事業	H26	現在、与那原町では観光客を誘致する為の事業を実施しており、観光客の受け入れ態勢の取組を実施する必要がある。今後の観光客受入体制整備に係る施策を実施するため、交通体系を中心とした現状調査実施と、課題を抽出する。	アンケート調査の実施 交通量調査の実施	与那原町交通状況の把握 観光客受入をする為に必要な課題の把握	報告書に基づく課題解決の為に各種施策の実施	10月変更(事業追加)
19		軽便鉄道開通100周年記念事業	H26	軽便鉄道開通100周年を記念し、町子ども会をはじめとする町内各種団体を中心に軽便鉄道にちなんだ種目でギネス記録に挑戦するイベント等を開催する。 このたび復元された与那原駅の落成をアピールするために町内外へ広く参加をよびかける。	ギネスワールドレコードへの挑戦 ギネス登録の為に申請 イベント開催 記録達成による記念碑の設置	ギネスワールドレコード更新によるギネスレコードの登録 目標参加者数1,100人以上	記念碑が設置がされる与那古浜公園を新たな観光スポットとして位置づけ、まち歩きなどに活用していく。	12月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
パ	細				H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1			南風原町人材育成事業	H24 ～ H33						
1			青少年国際交流事業	H24 ～ H33	町内の青少年リーダーを海外(ハワイ)へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。研修を通して国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年リーダーの育成を図る。また、参加した青少年達に対して事後活動を定期的に行い、地域で自主的な活動を行えるようサポートする。	交流事業派遣生徒数:10名	・研修後報告会の開催 ・報告会の実施などを通じた参加者の意識向上を図る。	(今後の展開方針) 本研修および事後研修の充実 OB会による定期的な国際交流事業の啓発活動や、地域でのイベント企画		
1			小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	小学校英語指導助手配置数:4人	英語を話す児童の割合60%以上(アンケート)	(今後の展開方針) 今後も引き続き小学校4校に英語指導助手を配置する。進んで英語が話せることができるよう、授業内容を改善していく。		
1			学力調査等事業	H24 ～ H33	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上推進のために、学力調査等を専門業者に委託する。	標準学力調査の実施 小学校4校中4校 中学校2校中2校	【成果目標】 標準学力調査結果正答率 (国語・算数・数学・英語) 前年度結果の0.1%増 正解率40% 【比較数値】 平成25年度正答率 小学校:国語70.3%算数67.3% 中学校:国語65.8%数学49.2%英語47.9% 理科・社会については、今年度から新たに実施により比較数値が無い為、今年度は正解率を目標とする。	(今後の展開方針) H27以降も引き続き学力調査を実施する。	10月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	
1			学習支援員配置事業	H24 ～ H33	沖縄の学力の低さは、基礎学力の不足が原因とされている。そこで、基礎学力を定着させるため、授業に遅れがちな児童生徒に対するきめ細かな指導により基礎学力向上を図るため、学習支援員を配置する。	・学習支援員配置数 小学校:5人、中学校:4人	・標準学力調査結果正答率(国語・算数・数学) 0.1%増	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ H33	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども(学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒)の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート(介助や安全確保)などを教師と連携して行う補助員を配置する。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園:8人、小学校:31人 中学校:6人	・標準学力調査結果正答率(国語・算数・数学) 0.1%増	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に特別支援教育補助員を配置し、基礎学力向上に努める。		
1	学校ICT推進事業	H24 ～ H28	沖縄県は学力テスト結果が下位に位置し、低所得者も多く、パソコン所有世帯数も全国的にも低い状況である。学校においてパソコン等機器を充実させ、わかりやすい授業を行なうことで、教育の質の向上を図り、学力向上やより良い人材の育成を行うための環境を整備する。また、ICT機器を活用した魅力ある授業を支援するため、ICT支援員を配置する。	・ICT機器の整備 ・ICT支援員の配置	・標準学力調査結果正答率(国語・数学)0.1%増 ・教職員に対するICT環境におけるアンケート	(今後の展開方針) 【電子黒板】H27～H28年度にかけて特別教室および特別クラスへの整備を行う。 【デジタル教科書】小中学校の教科書改訂年度に合わせて整備を行う。 【その他】ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。		
1	児童生徒健全育成事業	H24 ～ H33	怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。	・自立支援教室指導員(中学校):2人 ・生徒校外指導員(中学校):6人	・標準学力調査結果正答率(国語・数学)0.1%増	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に自立支援教室指導員、生徒校外指導員を配置し、基礎学力向上に努める。		
1	教育相談支援事業	H24 ～ H33	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員を小中学校に配置する。	・教育相談員等の配置	・町教育相談員配置数:1人 ・心の教室相談員配置数:4人 ・発達支援心理士配置数:1人 ・スクールカウンセラー配置数:1人	(今後の展開方針) 今後も生徒校外指導員、自立支援教室指導員と連携を密にし支援体制を強化していく。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ H33	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。	・外国人英語指導助手配置数：1人	・標準学力調査結果正答率(英語) 0.1%増	(今後の展開方針) 今後も引き続き、外国人英語指導助手を配置し、小学校英語指導助手との連携を密にし、小学校英語から中学校英語へ、抵抗なく移行するようにし、生徒が英会話に対し苦手意識を持たせないようにする。		
1	南風原町青年海外派遣事業	H25 ～ H33	本町の青年達を、特に移民先の南米やハワイへ派遣し、町人会や、移民の次世代の青年たちとの交流を深める。言語、文化理解をはじめ、移民の歴史や現在の状況、世界のあらゆる動きの中で同じ町の人として励まし合い、助け合う繋がりを構築できる人材を育成する。その成果を今後の町の将来を担うリーダーとしての自覚を持って活動をしてもらう。	・ハワイへの青年派遣：2人	・研修後の報告会の開催・報告書の作成を通して研修生の社会貢献、国際理解の意識向上を図る。 ・ハワイ南風原クラブ、海外移住者子弟研修生OBとのネットワークの構築	(今後の展開方針) 平成25年度～33年度： 各年度2人 累計18人		
1	南風原町各種大会派遣助成事業	H25 ～ H33	小・中学校の児童生徒が、県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費の補助をする	・児童・生徒大会派遣の補助	・大会派遣児童・生徒数 31人	(今後の展開方針) 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。		
1	南風原町県外等派遣助成事業	H25 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動に対して必要な派遣費用の助成を行う。	・児童・生徒等大会派遣の補助	派遣児童・生徒数(累計)：140人	(今後の展開方針) 最終年度(派遣児童・生徒数累計)：1,260人		
1	魅力的な体験学習事業	H25 ～ H33	沖縄振興に資する人材育成のため、机上の学習だけではなく体験学習を取り入れた授業を行うことで児童生徒の探究心や想像力を育て学ぶことに対する「興味」「楽しさ」を実感してもらう。	小学生を対象に、サイエンスショーを開催	サイエンスショー開催後にアンケートを実施し、理科への興味・関心度の調査を行う。 理科への関心度：70% (H25年度実績 97%)	(今後の展開方針) 26年度～33年度 ・サイエンスショーの開催 ・来場者数各年度850人		

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			南風原町児童生徒県外交流事業	H25 ～ H33	徳島県のサマーキャンプに南風原町の小学校高学年及び中学生を派遣し、徳島県つるぎ町の半田中学校での交流会、つるぎ町及び徳島市での自然文化体験プログラムで文化交流や自然学習等を体験する派遣費の補助をする	徳島県つるぎ町立半田中学校へ中学生10名、小学生12名を派遣	・派遣者にアンケートや報告書(感想文)を実施し集計結果や分析を報告。 「楽しかったこと・びっくりしたこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。 「次回も継続して欲しいこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。	(今後の展開方針) 徳島県との交流を継続し、平和教育や、観光振興などの担い手となる人材を育成する。	
2			観光・産業振興事業	H24 ～ H33					
2			南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ H33	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。町内の観光ルートの環境美化を町内の求職者を雇用して実施し、クリーンな南風原町を目指す。	景観美化作業員:4人	観光ル-ト延長L=12,600mの町道メンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を実施	(今後の展開方針) 南部の交通網の拠点となっている本町の道路をクリーンに保ち、景観の長期的維持により観光立県沖縄に寄与する。	
2			かすりの道景観活性化プロジェクト	H24 ～ H33	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、地域の観光資源である「かすりの道」に観光客誘客をねらう。地域住民参加による色鮮やかな花の植栽等の緑化活動、地域ガイド活動、道並などの整備を行い滞在型観光客の受け入れ体制を整える。誘客策としてイベントを開催するなどし、かすりの道の来訪者(観光客・地元客)が安心・安全に散策できる散策体験プログラムや地域住民と協働で整備を行う。	・イベント開催:6回 ・かすりの道緑化活動:10回	・イベント参加者:180人 ・かすりの道散策ツアー参加者300人	(今後の展開方針) 【イベント参加者】H28年:360人 【緑化活動】H28年:10回	
2			やさしい観光地づくり事業	H24 ～ H26	滞在型ツアーなど観光客が求める情報提供を行うため、観光パンフレット等の紙媒体とスマートフォンの連携をし、興味喚起から現地の誘導までをワンストップで提供し、地域における滞在制の向上を目的とし、スマートフォンが活用しやすいよう、野外ホットスポット(ワイファイアンテナ)を建て、スムーズな情報提供を行い、町独自の観光案内システム(アプリケーション)制作を地域における滞在制の向上を目的として実施する。	・観光プロモーション実施 ・無線インフラ(公衆Wifi)設置:6ヶ所 ・観光ポータルサイト及びAR運用	・Wi-Fi接続数 3500/月 ・観光ポータルサイト接続数 9600/年 ・観光アプリダウンロード数 600/年	(今後の展開方針) H25で南風原町全域をWi-Fiエリアとしたが、場所によって不感地帯があり、その地域への対応、観光ポータル、アプリの最終強化を行い、観光基盤が整ったことで、更なる観光プロモーションにおいて、観光客を誘客する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			デザイン・くくり担い手育成事業	H24 ～ H33	本町の琉球絣は伝統工芸品として有名だが、現在不足している「デザイン・くくり」の継承者を育成する必要がある。デジタル方法で新しいデザインを生み、管理できる新たな道を開く。若い担い手の活動の場を提供し、かすりの伝統工芸の継承を促進しつつ、新しい分野での発展の可能性を向上させる。絣の基礎知識、全行程も学びながら、デザインくくりの技術を習得させ「デザインくくりの担い手」として、即戦力になるまで3年間育成する。	・工房の即戦力となるデザインくくりの技術者を育成する。 絣の基礎知識の学習 視察研修 パソコン公衆 デザイン作製 デザインくくり技術の実践 成果品作製	・デザインくくりの担い手技術者育成人数:6名	(今後の展開方針) これまでデザイン・くくりの工程を一通り学習し、実践を行ってきた。今年度は、難易度の高い製品や質の異なるものを実践することで、更なる技術の向上及び応用力を身につける。	
2			担い手経営戦略事業	H24 ～ H26	琉球絣に携わる担い手が、生産をするだけでなく、グローバルな視点を持ち、全国、世界に対応できる人材を育成し、産業として成り立つよう経営戦略を長期的に学ぶ、新たな絣工芸品の開発及び二次加工製品の新技术との融合により付加価値のある製品開発を行い、成果展を開催する。	・経営戦略についての知識・方法について学習する。 担い手・若手集会を設ける 勉強会開催 商品開発会議 試作品作製	・経営戦略学習者:6名	(今後の展開方針) ・担い手の集会、勉強会を開き、経営的な知識を習得する。 ・新商品開発に向けて、会議を行い、試作品を作成する。	
2			伝統工芸と観光戦略事業	H24 ～ H33	伝統工芸品である琉球絣は貴重で町民誰でも憧れの品です。南風原町民だけではなく、町内外の方々にも絣の良さを知ってもらうため、滞在型観光につながる絣体験のコンテンツをプログラムを化し、南風原町でしか経験できない体験をつくる。さらに、絣事業の拠点でもあるかすり会館を観光客のニーズに対応したディスプレイのレイアウトづくりを行う事で、町内外から観光客の増加を目的とする。	・かすり体験学習プログラム構築:4本	・モニター参加者目標 10名/月	(今後の展開方針) 伝統的な絣を知ってもらうために、新たな体験プログラムを作成し、滞在型観光に繋げる。	
2			町独自の商品開発技術力強化事業	H24 ～ H26	地域資源の活用や異業種連携による商品開発及び企業と連携により消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい、商品開発等を行い、産業展開する。異業種があつまり、プロジェクトチームを組み、南風原らしい商品開発を行い、生産、販路まで展開し、競争力を高める。H24年度はターゲットを2点に絞り、H25年度は実際に商品を作る。H26年度は、開発した商品の販路を開拓、拡大させる。	・加工品製造先の育成指導:3回 ・町内外でのイベント等への出品によるPR:2回 ・バイヤーとの商談:2箇所	販売先の確保:5箇所	(今後の展開方針) 事業終了後も、町の特産品として積極的にイベントでの出品、PR等を行う。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		南風原町地域農業活性化事業	H24 ～ H33	野菜、花卉、果樹等の露地栽培では、本県特有の気象条件(台風、長雨、干ばつ等)や病虫害、鳥獣等による被害が後を絶たず安定供給の妨げになっている。それらの被害、影響の軽減を図る為、耐候性施設(強化型パイプハウス)を設置する経費に対し補助を行う。	強化型パイプハウス施設整備への補助金 戸数:10戸 作物:スターフルーツ	スターフルーツ生産目標:10t	(今後の展開方針) スターフルーツでの拠点産地認定に向け規模拡大を推進する。	
2		南風原名人制度創設事業	H25 ～ H27	観光の国際化や多様な観光ニーズに対応するため、南風原町の地域人材を活用した地域発の観光商品を事業化に向けた取組を推進する。南風原町の体験ツールを増やす目的で、南風原町内の名人(得意なこと)制度を創設する。具体的内容としては、南風原町民対象に得意なことがあれば、その名人として認定委員会より認定し、認定書を発行。認定した後は、名人名簿に登録し、体験学習のプログラムをつくり、滞在型観光を支援する。	・名人発掘活動(各種団体6回/年) (HP掲載/通年) ・名人研修会4回	・体験学習プログラム数:7件 ・名人登録者(累計):15人	(今後の展開方針) 【プログラム数】H27年:6件 【名人登録数】H27年:45人	
2		民泊啓発推進事業	H25 ～ H33	南風原町には宿泊施設がないため、滞在型観光の振興の妨げとなっている。宿泊体験の推進を図り、滞在型観光を促進するため、企画・運営職員を配置し、宿泊体験家庭の開拓やシステムの構築などを行って、観光推進体制を強化していく。	・宿泊体験家庭数:5家庭	・宿泊体験受入数:25名	(今後の展開方針) 【民泊家庭登録者数】H27年:20件	
2		南風原地域発信力強化事業	H24 ～ H28	へちま生産日本一を誇る本町では、南風原産へちまの愛称を「はえばる美瓜(ピュウリー)」と名付け、本町のブランド化を図るため、ピュウリースダンスユニットを結成した。そのピュウリースダンスユニットを活用し、物産展やイベント等で、販売促進活動を行い、南風原産へちま及び本町の観光PRを図り、本町の魅力等情報発信を行う。	・町PR活動イベント出演:5回	・南風原町物産展等の販売促進活動5回	(今後の展開方針) ダンススクール受講者(累計) H28年度:100名	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ H33	全国的ヒーローである「ウルトラマン」の生みの親である金城哲夫さんは本町出身者である。本町の観光振興、地域活性化のため、金城哲夫さんにちなんだまちづくりを行う。町民主体に誘致活動を行い、金城哲夫さんのフォーラムやウルトラマン映画上映、脚本コンペ、映像化を定期的に行い、地元客及び観光客を本町へ誘導し、活性化を図る。	・イベント、フォーラムの開催：1回 ・脚本賞：1回	・イベント、フォーラムの参加人数：1,000人 ・脚本賞のイベント参加人数：1,000人	(今後の展開方針) 継続して脚本賞開催 町民による実写化(舞台や映画) 他ヒーローの検討		
2	シマじまガイド事業	H24 ～ H33	着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(町内ディープな名所案内巡り)を実施し、本町の観光まちづくりを推進している南風原町観光協会に委託する。「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、これまでにない新しいまち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していく。	・ガイド養成10名	シマじまガイド事業 利用者数：1,250人	(今後の展開方針) 事業利用者数：H28年：1,450人		
2	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ H33	南風原町のイメージキャラクターと伝統工芸の琉球餅を観光PRツールとして有効活用し、各種イベントやマスメディアへのPRを始め、観光施設・町民交流スポットなど、町内外においてPR活動をし、南風原町の観光振興に繋げる。また、観光案内所の充実化を図る事で、南風原町の観光情報を一元化し、より充実した観光サービスができ、南風原町の観光振興に繋げる。	・イメージキャラクターによる観光PR活動 ・物産展の開催 ・観光案内所備品整備	・イベント活動：40回 ・物産展来場者：12,000人 ・南風原町観光案内所の利用者数 5000人(10月～3月の6ヶ月間) ・南風原町観光案内所周辺でのイベント開催 6回	(今後の展開方針) 物産展の定期的な開催 観光案内所整備後は、ホームページや各種イベント等で周知を行い、観光スポットへの案内や休憩所・物産販売所として運営していく。	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更) 12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	
2	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ H26	良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により観光と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図るため、「黄金森公園陸上競技場」のトレーニング機器等と受入体制の整備を行う。	黄金森公園陸上競技場及びトレーニング機器整備 スポ・ツキャンプ備品整備 キャンプ受入体制整備	スポーツ合宿・キャンプ利用者数：450人 (比較値) H23：395人、H24：383人、 H25：146人(トラック改修工事有り)	(今後の展開方針) H28 スポーツ合宿・キャンプ利用者数：600人	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
3	環境にやさしいまちづくり事業	H24 ～ H28						

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			はえばりサイクルループ事業	H24 ~ H28	町内での食品廃棄物の循環を構築するため、町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。	循環構築することによる生ごみ(家庭系)の年間資源化の増	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:60トン	(今後の展開方針) 生ごみ(家庭系)の年間資源化量 H28年度:89トン	
3			環境学習支援事業	H24 ~ H28	児童館や学校、教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による「体験型」の環境教育、環境学習を実施する。	・町内4小学校の4年生を対象に環境学習「買い物ゲーム」の実施。 ・実施回数:15回	環境学習「買い物ゲーム」体験者数:440人	(今後の展開方針) 環境学習「買い物ゲーム」体験者数(累計)H28年度:2,217人	
3			草木リサイクル事業	H24 ~ H28	「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、農地で活用する。	草木を堆肥化することで、草木のごみ減量及びリサイクル量の増	草木のリサイクル量:431トン	(今後の展開方針) 今後も町内から発生する草木をすべて資源化していけるよう効率的に事業をすすめていく	
4			災害に強いまちづくり事業	H24 ~ H33					
4			防災体制強化事業	H24 ~ H28	近年、全国的各地では地震や大雨、土砂災害などによる自然災害が発生しており、亜熱帯気候である沖縄県でも毎年多くの台風が接近・襲来している。そのため、島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、独立してしまう恐れがある。そのことから、町独自で長期保存ができる食糧等の備蓄を行い、防災体制の強化を図る。	・備蓄品の購入 (1)パン入り缶詰:13箱(312食) (2)災害時用米:60箱(3,000食) (3)保存水:150箱(1.5リットル×1,200本) (4)粉ミルク:12缶、(5)防災毛布:50枚 (6)緊急対策用トイレ袋:150箱(3,000回分) (7)災害時用トイレトイレットペーパー:12セット(288個) (8)災害時用保存食(カレー):73箱(1箱24食) (9)発熱シート(カール-の加熱材):19箱(1箱24個) (10)背負式飲料水袋(6リットル):12,000枚 (11)ウォータータンク(2,000リットル):6個 (12)応急給水栓(蛇口4個・12個)	・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16,200食(36,000人×1/20×3日分×3食)に対する充足率:61.3%	(今後の展開方針) 食料等備蓄品充足率 H28年度:100%	
4			災害時等避難施設改修事業	H24 ~ H28	台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。	避難所(公民館等)の防水改修工事(施設整備)補助	施設整備補助件数:5件	(今後の展開方針) H28年度までに全19自治会を整備	
4			北丘小学校西側避難通路整備事業	H26 ~ H29	築30年以上経過し、通路や法面の滑りがみられコンクリート舗装や擁壁に亀裂などを起こしている。そのため避難通路、通学路として安全に活用するための整備を行う。本校西側集落の避難通路として整備する。	設計前の調査・測量	避難路調査・測量完了:5,014㎡	(今後の展開方針) H27年度:設計委託 H28年度:監理委託・工事 H29年度:監理委託・工事	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26 ~ H29	災害時に避難所として指定されており、本校南側集落よりの避難通路(道路)が未整備のために整備を行う。	設計前の調査・測量	避難路調査・測量完了:149.1m	(今後の展開方針) H27年度:設計委託 H28年度:用地・監理委託・工事 H29年度:監理委託・工事	
4			災害時等避難施設整備事業	H26	災害に強いまちづくりを推進するため、災害時、非常時に地域住民の緊急避難所として、避難所の無い地区へ施設を整備する。	避難所建設費(設計、建築)の補助	避難所建設費補助件数:1件	(今後の展開方針) 施設整備後は、防災活動と地域のコミュニティの活動を組み合わせ、地域の防災力強化を図る。	
5			子育て世代支援事業	H24 ~ H33					
5			放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ~ H33	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、町内の学童クラブ10園中、民間施設を借用し運営を行っているクラブに対して一月50,000円の上限で家賃補助を行う。	学童クラブ家賃補助実施学童:5件	児童の放課後の居場所を継続的に確保することにより、児童の健全育成を図る。	(今後の展開方針) 24年度~33年度:各年度5学童クラブの家賃補助を行い、クラブの経営安定化を図る。	
5			預かり保育事業	H25 ~ H33	幼稚園の教育時間終了後も引き続き園児の健やかな成長を支えるため、預かり保育教諭を配置する。	・預かり保育教諭配置:1名	・預かり保育率(入園者に対する預かり保育申込園児数)69.6%(前年度+0.5%増)	(今後の展開方針) 今後も預かり保育充実のため1クラス30人制を実施し、それに伴うクラス増分の預かり保育教諭の配置を行う。	
5			幼稚園保育充実支援員配置事業	H25 ~ H33	平成25年度より町立幼稚園の保育時間を正午までから午後2時まで延長し、併せて給食の提供を行う。給食の提供は通常保育の担任と預かり保育教諭の2名体制で対応する予定ですが、預かり保育は保護者の選択制のため、クラス数が減る場合もあり、支援する職員を配置し安心・安全な給食時間を提供する。	・充実支援員配置数:3名	・幼稚園就園率72%(前年度+1%増)	(今後の展開方針) 安心・安全な給食時間を提供するため、給食支援員の配置を行う。	
5			認可外保育施設環境整備事業	H25 ~ H27	子育て世代の人口増に伴い待機児童が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育施設の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させる。	認可外保育施設:2カ所	児童が安心・安全に過ごせるよう建物の安全性・快適性を確保することにより、児童の健やかな成長を促す。	(今後の展開方針) 子育て世代の人口増に伴い待機児童が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育施設14カ所の内「指導監督基準証明書」交付を受けていない11カ所の施設整備を行い保育環境を向上させる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		南風原文化・歴史・伝統継承事業	H24 ～ H33					
6		陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ H33	本町は沖縄戦で人口の4割以上が犠牲になった。戦中は後方陣地として町全域に日本軍陣地が構築され、沖縄陸軍病院も置かれた。町では悲しい歴史を二度と繰り返してはいけないという強い決意をもって、陸軍病院壕群20号を整備した。県内外から訪れる多くの人々に戦争と平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行う。	開壕日数:310日	見学者数10,000人	(今後の展開方針) 戦中における壕内の臭気を再現して、壕内の追体験をより具体的なものにす。	
6		資料の公開活用事業	H24 ～ H29	南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用の幅を広げつつ後世へ継承していく。	データベース化資料数(H26年度):50,000点	データベース化割合(H26年度):100%	(今後の開方針) 収蔵資料総点数122,000点を分類ごとにデータベース化して利活用を推進する。 H24:3,500点 H25:50,000点 H26:50,000点 H27:2,500点 H28:5,000点 H29:11,000点	
6		子ども平和学習交流事業	H24 ～ H33	町内の小学校4校から6年生を12人選考し、事前学習で、戦争と平和(太平洋戦争の歴史、沖縄戦の状況や広島原爆の様子など)や差別・人権(ハンセン病に関すること、被差別部落など)を学習し、歴史の中での戦争や差別の問題を考える。 平成26年度は学童疎開70周年にあたるため疎開地へ赴き、学童疎開者たちの歴史を学ぶ予定である。	・子ども平和学習交流事業参加者数(12人)	・事前学習、本研修の後その報告会の開催や報告書の作成を通して、学習したことのまとめ、各自の考えを整理し、平和への意識向上、社会への洞察力を高める。	(今後の展開方針) ・OB会との連携、事後学習の充実 ・ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催など 平成24年度～平成33年度:各年度12人 累計120人	
6		伝統芸能保存育成事業	H24 ～ H33	町内には数多くの伝統芸能がある。各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に必要な衣装や獅子舞などの道具の補修や買い換えに対し助成を行うことで伝統芸能継承を推進する。	・伝統芸能保存育成補助件数:6件	・年中行事等での伝統芸能上演等回数 H26年度:67回	(今後の展開方針) 伝統芸能を後生に継承するために保存会、自治会と連携し保存、育成継承・記録していく予定。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			南風原町海外移住者子弟研修生交付金事業	H24 ～ H33	文化交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の歴史と文化を学習させる。	・受け入れ国の数1カ国（ペルー） ・受け入れ研修生の数(2人)	・研修成果の報告会の開催を通して、関係者へのつながりの再認識と各自の役割を確認し移民の歴史や国際貢献の意識向上を図る。 ・自国の研修生OB会への加入	(今後の展開方針) 各国の研修生が研修後もネットワークを作り、南風原町の若者たちと交流を深める。	
6			伝統文化交流施設活性化事業	H24 ～ H26	地域交流センターは、各地域に伝わる伝統芸能の発表の場、本土の中高生の平和学習の講演会・演奏会等に活用されているが、施設の備品の配置が不十分であるため、備品の整備を行うことにより施設の充実及び機能の強化を図り、今後の文化活動・伝統芸能の継承や他の地域との文化・伝統交流等、総合的な文化事業を展開し地域活性化に繋げる。	地域交流センター備品設備の整備（黄金ホール）の舞台演台、花台、司会者台等）	利用来場者数 研修会・大会・フォーラム等 H26：12,000人（H25見込：11,000人） 伝統文化交流イベント等 H26：3,700人（H25見込：3,600人）	(今後の展開方針) 購入整備した設備・備品を活用し、地域文化・伝統芸能の継承や発表、交流の場として。また、平和学習や各種講演会、フォーラムや演奏会などの更なる充実強化を図り、地域から発信する新たな文化の拠点として、これからの地域交流センターを展開していく。	
6			南風原町クサティ森等保全事業	H25 ～ H30	南風原町の集落は首里の近郊にあり、王朝時代の集落形態を今に残している。集落のクサティ森には遺跡や御嶽(ウタキ)、殿(トウ)、拝所などの史跡が多数ある。字津嘉山のクサティ森は沖縄戦で軍司令部壕が建設され戦跡としても重要である。これらの歴史文化の保全継承及び文化資源を活用した観光振興を図るため、旧軍司令部壕の一部復元、説明板・散策道・休養施設整備等を行う。平成26年度は、整地等の工事と便益施設(トイレ)の設計を行う。	・津嘉山の殿(トウ)周辺の整地等の工事 ・便益施設(トイレ)の設計	・整地工事の完了 ・便益施設(トイレ)の設計の完了	(今後の展開方針) H27:クサティ森等の実施設計 H27:津嘉山の殿(トウ)周辺の整備を完了し、歴史学習及び観光施設として共用する。	
6			南風原町民俗芸能交流会開催事業	H26 ～ H33	平成15年度までに25年間継続し、一旦終了した事業であるが、伝統芸能が各地で盛んになり、復活を期待されている演目も多々ある。これまでの実績を踏まえ、新たな世代に地域の伝統芸能を継承することを願い、また地域の伝統芸能を創造する。他地域との出会い・交流は喜びと知恵を生み、日常生活の生きる糧として地域の活性化を図る。	・休止している伝統芸能の復活 ・参加字の数:町内外から5箇所	・芸能交流会参加者450人以上	(今後の展開方針) 各字の伝統芸能の情報収集、記録保存に力を入れ、各地との交流の中で後継者の育成に力を入れる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	プロジェクトヒュート補助事業	H26 ～ H33	平成24年度に、南風原町のローカルヒーロー「かぼっちゃマン」を引き継ぐ形で、新しいキャラクター「南風原新伝説飛勇人(ひゅーと)」が誕生し「チームTHE飛勇人(ひゅーと)」として活動している。南風原町の伝説、課題や話題などをモチーフにしたショーを通して、多くの人々に町の伝承文化や行事などの普及に努めている。その活動意義は大きく、新たな地域活性化、人と人との交流を生み出すためにその活動に対して支援を行う。	・学校等公演の充実と強化 ・年間公演回数：5回	・地域の伝説や民話の理解を深めた：60% ・新しいキャラクターに楽しさや親しみを覚えた：60% (イベント開催時に実施するアンケート回収結果) ・町内各字の伝承文化の啓発を図る	(今後の展開方針) プロジェクトヒュートとしての仲間づくりを基本とし、地域の課題や伝説、話題を取り上げたショーを展開し、親しみやすいローカルヒーローとして南風原町をアピールする。		
6	戦争証言資料管理システム導入事業	H26 ～ H27	国内で唯一住民を巻き込んだ地上戦が行われた沖縄においては多くの住民が火の海、銃砲弾の雨にさらされ悲惨な状況の中で傷病を受け、また死亡し、戦闘参加者となった。そういう過去を風化させず後世に語り継ぐことができるよう、援護業務で得られた戦時中の生の証言資料を整理し、平和事業や平和学習に活用する。そのため、南風原町で保管する紙ベースの戦没者台帳をデータベース化し戦没者遺族等から得られた戦没時の悲惨な実態証言を加えたシステムを構築し管理する。	・戦争証言資料管理システム基礎データの整備 (戦没者約4,700名分のデータ)	・戦争証言資料管理システム基礎データ整備率：100%	(今後の展開方針) H27:戦争証言資料管理システムへの証言資料の整備 戦争証言資料管理システムの整備後は、文化センター等において平和事業や平和学習に活用する。		
7	健康長寿復活事業	H25 ～ H26						
7	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ H26	「健康長寿おきなわ」の復活に向けて、町民へ沖縄県や南風原町の食習慣の実態や課題を伝え、生活習慣病の発症や重症化を予防するために食習慣の改善方法を提供する。ライフサイクルに応じたバランス食の啓発や広報等の取り組みを行うことにより、日常の食生活の改善及び生活習慣を再構築するための支援を行う。	・健康長寿復活講演会の実施：1回 ・健康レシピの作成：12,000部 各世帯配布 ・公用車のラッピング：5台 年間を通し、公用車で広報 ・横断幕の作成：12枚 年間を通し小・中学校周辺に掲示 ・マグネット作成：700枚 200枚配布	・講演会参加者数：100人 ・野菜の必要性、野菜の基準量、野菜を多く摂取する方法等の認知度：30%(各保健事業参加者に調査を行う)	(今後の展開方針) ラッピングされた公用車による広報活動、横断幕の掲示、マグネットの配布を行う。 健康レシピ等を保健指導、栄養指導へ活用する。		

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		渡嘉敷村観光推進事業	H24 ～ H33					
1		渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業	H24 ～ H26	継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した管区情報の発信及び外国人観光客に対応するため観光パンフレットを刷新し多言語版を制作する。	・修学旅行PR事業展開(県外) ・離島フェア等各種イベントで島のPR活動展開(県内外) ・観光パンフレット(4ヶ国語)作成 ・観光情報誌への広告掲載	・県外高校修学旅行受け入れ数 H26年度 20校(H25年度15校) ・離島フェアブース来場者数 3,000人 ・アイランタブース来場者数 2,000人 ・観光パンフレット作成40,000部(4言語各10,000部) ・観光情報誌への広告掲載 1誌	(今後の展開方針) 県内外で行われるイベント会場において、イベントPRうちわやポストカード、観光パンフレットの配布しPRすることで観光入域客数の増加を図る。	
1		渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ H26	観光地としてのイメージアップを図るため、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設の景観浄化を図る。	観光地及びその周辺の公衆トイレ清掃、除草等の清掃作業 8箇所	渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、観光施設の除草及び清掃作業を周年実施。	(今後の展開方針) 村内観光地の美化事業の継続実施	
1		渡嘉敷村観光受入体制整備事業	H26	観光客の受け入れ態勢整備のため、慶良間諸島間内航路運航を実施し交通手段を確保する。また、修学旅行誘致のため村営キャンプ場の備品を整備し、観光振興を図る。ホームページ多言語案内システムを構築し、外国人観光客への情報発信の充実を図る。	・渡嘉敷～座間味内航船運航開始 ・バーベキュー機材購入 ・ホームページ多言語案内システム構築	・内航船運航開始により慶良間諸島周遊観光の利用者数 H26年度3,000人(H25年度2,450人) ・バーベキュー機材購入完了及び貸出開始 大セット(10台) 小セット(10台) イス(60脚) ・ホームページ7ヶ国語構築完了及びシステム開始(日本語・英語・中国語(簡体・繁体)韓国語・スペイン語・ドイツ語)	(今後の展開方針) 内航船運航を広くPRし、慶良間諸島観光の利用増を図る。 また、利用客のニーズに合った利用形態及び質の高いサービスの提供、外国人観光客の入域増につなげる。 ・バーベキュー機材利用者数 H27年度 2,250人目標	
1		渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ H33	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者に対し、料金の半額を補助する。	利用フライト回数:110回	・運航回数及び搭乗人数 110回、385人 (H25年度実績(6月～12月) 79回、303人)	(今後の展開方針) 宿泊施設やHP、船舶予約窓口でのPRにより利用人数の増加を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		渡嘉敷村観光施設整備事業	H26	渡嘉敷村青少年旅行村施設案内板の設置、キャンプ場に隣接する老朽化したトイレ、炊事棟、シャワー棟の撤去及び、渡嘉志久海岸公園内の木製人道橋の改修を行い、利用客の安全確保及び景観の美化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 旅行村施設案内板制作設置 老朽化施設(トイレ、シャワー、炊事棟)撤去工事 木製人道橋改修工事 バス停留所設置 島の模型制作 渡嘉志久ビーチ水難監視員配置 木製長いす制作 	<ul style="list-style-type: none"> 村青少年旅行村施設案内板制作設置完了 老朽化施設の撤去工事完了 木製人道橋改修工事完了 バス停留所設置完了(2箇所) 島の模型制作完了 渡嘉志久ビーチ水難監視員3名(常時2名)配置 木製長いす制作完了(40脚作成) 	(今後の展開方針) 老朽化した観光関連施設の撤去改善を進め、ビーチ監視員を継続配置や、観光客の送迎環境を整備することにより、利用者の安全及び利便性の向上を図る。	
2		渡嘉敷村農地保全事業	H24 ~ H33	農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して農産物を生産させ、農業振興を図るため、イノシシの捕獲駆除を行う。	イノシシの捕獲駆除実施	箱罠の設置により、年間100頭前後のイノシシを捕獲している。26年度の捕獲頭数を120頭とする。	(今後の展開方針) 害獣による農作物被害の減少	
3		渡嘉敷村教育振興事業	H24 ~ H33					
3		小学校学習支援員配置事業	H24 ~ H33	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。	学習支援員配置校 ・渡嘉敷小学校 1名 ・阿波連小学校 1名	村内小学校への支援者派遣率:100%	(今後の展開方針) 児童の学力向上及び教職員の負担軽減を図る。	
3		児童・生徒派遣支援事業	H25 ~ H33	村外で実施されるスポーツ大会や、文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な体験を積むことにより、離島の教育的なハンディを克服する。	各種スポーツ大会及び文化活動派遣(小学校2校・中学校1校)	派遣児童・生徒数(累計):185人	(今後の展開方針) 離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	
3		幼稚園預かり保育事業	H25 ~ H33	保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、幼稚園において預かり保育を実施する。	預かり保育(職員雇用) 1名	入園児全員の預かり保育が可能となる。 保護者のニーズに合った対応が可能となる。 ・預かり保育利用児童数 20人	(今後の展開方針) 保育環境の充実による定住促進の向上を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	小学校学習補助員配置事業	H26	渡嘉敷小学校1学年入学児に多動性障害児が在籍しており、教科学習の支援や集団行動支援、及び他児童との平穏な活動体制を維持していくため学習補助員を配置する。	学習補助員(賃金職員雇用)1名	当該児童及び他児童の健全な学習環境の維持。 ・支援サポートした児童数 6人	(今後の展開方針) 新入学児童の健全な教育環境及び学校活動の維持を図る。		
4	渡嘉敷村安心安全な観光地づくり事業	H26 ~ H32						
4	避難道整備事業	H26	本村は年間10万人を越える観光客が来島するため、災害発生時における地理的条件等を把握してない観光客を安全に避難場所まで誘導するために、避難道の整備を行う。	災害発生時に安全安心に避難できるよう避難場所までの避難道を整備する。	・避難道整備完了	(今後の展開方針) 災害発生時に村民及び観光客が安全安心に避難が出来るよう、災害発生時の避難誘導体制の確立を図る。		
4	避難場所案内版設置事業	H26	災害発生時における避難場所への誘導経路を観光客等でも対応出来るよう避難場所、避難経路の案内版を設置する。	災害発生時に安全安心に避難場所まで避難が出来るよう案内版を設置する。	・「避難場所案内版」の設置完了(6箇所)	(今後の展開方針) 初めて訪れる観光客等へも災害時に対応出来る安心安全な観光地としてPRを図り、災害発生時の避難誘導体制を確立する。		
4	集落内衛生環境保全事業	H26 ~ H32	観光客や地域住民に快適な衛生環境の提供と、集落内の環境保全を図るため、蚊の発生を防ぐ防虫剤を定期的に散布する。	通常月1回程度の散布と夏場は月2回程度の散布を行うことにより、蚊の発生を抑える。	・12回散布完了	(今後の展開方針) 定期的な散布による衛生環境の改善を図り、観光地としてのホスピタリティー向上に繋げる。		
5	渡嘉敷村保育所整備事業	H26 ~ H27	本村のへき地保育所は築30年以上経過しており、老朽化が進行している。幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準を満たす保育所を整備し、多様化した保育ニーズに対応できる保育環境を確保し、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。	・設計業務委託 ・磁気探査業務	・設計委託業務の完了 ・磁気探査業務の完了	(今後の展開方針) 保育環境の整備充実により、子育て世代の定住促進に繋げる。 H27年度 渡嘉敷村保育所完成及び供用開始	1月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		計画 期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
6	渡嘉敷村福祉対策事業	H26	渡嘉敷村高齢者生活福祉センターを一部改修し、地域の高齢者福祉介護事業を総合的、包括的に支援する体制の強化を図る。老人クラブ活動、自治区活動、諸会議等の拠点づくりにより活動促進を図る。災害時や台風時の一時避難所及び福祉避難所としての場所を確保することにより、障害者、高齢者等の方が安心して生活できるよう整備する。	・増改築工事設計委託業務 ・工事着工	増改築工事完了(122㎡)	(今後の展開方針) 高齢者福祉事業の包括的な運営の推進を図っていく。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	座間味村観光産業活性化事業	H24 ~ H33						
1	座間味村海域安全隊事業	H24 ~ H33	村内指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員を配置する(4月~10月)	ライフセイバーの配置および増員、ビーチの安全管理、自然保護管理。	村内3ビーチへのライフセイバー配置 4月から10月 ビーチでの遊泳無事故	村内各ビーチでの安全管理を徹底する。		
1	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ~ H33	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充や、新規イベント開催及び観光大使による県内外周知活動、県外アミューズメント施設での誘致活動等を実施し、県内外へ広くPRする情報発信をおこない誘客促進を図る。	・ホエールウォッチングフェスタ実施(12000人) ・ヨットレース実施(350人) ・座間味島祭り実施(500人) ・阿嘉慶留間祭り実施(300人) ・サバニレース実施(700人) ・県外水族館・空港でのPR活動実施(4回) ・電車、路線バスへの広告(4件) ・メディア取材放送(2番組 20回) ・クオリティーの高いPRPVの作成配布(作成映像3分5分10分 3パターン)	座間味村観光客入域数 目標:85000人 【基準年度】 H24年:約7万人	座間味村観光客入域数 H33年:目標:10万人 【基準年度】 H24年:約7万人		
1	座間味村観光受入拠点事業	H24 ~ H33	365日対応の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びダイビングや民宿事業者への取次案内をスムーズに行い、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ補助を行い、観光客の誘致と満足度向上を図る。	村の案内所業務、閑散期(冬場)の観光客誘致のため、メニューの開発および村内事業者の質の向上を目的に各種講習会等の実施	・観光メニュー開発:3本 ・観光客満足度:アンケートの実施 宿の食の資質の向上(講習会) インバウンド講習会の実施	メニューの開発により、ツアーの企画立案や実施 ・ノルディックウォーキング ・しままーい ・自然観察ツアー ・各種講習会		
1	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24 ~ H28	観光客の受け入れ態勢の整備と満足度向上を図るため既存港公園内へ拡張整備を行う。本年度は東屋、ベンチの取付け、人工芝、グラウンド整備を行い、ビジターセンター建築に向けた詳細設計及び地質調査を行う。	公園整備の機能強化の実施 ビジターセンター実施設計の作成及び測量調査	・公園整備 (東屋・ベンチ・3on3コート・健康器具等の設置) ・ビジターセンター実施設計書を取りまとめ建築費用の把握。 (PC又はRC造り地上3階建見込み) ・予定用地の土地状況を把握すること	・観光振興拠点として活用 ・プロ・アマ選手合宿先として誘致活動 ・住民福祉向上にむけた各種健康づくり大会の実施	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1		座間味村美ら島づくり花の森整備事業	H24～H28	観光誘致と受入体制の整備のため特定公園である本村の自然を生かした魅力ある景観形成促進のため、フラワーパークの構築や、玄関口でのウェルカムフラワーを設置し、年間をとおして花と緑で観光客を迎え入れる。	阿嘉・慶留間島の実施計画の策定 座間味区及び阿佐区の植栽工 着手	座間味区の港周辺の植栽工事着手 (コンテナ(ブ・ゲンビレア20個・ブソウゲ18個ク ロトン17個)設置) 座間味区の高月山の植栽工事着工 (土壌改良49㎡・シャリンバイ植栽100本) 阿佐区の避難道及び集落周辺の植栽工事着工 (コンテナ(ブ・ゲンビレア3個・ブソウゲ3個ク ロトン1個)設置)土壌改良165㎡・その他植栽 1224本 阿嘉・慶留間島の実施計画の策定	平成27年度 座間味区・阿佐区植栽工事 高月山植栽(ブソウゲ122本・ツツ ジ109本・) 座間味港植栽(ピロウ5本・フクギ3 本) 阿佐ウハマコテ - ジ植栽(ブソウ ゲ408本・ピロウ11本・コパティシ13 本・シャリンバイ80本)	
1		座間味村ホェールネットNEXT事業	H25～H26	観光地として観光客の安心と安全の確保と災害時におけるいち早い対応を構築するためIP網を屈指した防災無線の取付と、離島の離島である阿嘉・慶留間及び隣村の渡嘉敷村を結ぶ高速無線LAN設備を増強し、質の高い情報網の構築を図る。	スピーカー増築及び戸別受信機の設置。	村内防災無線の一層の聞こえの向上。観光客への防災情報サービス提供。	構築したシステムの基盤を活用したアプリの開発やサービスの提供による防災体制の強化	12月変更 (計画変更に伴う各 目標変更)
1		阿嘉地区観光道路整備事業	H26～H27	観光客の国際化や多様なニーズに対応するためハブが生息していない、国指定天然記念物ケラマジカが生息している地域特性を活用した昼夜問わず安心して魅力ある癒しの観光メニュー - 開発を目的とした山林観光道路を整備する。	観光関連事業者や、住民の意見を踏まえ地域のニーズに合った観光道路設備設計委託業務の実施	阿嘉地区観光道路の整備設計委託業務完了	H26 設計委託業務 H27 請負工事 H28 供用開始	
1		ダイバーズ・エッグ・プロジェクト	H26～H28	ダイビング観光客誘客のため、閑散期に(10月～2月の間3カ月程度)トライアルプログラム実証調査事業(体験ダイビング)としてダイバーのタマゴを育てるため、調査を効果的に行うことにより、観光産業の活性化につなげる。	・体験ダイビング利用者への実証調査。 ・メディア活用での情報発信、募集。 ・体験ダイビング利用者へのケア体制構築。	・体験ダイビング(定員500名)を実施し、各種調査、実証検証、課題作成等をおこない、閑散期のダイビング観光客の増加およびピーターの増加、産業の活性化。	若年層のダイビング予備軍に対し、ダイビングに触れる「きっかけ」、「機会」を与え、座間味村でのダイビングの魅力を感じてもらい、今後のダイビング観光における戦略を練り、ダイビング観光客の増加を目指す。	
2		座間味村農林水産業振興事業	H24～H33					
2		座間味村鮮魚美食事業	H24～H29	地元で採れる新鮮な水産物の食材を観光客や宿泊施設へ提供と流通を図る。また、阿嘉島に直売所を開設し、離島の特色を生かした観光・産業振興を推進するとともに村ブランドの確立等に取り組み地産地消を推進する。	地産地消の推進と直売所の強化 加工食品の開発 ・海鮮ソーセージ、魚ナゲット、刺身盛り合わせ、魚天ぷら 備品の発注 ・対面ショーケース ・テーブル型恒温高湿庫 ・電子レジスター等	・今まで、阿嘉島には無い加工食品直売所の施設整備と機能強化による観光環境の充実 ・安定的な生産と供給体制の確立、地産地消の推進	水産物の安定生産供給体制を構築し、観光産業と融合した産業を創出し、地域の魅力向上を図る。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
2			座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業	H24 ~ H33	白化現象やオニヒトデの異常発生の影響により、失われたサンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協職員及び海洋研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動のノウハウを学び、人材支援活動事業費の補助を行う。	・サンゴの採卵、人口基盤への付着 ・海上イキスでの育成管理 ・海洋への種苗の植付、管理	・サンゴが減少、少ない海域への植付2回 ・種苗の生産の拡大 2,000本	・年度毎の植付の回数増 ・種苗の生産の拡大		
3			座間味村定住条件整備事業	H24 ~ H34						
3			座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ~ H33	離島交通ネットワーク手段の確保として、船の欠航時やダイヤ変更時に、チャーターヘリコプターを利用した場合、運賃の一部補助を行う。	航路欠航等によるヘリコプターチャーターに対する支援	慶良間空港～那覇空港間フライト数:290回	慶良間空港～那覇空港間フライト数:290回		
3			座間味村村内運航に係る対策事業	H24 ~ H33	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員2名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し、離島交通の足の確保と観光振興を図る。	渡嘉敷村及び阿嘉島へ定期船運行の実施	定期船運航 座間味～阿嘉:1日4便(目標運航1300回) 座間味～渡嘉敷:1日2便(目標運航590回)	(今後の展開方針) 定期便運航:1日4便 渡嘉敷運航:予約運行/年間		
3			座間味村慶留間・阿嘉地区避難路整備事業	H25 ~ H27	地震・津波発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全確保を図るため、山頂へ通じる旧道を活用した避難路整備を行い災害に強い村づくりを図る。	慶留間地区避難道路請負工事1工区(L=270m) 阿嘉地区避難道路請負工事(L=70m)	慶留間地区避難道路の整備(1工区) 阿嘉地区避難道路に関しては、H2共用開始を目指す。	H26 請負工事1工区 H27 請負工事2工区(L=510m) H28 供用開始		
3			座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ~ H33	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である本島 座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃補助を実施し、高い交通コストの改善を図る。	自動車航送運賃の低減支援	自動車航送運賃の低減:年間約369台	自動車航送運賃の低減:年間約60台	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)	
3			座間味村救急対応車両整備事業	H26	安全安心な村、観光地づくりを推進するため、急患が発生した際の対応のため救急搬送車両を購入する。	救急対応車両購入	急患発生時の患者の搬送	急患発生時にスムーズな急患の搬送及び適切な処置の実施		
4			座間味村環境保全整備事業	H24 ~ H33						
4			座間味村外来植物討伐事業	H24 ~ H33	自然環境保全と観光地である本村の景観保持のため、村内至る所で野生化した外来植物「モクマオウ木、ギンネム木」繁殖の抑制を図るため討伐事業を実施する。	外来植物の討伐(村内一円)	外来植物の討伐(村内一円) 討伐本数年間600本(モクマオウ木、ギンネム木)	毎年600本程度の討伐		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		座間味村沖縄戸籍電算化事業	H26	米軍施政権下で県独自の戸籍関係書類(仮戸籍、福岡戸籍)において、現在保管の老朽化した紙ベースから電子データ化を行う。	・仮戸籍電算化約5000枚 ・福岡戸籍電算化約1500枚	沖縄関係戸籍の電子化率100%、情報資産の劣化、滅失防止	平成27年度:システム稼働	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光受入支援・整備事業	H24 ～ H28					
1			環境美化促進事業	H24 ～ H33	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。	観光地及びアクセス道路の美化 20カ所	観光地及びアクセス道路の美化 20カ所 植栽により、粟国の玄関口である港や空港等にて彩りのもてなしを行い、景観整備を図る。	(今後の目標) 粟国村観光振興計画で設定している平成32年度の観光入域客数1万人を目指して、継続的な環境美化活動を実施する。	
			東ヤマトガー周辺環境整備事業	H25 ～ H26	パワースポットの観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場の整備を行う。	東屋、安全防止柵の機能強化、駐車場等工事一式	東屋、安全防止柵の機能強化、駐車場等工事の完了 安全柵設置等により、安全面が改善され、観光スポットとしての定着を図る。	(今後の展開方針) H27年度 供用開始 観光入域客数の半数が施設を利用することを目標とする。 (参考:H24観光入域客数2909人)	
			あくにデジタルアーカイブ化事業	H25 ～ H26	島の豊かな自然や伝統文化等、島にまつわる多種多様な資料をデジタル化し、それらを管理システムに集約・管理し、利便性を向上させることで、村民及び観光客の郷土学習に付加価値をつけ、粟国観光の質を高める。	島の歴史資料、有形・無形文化財などを収集し、各種資源をコンテンツ化する。	島の歴史資料、有形・無形文化財などを収集し、各種資源のデータベースの完成	(今後の展開方法) H27年度 供用開始 タブレット端末等にて、GPS機能を使い、その場所に関連する情報を提供できるよう基盤整備を行う。	
			粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ H28	島の自然や伝統文化などの地域資源として広めていくため、マスコミやマスメディアを活用し、イベント等への誘客を図り、イベントの開催、観光ツアーを実施する。	イベント開催1回 観光ツアー1回	イベント来場者数:300人 観光ツアー参加者:10人 観光ツアー参加者満足度調査:満足と答えた人70%	(今後の展開方針) ・粟国村観光振興計画で設定している平成32年度の観光入域客数1万人を目指して、県内外へ情報発信をし、観光客数の入客数の増加に取り組んでいく。 ・観光イベント参加者900名 (H26～H28累計)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			ヤヒジャ海岸周辺環境整備事業	H25 ～ H26	粟国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している西ヤマトガー海岸からマhana崎にかけてのヤヒジャ海岸周辺を散策できるよう周辺環境整備工事を行う。	階段、駐車場、トイレ工事の実施	階段、駐車場、トイレ工事の完了 階段設置により安全に海岸散策を行うことができ、観光スポットとしての定着を図る。	(今後の展開方針) H27年度:供用開始 観光入域客数の半数が施設を利用することを目標とする。 (参考:H24観光入域客数2,909人)	
2			定住促進住宅整備事業	H25 ～ H26	産業振興に向けた担い手確保を目的に、若者の「ターン、Uターン」者の定住施設を充実するため、集合住宅を整備する。	集合住宅の(6世帯)の工事の実施	集合住宅(6世帯)整備率100%	(今後の展開方針) H26年度:入居者募集(6世帯) H27年度:供用開始	
3			和牛改良支援事業	H25 ～ H28	本村の畜産業の支援のため、付加価値の高い仔牛が生産できるよう県内外からの優良仔牛(母牛になる素牛)の導入を支援し、仔牛の付加価値を高めていくことで、畜産業の振興を図る。	和牛購入助成頭数 10頭	優良仔牛(母牛になる素牛)導入率60% (H25～H26累計)	(今後の展開方針等) ・優良仔牛(母牛になる素牛)50頭導入(H25～H28 累計) ・地域内母牛の更新及び改良を行い、付加価値の高い仔牛の出荷の拡大を図る。 仔牛の島外出荷数 H28年度見込150頭 (H24年度実績113頭)	
4			多目的施設整備事業	H24 ～ H26	村民や観光客の交流場所並びに災害時の避難施設として、平成24年度及び25年度事業で整備し、26年6月に完成した「多目的施設(東ふれあいセンター)」の1階ピロティ部分に倉庫を整備する。	倉庫3部屋の改築工事	倉庫3部屋を整備し、機材等の収納スペースを確保することで施設の利便性を向上させる。	H27年度年間利用者見込 村民:600人/年 観光客:60人/年 (参考) 平成26年9月利用実績:95人 年5回程度観光交流イベントを開催する予定。	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	環境保全・美化推進事業	H24 ～ H33	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)の駆除及び在来植物の保全育成を図る。	緑化及び美化活動・外来植物駆除・在来植物保全育成実施	緑化及び美化活動実施箇所:28箇所 外来植物駆除実施箇所:8箇所 在来植物保全育成実施箇所:14箇所	(今後の展開方針) 安全・安心・快適な観光づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を継続的に実施していく。		
2	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ H33	離島観光の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を補助する。	悪天候における船舶航路が欠航となった場合のチャーターヘリ利用者に対する運賃の支援	渡名喜村ヘリポート～那覇空港間フライト回数:50回	(今後の展開方針) 事業の周知徹底を図り、利用者の利便性向上拡大に努める。毎年50回程度を想定し月別実績も考慮に入れ事業を継続していく。		
3	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ H27	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預り所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	多目的拠点施設基本設計の実施	・多目的拠点施設基本設計の完了	(今後の展開方針) 完成した基本設計をもとに、多目的拠点施設の整備に向け平成27年度、実施設計を行う。 施設を整備することにより、災害時を想定した避難訓練や幼児・児童と老人との異世代間交流及び福祉関係に関する祭り並びに資料館を使用した渡名喜村の歴史を知るための観光イベントなどを実施していく。	7月変更 (事業追加)	
4	渡名喜村観光PR事業	H26	島の魅力やイメージを積極的に発信し、島の知名度を高めるため、オリジナルキャラクター及び観光PR用ビデオなどを制作する。	・募集用ポスター・パンフレット制作 ・選考 ・オリジナルキャラクター制作・PR映像の作成	・オリジナルキャラクター完成:1体 完成後、村内公民館等での一般住民向けお披露目イベント開催などにより村のPRが可能となる。 ・PR映像完成:BD,DVD各30枚 完成後、住民向け放映会の開催や、YouTube、フェイスブックへの掲載で村のPRが可能となる。	(今後の展開方針) キャラクターについてはお祭り・離島フェア等各種イベントで、観光PR用ビデオについてはフェリーターミナルやフェリー内、各種イベントで活用し村のPRを図る。	7月変更 (事業追加)	
5	里御嶽参道整備事業	H26	本村の観光名所である里御嶽の観光客受入体制を強化するため、里御嶽への参道周辺の整備を行う。	里御嶽参道 測量・設計・整備工事の実施	休憩所設置完了 1箇所 転落防止柵設置完了 400m 案内板設置完了 1基 標識柱設置完了 5基 手すり設置完了 400m	(今後の展開方針) 参道を整備することにより年間地元住民利用者1,500人、観光客1,500人の参道利用者が安心安全に参道を通行できるようになる。また、案内板を設置することにより里御嶽の歴史を伝えることができ、観光PRにつながっていく。	7月変更 (事業追加) 10月変更 (計画変更) に伴う成果目標変更	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	「砂の道」景観保全事業	H26	島独自の豊かな自然環境の一つであり、観光資源ともなっている「砂の道」が飛散することを防ぐため、散水車を購入し景観の保全を図る。	散水車購入の実施	・散水車両の購入完了 ・散水車の購入により、砂の飛散防止のための砂の道への散水が可能となる。	(今後の展開方針) 景観の保全を図ることで観光地としての魅力を高めるとともに、日に何度も行う散水に係る住民の負担軽減を図る。	7月変更(事業追加)	
7	東浜ビーチ公衆便所・シャワー室整備事業	H26	島を訪れる観光客が安心・安全・快適な観光ができるように、観光に不可欠なトイレ、シャワー室の施設を整備し、観光地として評価されるまちづくりを形成する。	東浜ビーチ公衆便所・シャワー測量・設計・工事の実施	・東浜ビーチ公衆便所・シャワー室を整備することで、島外からの観光客の受入体制の強化が図られる。	(今後の展開方針) 水上運動会、水泳教室、離島体験学習、体験交流学习の参加者や、島外からの観光客が安心してトイレ・シャワー室を活用できる。	7月変更(事業追加)	
8	児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ~ H33	離島のハンディを克服するため、児童生徒の村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学习への派遣費用等を助成する。	小中学生の教育諸活動及び交流学习に係る補助の実施	・スポーツ大会参加(小学生26名、中学生56名) ・文化発表会等(小学生16名、中学生17名) ・交流学习(小学生13名、中学生9名)	(今後の展開方針) 人数の多い学校での交流学习や本島地区での大会へ参加する事により、多くの児童生徒と交流することができ、コミュニケーションの向上や、学習意欲の喚起を図る。	7月変更(事業追加)	
9	渡名喜村水産振興事業	H26	漁業の安定操業や水産業の振興を図るため、製氷設備・貯氷設備の改修・機能強化を実施する団体へ補助する。	漁協共同組合が行う「製氷及び貯氷設備改修・機能強化工事」に対する補助の実施	・製氷機1基、貯氷施設1基(取替・設置) ・製氷機・貯氷施設(各1基)の整備による氷の安定供給	(今後の展開方針) 整備した施設を活用し、安定的に氷を製氷することにより、水産業の安定操業や水産物の鮮度保持に繋げ、水産業の振興を図る。	10月変更(事業追加)	
10	渡名喜村南利便施設機能強化事業	H26	渡名喜漁港を利用する漁業者、村民、島を訪れる観光客や釣り人等が安心・安全に漁業や観光ができるよう、漁港に隣接する地域にトイレ施設を整備し観光地として評価されるまちづくりを形成する。	渡名喜村南公衆便所施設の整備	・南公衆便所を整備することで、島外からの観光客の受入体制の強化が図られる。	(今後の展開方針) 利用者にとって、快適な環境を維持していき、観光地としての評価を高める。	10月変更(事業追加)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			南大東村定住促進事業	H24 ～ H33					
1			健康診査用機材搬送事業	H24 ～ H33	特定健診等集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃・荷役料、検査技師等スタッフの来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診が安定的に実施できる環境を整える事により定住促進を図る。	1. 集団健診機材の海上輸送運賃の補助 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の補助	集団健診受診者数: 360人 (41.0%)	(今後の展開方針) ・平成27年度 受診率を維持する。	
1			専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ H33	沖縄本島での専門的な治療を要する住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を助成する。	専門病院受診渡航費助成の実施	専門病院受診者 115人 付添人 55人	(今後の展開方針) ・平成25年度以降継続的に渡航費の負担軽減を行う。	
1			南大東村多目的交流拠点整備事業	H25 ～ H28	村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。今年度は既存施設の解体整地を実施する。	既存施設取壊解体 基礎工実施	危険既存施設の除去、整地、基礎工事を実施し、多目的拠点施設建設への条件を整える	(今後の展開方針等) ・H26～28年度: 建設工事 ・H29年度: 供用開始	7月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
2			南大東村観光振興事業	H24 ～ H33					
2			花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ H33	観光地としての景観整備を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の植栽・美化清掃を行う。	・観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 5箇所、アクセス道路 1,500m)	・観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上 ・観光施設の清掃による利用度の向上	(今後の展開方針) ・H25年度以降継続的に美化清掃、植栽を行う。	
2			大池地区水辺環境保全事業	H24 ～ H28	本村最大規模のカルスト湖である大池は、水草が繁茂し景観を損なうだけでなく、生態系への影響が懸念されるなど、観光分野や環境保全の点から課題となっている。その課題を解決するために、水草除去、水路浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。	大池地区水辺環境の保全・再生 水草の除去 水路汚泥浚渫	水草の除去によるカヌーの安全航路の確保 水路汚泥浚渫による水流の再生 水路の一部供用開始	(今後の展開方針) ・H29年度: 全面供用開始	
2			南大東村観光振興計画策定事業	H26	南大東村観光振興発展の為、専門家及び関係機関の意見を反映した中期・長期的な観光推進計画書を作成する。	観光振興計画書の策定の取り組み 講演会、意見交換会 観光振興計画書の作成	講演会、意見交換会による地域資源等の再発掘 観光振興計画書の作成により今後の振興に繋げる	(今後の展開方針) ・H27年度以降: 推進計画の実行	

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	観光誘致強化人材育成プロジェクト事業	H26	観光関連専門家による観光産業の人材育成及びプロモーション活動等を実施し、観光産業振興発展に寄与する。	観光人材育成 専門員の配置 観光産業への指導、助言 観光客誘致活動(ホームページ作成)	専門員の指導により資質の向上 観光産業への指導、助言による接客・接遇等の改善 ホームページ作成により村の魅力を発信し誘客を図る	(今後の展開方針) ・H27年度以降:推進計画の実行		
2	星野洞楽々歩道整備事業	H25 ~ H26	観光施設として人気の高い星野洞は、入洞帰路が急勾配なため、入洞者に不便を来している。高齢者等利用者が楽に入洞し神秘的な空間の広がる星野洞を堪能することができる移動式歩道及び音声ガイド・照明器具等を整備する。	・移動式歩道整備 ・音声ガイド・照明器具整備 ・パンフレット作成	・年間利用者の増加 ・利用者の満足度の向上 ・施設のPR、観光客誘致	(今後の展開方針等) ・H27年度から運用開始 ・施設のPRによる誘客に繋げる		
2	シュガートレイン復活夢実現事業	H25 ~ H29	島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った"さとうきび列車"は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン(100万人)等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。	基本設計委託	基本設計書の完成	(今後の展開方針等) ・H27年度:実施設計 ・H28~29年度:建設工事 ・H30年度:供用開始 *観光入域客数:H24 3,924人 H30 6,070人	10月変更(事業追加)	
3	生きがいづくり安心安全強化対策事業	H26	介護・福祉サービスの拠点である高齢者福祉センターのバリアフリー化と緊急災害時の避難誘導路を整備して高齢者、要介護者の安心安全と福祉サービスの充実を確保し、生きがいある社会福祉づくりをめざす。	高齢者福祉センター内のバリアフリー工事 避難通路の設置工事	高齢者福祉センター内のバリアフリーによる安心安全の確保 避難通路の設置による安心安全の確保	(今後の展開方針) ・H26年度施設改修により安全安心が確保され、介助等の負担軽減		
4	南大東村人材育成事業	H25 ~ H33						
4	人材育成派遣事業	H25 ~ H33	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を助成する。	吹奏楽コンクール10名 童話・お話大会2名 アンサンブル・リコーダー5名 英語関係派遣6名 地区夏季・県中体連46名 地区陸上・駅伝大会23名	・各大会等をとうして多くの生徒と交流を図り文武両道の精神を養う ・各大会において練習の成果を発揮する。	(今後の展開方針) ・H25年度以降:学校教育から派遣申請のある児童生徒の派遣費を補助し人材育成を推進する。		
4	人材育成環境強化事業	H26 ~ H33	村営学習支援塾に講師を配置して、パソコンを導入しての細かな学習支援を行い、質の高い確かな学習を習得させて、情報化社会に対応できる人材育成と学ぶ環境を整備する。	講師の配置 パソコン等機器の設置	講師の配置による学力向上 パソコン等機器を活用して学ぶ環境・勉強意欲を高める	(今後の展開方針) ・H26年度より講師を継続的に配置し学力向上を目指す。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		計画 期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
5	南大東村安らぎ空間整備事業	H24 ～ H26	墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内進入路と駐車場を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。	墓地区画全体面積810㎡ 墓地区画(9.1坪タイプ)300.0㎡ 墓地区画(4.5坪タイプ)300.0㎡ 墓地区画(1.8坪タイプ)180.0㎡ 合葬墓地(9.1坪タイプ)30.0㎡ 進入車路 503.0㎡ トイレ・広場 91.0㎡ 墓通路 430.0㎡ 緑地広場の整備 782.0㎡	墓地区画(9.1坪タイプ)300.0㎡の完了 墓地区画(4.5坪タイプ)300.0㎡の完了 墓地区画(1.8坪タイプ)180.0㎡の完了 合葬墓地(9.1坪タイプ)30.0㎡の完了 進入車路 503.0㎡の完了 トイレ・広場 91.0㎡の完了 墓通路 430.0㎡の完了 緑地広場の整備 782.0㎡の完了	(今後の展開方針) ・H26年度より運用開始。また、墓地条例や規則等の基準を作成する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		魅力的な観光地づくり促進事業	H24 ～ H33					
1		地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	・大東太鼓担い手育成数:1人 ・文化交流イベントの開催:5回	・文化資源の担い手育成数:1人 ・文化交流のイベント参加者数:40人	(今後の展開方針) 文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続	
1		観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ H33	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:清掃員2名	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m	(今後の展開方針) 修景及び美化の実施雇用を最終年度まで継続	
2		オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ H33	地理的条件によって、遠隔地である離島において教育環境格差は、大きな課題である。そこで、都市部と同様の学びを受ける事が可能なオンライン双方向授業を行う。	・オンライン双方向授業講師:4人 ・オンライン双方向授業受講生徒:35人	・学力向上率を7～10ポイント伸ばし全国平均レベルまで設定	(今後の展開方針) 学力向上と教育環境格差の解消を継続	
3		定住条件特別対策事業	H24 ～ H33					
3		離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ H33	待機児童を解消する為、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。又、特別支援教育を充実させる為、学習支援員を配置する。	・幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:2人 ・学習支援員の配置:1人	・預かり保育を利用する園児数:10人 ・村営塾受講者数:50人	(今後の展開方針) 預かり保育・特別支援・学習支援配置を継続	
3		離島の児童の交流促進事業	H24 ～ H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進する為、スポーツや交流学習における渡航費の一部を負担する。	・渡航助成の実施	・スポーツや交流学習等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	(今後の展開方針) スポーツや交流学習派遣を継続	
3		離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ H33	離島の不利益を克服し、妊婦等の健康を守る為、妊婦検診等、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部を助成する。	・妊婦検診助成の実施	・妊婦検診助成回数(延べ数):30回 H25年度:5回/1人	(今後の展開方針) 妊婦検診の際の渡航費・滞在費助成を継続	
4		北大東村複合型福祉施設整備事業	H25 ～ H26	本村は、地理的条件や小規模人口の自治体という社会的条件等が相まって、福祉サービスの基盤整備が立ち遅れ、高齢者の福祉サービス等を村外に依存せざるを得ず、島を離れる状況が増加している。そこで、住み慣れた地域の中で安心して暮らしていく事が出来るように、複合型福祉施設を整備する。	・福祉施設設計監理・工事の実施	・福祉施設設計監理・工事の完了	(今後の展開方針) ・H26年度以降、施設雇用者5人、施設入居・サービス利用者8～10人)を目標 ・福祉・介護サービスや高齢者自立生活支援に必要な福祉活動・人材育成を支え、地域の福祉力向上に資する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
バ	細							
5		北大東養殖産地協議会養殖事業	H25 ~ H26	離島である北大東村では、水産業において他の地域との差別化を図る為に、水質管理に負担が少なく、且つ安全に成長を促進させる「バイオ技術を用いて海水をろ過する陸上養殖システム」での養殖事業確立と継続的養殖研究に向けて施設設置の取組を実施する。	・孵化飼育施設の整備 ・非常用発電機施設の整備	・孵化飼育施設整備の完了 ・非常用発電機施設整備の完了	(今後の展開方針) ・H26年度以降、施設雇用者5人、養殖生産量:アワビ(22,400匹)・ウニ(22,250匹)・ヒラメ、ハタ類(1,500匹)等)を目標 ・孵化飼育施設の整備により、仕入れコスト等の軽減が図られる。 ・非常用発電機の整備により、停電時も電力供給が可能になり、養殖事業の安定的な実施が可能になる。	7月変更(事業追加)
6		北大東村景観形成事業	H26 ~ H33	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。	・村一周海岸道路の植樹環境整備 測量・設計の実施:全長 9,000m 監理・工事の実施:50m	・村一周海岸道路の植樹環境整備 測量・設計の完了:全長 9,000m 雑木伐採等の完了:50m	(今後の展開方針) ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興につなげる。	10月変更(事業追加) 12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
7		北大東小中学校渡り廊下建設事業	H26	雨天時の移動の利便性向上、安全の確保など教育環境の充実のため、小中学校校舎・体育館・図書館等への渡り廊下を整備する。	・北大東小中学校渡り廊下工事の実施	・北大東小中学校渡り廊下の完成による教育環境の向上	(今後の展開方針) ・安全性の確保と校舎、体育館、図書館等への移動時の利便性向上、教育環境の充実を図る。	10月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	伊平屋島観光商工業活性化事業	H24 ～ H33						
1	商工観光産業支援事業	H24 ～ H28	伊平屋島の安住を支える重要な産業である観光を振興するため、島内サービス産業の支援強化や、各種イベントの開発能力の向上を図る。それにより、リピーター及び新規顧客の獲得による観光消費額の増大を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 観光推進委員会設立 観光推進委員会職員の雇用 視察研修 業務調整 人材育成講座 	<ul style="list-style-type: none"> 観光推進委員会設立 観光推進委員会職員の雇用 視察研修 業務調整 人材育成講座 観光協会設立までの基盤の強化を図る。	(今後の展開方針) 伊平屋村観光協会設立		
1	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	環境美化作業員16名	観光アクセス道路の美化清掃:29.5km 観光関連施設の美化作業 5カ所	(今後の展開方針) H33年度:観光客数3万人		
1	誘客イベント推進事業	H24 ～ H28	村のメインイベントである「いへやまつり」「伊平屋ムーンライトマラソン」や村の自然資源等を活用した、イベント並びに、島外において「伊平屋村」をPRするイベントを開催することにより、伊平屋村の認知度を高め、入域観光客数の増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ウェルカムイベント 特産品フェア キャンプツアー 沖釣り大会 登山ツアー イルミネーション 離島フェア芸能団派遣 サッカー交流事業 いへやまつり ムーンライトマラソン 三村交流 の実施	<ul style="list-style-type: none"> ウェルカムイベント 特産品フェア キャンプツアー 沖釣り大会 登山ツアー イルミネーション 離島フェア芸能団派遣 サッカー交流事業 いへやまつり ムーンライトマラソン 三村交流 実施によるイベントに係る入域観光客数の増 H25年度4000人 H26年度4500人程度	(今後の展開方針) 実施による入域観光客数の増 H33年度:観光客数3万人		
1	伊平屋村イメージキャラクター開発事業	H26	村内の小学生を対象に制作企画をして頂き、現役芸大生、教授と共同で村マスコットキャラクターを制作する。	<ul style="list-style-type: none"> 予備調査 調査・村内生徒との顔合わせ レイアウト 審査決定、企画 専門業者にて制作 	イメージキャラクター完成	(今後の展開方針) 各種イベントでの活用		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	海浜公園植栽等整備事業	H24～H28	沖縄らしい原風景の創出と安心、安全で利便性、快適性の高い観光地づくりを目指し、台風や塩害に強く、緑陰機能に優れた在来樹種への植栽転換を実施する。また、ハブ対策として防蛇網の整備を行う。	緑陰植物植栽整備(南側)	緑陰植物植栽整備(南側)の完了	(今後の展開方針) 平成24年度:緑陰植物植栽整備(東側) 平成26年度:緑陰植物植栽整備(南側) 平成27年度:緑陰植物植栽整備(西側) 平成28年度:供用開始 H33年度:観光客数3万人		
2	伊平屋島農林水産業振興事業	H24～H30						
2	堆肥利用促進事業	H25～H26	堆肥の利用促進による地力向上と減農薬化による農産物のブランド化を目指し、既存の堆肥生産施設の機能強化を実施する。	堆肥センターの機能強化及び製造機械の更新等	堆肥センター機能強化及び更新等の完了	(今後の展開方針) さとうきび反収量 目標値(H33年度):4.0t 基準値(H23年度):2.2t		
2	病害虫防除事業	H24～H27	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	防虫剤(フェロモン剤)散布:150ha	・病害虫の防除等によるサトウキビ生産量の安定化 H23年度 1,758t H26年度 2,700t	(今後の展開方針) さとうきび反収量 目標値(H33年度):4.0t 基準値(H23年度):2.2t		
2	干ばつ対策事業	H24～H26	夏場や作付け時期となる秋期・春期の水不足に対応するため、作業効率の高いマリンタンクの設置と送水ポンプを設置し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。また、近年、慢性化する干ばつに対応するため、小規模ため池等、水源確保を図る。	マリンタンク設置及び配管工事(L=2000m)送水ポンプ一式	マリンタンク設置及び配管工事(L=2000m)送水ポンプ一式の完成	(今後の展開方針) H26年度:畑管施設一式 H27年度:供用開始		
2	特産品等販路拡大推進事業	H24～H26	島で生産されるモズクや黒糖関連商品、魚類燻製商品やその他加工品の販路拡大を目指し、島外での販売促進やイベント等への出店を支援する。	島外(県外)イベント参加:3回	島外イベントによる商談等 3回	(今後の展開方針) H26年度以降は各販路拡大等効果検証を行う。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			輪作・転作等促進農業用排水施設整備事業	H25 ～ H26	台風等の風災害により、減少した2期作農家を支援するため、輪作・転作が可能な水田排水施設の整備を行う。また、輪作・転作による農家主体の集団営農化を目指し課題の抽出と行動計画を定めた事業推進計画を策定する。	水田の輪作・転作対応工事設計 輪作・転作対応配水工事(2ha)	水田の輪作・転作対応工事設計の完了 輪作・転作対応配水工事(2ha)の完了	(今後の展開方針) 計画策定に基づく作物生産の安定化及び営農組織立上等の推進 ・農業従事者数 目標値(H33年度):180人 基準値(H23年度):140人	
2			伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ H30	本村の畜産の振興を図る為、計画的に優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛繁殖農家へ導入費用の一部を助成することで肉用牛の増頭と飼育農家の経営の安定化を取り組み推進する。	優良繁殖雌牛導入頭数 15頭	優良繁殖雌牛の飼育頭数の増 H26年度 169頭 184頭	(今後の展開方針) H26年度:15頭 H27年度:10頭 H28年度:10頭 H29年度:10頭 H30年度:10頭 を年次的に導入する。	
3			伊平屋島人材育成強化事業	H24 ～ H33					
3			伝統文化継承支援事業	H24 ～ H28	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施する。	伝統文化教室の開催:11教室/11回 島内における伝統芸能祭の実施 伝統芸能保存活動	伝統文化教室の参加者数:100名 伝統芸能祭等開催 H26年度島内 1回	(今後の展開方針) 伝統文化教室開講数 目標値(H28年度):14教室 基準値(H24年度):11教室	
3			特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	本事業は、各小中学校にある特別支援学級に支援員を配置し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	特別支援員:3名	児童生徒への支援 (6名)	(今後の展開方針) H25年度～H29年度 安定的に2名程度配置する	
3			英語学習支援事業	H25 ～ H33	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	・海外短期留学(アメリカ):3名 ・夏休みイングリッシュキャンプ:40名	・留学終了後 ムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ・実践発表会などを通じた参加者の意識向上	(今後の展開方針) H25年度～H29年度 海外短期留学 3名 サマーカーンプ 40名	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	島発ち教育支援事業	H26 ~ H33	15歳にして島を離れ高校へ進学する生徒への島発ち教育の一環として、自立心や社会規範の習得を目指し、職場体験学習を行う。対象は村内小学校6年生から中学3年生までとし、研修先は接遇や協調性、顧客サービス向上関連で学生向けプログラムを実施して評価の高い東京ディズニーランドとする。	ディズニーアカデミーでの学生向け研修参加の実施 小学校6年生~中学校3年生 82名	研修参加による生徒の自立心などの意識向上	(今後の展開方針) H26年度~H33年度 いずれ島発ちを向かえる子供達の意識の向上を図る		
3	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ~ H30	本村は離島村という地理的条件下、中学を卒業すると高校進学等のため、子供達は村外へと巣立っていくという必然的な状況がある。また、島の将来を担う子供達の多数は帰郷すること無く島外、県外での就職等で島の産業等を活性化させる人材が少ない状況となっている。そのため、島の活性化に欠かせない人材育成を中学卒業までの間に実践及び経験等を交え島での産業発掘をテーマに起業する力を身につけさせる必要がある。	・予備調査 ・調査・村内生徒との顔合わせ ・調査調整 ・商品のブラッシュアップ ・企画展示及び発表	3種類程度の特産品開発	(今後の展開方針) ・毎年1品程度特産品を開発 ・商品化可能であれば商品化へ		
3	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ~ H33	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では経験できない他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会、交流等による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加 小学校 : 3回 中学校 : 6回	村内3校児童・生徒の島外での教育的交流 村外で行われるスポーツ大会及び技術向上を目的としたイベントへの参加することによる児童・生徒の心身等の向上 小学校 : 児童107名 中学校 : 生徒58名	(今後の展開方針) 毎年9回程度の派遣助成をする。 また、実績に応じた助成等も行っていく		
4	伊平屋島定住条件整備事業	H24 ~ H33						
4	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ~ H28	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	嘱託保育士の配置:1名	預かり保育対象児童数 6名程度	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		
4	妊婦健診渡航費助成事業	H24 ~ H33	妊婦健診の受診促進として、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	妊婦健診に係る渡航費助成の実施	妊婦健診に係る渡航費助成:12名	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4		慢性疾患児童等通院時渡航費助成事業	H25 ～ H33	専門医療健診の受診促進のため、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	慢性疾患児童等通院時渡航助成の実施	慢性疾患児童等通院時渡航助成 :8名(親同伴)×12回	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4		地域自立支援推進事業	H24 ～ H26	行政と住民が協働して行う島づくりの体制を構築するため、住民主導型のワークショップの開催や、課題抽出・解決策の検討、行動計画の策定を行う。	地域自立成功先進地視察 (課題抽出・解決策の検討・行動計画評価)	地域自立推進実施計画策定	(今後の展開方針) 計画策定内容に基づく計画的な地域運営を目指す。 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4		集落環境整備事業	H25 ～ H29	地域住民による自助、共助、公助の仕組みづくりを推進するため、集落環境整備計画の策定と協働による主体的な取り組みについて助成を行う。	集落環境整備計画調査(5集落) 集落環境整備(5集落)	集落環境整備計画調査(5集落)の完了 集落環境整備(5集落)の完了	(今後の展開方針) 計画に基づき計画的な地域環境等の整備を行う。 ・定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人 ・住民の幸福感の向上(アンケート調査) H23:68.1% H29:75%	
4		自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。	自動車航送運賃の低減	自動車航送運賃の低減:H26年度 月245台 (H24年度実績値 106台)	(今後の展開方針) 自動車航送運賃の低減による交流人口等の増加 H33年度目標 年間 3,000台	
4		障がい者自立支援事業	H25 ～ H29	本村の社会福祉法人によるサービス管理者等の人材育成について助成することにより、島内での人材育成、人材確保を推進する。それにより、障害者等の雇用環境や生活環境の充実を図る。	サービス管理者の育成(村内社会福祉法人にて人材育成) 1名 施設設計委託業務 一式	サービス管理者資格取得 1名 施設設計委託業務 一式 完了	(今後の展開方針) H27:施設建設工事	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	高齢者福祉施設整備事業	H24 ~ H26	島内に一箇所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイス - ビス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の改修を行う。また、ショ - トステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築により、8名分の増床を行うとともに事務所及び相談室を新たに増設する。	施設機能強化工事	施設機能強化工事の完了	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		
4	スポーツコンベンション推進事業	H26 ~ H28	村民の健康増進や生涯スポーツの拠点のみならず、ムーンライトマラソンのメイン会場や県内アマチュア団体の合宿、各プロスポーツ団体との交流イベント、講習会の開催場所として活用している友愛と健康の広場を本村のスポーツコンベンション推進拠点施設と位置づけ、さらに取り組みを強化するため、施設の機能強化を行う。	村営グラウンドの風雨対策及び付属施設強風対策整備工事設計等一式 夜間照明施設の強風対策及び運営コスト縮減工事 一式	・ムーンライトマラソン参加者の増加 参加者1,200名 1,400名 ・ナイター施設を活用したスポーツイベントの開催 H25:0回 H26:2回	(今後の展開方針) H26:設計業務一式 施設整備工事(夜間照明施設) H27:グラウンド整備 H28:その他スポーツ施設整備 整備後各種スポーツ交流及び村民の健康づくりイベント等の開催		
4	伊平屋村火葬場機能強化事業	H26 ~ H27	本村の火葬場は整備後24年が経過し老朽化が進んでおり、斎場としてのスペースが無く、トイレ・待合室などもバリアフリーとなっていない。そのため、葬儀に係る住民負担の軽減と定住条件の向上に向け、火葬場の機能強化の為の改修及び増築を行う。	施設改修等設計業務 火葬炉更新工事	施設改修等設計業務の完了 火葬炉更新工事の完了	(今後の展開方針) H27:火葬場施設改修工事 及び工事監理業務 整備された火葬場の活用により住民負担の軽減を図るとともに、今後も定住条件整備のための施策を推進し、定住条件の向上に取り組む。	10月変更(事業追加)	
5	伊平屋島「災害に強い村づくり」推進事業	H25 ~ H28						
5	伊平屋村救急対応整備事業	H25 ~ H26	緊急時の医療機関（診療所）への緊急搬送を迅速に行うため、緊急搬送車両等を整備する。また、台風や季節風の塩害による腐食防止、飛来物等による車両の破損から車両を守るため、保管庫を整備する。	設計委託業務一式 緊急搬送者用保管庫整備工事 一式	設計委託業務の完了 緊急搬送者用保管庫整備工事の完了	(今後の展開方針) 緊急搬送車導入により、診療所までの、簡易的な手当や、心肺蘇生法等の救命救急措置がスムーズに行える。また、風害や塩害の被害軽減で施設の長寿命化が図られる。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		計画 期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
5	伊平屋島災害時避難施設整備事業	H26 ～ H28	地震や津波、台風などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する避難指定場所のライフライン等の機能強化により、避難者が安全に安心して避難できる施設の整備を図る。	村内各避難施設の機能強化工事設計 施設強化工事 5カ所 非常用電源施設整備 2カ所	村内各避難施設の機能強化工事設計の完了 施設強化工事 5カ所の完了 非常用電源施設整備 2カ所の完了	(今後の展開方針) 台風等自然災害に強い避難施設の整備 H26:施設機能強化工事 5カ所 非常用電源施設整備 2カ所 H27:非常用電源施設整備 3カ所 H28:非常用電源施設整備 2カ所	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			伊是名島観光振興事業	H24 ~ H33					
			観光地等クリーンアップ事業	H24 ~ H33	本村には、数多くの史跡や文化財があることから、各種イベントで使用する会場周辺や観光施設、観光ルートの清掃や花木の植栽等の美化・緑化活動を強化し、島全体を一つの観光地として整備する。	・観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽 ・植栽後の定期的な肥培管理の実施	美化緑化箇所：15カ所 内訳：まつり会場（1カ所）、フットパスコース（1カ所）、集落内外（5カ所）、フラワーロード（4カ所）、観光施設等（4カ所）	成果目標を達成すべく、美化緑化活動を推進する。	
			いげな尚円王まつり支援事業	H24 ~ H33	いげな尚円王まつりにおいて各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラムを実施し観光客の誘致を図る。	いげな尚円王まつりの開催支援	いげな尚円王まつりの来場者数：約2000名	(今後の展開方針) まつり来場者数 H33年度：延べ2,500人	
			いげな88トライアスロン大会支援事業	H24 ~ H33	毎年日本全国から選手600名・家族や関係者200名ほどが来島し、トライアスロン大会を盛り上げ本村の活性化に寄与しているが、大会のPR活動や受入体制強化など更なる観光振興を図ることを目的にトライアスロン大会開催に伴う運営費の一部を支援する。	いげな88トライアスロン大会の支援	・トライアスロン参加選手：600名 ・ボランティア・関係者及び観戦者：400名	(今後の展開方針) コースの安全面の確認や選手誘導看板の設置による受入体制の強化	
			「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ~ H28	本村は、第一尚氏王統の元祖及び第二尚氏王統の始祖尚円王生誕の地であり、数々の王家ゆかりの史跡・文化遺産が多く残されている。平成27年度に尚円王生誕600年を迎えるため、尚円王に関する史跡等の整備・復元や関連行事を行う。本村から琉球の歴史を県内外へ発信することで更なる誘客による観光振興を図る。	平成27年度のイベントとして史劇「尚円～松金がゆく～」の取り組み、通水節公園整備、観光ガイド等養成講座の実施、魅力映像の制作、伊是名村PR活動の実施。	尚円王をキーワードにした取り組みを実施することにより、琉球国王生誕地・伊是名島の認知度向上を図る。	平成27年度： 尚円王生誕600年祭の開催 ・平成28年度入域観光客数35,000人を目指す。	7月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
			伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ~ H33	場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を誘致し、選手をはじめそのサポーターや観光客の誘致を促進するため、モータースポーツ大会開催に伴うレースカーの輸送費など運営費の一部を支援する。	・ドラックレース大会の開催支援 ・スーパードリフト大会の開催支援	・ドラックレース大会来場者数：300名(2回) ・スーパードリフト大会来場者数：300名(2回)	規模を徐々に拡大していき、モータースポーツのメッカとしての地位を築くことで観光誘客につなげていく。	7月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
			伊是名島民泊受入体制構築事業	H26	修学旅行生等による伊是名島での民泊受入体制を整えるため、いげな島観光協会へマリン体験に必要な備品整備費用を補助し、より質の高い受入を目指す。	マリンレジャー体験に必要な備品整備費用補助	・受入体制の充実・強化 ・民泊受入数：5,800名	修学旅行生のマリン体験を従来の年平均4校から10校の受入を目指す。	7月変更 (事業追加)
			いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26 ~ H33	伊是名村・伊平屋村・今帰仁村の三村交流事業である「いいな運天港いちゃり場まつり」を支援する。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の支援	「いいな運天港いちゃり場まつり」の実施	伊平屋・伊是名・今帰仁三村の広域連携事業として、継続して開催する。	7月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			沖縄らしい風景づくり推進事業	H26 ～ H33	本村の魅力ある自然や文化・景観等を保全・活用による人と自然が共生するむらづくりを目指し、地域一体となった魅力的な景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、また、個人が実施する外観形成に有効な赤瓦屋根の新設または葺き替え、サンゴ石垣による屋敷囲い等に要する経費を助成する。	・景観形成取り組みへの助成	・景観形成への助成 ・赤瓦助成 整備進捗率8% ・石垣助成 2団体(2集落)	・赤瓦助成進捗率 H27・17%、 H28・25% 景観重点地区指定により住民がこれまで以上に景観形成に取り組むことで、観光地としての魅力が増大し、観光誘客が期待される。	10月変更 (事業追加)
			観光情報発信事業	H26 ～ H33	観光振興を図ることを目的に、お土産袋、観光カレンダー等を制作し観光情報発信の推進を図り、受入体制を強化する。	・お土産袋制作 ・観光カレンダー制作	・お土産袋制作・配布(配布率100%) ・観光カレンダー制作・配布(配布率100%)	民泊受入体制を整備し、民泊推進を図る。	10月変更 (事業追加)
2			伊是名島定住条件整備事業	H24 ～ H33					
			伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ H33	離島の定住条件の向上を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。	伊是名発自動車航送往復運賃の負担軽減	自動車航送コストの負担軽減:5,000台	(今後の展開方針) 自動車航送コスト負担軽減数 H33年度:6,000台	
			妊婦健診渡航費助成事業	H24 ～ H33	村内には専門医がなく本島の医療機関の利用を余儀なくされている。加えて1泊2日の日数と経済的負担も大きい。そのような妊婦の保健指導の充実と安心して安全な出産を支援することを目指し、通院に要する渡航費・交通費及び滞在費を助成する。	妊婦健診に要する渡航費・交通費及び宿泊費の助成	妊婦健診に要する渡航費・交通費及び宿泊費の助成: 渡航費・交通費・・・168件 滞在費・・・2人	1)産後の健診時の助成 1ヶ月健診時の渡航費及び宿泊費の助成 一ヶ月健診までの滞在費の助成 2)配偶者同行時の配偶者への助成	
			人工透析医療受給者助成事業	H24 ～ H33	人工透析医療を受ける患者の通院の環境整備を図るため、通院に係る交通費及び宿泊費を助成する。	人工透析に係る交通費・宿泊費の助成	人工透析に係る交通費・宿泊費の助成件数:4人	2日に1回の透析通院は高齢者にとって非常に負担となっており、少しでも軽減できるよう対策を検討する。	
			伊是名らしい古民家修復・復元事業	H25 ～ H29	本村における貴重な資源である古民家の修復や、古民家が消失し空き屋敷となっている敷地に古民家(赤瓦屋根・サンゴ石垣・屋敷林)を復元し、Uターン・Iターン者向け定住住宅として定住促進を図るとともに観光地としてのイメージアップを図る。	・用地購入 ・古民家改修(1棟) ・古民家復元(1棟) ・改修・復元設計業務	古民家改修と復元をおこない、Uターン・Iターン者向け定住住宅2世帯の供給と同時に伊是名らしい景観形成の創出。	(今後の展開方針) 平成26年度以降については、改修1棟、復元1棟ずつを予定。U・Iターン世帯数は2世帯。	
			伊是名村救急体制強化事業	H26	救急時の救命救急措置として診療所への救急搬送及び本島へのヘリ搬送を迅速に行うため、救急搬送車両1台を整備する。	救急搬送車両の整備	・救急体制の充実・強化 (救急搬送車両の整備:1台)	・救急搬送車両を整備することにより医師による応急措置により生命の危機の回避など救急体制の充実の強化につながる。	7月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			尚円王の里人材育成事業	H24 ～ H33					
			伊是名村人材育成推進事業	H24 ～ H33	幼稚園、小学校、中学校の教育の質を高め学校教育を充実発展させるために教育指導コーディネーターを配置し、時代を担う児童生徒の人材育成に努める。	教育コーディネーターの配置	教育コーディネーターの配置:1人		本事業で整備したパソコン等を活用した質の高い教育環境を実現するためICT教育に特化したコーディネーターを配置し、個別学習から共同学習への展開を行う。
			人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ～ H33	生まれ育った島の良さを再発見させ島への思いを醸成するため、日頃体験することのない厳しい環境のもとでの日高小学校との交流やスキー体験などを実施する。	日高小学校との交流会参加	日高小学校との交流会参加 児童:19人・引率6人		当初の目的・ねらいに沿った形で今後も取り組んでいく。
			児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ H33	離島である本村の児童生徒の島外での諸教育活動への派遣費を支援し、本村から島外への移動をスムーズに行えるよう実施する。	島外教育活動への派遣	島外教育活動への派遣 児童生徒数:86名		スポーツ分野だけでなく文化活動分野への助成も推進する。
			学習支援員配置事業	H24 ～ H33	学校の教育活動支援及び学習に遅れのある児童生徒の学習支援を行う。	学習支援員の配置	学習支援員の配置数:1人		現在、小学校のみの配置であるが中学校への配置要望もあることから増員に向け検討していく。
			幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ H33	離島である本村では、学童保育所がないため保護者が安心して仕事ができる環境整備として教育課程に係る教育時間終了後に幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を配置する。	保育士の雇用	預かり保育を利用する幼児数:H26年度:15人		夫婦共働き世帯が多く、保護者から時間延長の要望があることから保育士を増員に向け検討していく。
			学校外学習支援事業	H25 ～ H33	高校受験対策の一環として、生徒の学校外での学習を支援することにより、学校の授業でカバーできないきめ細かい学習を支援するため、村営の学習塾を開設する。	学習塾の設置及び講師の雇用	学習塾利用生徒数:62人		これまで、学年毎に1グループで支援を行っていたが、生徒個々の学力に応じたグループ分けを行い、よりきめ細かい支援を行う。
4			伊是名村農林水産振興事業	H24 ～ H33					
			伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ H33	肉用繁殖牛の減少に伴う堆肥の原料不足を補うため、沖縄本島からの堆肥原料購入費用及び輸送費用を助成することにより、安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。	農家補助用堆肥の確保	堆肥導入数量:2,000t		堆肥散布することで地力増強につながることを農家へ周知し、土づくりを促進することによる生産性の向上を図る。

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ～ H29	本村における畜産業の振興を図るため、計画的に優良繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を助成することにより、肉用牛の飼育頭数増加と農家経営の安定化に向けた取組を推進する。	優良繁殖雌牛導入	優良繁殖雌牛導入頭数:50頭	計画的に繁殖牛を導入することで、村内の飼養頭数が増加し、現在不足している堆肥原料を確保する。	
5		環境に優しいリサイクル事業	H26	本村で大量に出る段ボールごみの資源化を行うための段ボール破砕機を導入し、ごみの処分量の減量化、環境に優しい循環型社会の形成を図る。	段ボール破砕機の導入	段ボール破砕機の導入:1台 段ボール処理量:4,000kg	農業への再利用として、牛舎の敷料や畑の敷材として活用できるよう取り組んでいく。	7月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			久米島農林水産業活性化推進事業	H24 ～ H33					
			海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	H24 ～ H29	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行う。	・実証施設の整備 ・実証実験	10アール当たりの収穫量把握 生産コスト等の課題抽出	平成27年度実用化開始 平成27年度からは新たな方式による実証事業を行う。	
			漁港施設機能強化事業	H25 ～ H27	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要3漁港にセルフ式給油施設POSシステム導入及び主要漁港の一つである大田漁港に漁船巻上げ機(ウインチ)を設置する団体へ支援を行う。	給油施設POSシステム(3基)の導入 漁船巻上げ機(1基)の導入	給油施設POSシステム整備率100% 巻上げ機整備率33%	平成27年度供用開始 給油施設導入による利便性の向上及び荒天時(台風等)に大型漁船を避難できる体制を整備し、漁民の労働負担や経費負担を軽減する。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
			モズク加工場機能強化事業	H24 ～ H26	本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り生産性の向上につなげるため、モズクの品質向上と適正な衛生管理に必要な洗浄機の整備を行う団体へ支援を行う。	モズクカゴ洗浄機(1基)の導入	モズクカゴ洗浄機利用組合員数:24名	平成27年度供用開始	
			久米島町循環型農業促進事業	H25 ～ H27	本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築するため、町営堆肥センターの生産性の向上を図り、堆肥活用促進の機能強化を行う。	・自走式破砕機(1台)の導入	・自走式破砕機による副資材の割合:10% (基準年:H25年度 0%)	(今後の展開方針) H27年度 運搬車両の導入 自走式ふるい機の導入 堆肥筋播き機の導入	
			優良雌牛導入事業	H26 ～ H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。	・優良雌牛導入 30頭	・優良雌牛導入率:13% (導入予定:240頭)	(今後の展開方針) 助成件数(累計) H33年度:240頭	
			農産物出荷貯蔵施設整備事業	H26	本町の輪ギクは拠点産地として認定され振興を図っているが、出荷商品の品質保持のため花卉園芸用冷凍庫ユニットの機能強化する。また、露地野菜の生産体制強化を図るためプレハブ冷凍庫の設置を行う。	・花卉用冷凍庫ユニットの整備 3台	・出荷商品の品質保持体制の確立	平成27年度供用開始 冷蔵保管により商品の品質を保ち出荷し農家所得向上に繋げる。 輪ギクだけでなく露地野菜の出荷体制を強化するため、整備を進める。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
			農産物直売所整備事業	H26	本町の農産物の地産地消を推進し農業の振興に繋げるため、余剰農産物・規格外農産物を集約し供給する直売所の整備を行う団体へ支援を行う。	農産物直売所の整備	農産物直売所利用農家数:8戸	(今後の展開方針) H27年度 供用開始 利用農家を増やし地産地消及び農家所得向上に繋げる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			くめじま山羊振興活性化事業	H25 ~ H27	本町の山羊食文化及び山羊肉の地産地消の推進を図るため、優良品種山羊の導入と普及、山羊牧場の建設、「くめじま山羊」のブランド化を確立し全町的な肉用山羊生産供給体制の整備を行う。	優良山羊の導入(雄3頭、雌20頭) 山羊舎実施設計、建設、機械購入	優良山羊生産頭数40頭 優良品種山羊生産体制の強化 山羊舎の整備完了	(今後の展開方針) 整備した山羊舎にて優良山羊を増頭し、普及を図る。大手食肉業者と連携し、販売ルート構築することで安定した山羊の出荷を行い、農家の所得向上に繋げる。	7月変更 (事業追加)
2			久米島特産品開発・販路開拓事業	H24 ~ H33					
			久米島紬販売促進事業	H24 ~ H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。	島外での展示会開催数 6回 商品開発試作品製作数 5反 商品開発試作品製作数(ウエア) 4点	・反物売り上げ額 7,000万円 ・小物売り上げ額 1,000万円	久米島紬の伝統技能を保持しつつ現代のニーズにあった商品を開発販売することにより、伝統工芸品としての久米島紬を受け継いでいく。	
			海洋深層水全国展開事業	H24 ~ H28	海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行う。	・商談会への参加社数 2社 ・パンフレットの配布数 500部 ・商談会面談者数 200名	・商談会面談者数 200人 ・商談(取引)成立数 3件	県外の販路開拓を行える体制を構築する。	
			久米島特産品販路開拓事業	H24 ~ H27	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発専門の外部アドバイザーやコーディネーターを配置し新商品の開発や既存商品のデザイン等の改良等を行う他、知名度向上のため県内・県外での開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会等を実施する。	・アドバイザー・専門家等の派遣 延べ35回 ・講習会・勉強会の開催 14回 ・新商品開発 11品、既存商品の改良9品 ・物産展の開催又は参加 5回	・特産品の新商品開発 9品 ・乳酸菌を有効活用した新商品の開発 2品 ・物産展等における販売額 20,000千円	・3年計画で、久米島の製造事業所の支援を行う。 ・本事業で開発された商品のブランド化に繋げる。	
3			久米島観光誘客促進事業	H24 ~ H33					
			久米島観光誘客支援事業	H24 ~ H33	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施し、観光産業の振興を図る。	イベント開催(4件) 広報推進事業 広報活動 7件 修学旅行営業 10校 バスツアー造成 団体型34ツアー/ 個人型92ツアー	参加人数1,000名 広報推進事業 広報活動 7件 / 久米島の認知度向上 修学旅行誘致 4校 バスツアー利用者数 2,020人	イベント開催 H28年度(中間年)参加者 1,100人 H33年度(最終年)参加者 1,300人 バスツアー利用者 H28年度(中間年)2,180人 H33年度(最終年)2,600人 修学旅行 H28年度(中間年)誘致目標 10校 H33年度(最終年)誘致目標 20校	7月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			久米島観光プロモーション事業	H25 ～ H33	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、観光ビデオ制作や大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。	・国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進 ・観光PR映像を活用した誘客促進	・情報発信件数：4件 ・PR映像製作件数：2件	国内大手のWEBエージェントにて久米島の春夏秋冬の情報を4回発信し、情報の拡散効果を図るためFacebookも活用する。	
			体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ H28	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。	・民泊の営業許可の取得件数 30件 ・体験プログラム・開発・改良件数 20件	・修学旅行入域者数 400人 ・体験プログラム利用者数 1,200人	修学旅行 H28年度(中間年)入域目標 2,600名 H33年度(最終年)入域目標 8,000名	
			スポーツ合宿誘致事業	H26 ～ H33	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。	陸上合宿誘致 パークゴルフ大会誘致	陸上合宿 4件 パークゴルフ大会 1件(島外参加者数100人)	温暖な気候を生かした冬季におけるスポーツ合宿やパークゴルフ大会を誘致する。 H28年度 19件(継続を含めて)	7月変更(事業追加)
			航空路線拡充対策事業	H26 ～ H33	伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。	久米島空港におけるチャーター便への給油体制の整備及び新規航空会社誘致の調査活動	チャーター便運行数 17便 新規航空会社のニーズの把握	H33年度(最終年) チャーター便数 20便 新規参入航空会社 1社	10月変更(事業追加)
4			久米島観光客受入体制整備事業	H24 ～ H28					
			スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24 ～ H26	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島多目的グラウンド及び仲里野球場関連施設の整備を実施する。	仲里野球場ネット改修工事 久米島多目的グラウンド改修工事	仲里野球場施設使用 4団体 久米島多目的グラウンド 2団体	H26年度供用開始 スポーツ関連施設を充実させ、プロスポーツ等キャンプの継続及び新規誘致に繋げる。	
			安心安全な観光まちづくり事業	H25 ～ H28	安心安全な観光まちづくりを目指し、津波被害対策として緊急避難階段等の整備を行う。	避難階段工事L=70mの実施	避難階段を設置し、避難経路を確保する。	(今後の展開方針) H27年度：避難所及び避難道の測量設計調査 H28年度：避難所及び避難道の整備	
			バス停上屋整備事業	H26 ～ H28	快適な観光地づくりを目指し、観光施設周辺のバス停の雨天及び直射日光の強い日差し対策としてバス停上屋の整備を行う。	バス停上屋を2カ所整備	バス停上屋整備率：33% (整備予定：6カ所)	(今後の展開方針) H27年度：2カ所 H28年度：2カ所	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			ビーチクリーナー整備事業	H26	本町の自然景観を代表し日本の渚百選に選定されているイーブビーチ等の環境美化を促進し観光産業の振興を図るため、ビーチクリーナーを導入する。	ビーチクリーナーの導入	・ビーチクリーナー導入:1台 ・ビーチ清掃回数:10回	H26年度供用開始	
			自動運転実証フィールド支援事業	H26 ~ H28	人が運転せずとも自動車(モビリティ)の走行を制御できる自動走行技術の実証フィールドを整備し、観光産業などに活用するため、関連施設の整備を行う。	走行用道路の測量・設計 走行用道路の改良工事	走行用道路の整備:L=510m	H27年自動走行実証事業開始	
			Wi-Fiアンテナ設備導入事業	H26	ICTによる観光客の受け入れ態勢の構築、産業観光への取組、安心・安全な街づくりによりを図るため、全島Wi-Fiシステムを構築した。このシステムを継続活用するためWi-Fiアンテナを購入する。	Wi-Fiアンテナ購入:21基	スポットアクセス数:2,000件	ICTを活用し情報格差を埋め、島の魅力発信を図る。	
5			久米島環境保全・美化推進事業	H24 ~ H33					
			赤土等流出防止対策事業	H24 ~ H28	農地保全是もとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト(ベチパー)の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施する。	ベチパーの植栽を行い赤土流出防止を図る。	ベチパー植栽:1,000m	H27年度:1,500m H28年度:1,500m	
			球美の島エコアイランド化推進事業	H24 ~ H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	約230灯のLED防犯灯を整備・設置	約230灯のLED防犯灯を設置	H27年度:400灯設置 H28年度:400灯設置	
			球美の島緑化推進事業	H24 ~ H27	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	・サクラゾーン造成及び植栽工事の実施 ・ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事の実施	サクラゾーンの完成及び一部供用開始 ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事の完了	平成27年度ツツジゾーン、ツバキゾーンの完成 平成28年4月全面供用開始	
6			久米島地域資源発掘・活用促進事業	H24 ~ H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を助成する。	・県内研修2回、県外研修2回 ・景観活動団体助成2団体 ・景観形成助成2戸	・行政担当者の育成 ・景観活動団体の育成 ・景観形成の推進	(今後の展開方針) 助成件数(累計):H33年度 ・景観活動団体助成 18団体 ・景観形成助成 18戸	
			個性豊かな文化の振興事業	H24 ～ H33	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行っている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	・民俗芸能の保存・継承・後継者育成 ・民俗芸能発表会の開催 ・民俗芸能団体の派遣	・3団体(具志川、大田、真謝)の強化 ・出演者130名、来場者600名 ・団体の島外派遣(兼城)24名	団体の振りおこし ・H28年度 育成団体 累計22 ・H33年度 育成団体 累計27 発表会出演団体数 ・H28年度 累計41 ・H33年度 累計81	
			文化遺産保存活用事業	H24 ～ H33	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復及び貴重生物のはく製の制作を行う。	・古文書の修復、翻刻、口語訳した件数:110件 ・鳥類剥製資料制作 50体	・古文書の修復、翻刻、口語訳した割合14% (1625件中232件(累計)の修復) ・鳥類剥製資料制作 50体	H28年度(中間年) 修復、翻刻、口語訳した割合40% H33年度(最終年) 修復、翻刻、口語訳した割合100%	
			久米島現代版組踊り創作事業	H24 ～ H28	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。	若い世代による創作現代版の組踊り作成 40名～50名参加	・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信していく新たな歴史的文化観光資源を創出する。	久米島でのイベント等での公演や島外での公演を行なうことで久米島の魅力のアピールを行なう。中高生が文化の担い手として文化歴史を紹介するガイドの育成に繋げる。	
7			久米島教育環境の充実・整備事業	H24 ～ H33					
			英語指導員配置事業	H24 ～ H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3、4年生120時間、5、6年生210時間)で実施する。	英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーションを図る。	中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。	
			基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ H33	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。	基礎学力向上学習支援員配置数:小学校2校に各1名。	基礎学力向上学習支援員を小学校へ2名配置し、県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	担任と学習支援員が連携を密にし、授業改善(内容、発展等)について検討する。	
			特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ H33	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。	特別支援教育支援員配置数:小学校10名、中学校2名	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	担任と特別支援教育支援員が連携を密にし、授業改善(内容、基礎力徹底等)について検討する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		八重瀬町人材育成事業	H24 ~ H33					
1		八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ~ H33	小学校・幼稚園において国際化に柔軟に対応できる力を養うため、通常の授業とは別に、夏休みや冬休みを利用した特別英語教室を開催する。	・外国語指導助手 4園4小(3人は園・小兼務) ・英語指導助手:2人 2中へそれぞれ配置	・H26年度受講者数 4幼稚園269人、4小学校(5・6年生)646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中8割合格目標	(今後の展開方針) H33年までに幼稚園3,271人、小学校5,964人(5・6年対象)、中学校8,589人計17,824人の児童生徒に外国語をふれ合う機会を与える。	
1		八重瀬町パソコン指導強化事業	H24 ~ H33	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。	パソコン指導員配置数 小学校に2人配置(2名兼務) 中学校に2人配置	・H26年度受講者数 4小学校1,940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標	(今後の展開方針) H33年までに幼稚園3,271人、小学校17,483人、中学校8,589人計29,343人の児童生徒に情報の基本操作及び情報活用能力を養う。	
1		八重瀬町学力向上支援事業	H25 ~ H33	小・中学校に児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで学校及び学級の運営を円滑に行い教育環境の充実を図る。	学習支援員配置数 小学校:10人 中学校6人	・各小学校:年間の授業及び補習時間:980時間(年間平均値) ・各中学校:年間の授業及び補習時間:1,077時間(年間平均値)	(今後の展開方針) 今後も同様な人数の確保及び増員をさせて、学習意欲の向上に努める。	
1		八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	H24 ~ H33	中学校において、伝統芸能の特別授業を行い八重瀬町の伝統文化の継承を図るため、組踊、三線、エイサー等の講演会を開催する。	中学校への講師招聘:30人	特別授業終了後の発表会参加生徒数:642人	(今後の展開方針) H33までに中学校6,392人の生徒に地域の伝統文化の継承と地域の方達との交流を学ぶ。	
1		八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ~ H33	教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外に派遣する。	海外短期派遣生徒数:12人	・現地での研修を体験することにより、国際的視野を広めると共に、コミュニケーション能力の向上と国際化意識の醸成、国際性豊かな人材の育成。 ・事後報告書:英文・日本語での感想等を掲載した冊子(50冊)	(今後の展開方針) 海外短期派遣生徒数(累計) H33年度:120人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村) 成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		謝花昇紙芝居事業作成委託事業	H26	「自由民権運動の父」とよばれ、明治時代に沖縄で参政権運動を獲得するために活動した八重瀬町出身の謝花昇の生涯を紙芝居・絵本にし、町内の小中学校、県内の教育機関へ配布する。また、町HPで公開、読み聞かせの会を開催することにより多くの人に活用してもらう。	紙芝居・絵本作成 200セット 紙芝居のHP等での公開 紙芝居の読み聞かせ 1回開催	・町内各小中学校 6校×10セット=60セット ・県内公立図書館等 70セット ・八重瀬町各自治会 33セット ・八重瀬町 37セット ・HP閲覧数:10PV/日(年間3,500PV換算) ・紙芝居の読み聞かせ 1回開催(40人)	(今後の展開方針) 町内外の教育機関に配布しHPでの公開、紙芝居の読み聞かせを年2回程度行う。	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1		ICT教育強化事業	H26	児童生徒の情報教育及び学力向上を図るため、小中学校の各普通教室に電子黒板等のICT環境を整備し魅力的な学習環境を整える。	電子黒板整備 : 小・中学校普通教室	町内小中学校普通教室の電子黒板導入率(小学校100% 中学校100%)	(今後の展開方針) H27年以降に特別教室にも電子黒板を整備し、デジタル教科書を導入する。	
1		八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ~ H33	風土、文化の違う他県の子もたちと交流することにより、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな少年少女の健全育成を図る。	生徒受入数 10人 生徒派遣者数 43人	生徒受入数 10人 生徒派遣者数 43人 事後報告会を開催し、報告書を作成する。	(今後の展開方針) H26~H33 延派遣者数 392人	
1		切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26 ~ H28	県教育委員会の学力向上の主要施策「にぬいあ星プラン」のもと推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査では全国と大きな差がある。そこで教育委員会は学力向上の支えとなる中学生の補習補中心に本事業を行い学力向上を図る。	土曜講座 (平成26年6月~平成27年2月末まで) 長期 休業中 20日間 定期テスト前対策 2週間前 4回	土曜講座 東風平地区120人 具志頭地区40人 長期休業中 東風平地区120人 具志頭地区40人 定期テスト前対策 東風平地区120人 具志頭地区40人	(今後の展開方針) 基礎的・基本的な事項の定着を図り、学習意欲を向上させる。全国テストが全国平均のマイナス10ポイント以上の差があるため、その差をできるだけ無くす事を目指す。	
1		渡嘉敷リーダー研修事業	H26 ~ H33	風土、文化の異なる、多文化圏での活動を通し、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活により規律・協調・友愛・奉仕等の精神を養い、心身ともにすこやかな少年少女の健全育成を図る。	渡嘉敷リーダー研修 1回実施	研修を通し、親元を離れ自立を促し、これからの沖縄を牽引する人材育成に寄与する。	(今後の展開方針) 研修を継続して行う事で、毎年100人以上(4人×34支部=136人)のリーダーを輩出し、人材育成に寄与する。	
2		八重瀬町観光資源活性化事業	H24 ~ H33					
2		八重瀬町イベント事業	H24 ~ H33	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。	・八重瀬桜まつり開催支援 ・こいのぼりあしび開催支援	・八重瀬桜祭り来場者数 5,000人 ・こいのぼりあしび来場者数 2,500人	(今後の展開方針) H26~33年度:八重瀬桜祭り開催 こいのぼりあしび開催 H29・H33年度:八重瀬祭り開催	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業を行う。	・観光地 : 8箇所 ・アクセス道路 : 40路線	(今後の展開方針) H26~33年度:美化作業 H27年度以降:美化作業・緑化作業		
2	八重瀬さくらのまち整備事業	H25 ~ H33	八重瀬公園を主として、町内各施設のさくらの整備、重点的な維持管理を行い、南部のさくらの名所としてアピールすることで地域の知名度向上と観光地としての魅力向上をはかる。	八重瀬公園内一円のさくらの育生保全を行う。	八重瀬公園内傾斜地に生育しているさくらの、根本土流出保護のため、土留め壁工事を行う。また、それと並行して全体の施肥・枝打ち等の育生保全を進める。	(今後の展開方針) 枯れて倒木しているさくらの撤去及び新木の植樹を行う。		
2	破名城の郷整備事業	H24 ~ H28	破名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。	遊歩道、駐車場、用地取得	遊歩道の整備 L=610m 駐車場の整備 用地取得	(今後の展開方針) H27年度 遊歩道、展望台等の整備 H28年度 管理棟、倉庫等の整備		
2	八重瀬まちあるきブック作成委託事業	H26	八重瀬町には旧石器時代の人骨「港川人」の出土地「港川フィッシャー遺跡」、県内の村落獅子として最大最古の「富盛の石彫大獅子」をはじめ、100種類を超える植物が生息する「具志頭遊歩道」など多くの観光資源を有している。町の魅力をアピールし観光客の誘致を図ることを目的に「まちあるきマップ」を作成し配布する。	まちあるきマップ作成	まち歩きマップ配布 県内公共機関等 1,000部 町内観光施設・飲食店 9,000部 町内でまち歩きする観光客 10,000部	(今後の展開方針) 観光客へ配布し、ガイドとともに歩いて町内観光が楽しめる体験型観光を行う。		
2	八重瀬町コンビニAED設置事業	H26	災害時等において、住民や本町を訪れる観光客等に重篤な傷病者が発生した場合に、その場に居合わせた方がAEDを利用して救急措置が行えるようにするため、町内で24時間営業しているコンビニエンスストアへAEDを設置する。	町内の全コンビニへの設置:10箇所	整備率:100%	(今後の展開方針等) コンビニへのAED設置を広報誌、ホームページを通して周知する。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
2	八重瀬町戦跡整備事業	H25 ~ H27	八重瀬町の地域資源を活用するため、町内で確認されている戦争遺跡を整備し歴史・平和学習等へ活用する。	駐車場、トイレの整備工事	駐車場の整備(大型バス4台、普通乗用車4台、障がい者用1台) 手洗い場及びトイレ設置	(今後の展開方針) H27年度 遊歩道、休憩所等の整備 供用開始後の年間施設利用者数: (目標)2万人		
2	便益施設等整備事業	H26	南部地区の通過ルートにもある富盛地区において便益施設等がないため、集落内の既設公園内に公衆トイレ及び休憩スペースを設置するとともに公園施設の機能向上を図り、地域観光の振興を図る。	便益施設(便所、日除ベンチ、防球フェンス)の設計、整備	トイレ利用による観光客の地域への誘致、休憩スペース、防球ネット整備によりスポーツ大会会場での利用客増加が見込め、案内看板の設置により地域観光への案内、誘致を図ることができる。 年間利用見込み者数:8,000名	(今後の展開方針) 27年度供用開始 更なるスポーツ交流観光の場としての活用及び、トイレ利用観光客の文化財(富盛大獅子、八重瀬公園)等、周辺観光への誘致を図る。	7月変更 (事業追加)	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		コミュニティFM放送エリア等事前調査検討事業	H26	観光情報、町内のイベント情報、地震や台風等の緊急時には災害情報等を提供する事を目的に、八重瀬町におけるコミュニティFM方法局開設の実現性に向けて送信所・演奏所の設置箇所や放送エリア等の事前調査を行う。	コミュニティFM放送エリア等の事前調査を行う。	コミュニティFM放送エリア等事前調査検討業務報告書の作成。	(今後の展開方針等) 八重瀬町におけるコミュニティFM放送開設に向けて必要な、送信所・演奏所等の設備整備や施設整備を行う事が出来る。	7月変更(事業追加)
2		運動公園施設等整備事業	H24～H29	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。	野球バックネット整備 芝生整備	県外からの野球チーム(2チーム)、サッカーチーム(2チーム)のスポーツキャンプを受入	(今後の展開方針等) H25年度:スポーツキャンプ受入 H26年度～:スポーツキャンプ継続	7月変更(事業追加)
2		八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26～H30	サッカーJリーグピククラブチームキャンプの誘致活動を行う。サッカーキャンプで県内外から誘客を行い、観光関連事業創出事業につなげる。サッカースクール等の交流事業やスポーツ活動拠点「八重瀬町」を町内外に積極的に情報発信を行う広報事業等を関係団体と連携を図りながら進めていきます。	・Jリーグチームの誘致活動 ・地域交流 ・イベント開催、参加	・Jチーム3チーム以上の誘致 ・地域交流:サッカースクール町内小学生50名 ・イベント:ファン感謝まつり等開催 ・キャンプ来客数:8,000人 (基準年24年:0人)	(今後の展開方針) ・継続したJチームのキャンプ開催 ・地域交流事業の開催	7月変更(事業追加)
2		八重瀬町観光拠点施設周辺活用構想検討事業	H26	八重瀬町観光拠点施設周辺の立地条件を生かした、観光活用構想の作成と、拠点施設等の細部検討を実施する。	・八重瀬町観光拠点施設周辺の活用可能性を調査・検討し、観光拠点施設の細部についても検討を行う。	・八重瀬町観光拠点施設周辺活用構想を作成する。 ・公募要項等の作成	(今後の展開方針等) ・構想を基に、必要な整備計画を検討する。 ・公募要項を基に事業者を公募する	7月変更(事業追加)
2		八重瀬町スポーツコンベンション推進事業	H26	八重瀬町の充実した体育施設の情報を発信し、スポーツコンベンションを充実させる為、体育施設のパンフレットを作成し配布する。	パンフレット配布 200部	キャンプ誘致 1チーム	(今後の展開方針等) ・県外大学やプロスポーツ団体のキャンプや県内大会の誘致することにより、町内への来客数を増加を目指す。	10月変更(事業追加)
2		富盛石彫大獅子周辺整備事業	H24～H27	沖縄県指定有形民俗文化財で県の村落獅子として最大で最古である富盛の石彫大獅子が鎮座する勢理城(ジリグスク)の整備測量設計業務を行う。	勢理城(ジリグスク)整備測量設計委託の実施	勢理城(ジリグスク)整備測量設計委託の完了	(今後の展開方針) H27:整備工事 H28年度 観光客数 500人 (基準年:H25年度 約100人)	10月変更(事業追加)
3		八重瀬町ブランド創造事業	H24～H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村) 成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	ハ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		八重瀬町観光資源ブランド開発に関する事業	H24 ~ H33	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の調査・掘り起こし、そして魅力を伝えるための観光資源の安心・安全なプログラム化、ガイドの育成を図る。さらに八重瀬観光ブランドの戦略構想を計画しその集大成として観光イベントを実施する。	観光先進地リーダーの招聘 3回 県外観光プロモーション 2回 体験フェスティバル 1回	講演会:3回 安全マニュアル作成	(今後の展開方針) 教育旅行の受入や体験プログラムの充実により、リピーターの創出を図り体験滞在型の観光を構築する。	
3		八重瀬カラベジブランド構築に関する事業	H24 ~ H33	カラベジ製品を初めとする町の特産品の開発とブラッシュアップ及び販路開拓を支援する。同時に、カラベジブランド向上のためのイベントを開催し、顧客との接点作りを強化する。また、アンテナショップでの試験販売も実施する。	・カラベジ製品等の開発 ・物産展、商談会等への参加 ・カラベジフェアの開催 ・カラベジスタンプラリーの開催 ・WEBを活用したプロモーション(販促、ブランドの顧客形成) ・アンテナショップの試験販売の実施	・新規カラベジ製品等の開発 3品 ・物産展等参加(町内、那覇市、東京各1回) ・デパートリウボウでのカラベジフェア 1回 ・カラベジスタンプラリー 1回 ・ブランド作りのためのイベント 1回 ・販促用媒体制作 12,000部	(今後の展開方針) 八重瀬町内の小規模事業者の販路開拓、支援を行える体制を構築する。	
3		八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ~ H33	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの管理業務委託、発地への観光プロモーション等の旅費及び営業車両の購入を行う。	・八重瀬の観光キャラクターのPR ・八重瀬の観光情報の発信業務 ・各種イベントにおける観光PR ・各種イベントの管理及びサポート	・イベントへの観光PR出展 2回 ・各種観光イベントへのPR 随時	(今後の展開方針) 八重瀬町のPRを随時発信できる体制を構築することで、観光産業の創出へ結びつける施策を創りあげる。	
3		体験観光受入施設強化事業	H26	八重瀬町には2万2000年前の港川人をはじめ、沖縄最大最古の村落獅子 富盛の石彫大獅子、平和教育に活用できるガマ等、観光資源が豊富な地域である。しかし、それらを活用するための人材育成の研修施設及び宿泊施設を兼ね備えた拠点施設が無いため、これまでセミナーハウスとして活用していた施設を新たに観光及び人材育成研修拠点施設としてリニューアルする。	体験観光受入強化施設機能強化の実施	観光及び人材育成の拠点施設供用開始により、体験交流及び研修の受入体制の確保	(今後の展開方針) 目標年度(平成28年度) 体験交流人口の増加:1,000人 (H24年度:0人) 人材育成研修・・・15回/年 (H24年度:3回/年)	1月変更 (事業追加)
4		八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ~ H30	農家の経営の安定化・質の高い食用牛の改良を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	種雄牛の育種価の脂肪交雑がAランク以上の産肉能力があり、導入時の体高が平均値以上または登録審査時の審査特典が80点以上を見込める雌牛の導入の実施。	優良母牛導入頭数30頭	(今後の展開方針) H26~H30 優良母牛150頭導入(累計)	
4		八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業	H26 ~ H27	沖縄の亜熱帯気候に適する花、観葉植物、果樹等の苗を種苗ハウス内で育苗し、公共施設や住民に配布し、緑化思想の普及啓発を図る。また、地域農業の活性化に体験農場や農業塾・教室を開き農業経営者の育成を図るため種苗センターの整備を行う。	種苗センター及び体験農場の基本設計書作成	種苗センター及び体験農場の建設に向けた基本設計完了	(今後の展開方針) H26年度:基本設計 H27年度:実施設計及び建設工事 H28年度:供用開始 ・運営主体は公募の上、NPO等に指定管理させる予定 ・施設の年間利用者(目標)7,500人/年	7月変更 (事業追加) 10月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		農業用機械施設整備事業	H25 ~ H27	さとうきびを中心とした農業振興を図るため、共同利用機械(農業用パワーショベル)を整備する。	・パワーショベル1台購入	・パワーショベル1台導入 H26年度 整備率 60% 80%	(今後の展開方針) ・さとうきび生産量の増加 目標年度:H28 H26反収比5%増	10月変更 (事業追加)
4		八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ~ H30	本町にて拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、イベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	・地産地消フェア開催支援(2箇所) ・農作物のPR	・地産地消フェア来場者数:2,000人	(今後の展開方針) ・八重瀬町の認知度向上、農作物のPR効果を測定し、今後の事業展開を適切に見直していく。	12月変更 (事業追加)
5		教育施設省エネ化推進事業	H25 ~ H27	環境にやさしい教育施設を推進するため、照明設備をLED化し省エネ化を推進する。 公立学校施設の照明設備LED取替工事を行う。	公立学校施設 2校 実施設計・取替工事の実施	小学校施設 1校 中学校施設 1校 実施設計・取替工事の実施 取り替え工事により、消費電力の削減率が約59%となる。	(今後の展開方針) 環境にやさしい教育施設を推進するため、教育施設の照明設備LED化を継続して行っていく。	
6		やえせの民俗芸能啓発資料作成事業	H26	地域の民俗芸能が楽しめる態勢を構築し、お互いの芸能を共に励ましあい継承と発展にこれまで取り組んできた。地域と地域、人と人を結ぶ文化のあり方についてこれからも地域コミュニティの繋がりを醸成させ、経済活用、地域振興とします。八重瀬町の発展、沖縄県の発展に寄与する。地域力である民俗芸能にスポットをあて、地域民俗芸能を次世代に「つなぐ側」と「継承する側」の双方の姿を取り上げ啓発資料を作成し配布普及啓発を図る。	町民用パンフレット:15,000部 県内外へのPR用パンフレット:12,000部 カレンダー-2,000部	町民用パンフレット:15,000部 県内外へのPR用パンフレット:12,000部 カレンダー-2,000部	(今後の展開方針) 啓発資料にて、町民の文化意識の高揚を図る。文化資源を活用した八重瀬町をPRする。	
7		八重瀬の歴史(町史概要版)作成事業	H26	八重瀬町史が今後作成されるにあたり、新たな取り組みとして八重瀬町の歴史をダイジェストで取り上げた概要版を作成し、町史を広く普及させることにより地域に対する意識の高揚を図る。	12,000部発刊 八重瀬町内世帯 10,500世帯配布 町外または官公庁等 1,500部配布	12,000部発刊 八重瀬町内世帯 10,500世帯配布 町外または官公庁等 1,500部配布	(今後の展開方針) 新たな町史概要版により町民に町史への関心を高める。今後の町史編集における資料の提供や保存するところの重要性を周知する。	
8		八重瀬町防災基盤整備事業	H26 ~ H28					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	水難救助車整備事業	H26	水難救助車は海や川などの水に関する事故や災害に対応するための車両で、今回の計画車両は各種水難救助用の資機材を装備し、車内でウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、出動指令で潜水士免許既得者や水難救助訓練を積んだ隊員が躊躇することなく車両に乗り込み出動できる車両である。当消防の出動体制は、出動車両や資機材の選定・ウエットスーツの着替え等でかなりの時間を要している。水難救助車を整備することにより迅速・確実な水難救助活動が可能となる。	水難救助車両 1両 購入	水難救助車両 1両 配備	(今後の展開方針) 市町民や県内外及び国外からの海等のレジャーを楽しむために訪れる人々に安全・安心を与える地域とする。		
8	八重瀬町地域防災計画策定事業	H26 ~ H27	本町には海岸、河川沿いに面した集落があるが、本町地域防災計画において津波に対する考えが十分ではなく、想定外の被害をもたらした東日本大震災のような大規模災害に備え、住民と本町を訪れる観光客の安心・安全を確保するため、国の防災基本計画や沖縄県地域防災計画を踏まえ、指定避難所の見直しや避難計画の策定を含めた地域防災計画の強化を図る。	八重瀬町地域防災計画の策定	八重瀬町地域防災計画の策定	(今後の展開方針) 平成27年度:初動マニュアル作成		
8	防災備蓄品整備事業	H26 ~ H28	亜熱帯気候である沖縄県では毎年多くの台風が接近・襲来しており、平成24年度にいたっては、大型で猛烈な台風が何度も接近・襲来している。また島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあります。そのため、町独自で災害に備え、避難所に避難してきた住民に対し食糧や飲料水、応急給水袋、毛布等の備蓄品を供給できるようにする。	防災備蓄品の購入 カンパン:4,000食 保存水:4,000本 飲料水袋:8,900枚 災害用トイレ袋:4,000枚 トイレトイレットペーパー:432個 ウォーターバルーン:6台 連結給水栓:12台 毛布:450枚	目標備蓄数に対する達成率(平成26年度) カンパン:100% 保存水:100% 飲料水袋:100% 災害用トイレ袋:33% トイレトイレットペーパー:36% ウォーターバルーン:100% 連結給水栓:100% 毛布:33%	(今後の展開方針) 平成28年度100%		
9	文化資源活用地域活性化事業	H26						
9	やえせの民俗芸能公演	H26	伝統の年中行事にある民俗芸能の連絡協議会が平成26年3月に発足した。その協議会を主体とした民俗芸能の事業を展開する。各地域で継承されている民俗芸能が一堂に会し発表の機会を企画することにより八重瀬町の特色ある民俗芸能を町内外へ発信する。	・町内民俗芸能による八重瀬PR(出演約300名予定) ・民俗芸能団体の交流、活性化、資質向上(33ヶ字内/15団体出演)	やえせ民俗芸能公演来客数:800名	(今後の展開方針) ・文化資源を活用した地域特性の組織強化、コミュニティーの拡大、「守り育てる文化」としての文化産業の充実を図る。 ・新興自治会等への文化活用の企画提案、町外からの移住者との文化交流事業の展開を図る。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		やえせの物産展 民の賑い	H26	特産品や八重瀬ブランドの発信を民俗芸能と同様に、地域特有のものである。その物産展と民俗芸能の共同実施により「見て、味わい、八重瀬を感じる」といった町のPR事業を展開する。	・八重瀬町特有の特産品と民俗芸能による八重瀬町のPR ・CM等周知強化による、集客増員 ・民俗芸能(屋外演舞)と物産のコラボにより民俗芸能にちなんだ新たな商品の開発	物産展来客数:500名	(今後の展開方針) ・地域特有の企画をするマネジメントの強化、文化産業の充実による地域コミュニティの発展を図る。 ・商工、産業、文化と「まちの薫り」づくりの企画、発信を行う。	
		ハーレー振興事業	H26 ~ H27	毎年、旧暦の5月4日(ユッカヌヒー)に行われる港川ハーレー(爬竜船競争)は、海人(ウミンチュ)の豊漁と航海の安全、集落の安泰を祈願して行われています。しかし、ハーレー舟の老朽化や保管場所がないため、新たにハーレー舟の造舟、ハーレー舟保管の格納庫を整備する。	ハーレー舟造船の材料を購入する。	材料を約半年間乾燥させ、次年度整備に向けた条件を整える。	(今後の展開方針) 平成27年度:ハーレー舟及び格納庫整備 平成28年度:供用開始し、伝統行事の保存継承及び本町、地域の活性化を図る。	7月変更 (事業追加)
10		衛星船舶電話通信機器設置補助事業	H26	沖縄県漁業生産量のうち、マグロ漁やソデイカ(セイイカ)漁が1、2番目の生産量を誇り、全国生産量でもソデイカ(セイイカ)漁は、沖縄県が半分以上を占めている。マグロ、ソデイカ漁は遠距離の操業になり安全を確保する為、衛星船舶電話(デジタル式)を整備する。	衛星船舶電話 5隻へ設置	衛星船舶電話設置が必要な船舶への整備率100%	(今後の展開方針) 衛星船舶電話の整備設置により漁業者の安全な操業及び水揚げ量の増も期待でき、水産業振興及び地域の活性化を図る。	10月変更 (事業追加)
11		健康いきいきウォーキングマップ作成事業	H26 ~ H30	近年、平均寿命の低下、生活習慣病の増加等で「健康美ら島おきなわ」のイメージが失われつつある。「沖縄・八重瀬でスポーツ健康長寿!」の復活をめざし、ウォーキングマップを作成・配布する。	ウォーキングマップ作成	ウォーキング大会にて配布 1,000部	(今後の展開方針) ウォーキングを生活サイクルに定着させる。	12月変更 (事業追加)
12		浮魚礁設置事業	H26 ~ H27	新たに中層浮魚礁を設置することにより、マグロ、カツオ等の水揚げ量を増やし、漁業経営の安定化を図るとともに、遊漁船による観光振興も推進する。その為、次年度に中層浮魚礁を設置するために必要な地形、水深を確認する為の測量を実施する。	ニーズ調査および中層浮魚礁設置測量の実施	ニーズの把握、設置基数・箇所の決定 中層浮魚礁設置測量の完了	(今後の展開方針) 調査結果をもとに浮魚礁を設置し、漁業経営の安定化と観光振興を推進する。	1月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			多良間村災害に強い観光まちづくり推進事業	H24 ～ H26					
1			多良間多目的拠点施設整備事業	H24 ～ H26	島の定住を支える重要な産業である観光振興を図る為、災害時における観光客等への安全安心を確保するための避難場所や住民と観光客の交流拠点、離島の人材育成拠点として活用できる複合施設を整備する。	避難及び交流等のための多目的拠点施設の整備	多目的拠点施設の整備による地域の交流拠点施設として活用する。	(今後の展開方針) 住民・観光客が身近に利用できる地域の拠点施設として取り組みを行うことで地域振興を図る。また、災害時の避難施設として活用する。	
1			水納島津波避難施設整備事業	H24 ～ H26	海拔が非常に低い水納島に、住民や観光客の安全安心を確保するための津波避難施設を整備することで、災害に強い観光地として本村のブランド力向上を図る。	水納島津波避難施設の整備	施設の整備による地域の避難施設及び観光スポットとして活用する。	(今後の展開方針) 住民・観光客の憩いの場(名所)として活用し、災害時には避難施設として活用する。	
2			多良間村観光関連施設整備事業	H25 ～ H33					
2			観光関連施設整備事業(東屋等)	H25 ～ H26	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光関連施設等に東屋等を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	観光関連施設への東屋、公衆トイレの設置	観光関連施設の東屋、公衆トイレの供用開始	(今後の展開方針) 快適な環境づくりによる観光地形成に取り組む。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
2			美化緑化推進事業	H25 ～ H33	観光地形成に向け、公園、道路等の主要施設の環境美化を行い、観光関連施設の緑化推進を図る。	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施:8ヶ所	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化:必要箇所100%	(今後の展開方針) 公園、道路等の主要施設の環境美化を行い、観光関連施設の緑化推進を図り、観光地形成に取り組む。	
3			多良間村農業生産基盤安定化事業	H25 ～ H33					
3			イネヨトウかく乱法防除事業(フェロモンチュウブ)	H25 ～ H30	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチュウブ設置による防除を行う。 フェロモンチュウブ設置対象面積 A = 290.8ha	イネヨトウを防除することで、さとうきびの生産安定と品質の向上を図ることで、地域の農業振興の発展に繋がる。	(今後の展開の方針) イネヨトウの繁殖、被害状況等を調査しながら今後も実施していく。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	福祉プラン	H24 ～ H33						
1	子育て支援事業	H24 ～ H26	保育サポーターの養成講座を開催し、各地域において育児の援助を行いたい者と援助を受けたい者の会員制相互援助活動を支援し、地域の中で安心して子どもを生み育てることができる環境を整備する。	・育児サポーター養成講座の開催:1回 ・スキルアップ研修の実施:1回	・育児サポーター養成講座終了者数:6名 (竹富町ファミリーサポートセンターおたすけ会員(子どもを預かる人)登録) ・保育依頼件数 550件	(今後の展開方針) H33年度末のおたすけ会員数 25名 基準年:平成24年度10名		
1	妊婦支援事業	H24 ～ H33	妊婦が安心して出産が迎えられるよう妊娠出産にかかる経済的負担軽減を図るため、妊婦が船舶及び航空機を利用した場合における運賃並びに出産待機宿泊費について助成する。	・妊婦旅費助成件数 基準値(H23) 59件 目標値(H26) 60件(200回) ・妊婦宿泊助成件数 基準値(H23) 22件 目標値(H26) 25件(350日)	妊婦助成件数:60件	(今後の展開方針) 妊婦支援による定住促進を図る		
1	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ H33	健康増進法における検診「住民健診・胃がん検診・婦人がん検診」を行う際に発生する、検診車の海上輸送運賃等の負担軽減を行い、島嶼における定住促進を図る。	・検診機材搬送年3回実施 (検診3回×6島=計18件)	・検診機材搬送年3回 (検診3回×6島=計18件) ・総受診者数 1,700名	(今後の展開方針) 健康診査受診の促進を図る		
1	竹富町お出かけサポートモデル事業	H26 ～ H30	高齢者や障害者等の外出機会の増加による自立生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るためのお出かけサポート事業を西表西部地区を対象に実施する。また利用実績等を基に、他地区への展開や有償化の可能性について検証する。	(西表島西部地区) ・送迎車両の購入 ・送迎サービスの実施 ・アンケートの実施	(西表島西部地区) 利用者数見込み 平成27年1月～3月実施:延べ120人	(今後の展開方針) ・利用実績、アンケート実施結果等の検証を踏まえ、H27年度以降の他地区への展開や有償化の可能性を検討する	10月変更 (事業追加)	
2	観光整備プラン	H24 ～ H29						
2	うなり崎公園整備事業	H24 ～ H27	旧太陽の村(観光施設)跡地の公園等整備を図り、優れた景観を活かした新たな観光スポットとして利活用を図る。	公園等整備工事の実施 H26年度:2工区(工事内容) 野外ステージ、トイレ、東屋、コンビネーション遊具、芝広場、遊歩道、浸透井戸、ボードウォーク、縁台、外柵等の整備	公園等整備工事の実施 整備率69% H26年度:2工区(工事内容) 野外ステージ、トイレ、東屋、コンビネーション遊具、芝広場、遊歩道、浸透井戸、ボードウォーク、縁台、外柵等の整備	(今後の展開方針等) 公園等整備計画期間: H25年度～27年度までの間 H28年度:共用開始予定		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			黒島観光関連事業	H25 ～ H26	黒島の観光地である伊古棧橋へ通じる路線は降雨後は通れない状況にあり、支障をきたしている。また日陰等の休憩所もないことから、本事業により道路と東屋の整備を行い、より良い観光名所を目指す。H25年度に作成した設計をもとに今年度着工する。	道路整備及び東屋整備	道路整備及び東屋整備完了	(今後の展開方針等) 完了後、供用開始 町の滞在型観光の推進のために積極的に紹介していく。	
2			竹富島観光関連事業	H26 ～ H27	カイジ浜に訪れる観光客の増加に伴い、観光地のトイレが不足のため、トイレの整備を行う。用地買収50㎡ 委託設計 一式	・トイレの設計の実施 ・用地買収	・トイレの設計の実施完了 ・用地買収完了	(今後の展開方針等) H27年度:トイレ整備	
2			観光誘客・受入対策事業	H26	本町の滞在型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動と観光PR動画静止画の撮影及び受け入れ体制強化・整備を行う。	宿泊システムの導入 誘客宣伝8会場(国内) 観光風景動画の撮影	宿泊システムの導入完了(20事業者) 観光客誘致活動各会場の総来場動員数10万人 次年度編集に向けた動画素材の確保	(今後の展開方針等) H26年度の活動実績を基に、今後3年間の間に平均滞在日数を現在の0.7泊から+0.3泊(=1.0泊)に延伸	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
2			鳩間島音楽祭会場整備事業	H26	鳩間島で毎年開催されている「鳩間島音楽祭」で使用するステージ及び客席会場の整備を行い、出演者、来場者の利便性向上と更なる島の活性化を図る。	既存施設解体・撤去、ステージ、膜屋根施設等整備	既存施設解体・撤去、ステージ、膜屋根施設等整備(出演者及び来場者の利便性向上)	(今後の展開方針等) 音楽祭をはじめ、そのほか地域イベント等での有効活用を図る。	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
2			文化財説明板整備事業	H26 ～ H29	国内外から訪れる観光客等に町内に所在する指定文化財を分かりやすく説明するため、多言語(日本語、英語、中国語)による説明板を整備し、観光振興を図る。	文化財説明版の設置	文化財説明版設置完了 町指定文化財:4箇所	(今後の展開方針) 各年度4箇所ずつ整備予定	
2			忘勿石進入道路等整備事業	H26 ～ H27	「忘勿石之碑」への最短道路及び、駐車場等の整備のための測量・調査委託を行い、必要とされる周辺土地等の取得を行う。	・用地の確保 道路工事用(1.5m×75m) 駐車場用(1200㎡) 遊歩道用(3.0m×40m) ・調査測量の実施	用地取得及び測量・調査の実施完了	(今後の展開方針等) H27年度:進入道路等の工事開始及び供用開始	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			やいまびとと人材ネットワーク事業	H26	日本全国の八重山出身者が、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを目的とした組織化作業やそれらをつなぐ人材ネットワークづくりを実施する。	人材ネットワーク構築基本構想策定 郷友等諸団体のリサーチ 郷友等諸団体の組織化 人材情報ネットワークシステムの構築	人材ネットワーク構築基本構想策定 郷友等諸団体のリサーチ(50団体) 郷友等諸団体の組織化(7団体) 人材情報ネットワークシステムの構築	(今後の展開方針等) やいまびとと人材ネットワークを通して、郷友よりのふるさとへの助言・提言や圏域のPR、特産品の販売、文化交流、人材交流につなげたい。	
2			竹富島海底温泉活用調査整備事業	H26	観光地としての受入施設整備(海浜における公共「足湯」施設)を目的に、竹富島北東部の浅海域に存在する海底温泉について、実用に向けて必要と思われる各種調査を実施する。	・自然環境、採掘許可等条件整備調査の実施	・自然環境、採掘許可等条件整備調査完了	(今後の展開方針等) 調査内容をもとに、足湯整備事業を展開する。	7月変更(事業追加)
3			景観形成プラン	H24 ~ H33					
3			観光道路美化推進事業	H24 ~ H33	町内の歩道と植樹帯を有する観光路線を美化し、散策に訪れる人の満足度を向上させ、竹富町の観光基盤水準を高める。	観光道路の美化および植栽整備	観光道路(4路線)の美化および植栽整備完了 竹富一周線:3,285m、細崎線:3,033m 住吉1号線:2,512m、波照間海岸線:4,078m ・植栽本数8,700本	(今後の展開方針等) 年度までの事業効果を基に、美化路線の選択を検討する。	
3			観光地文化財美化保全事業	H24 ~ H33	本町が有する文化財の美化保全を推進し、本町の特有の歴史文化や景観を観光資源として利活用し観光産業の振興を図る。	観光景観地:指定文化財美化保全実施箇所数 国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所	観光景観地:指定文化財美化保全完了 国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所	(今後の展開方針等) 観光資源としての活用を住民に促す。	
3			黒島主要路線ギ木化事業	H24 ~ H26	黒島の主な産業は肉用牛生産と観光産業となっており、ギ木とその背景の牧場風景を活かした県道213号線は「日本の道100選」にも選定され観光道路となっていることから、島全体を観光地として魅力向上を図る為、県道以外の主要道路にもギ木柵を設置する。	町道黒島1周線及び農道線ギ木柵設置設置延長 780m	町道黒島1周線及び農道線ギ木柵設置完了設置延長 780m	(今後の展開方針等) H26年度において黒島港～仲本海岸にかけてのギ木設置工事が完了することから、3年間の事業成果を基にギ木設置路線の見直しを図る。	
3			墓地景観形成事業	H25 ~ H26	沖縄特有の文化により、墓地が散在化している状況であることから、墓地計画の策定により墓地集約化や観光地としてのまちなみや優れた自然景観を保全する。	住民意向調査(アンケート調査)、策定委員会を経て、竹富町墓地整備基本計画の策定	竹富町墓地整備基本計画の策定	(今後の展開方針等) 竹富町墓地整備基本計画に基づき地域住民への説明会を開催する。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			ピサダ道保存整備事業	H26 ~ H27	竹富町指定史跡ピサダ道の保存整備を実施し、文化遺産的な観光資源として活用するとともに、津波災害時の避難道としても利用可能な道となるように整備を行う。	測量調査、実施設計の実施	保存修理工事の実施設計の完了	H27年度 保存修理工事 H28年度 供用開始	10月変更 (事業追加)
4			自然保護プラン	H24 ~ H33					
4			ペット適正飼養推進事業	H24 ~ H33	本事業は西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅危惧種であるイリオモテヤマネコの生息・生育を保全するため、西表島におけるペット適正飼養を推進する。	ペット適正飼養推進会議の開催 逸出ペットの保護収容 収容個体の処置 普及啓発講演会等の開催	ペット適正飼養推進会議を年1回開催 逸出ペット保護収容を10頭以内 普及啓発講演会等を4回開催	・捕獲目標数 平成28年度:5頭以内 (基準年度) 平成23年度:15頭	
5			産業振興プラン	H24 ~ H33					
5			和牛生産推進事業	H24 ~ H33	優良母牛の導入助成(購入費の1/2以内、上限30万円)及び口蹄疫の進入防止対策を実施し、本町の基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化し、産業の振興を図る。	・離島港湾靴底消毒用マット設置 ・優良遺伝繁殖雌牛導入助成	離島港湾靴底消毒用マット設置完了 優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数:80頭 (導入進捗率46.5%)	(今後の展開方針) H33年度: 子牛平均価格380,000円 基準年度(H23年度:327,000円) H33年度までに優良遺伝繁殖雌牛 400頭導入	10月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
5			水産物流通条件不利性解消事業	H26 ~ H33	生産量の増加に向け、石垣島から沖縄本島への水産物輸送費の支援を行い、負担軽減による生産量増加や流通体制の促進向上を図る。	水産物の輸送費補助の実施	水産物輸送費補助:水産物40t 実施完了	(今後の展開方針等) 水産物流通条件不利性解消事業: H26~H33まで実施 本事業の目標:漁協水揚量 98t(H23)から100t(H33)までの向上に資する。	
6			教育促進プラン	H24 ~ H33					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	読書支援事業	H24～H33	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児、児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として学校図書室を地域へ開放する取り組みとして、学校図書室へ人員を配置し活発な読書支援を図る。	図書支援員の巡回回数各15回/月(黒島校・小浜校) 基準年度(平成24年度各8回/月)	・図書支援員2名配置 ・黒島学校図書室利用人数(地域住民) 75人/年 基準年度(平成24年度 31人/年) ・小浜学校図書室利用人数(地域住民) 100人/年 基準年度(平成24年度 80人/年)	(今後の展開方針等) 図書室利用率の向上を図る		
6	児童生徒派遣事業	H24～H33	児童生徒のスポーツ等の各種大会等への派遣費を助成し、保護者の負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成、また沖縄本島等と離島の格差是正を図る。	児童生徒選手等派遣実施	児童生徒選手等派遣人数:470人	(今後の展開方針等) H27年度: 児童生徒選手等派遣人数470人 基準年度(H24年度:476人)		
6	学校ICT支援員派遣事業	H26～H30	極小規模校というハンディを乗り越え、児童生徒のICT機器活用能力及び学力の向上を目指す。そのため教育用PC・電子黒板・タブレットPC等のICT機器を授業で効果的に活用するため、ICT支援員派遣業務を行う。	・ICT支援員の派遣 小中学校13校	・ICT支援員1名の全小中学校巡回 小中学校13校	(今後の展開方針) H26年度～H30年度 各年度1人		
6	学校ICT環境整備事業(コンピュータ整備)	H26	情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるさせるとともに、情報に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響等について、理解を深めるための授業に使用するコンピュータの整備を行う。	・コンピュータの導入 小学校68台、中学校86台	・コンピュータの導入完了 (授業でのコンピュータ充足率100%)	(今後の展開方針) ICTを活用した学習機会の増加を図り、授業でのPC活用を促進する。	7月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	
6	教育環境整備事業	H26～H28	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、教育施設の空調設備の整備を行う。	空調設備の設置 ・小学校1校:普通教室4教室 ・中学校1校:普通教室3教室	・全体計画の進捗率:10%	(今後の展開方針) H27:8校の空調設置 H28:7校の空調設置	12月変更 (事業追加)	
7	防災プラン	H26						
7	防災無線整備事業	H26	本町区域内において、災害時の通信連絡を確保し災害情報伝達を迅速かつ適確に行うため、無線エリア外であった観光地に防災行政無線屋外拡声子局の整備を図る。	防災行政無線屋外拡声子局整備	防災行政無線屋外拡声子局 2基 整備完了	(今後の展開方針等) 屋外スピーカーのエリア拡大を図り、事故の多い地域の防災意識を高める。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	H26事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
7		防災マップ整備事業	H26	竹富町民や観光客の生命・財産・安全を確保するために、防災マップを作成・配布し、防災意識の高い町づくりを図る。	防災マップの作成・配布	・防災マップ作成 4,200部 町民・学校・観光事業者へ配布完了	(今後の展開方針等) 防災マップを活用した訓練等、防災対策を行う。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光客等誘致促進・受入体制強化事業	H24 ～ H29					
1			地域振興対策事業	H24 ～ H28	既存の観光イベントの参加促進と、他の体験型観光メニューとの連携を図り、かつ、各種広報媒体等による「情報発信」体制を構築し、観光客のニーズを十分に考慮した滞在型観光地であることの周知により観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進する。	カジキ釣り大会の実施 一周マラソン大会の実施	イベント開催月入域観光客数 H25年度 3,000人 基準年度(平成23年:2,300人)	(今後の展開方針) イベント開催月入域観光客数 H28年度:3,600人	
1			ウブドゥマイ浜観光地遊歩道整備事業	H26	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、現在、未整備ままであるウブドゥマイ浜へのアクセス遊歩道の整備を実施する。	ウブドゥマイ浜観光地遊歩道の整備	ウブドゥマイ浜観光地遊歩道整備工事の完了	(今後の展開方針) H27年度に供用開始行い、観光地として利便性と安全性が確保されたウブドゥマイ浜の提供を図る。	
1			与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ H29	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知らせてもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行って県内及び県外への販路開拓を図る。また、前年度に引き続き参加事業所には更なるレベルアップした店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法などの専門家による事前講習を行い、より魅力を伝える事の出来る特産品のアピールを実施する。	特産品の県内及び県外の物産展への出展の実施	特産品の県内及び県外の物産展への出展の実施 物産展へ出店:5事業者	(今後の展開方針) H29年度:離島フェア等の出店数: 15業者 H29年度:物産展出展数:15業者	
1			やいまびとら人材ネットワーク事業	H26	日本全国の八重山出身者が、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを目的とした。組織化作業やそれらを結びつける人材ネットワークづくりを実施する。	人材ネットワーク構築基本構想策定 郷友等諸団体のリサーチ 郷友等諸団体の組織化 人材情報ネットワークシステムの構築	人材ネットワーク構築基本構想策定 郷友等諸団体のリサーチ(50団体) 郷友等諸団体の組織化(7団体) 人材情報ネットワークシステムの構築	(今後の展開方針等) やいまびとら人材ネットワークを通して、郷友よりのふるさとへの助言・提言や圏域のPR、特産品の販売、文化交流、人材交流につなげたい。	
2			農水産業活性化事業	H24 ～ H29					
2			与那国町農業用水対策事業	H24 ～ H26	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するためかんがい排水施設の整備、生産効率を向上させる近代生産施設の導入、輸送時の品質低下を防ぐ簡易農道(石粉道路)の表層舗装と町道・農道の雑木伐採を実施する。	かんがい施設整備の実施	かんがい施設整備箇所数:2箇所	(今後の展開方針) 基準年(H23):玄米生産高 93t H28年度:玄米生産高 120t	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			与那国町さとうきびネコトウ防除事業	H25 ～ H29	さとうきびの安定生産を図ることを目的に、夏植え70ha、春植え20ha、株出し30haを対象に農業購入に対し、購入費補助を実施する。	農業購入費の補助の実施	農業購入費の補助の実施 基準年(H24)平均単収:4t 補助件数:90農家 平均単収:5t	(今後の展開方針) 基準年(H24)平均単収:4t さとうきび収穫反収向上 H29年度 1haあたり:平均反収6トン	
2			優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ H28	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、与那国町の農業従事者団体に対して、優良繁殖雌牛購入費用の一部を支援し、購入費用の1/2以内、1頭当たり300千円を上限として助成するものとする。与那国町の繁殖雌牛頭数800頭の約10%で見込んだ80頭(年間20頭)を目標に4年計画で導入する。	優良牛繁殖雌牛導入の実施	優良牛繁殖雌牛導入:年間20頭	(今後の展開方針) 基準年(H23):子牛平均価格300,000円 H28年度:子牛平均価格350,000円	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
2			水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ～ H29	水産物の県内輸送にたいして、流通条件の不利益を解消するため与那国町漁業協同組合に、沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送料に対し補助金を交付する。	生鮮水産物の空路輸送費補助の実施	生鮮水産物の出荷量増:前年度比5パーセント増	(今後の展開方針) 基準年(H25):平均漁獲高:2,500,000円 H28年度:平均漁獲高:3,000,000円	
2			与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ H33	小規模離島である与那国町では漁業は重要な産業の一つである。しかし、近年漁業従事者の高齢化が進むとともに、過疎化も進んでいることから、島内外から次世代の担い手を積極的に育成することが極めて重要である。そのために、与那国町の漁業従事者団体に補助を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業経営の安定化を図る。	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入に対し補助する。	漁業担い手新規就業者増:1人 既存漁業従事者数の維持確保:32人	(今後の展開方針) 基準年(H25)漁業従事者:32人 H33年度漁業従事者数:40人	10月変更 (事業追加)
3			教育環境充実事業	H24 ～ H28					
3			家庭学習支援モデル事業	H24 ～ H28	U・Iターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図るため、小中学生を対象とした家庭学習支援としてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施する。	町営学習塾の実施	・学習塾受講率(中学生) H26年度 50% (基準年(H23):40%) ・学習塾受講率(小学生) H26年度 45% 基準年(H23):0%	(今後の展開方針) 学習塾受講率 H28年度:80% 基準年(H23):40%	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
バ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			教育諸活動助成事業	H24 ~ H28	本事業は、町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を助成することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会派遣の実施	各種大会派遣人数:H26年度 350人	(今後の展開方針) 各種大会派遣人数 H27年度:350人 H28年度:350人	
3			地域国際交流事業	H24 ~ H28	本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う青少年に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図る。	台湾「花蓮市」へホームステイの実施	・台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数:10人 ・学力向上推進実践報告会:ホームステイ報告 ・異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成	(今後の展開方針) ホームステイ派遣生徒数(累計) H28年度:60人	
3			与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24 ~ H28	本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。	海外語学研修派遣事業の実施	・海外語学研修派遣事業 アメリカ:2人 イギリス:2人 ・異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成	(今後の展開方針) 帰国後の体験発表会を通して英語学習の意欲向上、異文化への関心等について町内中学生への波及を図る。	
4			地域文化の継承と生涯学習支援事業	H24 ~ H28	与那国語(方言)の保存・継承のために、関連イベントの開催や参加、与那国語の講演会等を実施する。また、用例が豊富で意味と用法の詳しい「与那国語(方言)辞典」の発刊に向け、様々なジャンルの資料(テキスト、音声、映像)の収集・記録に取り組む。昨年度までに収集した資料をもとに「方言カルタ」「方言ラジオ体操」「わらべ唄工四」を作成・活用し、方言を日常生活に取り込み、親しむことのできる環境作りを促進する。	関連イベントの開催及び参加 与那国語(方言)講演会等の実施 方言カルタ、方言ラジオ体操、わらべ唄工四制作業務の実施	消滅危機言語に指定された地域とのネットワークの構築 与那国語(方言)講演会来場者数:300名 方言大会出場者数:20名(基準年H25:20名) スナカニ大会出場者数:25名(基準年H25:25名) 与方言カルタの町内各家庭への配布:100% 方言ラジオ体操、わらべ唄工四を町内各学校での郷土学習授業に活用	(今後の展開方針) 構築したネットワークやカルタ・ラジオ体操等方言資料の活用やイベント・講演会等を実施することで方言を身近に感じられる環境づくりを促進する。	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
5			安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ~ H28	就学前児童を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一角を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育てを支援する。	子育て支援臨時職員の雇用	子育て支援臨時職員雇用:2人 支援人数(利用者数):24人	(今後の展開方針) 継続的に子供にとって安心・安全な居場所を確保し、保護者の子育てを支援し定住促進を図る。	
6			少子高齢化対策事業	H24 ~ H28	本町の医療機関には、産婦人科を含めた各専門医がいらない。本事業では、妊娠から出産までに島外診療を受けるために必要な渡航費等の費用の補助を実施する。	妊産婦定期健診の実施	妊産婦一人当たり受診回数:10回/人	(今後の展開方針) 引き続き渡航者等の費用の補助を実施し、一人でも多い子供を産み育てる環境を整える。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			離島定住条件基盤整備事業	H24 ～ H28					
7			公共交通路線支援事業	H24 ～ H28	本事業は、地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するための必要な条件整備すると共に、来島者の利便性向上を図る。	公共交通路線バス運行費用への支援	公共交通路線バス運行便数：2,500便/年	(今後の展開方針) 安定的な運営を維持し、住民並びに来島者(観光客等)への利便性向上を図る。	
7			ドゥナン・ファンド推進事業	H24 ～ H28	ばんだドゥナン島基金の資金を提供している、ふるさと納税者への情報公開とPR活動、ファンド運用にあたっての、監査・事業審査を適正に実施する体制づくりと同ファンドの運用・管理事業に必要な、『ドゥナンファンド』の情報発信の仕組みづくり・運営体制づくりを行う	どぅなん町民活動支援ファンド計画の策定	どぅなん町民活動支援事業者ファンドのスタート	(今後の展開方針) 起業のノウハウを取得させ、町内において同ファンドをテコ入れし、手始めに観光に関連する起業者の育成、起業支援と同時に実際の起業を目指していく。	
7			与那国町情報推進事業	H26 ～ H27	沖縄県による離島地区における情報格差是正を図るため、未整備の与那国島を含む全県地域への海底光ファイバーケーブルの整備決定に伴い、本町内の光ファイバーによるブロードバンド網による情報通信基盤の基本計画を策定する。	与那国町情報推進基本計画の策定 与那国町情報推進実施計画の策定	与那国町情報推進基本計画の策定完了 与那国町情報推進実施設計の策定完了	(今後の展開方針) 基本計画にのっとり、町内におけるICTを利活用した事業の導入や基盤を整備を図る。	
7			与那国町古民家活用型定住促進事業	H26 ～ H29	平成24年度に「与那国町古民家及び空き家再生事業計画」を策定、担い手として「与那国いとなみネットワーク」が設立され、古民家の保全活用に向けた取り組みが進められている。これと連動し、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた創造的民家移築モデルとして古民家の改修整備を行う。整備した古民家は1ターン・Uターンの受け皿、及び交流型観光に供する。これらの施策に基づき、持続可能な建築技術の継承にも取り組む。	与那国町古民家活用型定住促進実施計画の策定	与那国町古民家活用型定住促進実施計画の策定完了	(今後の展開方針) 実施計画にのっとり、体験用住宅1棟、定住促進型(グループシェア用住宅)1棟、定住促進型(家族定着用住宅)1棟の整備図り、1ターン・Uターンの受け皿、及び交流型観光に繋げる。	12月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		防災安全基盤強化事業	H25 ～ H26					
8		与那国町安全基盤対策事業	H25 ～ H26	現在設置されている防犯灯(258基)は、毎年襲来する台風により塩害や強風等で損傷が激しいため、長寿命で経済性に優れたLED防犯灯に取り替えを実施する。	防犯灯設置:258基	防犯灯設置:町内3集落内 258基	(今後の展開方針) 防犯灯の整備を実施することにより安心、安全の地域づくりに繋げている。	
8		与那国町地域防災計画(津波編)策定事業	H25 ～ H26	平成23年度に策定された「与那国町地域防災計画」を補完するため、与那国町地域防災計画(津波編)を追加作成する。現在計画では、津波被害想定及び予防対策を記載しているがH25年3月新たに津波浸水予測が発表されたこと、集落ごとの実情に即した避難計画と具体案が示されていないため、新ためて検討委員会により必要事項を検討する。	与那国町地域防災計画の策定	与那国町地域防災計画の策定の完了	(今後の展開方針) H26より策定した防災計画を活用し、与那国町防災避難訓練の実施年1回/年に実施	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。